「猪木軍vsK－1」はTBSが放送！『紅白』と真っ向勝負！

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年10月25日発行　増刊　第3巻・19号・通算55号

10・25
臨時増刊号
2001
定価680YEN

PRIDE.16 大会速報号

「猪木軍vsK－1」から「プロレスvsK－1」へ

SRS DX 10・25 臨時増刊号 No.55

9.24『PRIDE.16』大阪城ホール大会・速報！

12.31『イノキ・ボンバイエ』TBSが独占放送！

(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F 電話／03-3295-4445
発売所：(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号
本体648円

歴史上初の快挙！

K―1石井館長、新日本プロレス創始者A・猪木、『プライド』森下社長の合体こんなことを誰が予想しただろうか？

12・31『イノキ・ボンバイエ』TBSが大みそかに独占中継

K－1＋猪木軍＋PRIDE

史上空前のスケールで合体！

紅白歌合戦をブッ潰せ!!

「猪木軍vsK－1」の全面対抗戦を行う『イノキ・ボンバイエ』が、12月31日の大みそか、さいたまスーパーアリーナの3万7千人バージョンの大会場で開催されることが発表されたが、TBSがこの大会を独占中継し、NHKの国民的番組『紅白歌合戦』と同時間帯に放送することが決定した。深夜で放送されることが多いプロレス・格闘技界にとっては、まさに歴史的快挙。K－1、猪木軍、『プライド』というマット界の3大メジャーが合体し、紅白をブッ潰す！

猪木断言
「俺たちが表で、紅白が裏番組だ」

TBSが格闘技に本格参入。『イノキ・ボンバイエ』の独占放送権を獲得し、『紅白歌合戦』と同時間帯に全国放送する。しかも、毎週木曜日の深夜25：50〜26：20の30分間、格闘技のレギュラー番組『格闘王』をスタートさせる本気ぶりだ

まさに歴史的な記者会見だった。

馬場・猪木の対立から現在の多団体時代に至るまで、プロレス界は互いに夢のカードをブチ上げながらも、ああでもない、こうでもないと舌戦が続き、なかなかそれが実現されたためしがないジャンルと思われてきた。

しかし、この2人のプロデューサーの行動力はまるで違った。新日本プロレスを旗揚げし、今また「猪木軍団」というマット界の超実力派軍団を結成して『プライド』などの総合格闘技の舞台まで席巻するA・猪木。そして、K—1を創設して3大ドーム進出、ゴールデンタイム放送、民放3局制覇を達成しプロレスを完全に越えた敏腕プロデューサー石井和義館長。この2人が合体したことで、「猪木軍VSK—1」の全面対抗戦は、史上空前のスケールで実現することになった。

8・19のK—1ジャパンで始まった両軍の開戦は、K—1の2勝1敗という思わぬ大勝。しかもエース格の藤田和之と安田忠夫の2人が敗れるという波乱の幕開けとなった。これで興行的に両軍の全面対抗戦は、究極の潰し合いに。

しかも、そのスケールに見合った舞台として、第2Rは12月31日の大みそか、さいたまスーパーアリーナの3万7千人収容バージョンの大会場が抑えられた。さらに驚くことに、同大会をフジテレビ、日本テレビではなく、民放第3局にあたるTBSが獲得。なんと大みそかの午後9時から11時24分というNHKの『紅白歌合戦』と同じ時間帯にスペシャル番組として全国放送することを発表した。

「紅白が裏で、俺たちが表だ」と猪木。

格闘技が、視聴率50%を毎年記録する国民的番組『紅白』と真っ向勝負。いつも深夜に追いやられているというプロレス中継のイメージからすれば、興奮しないではいられない。同時間帯では、これまで日テレが「紅白をブッ飛ばせ！」と野球拳をやって視聴率2ケタを記録し、3大新聞の社会面に載ったことがあるが、10%以上の視聴率を出せば大成功という。

TBSはもちろん全社一丸となって同大会をバックアップ。そのため、TBSでヒットを飛ばしている『筋肉番付』や『ZONE』のプロデューサーで、今年の夏『世界陸上』を成功させた樋口潮氏をプロデューサーとして抜擢。10月4日から毎週木曜日の深夜25時50分から26時20分まで『格闘王』という格闘技番組をスタートさせる力の入れようだ。

フジの『SRS』、日テレの『超K—1宣言』に続き、これで3つめの格闘技番組ができるわけだが、先発の2番組と差をつけるために、『格闘王』はドキュメンタリータッチで構成していく。同番組で扱うのは、この「猪木軍VSK—1」と、先に発表したTBSが放送権を獲得した「K—1ミドル級GP」の情報だ。

さらに「猪木軍VSK—1」に拍車をかけたのは、今や総合格闘技の大メジャーリーグを確立した『プライド』の全面協力である。同大会の実施・運営は『プライド』を主催するDSEが行うことになった。つまり、マッチメイクは猪木と石井館長がそれぞれプロデュースし、券売やイベント演出はDSEが行うことになる。さらにDSEの森下直人社長は、選手を派遣することに対しても、全面協力していく構えだ。

まだカードはひとつも決まってないが、全面対抗戦は「7対7」か「10対10」になる公算が強い。K—1、猪木軍、『プライド』という3大メジャーが合体し、空前のスケールで『紅白』に挑む！ ■

「猪木軍vsK－1」全面対抗戦
『紅白歌合戦』と対決！

全面対抗戦は「7対7」か「10対10」！「バカヤロー！ K－1も紅白もろともブッ潰すぞーッ！」（猪木）

▲8・19の開戦では大敗しているだけに、小川・藤田らベストメンバーを揃える猪木

▲この大ニュースに200名近くのマスコミが集まった。今までにない反響だ

▲12・8「K―1ワールドGP」の最終結果を受けて、ベストメンバーを揃えて全勝を狙う石井館長

▲実施・運営を行う『プライド』は選手の貸し出しも全面協力すると森下社長

▲一番右端がTBSスポーツの斉藤正雄社長。そして左端が『筋肉番付』『ZONE』などの大ヒット番組を手掛ける樋口潮プロデューサーだ

▲この後、猪木は抱負を聞かれて、「バカヤロー、K―1も紅白もろともブッ潰すぞーッ！」と叫んだ

TBS、木曜深夜に格闘技番組『格闘王』開始

記者会見・再録

〈A・猪木のコメント〉

猪木　元気ですかー！　元気があればなんでもできると言い続けて10年が経ちました。最近は元気がありすぎるのかなんだか分かりませんが、とんでもない事件が起きまして、世の中ますます元気がなくなっている。そんな中で、思い起こせば、私の師匠であります力道山が戦後に勇気を与えてた。そんな遺伝子を引き継ぎまして、私も3年前に引退しながらも「元気ですかー！」とみんなに気合いを入れて、「1、2、3、ダー！」で高いギャラをもらっております（笑）。今回、斉藤社長のほうからご説明があったとおり、こんなとんでもない企画をよくお堅いTBSが受け入れたなぁということがまずひとつびっくりしていることですが、アメリカも今大変な格闘技ブームという感じですが、日本は特にその中でもいろんな格闘技があります。そういうものを今回皆さんのご協力によって、実現に向けて話が決まりましたことを、本当に嬉しく思っています。実際に予期せぬ出来事というか、私の人生も予期しない状態で進んでいます。人生はハプニングというか、これもとんでもないハプニングです。そのハプニングが、2002年の日本の元気に繋がればいいな、そんな思いで日頃は対立している者同士が一堂に会するという、この事態をまとめることが大変だろうし、それを理解してもらうことも大変だろうと思いますが、そういう時代の背景を皆さんが熟知しているというか、承知した上で思い切った夢のあるイベントを仕掛けていこうと思っています。石井館長もそういう意味で、日頃は友人であり、団体として対立する仲であり、いろんな複雑な心情はありますが、それを越えてこういうことが決定しましたことを、ご報告申し上げます。

〈石井館長のコメント〉

石井　猪木さんのほうから12月31日、こういう舞台を予定した、ということだったんで。8月19日にリング上で発表したとおり、今度は12月31日に私たちK―1が猪木さんの舞台に乗り込んでまいります。ただ、12月8日、私たちの一年の集大成であります、K―1グランプリの決勝戦がありますので、全力をあげてK―1軍を作りあげようと考えていますが、その辺の調整だけが残っているという状態です。そういう状況ですが、ベストメンバーを揃えて全勝するつもりで頑張っていきたいと思っています。本当に山のように静かで、海のように大きい猪木さんとこうして触れ合えて闘えるということは、僕のプロデューサー人生、そしてK―1ファイターのこれからの格闘家人生にとっても非常に大きな財産になったと思います。いつも猪木さんは凄いことをやるんですが、まさか12月31日にさいたまスーパーアリーナで、TBSさんがこういう舞台を用意してくださるとは思っていませんでしたし、猪木さんが用意してくださったその舞台に『プライド』の森下社長が全面的に協力して運営をしていただくということで、私たちには何も心配ございません。改めてこんな大きな舞台を用意された猪木さんというのは凄い人だなぁと、その凄さに圧倒されないように、頑張ってぶつかっていきたいと思います。

〈森下直人社長のコメント〉

森下　今回、猪木さん、石井館長という大プロデューサーお2人から手伝えということでありましたので、考える暇もなく全面的に協力しますと言ってしまった自分がおりまして。そこからDSEとしてはスタートをさせていただいたんですけど、TBSさんが本当に大みそかの一番いい時間帯で放送してくださるということで、多くの方々に今回のイベントを見ていただいて、プロレス・格闘技が最高のエンターテイメントであるという証を思い切り爆発させてみたいと思っております。これはDSEを作った時、『プライド』を作った時の思いでもあり、プロレス・格闘技界の最高のものはお2人のプロデューサーが素晴らしいカードを揃えてくださると確信をもっておりますので、それ以外のところで放送時間帯に恥じるところのない、素晴らしいイベントを作っていこうと思っております。

〈質疑応答〉

――今大会は猪木軍対K―1全面対抗戦ということで、具体的に何対何を予定していますか？

猪木　これから検討していくところです。今日まず発表させてもらって、いろんな詰めていかなければならない部分があると思います。しかしこのイベントを成功させ、夢を2002年に残していくことが大前提にあります。大変難しい問題がありますけど「問題は問題でない」という私の考えがありますんで、また発表したいと思います。

――森下社長、今回イベントに協力ということですが、選手面の協力は？

森下　基本的には猪木さんと石井館長というプロデューサーがいらっしゃいますので、そこはお任せしてという形になると思うんですが、DSEとしてもお手伝いできることがあれば、選手面でも協力させていただきます。

――例えば、猪木さんのほうから桜庭選手の出場を要請された場合はどうされますか？

猪木　こんなのあり!?　というのが一番面白いんだろうと思うんで。石井館長も大変素晴らしい考え方を持っておられるんで、ここは一つ手を握って、みんながびっくりするような企画を進めていきたいと思います。先ほど言い忘れてしまったんですが、アナウンサーの方が「NHKの裏」という表現をしましたが、NHKが裏で俺たちが表だよと。でも、どちらが元気をつけるかと言うと俺たちのほうが絶対元気をつけられると思うんです。

――全面対抗戦は何試合ということと、対抗戦の他にも特別カードあるのかどうかは。

猪木　これはですね、興行の発表の仕方というのがあって、今日はこれをやりますという発表ですから、これから小出しにしていきます（笑）。

石井　僕は今回は猪木さんについて、鞄持ちして勉強しようと思ってますんで（笑）。■

11・3『PRIDE.17』東京ドーム大会で

髙田延彦VSミルコ・クロコップ実現へ

〈プロレス〉 〈K－1〉

『猪木軍vsK－1』から『プロレスvsK－1』へ

髙田の凄さは「純プロレス」を背負っていることだ！

まさに電撃的な発表だった。11・3『プライド17』東京ドーム大会。髙田が選んだ相手は「忘れ物」小川直也じゃなく、なんと、藤田和之に勝ったK―1のミルコ・クロコップだった。

前号でも報じたように、「猪木軍VSK―1」の流れを受けて、髙田はK―1に色気を見せる小川と全面協力を表明した『プライド』の主催者DSEに猛反発。小川戦を白紙撤回するとともに、『プライド』離脱も辞さない強い意志を表明した。

その後、DSEの森下直人社長は数度にわたって髙田を説得。「しばらく考えさせてくれ」とノーコメントを貫き通した髙田が出した答えが、このミルコ戦だったのである。

髙田がミルコと対戦する気持ちになった理由は2つある。ひとつは、自らがミルコに勝つことで、この「猪木軍VSK―1」の流れを断ち切り、『プライド』を本来の流れに戻すこと。そして2つめの理由は、猪木軍に勝ったK―1の石井館長が「プロレスラーの中で、誰も俺がリベンジしてやるという声が聞けないのが寂しい」と専門誌で発言したことだ。

この館長発言に、かつてヒクソンが〝最強〟を世界中にアピールした時、真っ先に手を挙げた髙田は黙っていられなかった。「誰も行かないのなら俺が行く！」とばかりに、K―1狩りを決意。このあたりの感性はさすがである。

したがって、髙田は「猪木軍」入りしてK―1のミルコと闘うのではない。あくまでも〝プロレスラー〟髙田として、今やプロレス界最大の天敵となったミルコに立ち向かっていく。

ここで重要なのは、髙田の凄さは〝純プロレス〟を背負って、他流試合に打って出ていることだ。たとえば「猪木軍団」

『PRIDE.16』終了後、髙田「帝国ホテル」で緊急会見！

「石井館長の呼びかけに、このままじゃプロレスラーは腰抜けばかりと思われてしまう。それに応えるのが自分の性分なんで」

髙田　なんでしょう。

―髙田さんがどうしてもお話ししたいことがあるというので。

髙田　さっき言ったじゃない、話したじゃない（笑）。俺が話したいことがあるって言ったの？

―と、聞いたので……。

髙田　うん。結論から言います。先ほどDSEの森下社長に今回はミルコとやらしてくれと言いました。それだけです。それで、1週間待つから、お待ちしますと。結果をくださいというお話をしました。ミルコ以外は考えていません、今回は。応援シートも発売してることだし、頑張りたいと思います。石井館長に対しても、ぜひご協力していただきたいという気持ちでいっぱいです。小川選手に関しては、小川選手に対する気持ちはまったく変わってませんし、ただ、今ねプロレスラーである僕らが何をやらなければいけないかと考えた時に、優先順位はミルコを倒すことなんだよね。誰も若くて元気のいい人は手を挙げてくれないので、しばらく様子を見てたんですけども、やはり俺が行かなければいけないのかなということで、大変強い選手なんですけども、玉砕覚悟でミルコに挑みたいという気持ちを（森下社長に）伝えました。もし、かかっていくという選手がいるのなら、どうぞ、譲りますので小川選手なり、新日本のIWGPを経験した中西選手でもいいし、健介でもいいしね、ぜひ名乗りを上げて「俺にやらしてくれ」と言ってくれるのを待ってます。名乗りがなければ、1週間以内に僕がミルコを倒しに11月3日、東京ドームに行ってまいります。小川選手はさっきも言いましたように気持ちは変わってませんので、まずそれをどういう結果になるか分かりませんけども、やるべきことをやった後に、やろうというふうに思ってますんで。1週間なるべく早いうちに返事をもらいたいんですけども、森下さんにお願いしました。そんなとこです。何かご質問は？

―ミルコ戦は「猪木軍VSK―1」の枠組みの中で闘うものですか？

髙田　まったく別枠です。いちプロレスラーとしてやります。

―希望されるルールはありますか？

髙田　ドリーム（DSE）にお任せします。パンチ、キックがないルール（笑）。

―（笑）。ミルコの印象は？

髙田　まったく分かりません、あの試合（藤田VSミルコ戦）だけでは。

―K―1での試合はこれまでご覧になりましたか？

髙田　ちらっと。

―何かが光る選手という印象はなかったですか？

髙田　身体能力が高いイメージがある。

―ミルコ戦はいつ頃決意されたんですか？

髙田　どんな結果であれ、藤田選手があいう形を残した時点からですね。

―髙田選手の中では、打撃の選手に対するプロレスラーの闘い方のシミュレーションはもうできているんですよね。

髙田　固まってない。なるようになるでしょ。ただ、いつものように打撃は打ってこれないから。K―1の試合のように打撃は打ってこれないから。やっぱり打ち方も当然変わってくるだろうし。

―先ほど話してた若い選手とは……？

髙田　若いというか、トップの選手ね。

―名乗りを上げないのは寂しいですか？

髙田　玉を抜かれてるね、みんな。なんか雑誌でも館長からあったんでしょ？　呼びかけみたいなの。それに対して、救いようがない。やっぱり声を出す人がいて当然の世界だから。

―ミルコ戦が終わった次に小川選手です か？

髙田　思いは変わってませんけど、試合に対するモチベーションはいつも最後だと思ってやってますから、次の試合が終わってみなければ分かりません。ただ、思いは変わりません。このままじゃプロレスラーは腰抜けばかりかという形で終わってしまいますから、あの呼びかけにね、応えなければいけない自分自身をやな性分だと思いますけど。それも、髙田なんで。実現できればというふうに思ってます。

―ミルコのほうが出てこなかった場合は11・3は？

髙田　考えてないです。もう、そっちにスイッチが入ってます。

―今のところ、10月8日にミルコがK―1福岡大会に出るんですが、髙田さんはそれを視察しようとは考えてないですか？

髙田　べつに予定はないです。試合が全然違うからね。見ても変わらないですよ。39歳で最後の一番絞りじゃないや、一絞りになるように、いい一絞りが出るように。いいでしょうか？　ありがとうございました。■

といえども、純プロレスラーは一人もいない。小川はバックボーンに柔道が見えるし、藤田や石澤常光はレスリング。安田は相撲の下地が見える。ドン・フライら外人たちも同様。彼らが『プライド』のようなリングに上がると、プロレスラーというよりも、自分のベースとなっている格闘技術で闘っている。だからファンにとってみれば、プロレスVSK―1の闘いというより、柔道VSK―1、レスリングVSK―1に見えたりしているのだ。

しかし、髙田にはベースとなる格闘技がない。あくまでもプロレスラーとして強くなってきた選手だ。我々が髙田VSヒクソン戦にワクワクしたのも、そこに純プロレスVSグレイシー柔術という構図がはっきり見えたからである。

髙田がミルコ戦を表明したことで、「猪木軍VSK―1」は、一気に「プロレスVSK―1」へ。髙田が「猪木軍」にあえて入らないことで、この闘いはそこまで膨れ上がってきた。純プロレスラーが他流試合をすることこそ『プライド』の原点。しかも、それができるのは髙田のみ。あらためて髙田がいるからこそ『プライド』は凄いと思えるようなカードだ。

この髙田VSミルコ戦は、あくまでも髙田が意志表明し、『プライド』がK―1にオファーする形。すでに10・8K―1福岡大会の敗者復活戦にエントリーされているミルコ・クロコップだが「もし『プライド』や猪木さんからグランプリ前にオファーされれば、選手の意志に任せます」と石井館長が言ってるだけに実現の可能性は高い。両者の対決は近日中にも調整されるはずだ。

髙田参戦によって、「猪木軍VSK―1」はさらに大きな新局面を迎えた。やはり、〝いざ〟という時は髙田の出番だ。■

アイ・アム・プロレスラー！
髙田延彦、激白！
「なぜ小川戦をやめてミルコと闘うのか？」

『PRIDE.16』記者会見後の髙田を緊急キャッチ！

突如、小川戦を白紙撤回し、11・3『プライド17』東京ドーム大会での相手にK－1のミルコ・クロコップを指名した髙田延彦。その真意はどこにあるのか。9・24『プライド16』後に記者発表をした髙田に、さらに詳しく話を聞いてみた。

聞き手◎石黒由佳子
撮影◎中島ミノル、遠藤政文

—髙田さん、先ほど会見で11・3『プライド17』でK—1のミルコ・クロコップ選手と闘いたいと聞いて驚いたんですが、まずは1年越しで話していた小川戦が髙田さんの中で白紙になった理由を教えてください。

髙田 自分自身の中に非常に強い思い入れとか大事にしてたものがあったんだよね。それだけの覚悟もあって、あえて彼（小川）を指名させてもらった。その覚悟が相手に伝わったかどうか、それが思いの外、俺に感じ取れなかったっていうのが一つの大きな原因だね。彼は今、躍起になってアピールしてるけども、俺が言い出した6月から、7、8月には、まったく俺の名前すら彼の口から出てこなかったっていうのが、非常にある意味、屈辱というかね。俺にそれだけの商品価値がないのが原因なのかなと自分なりに考えたんだよ。そうこうしているうちに、8月19日のあれが起こって。

—「猪木軍VSK—1」ですね。

髙田 俺は傍観者として第三者として見てたんだけど、ショッキングな出来事だったよね。それと並行して対小川戦に関することが一向に紙面にならないし、盛り上がらない。反対に「猪木軍VSK—1」は盛り上がっていく。下手をすれば、それまではもう最高に高価なカードだった桜庭とヴァンダレイの試合まで隅に追いやられそうな気配もあった。その空気を察知したんだよね。その辺から急激に俺の中で温度が冷めてきた。

—対小川戦のですか。

髙田 うん。ある時、ドリーム（DSE）に対する一つの意見というか、記者が来た時に言った言葉が新聞に載ったんだよ。

—はいはい、「桜庭、『プライド』離脱へ」っていうやつですね。

髙田 9月の初めだったんだけど、その時に言ったのは、小川戦に対する扱いとか、向こうからのリアクションがないこと。あと、桜庭VSヴァンダレイの扱いも小さいんじゃないかとか。そこで漏れ聞こえて来たのが、ドリームが「猪木軍VSK—1」に手を染めようとしてるってことだったんだよ。あの時期は俺の中で鬱憤がたまっていて、ポロッと言ったんだけど、そのことに対して、初めてビーンと過敏に反応してきたわけだよ、小川が。

お世辞でもいいから、「俺は今、髙田しか見えてないよ」ということを言えなかったのか

—「俺は髙田戦しか考えていない」という発言ですね。

髙田 おそらく危機感を持ったんじゃないかな。でも、あの頃は俺の中ではもう気持ちが（ミルコ戦へ）スライドされてた時期だったから。まずはドリームと桜庭とヴァンダレイの試合のことを早く決めなければいけないと折衝している中で、小川選手がこっちにアピールしてくる。それと10・8の小川対藤田戦も話題が出てきたよね。俺の中では全てが火に油を注ぐような状態だったんだよ。なんでもっと自分の自己主張じゃないけども、お世辞でもいいから「俺は今、髙田しか見えてないよ」ということを、早い時期に言えなかったのか。そう言ってもらえば俺も引けないし。その温度差が大きな原因だね。できるだけ多くの人に注目された中で、大きなものにしたいという、彼（小川）との試合には思い入れがあったからね。大事にしてたんだよ。

—髙田さんが盛り上がった時期と、小川選手が盛り上がった時期が完全にズレていたんですね。

髙田 うん。彼が来れば来るほど、俺は冷めていくという感じだったよね。8・19の後にああやってアクションしてくるのは「なんなんだろう」って。「うまくいかないな」というジレンマがあった。その頃に、たまたま石井館長のプロレスラーに対する発言を聞いたんだよね。

—「藤田選手が負けて、俺がミルコとやってやるって言うプロレスラーはいないんですか?」っていうやつですね。

髙田 うん。俺は誰か行くだろうと思ったんだよ。

—でも、手を挙げるプロレスラーはいなかったんですよね。

髙田 そうだね。俺は様子を見てたんだけどね。誰か行くんじゃないかと。俺は傍観者ではあったけど楽しみだったんだよ。それなのに待てど暮らせどそういうアクションがプロレスラーの中から起こらない。どんどん風化していくというか、下駄は大晦日に預けた感じになってしまった。なんか強さを求める男たちが集まった世界にしては……という矛盾も感じ始めたんだよ。それで、大きなお世話だけども、もし誰もミルコ戦に手を挙げる選手がいないのならば、俺がアクションを起こさなきゃいけないと。このまま言われっぱなしじゃダメだろうと。優先順位で考えたら俺の中では小川戦より（ミルコ戦が）先だろうと。

—素敵ですねえ、髙田さんは。プロレスラーの鑑ですよ。

髙田 いや、誰がやってくれてもいいんだよ。今からでも遅くないし、名乗りを挙げてくれれば今でも譲る気持ちはある。もっと、強くて若い選手がやるならね。それが小川選手であっても、新日本の選手であっても、IWGPの経験者であってもいいわけなんだよ。でも、それがない状況だったら、「しゃーない、俺が行くしかないな」という気持ちに、自分の中で切り替えたんだよね。

—なるほど。髙田さんは「猪木軍VSK—1」をどうご覧になってますか?

髙田 まだ今でも一歩引いてるけどね。ただ、この前発表したTBSの（イノキ・ボンバイエ）は凄く大きなビジネスだね。格闘技界にとって、ああやってメディアが付くことはうらやましい限りだよ。格闘技、あるいは総合系の地位向上

DSE森下直人社長のコメント

「正式に石井館長にミルコをオファーしました！」

「昨晩、髙田選手と話し合いをしまして、髙田さんが記者会見で皆さんに発表したように、11・3東京ドーム大会に出てもいいと。それで相手としてミルコ選手の名前が挙がってビックリしました。さっそくDSEからK−1の石井館長のほうにミルコ・クロコップ選手のオファーをしました。もうすでに石井館長には第一報は伝えまして、東京に帰り次第、正式にお願いしようと思います。ルールについては難航するかもしれませんが、『プライド』のルールにこだわるよりも、僕は髙田vsミルコ戦を優先したい。小川選手との試合に関しては、残念ながら今回はなくなりましたが、小川選手にもし試合に出てもらえるのであれば、いっそのこと、K−1の選手とやって話題を作ってもらえればいいんじゃないかと。これは僕の思いつきですが、オファーはしてみたいと思います」

というか、市民権をもっともっと高めるじゃないけども、紅白の裏という最高の時間帯にＴＢＳが社を挙げて格闘技をぶつけていくという、価値観のあるものと認知されたのは嬉しいよ。

――そうですね。

高田　やっぱりメディアって大きいよ、イベンターにとっても選手にとっても。顔が売れれば商品価値が上がってくるし、そうすれば生活も上がっていくわけだから。

――ＣＭの話とかもきますすもんね。

高田　ジャイアンツを見てれば分かるよね。ジャイアンツ戦となれば他の球団は気合いが入るから。故郷でお母さんがテレビを見てるし。だから、「猪木軍VSＫ―1」については、第三者的に冷静に見てるけども、状況はいい形で進んでいるから、非常にいいことだなと思う反面、うらやましいというかね。

藤田のタックルを３度も切ったミルコの身体能力は高い。しかし、バーリ・トゥーダーとしての実力はまったく未知数だ

『イノキ・ボンバイエ』は凄く大きなビジネス。非常にいいことだと思う反面、うらやましいよ

――「猪木軍VSＫ―1」をＤＳＥが協力するという対応をしたことについてはどう思われたんですか？　それはないんじゃないかという感じですか？

高田　当初はね。いい形で小川戦がプロモーションできて、いい形でお互いのキャッチボールができて、盛り上がっていれば、「冗談じゃない」ってＤＳＥに食いついたと思うんだよね。本来のベーシックである総合系だけでドーム大会はやるべきじゃないかと。目の前に来たものにワーッとすぐ手を出す必要性もないし。無視をしようというんじゃないよ。何もそこで（Ｋ―1と）やる必要はないと。そういう意味では、たまたま俺の中で温度差が出て、小川戦が薄れてきた状態の中で森下さんがああいう発言をした。それでどんどん時間が経っている、いろんな展開がある。俺が発言したり、小川選手のアクションがあったり、石井館長がああいう発言をする中で、自ずと必然的というかね。だったら俺は猪木軍としてではなくて、一プロレスラーとしてＫ―1を倒しに行きますよ、という気持ちに切り替わったんだよ。

――実際に、８・19「猪木軍VSＫ―1」って見ましたか？

高田　見たよ。

――いかがでしたか？

高田　（藤田VSミルコ戦は）まったく参考にはならないね、攻防がなかったから。藤田選手が一番悔しがってると思うよ。彼はおそらく１００％勝つつもりで上がってるし、ああいう形で負けは負けだけど、結果が出たことに関しては彼が一番悔いを残してるんじゃないかな。

――改めてミルコ選手については、どういう印象を持ってますか？

高田　身体能力は高い選手だっていうのはあるけども、総合になった時にどれだけ対応できるかというのは、まったく見えてないからなんとも言えないね。ある意味、初戦のつもりでやらないといけないね。

――髙田さんとしては、今回のミルコ戦で「猪木軍VSＫ―1」という流れを断ち切りたいという感じですか？

高田　断ち切るというか、『プライド』に目を向けさせたいよね。11・3『プライド17』に目を向けさせたい。ただ、やっぱり自分の中に目標が失われつつあり、なかなか次の目標が見いだせない中、石井館長の呼びかけみたいなもので、俺の中にだんだん新しい目標が見えてきたっていう部分があるよね。

――プロレスラーとしてＫ―1にリベンジするということですね。髙田さんは猪木軍としてミルコ選手と闘う気持ちはないんですか？

高田　まったくない。

――もし、「猪木軍に入れ！」と言われても、入らないですか？

高田　入らないよ。だって、髙田道場が猪木軍になっちゃうからね。キッズファイターまでなっちゃうよ。

――そ、そこまでなっちゃいますか（笑）。

高田　サクも猪木軍になるし、松井もなっちゃうからね。だから、俺は髙田道場の髙田ですから、その看板を背負っていくということだよ。

――８・19の時に石井館長が「逃げも隠れもしません。僕らが猪木軍に乗り込んで行きます」と発言してましたが、そういう石井館長についてはどう思われますか？

高田　発想が飛び抜けてるというか、革

K－1石井館長のコメント

**「僕は全然構いません。
あとはミルコの意志にまかせます」**

「髙田さんがミルコに挑戦表明？　さすが髙田さんですねぇ。僕は先日、プロレスラーの藤田vsミルコ戦の感想を読んで、週プロのインタビューを受けたんですよぉ。その時、僕は「センスのいいコメントは多いけど、誰もミルコとやるとは言わないんですね」って言ったんです。それが翌週の週プロに大きく載っちゃったんです。でも、そんな僕のコメントに対して、真正面から受け止めてくれた髙田さんには心から敬意を表します。僕は全然構いませんよ。あとはミルコ本人の意志にまかせます。本人がK－1GPに専念すると言うのか、それとも納得するまで総合をやってみたいと言うのか。ただ、ちょっと困った問題もありまして、例のアメリカのテロ事件で世界中が戦争になるかどうかの緊張状態にあるじゃないですか。その中で、ミルコはクロアチアの特殊部隊に所属してまして、テロ対策の格闘技教官を務めているんですね。で、普段はK－1に専念できるよう、仕事は免除されてるんですけど、さすがにこんな時期だから、働いてくれと言われているらしいんです。だから、その意味でも10・8は難しそうなんです。本人が髙田さんとやりたいと言っても、クロアチアの政府が出国させてくれるかどうかも問題です。でも、髙田vsミルコはいいカードですね。僕も見てみたい」

新的な思考、思想をもってる人なんだなと思ってたけど、今回のアクションを見て改めて強く思ったね。館長はプロレスラー軍団に対してあの呼びかけをしたのは、あの結果が出れば当然のことで、べつに何ら不思議じゃないよ。かえってあれを言わないほうがおかしいからね。勝ち逃げをするわけではないし、筋の通ったことをしっかりやる人だなという印象はある。

——小川戦については「忘れ物」という表現をされてましたが、ミルコ戦については新たな闘いなのか、それとも最後の闘いと考えてるんですか？

高田　最後のつもりで。それは誰とやるとしても一緒だね。

——ミルコ戦に関しては、シミュレーションとかしてますか？

高田　あんまり考えてないけど。そんな考えたとおりにいかないしね。考えたとおりにいけば、『プライド』で全勝してただろうから。だから、あまり考えずにとにかく絶対に勝つと。勝つことだけを考えて、それにプラスアルファ、出て行く姿をね、よく出てくるところ（入場のこと）は素敵って言われるんでね（笑）。帰りはみっともないんだけど、出て行くところはシビレさせてあげようかなと（笑）。だから、出る時も帰りも素敵に帰りたいね。もう、忘れられかけてるから。最近は解説者の色が強いから、現役の姿も見せとかないとね。

——そうですよ。このミルコ戦が終わって、先ほどおっしゃってましたけど大晦日に「イノキ・ボンバイエ２００１」があるじゃないですか。もし、オファーがきた場合に髙田さんが出る可能性はあるんですか？

高田　今は考えてない。

——今は考えてないけども、もしこれからまた状況がいろいろ変わっていったり、流れが変わっていったりした場合、可能性はありますか？

高田　今回、俺のチョイスというか判断が物語っているように、時代の流れが俺の気持ちを変えさせてるんだろうけど、小川選手との試合がまさか今回できなくなるとは思わなかったし、まさか俺がミルコとやろうと思うなんて思わなかったから、そう考えると何が起こるか分からないよ。

——そうですよね。

高田　でも俺は懲りてるから、前回の（イノキ・ボンバイエ）で（笑）。だから、大晦日はゆっくり紅白を見ずに、こたつでみかんでも食べながら「イノキ・ボンバイエ２００１」を見てるよ。

——そう言わずに出ましょうよ。

高田　出ましょうよって、その前に大一番（ミルコ戦）があるんだから。それをいい形でクリアしないとね。

——最後に小川戦は完全消滅したわけではないんですよね。

高田　気持ちは変わってないよ。彼が発言してくれてることを、俺がまっすぐ受け止めていいならありがたい話だし、俺の中では彼に対する強さの評価や、格闘技界に対する貢献度の評価はトップクラスだから。それは初めて口にした時からまったく変わらないし、吐いたつばは呑み込まないし。今回はこうなったけれども、まったく思いは変わらずに継続して持ち続けるよ。

——ミルコ戦の後に小川戦が実現する可能性もあるわけですね。

高田　彼がその思いを捨ててなければ、その可能性は消えないよ。あとは俺の今回の結果次第だね。やる以上は頑張るよ。■

（石井館長は）発想が飛び抜けているというか、革新的な思想をもってるし、呼びかけは当然だよ

▲9・24『プライド16』では解説者を務めた髙田。11・3東京ドームで1年ぶりに『プライド』のリングに立つ！

撮影◎中島ミノル、糸井孝康

これまで無敵の強さを発揮した『プライド』王者のマーク・コールマンがまさかの完敗。アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラの強さは底なしだ

『プライド』の勢力図一変！無敵コールマンが完敗！グレイシー以上の最強柔術出現！

★第7試合（1R10分、2・3R5分）

○アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ（1R6分10秒、腕ひしぎ三角固め）マーク・コールマン●
〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉 〈アメリカ/ハンマーハウス〉

されど、打撃戦でもノゲイラ圧倒！

しかし、打撃戦でもノゲイラが圧倒。
コールマン、またたく間に大ピンチ！

地味に見えて強いKOK王者

▲一方、何か着ているのだが、本当に地味なノゲイラ。それがリングスのムードを漂わせる

強そうに見えて強い『プライド』王者

▲今大会は米国ＮＹで起こった同時多発テロ事件の影響で、ＵＳＡ選手全員が国旗をまとって入場した。かっこいい

▼寝技の強いノゲイラに対し、コールマンは得意のタックルに行かずに打撃勝負に出た

コールマンの作戦は立ち技勝負

前田さん、やりましたよ！　僕は今日、胸を張ってこう言います。
〝リングス、『プライド』に勝つ！〟
これは誰がなんと言おうと前田日明の勝利である。なぜなら、前田でなかったら、ノゲイラという逸材は発掘されなかったからだ。
たしかに『プライド』は総合格闘技のメジャーリーグと呼ばれるほどの舞台に育っている。今回の『プライド16』では、各団体のチャンピオンが一堂に集結し、まさに〝リアル・チャンピオン・カーニバル〟と言ったマッチメイクの数々が実現した。元はと言えば、『プライド』王者のマーク・コールマンでさえ、ＵＦＣで名を上げて、『プライド』に上がってきた選手だ。
そんな中で、前田リングスが育て上げた選手は独特のものがある。世界的に見てもさほど有名じゃないが、前田のおめがねにかなった超実力派。地味だけどその強さは無限大で、それが前田ワールドに入るとなぜか抜群に生きる。
もし、ノゲイラがＵＦＣ出身だったら、あそこまで破格の扱いは受けなかっただろう。最初から『プライド』に出ていたら、強いけど地味だなぁということで、あまり試合が組まれなかったかもしれない。ノゲイラは、リングス出身だからこそ、これほどのビッグチャンスをものにできたはずである。
『プライド』に転向して、いきなり猪木軍入りを果たしたノゲイラ。しかし、我々の目にはノゲイラの向こうに前田リングスが見える。その意味で、ノゲイラ本人にとって、リングスを通過したのは本当にラッキーだった。
それはリングスから転向してきたギルバート・アイブル、ダン・

さあ、とくと見よ、ノゲイラ・マジック！

▶打撃戦でプレッシャーをかけられ、コーナーに追い詰められるコールマン

▶仕方なくコールマンはクリンチに出て差し合いに

▶テイクダウンを取るのはコールマン。しかし、下からガードポジションになってからのノゲイラが強い

▶右手首を掴んだノゲイラは、あれよあれよという間に腕がらみに

▶上に乗った状態ではバランスのいいコールマンがパワーでなんとかディフェンス

▶と思ったら、ノゲイラがすぐに足をからませて、三角絞めに

▶2度目のテイクダウンでも、ノゲイラがしっかりガードポジション

▶すぐに三角絞めに入るノゲイラ。コールマンは体を離しながら必死にポイントをずらす

▶三角絞めをしっかり極めるために、ノゲイラは後頭部を引きつける

▶コールマンは必死に上からパンチ。ノゲイラは冷静にこれをかわす

▶バランスのいいコールマンの体を左右に振ってコントロールするノゲイラ

▶右手に意識を集中させておいて再び三角絞め。もうコールマンは必死

たギルバート・アイブル、ダン・ヘンダーソン、ヴァレンタイン・オーフレイム、ヒカルド・アローナに対しても共通の思いだ。彼らもまた柔術家だとか、ストライカーだと見ていない。もちろん、そういった格闘技のベースはあるにせよ、彼らはあくまでも前田軍団であり、リングス軍団である。

しかし、そのリングス軍団は『プライド』に転向するたびに、他のジャンルの超一流格闘家に辛酸をなめさせられてきた。リングスで活躍しても『プライド』に引き抜かれて潰される――そんな悔しい思いをしているファンは多い。

だが、そんな状況下で、地味でヤボったいノゲイラが、第2代KOK王者ということで、早くもコールマンと激突。あのピカピカに輝いた『プライド』王者コールマンを完封したから気持ちのいいことこの上ない。今日ほどリングスの良さが『プライド』で爆発した日はない。僕らはノゲイラの卓越した技能に驚くよりも、まず〝リングス万歳〟と祝うべきである。

前田は本当にいい選手を引っぱってくるが、ノゲイラはリングスでも、これほど光り輝いたことはなかった。その意味で、ノゲイラの勝利は、皮肉にもリングスのレベルの高さを証明したといえよう。

それにしても、ノゲイラの強さは芸術ですらあった。『プライド』と言えば、VTの中でも4点ポジションでの打撃やグラウンド状態でのヒザ蹴りも認めた超過激なルール。あと残された技術と言えば、頭突きとヒジ打ちくらいしかない。

そのため『プライド』では時に陰惨なシーンも起こる。しかし、

まさに芸術的極め技！

腕ひしぎ三角固めだ！

最後は三角絞めと腕ひしぎの複合技で完全にギブアップ。ノゲイラは100以上の極め技をもっているそうだ

▲腕を引っこ抜こうとしたコールマンだが、遂にタップ。一本負けだ

その解決方法はルールで技を規制するのではなく、技術で防ぐというのが方針。ファイターの野獣性を人間が作り上げた技術と鍛錬で解決していくのが、VTの本来の姿だと考えている。

その方向性が間違ってないことを体現しているのが、まさにノゲイラの技術だ。なんと言っても、あのコールマンが何もできなかったのが凄い。どんな攻撃もノゲイラの前では、ことごとく潰され、危険な感じはまったくしない。

試合展開はこうだった。コールマンの勝利の方程式は、世界一のタックルで相手をテイクダウンさせ、上になってコントロールしながらパンチ、ヒザ蹴りをブチ込むこと。バランスがいいため、まず下になることは有り得ない。

ところが、ノゲイラの場合はその下になった状態が抜群に強い。だから、コールマンにとってみればテイクダウンしても意味がないし、ノゲイラのほうは逆にテイクダウンしてほしいのだ。

そのため、今回コールマンは自分の主武器であるタックルをあえて封印し、立ち技で勝負する作戦に出た。コールマンがそこまで自信を持てないほど、ノゲイラの寝技の技術は凄いのだ。

ところが、その立ち技勝負でも、ノゲイラがコールマンを圧倒した。パンチでプレッシャーをかけ、コールマンをコーナーに追い詰める。こうなったら、コールマンはクリンチせざるを得ない。エベンゼール・フォンテス・ブラガと同じアカデミア・ブドーカンで打撃の練習を積んできたノゲイラは、本当にパンチでKOしそうな勢いだっ

次は『プライド』ヘビー級タイトル戦だ

コールマン政権崩壊にボー然

ノゲイラのコメント

「コールマンは素晴らしい選手だ。重量級では一番強いだろうね。尊敬している選手だから、勝てて嬉しいよ。今回は打撃をたくさん練習してきたので、打撃で倒そうと思っていた。寝技になったとしても自分は柔術のプロだから、絶対極められると思ってた。思っていたとおりの試合ができたよ。練習したことを出して勝てたことが、自分の力が彼より上だということを証明してると思う。コールマンのパンチはたしかに凄かった。特に右ストレートが。試合中、ボクがパンチをもらってるように見えたかもしれないけど、落ち着いて対応できた。毎日のように彼の試合のビデオを見て研究してきたからね。唯一のミスは、ハイキックをして滑ってひっくり返ってしまったこと。（寝技に引き込もうとしたのでは？）いや、あれは本当にミスったんだよ（笑）。（王座決定戦をやってみたい選手は？）ボクは相手を選ばない。組まれた相手と一生懸命闘うだけさ。（次の目標は？）2月にリングスのKOKで優勝して、今日、『プライド』の王者を倒した。今後も『プライド』のリングでもっともっと強い選手と闘っていきたい。（大晦日の猪木軍vsK-1の大会にも出たい？）もし猪木軍に入れてもらえたら、ジェロム・レ・バンナと闘いたい。（次回は桜庭vsシウバも決定しているが？）ボクはブラジル人なので、ヴァンダレイを応援するよ。サクラバも素晴らしい選手だから、この試合は凄い試合になるだろうね。だけど、ボクはヴァンダレイが勝つと思っている」

▲地味なノゲイラが大喜び。一本勝ちのできるヘビー級柔術家の出現だ

▲負けたコールマンはしばらくリング上でボー然としていた。「オレ様がこんな簡単に敗れるなんて」

▼グレイシー一族以上の超実力派集団。それがブラジリアン・トップチームだ

▼なぜか猪木軍入りを表明していたノゲイラは、猪木にもお礼の挨拶。佐竹もいた

世界最強だ、トップチーム！

た。

組み合ったら、当然グラウンド戦に突入する。コールマンは渋々寝技に入ったが、その時点ですでに下からノゲイラにコントロールされていた。

「下になった時に、コールマンの体の間に両ヒザが入れられたじゃないですかぁ。その時点で柔術家にコントロールされてしまう。僕だったら、パッと離れますけどね。それだとヤバイですから」と桜庭。

その後、コールマンは上になりながらも、ノゲイラにコントロールされ続け、アームロックや三角絞め、腕ひしぎをどんどん狙われていった。ひとつの技を防ごうとしても次のワナが待っている。パンチを出そうとしても、次の仕掛けが待っている。さすが100以上の極め技を持つというノゲイラ。これじゃあコールマンもお手上げ状態で、最後は三角絞めを立ち上がって引っこ抜こうとしたところ、腕まで極められ〝腕ひしぎ三角固め〟という散々な目に遭った。

僕は個人的にレスリング系の選手の、いいポジションを取りながら極め切れないファイターの試合はまったく好きではない。VTの醍醐味はやはり一本勝ちができるかどうかということ。その意味で、ノゲイラのようなヘビー級で一本勝ちのできる選手が出現したことは、『プライド』にとっても頼もしいばかりだ。

いずれにせよ、ノゲイラの勝利で、『プライド』の勢力図は一変した。11・3東京ドームではノゲイラがらみで『プライド』ヘビー級王座決定戦が行われるという。この男、どこまで強いんだ？（谷川）

猪木＆桜庭劇場大共演！

猪木、ファンの前で『イノキ・ボンバイエ』発表！「紅白を裏に回して、格闘イベントを世界に発信しようと思っております」

今回は、ついにダジャレまで披露した猪木。素敵すぎるっ！

やっぱり最後は恒例の1、2、3、ダーッ！

（休憩開け、恒例の『炎のファイター』が流れ、猪木が登場しリングイン）

「元気ですかーッ！ 元気があればなんでもできる。暗いニュースばかりの世の中に、何はともあれ、元気が一番。小さな『プライド』に延髄斬り、デッカい『プライド』に卍をかけりゃあ、大きく時代が変わる大晦日。ということで、先日、TBSのスタジオで発表させてもらいましたが、去年の暮れに大阪城ホール（※大阪ドームの間違い）で『イノキ・ボンバイエ』、そして今年は『ボンバイエ2』として、さいたまアリーナからやることが決定しました。えー、猪木軍VSK－1ということですが、その他にもレスラー、格闘家も出場すると思いますが、TBS全国ネットワークでですね、みなさんにお届けすると思います。そして紅白を裏に回して、格闘イベントを世界に発信しようと思っております！ よろしくお願いいたします。えー、今日も行きますかあ？（背広を脱ぐ）たしかここは大阪城、かつて昔俺がアメリカを修行している時、トーキョージョーという名前で試合をしておりましたが……、くだらねえな、これは（笑）。行くぞーッ！ 1、2、3、ダーッ！」

11・3東京ドームで「桜庭VSシウバ」実現！ 桜庭、シウバの「ゲンキデスカーッ！」に「元気ですよーッ」と呼応

セミファイナルの前にリングインした両雄

日本語で「サクラバ、カカッテコイ！」と挑発したシウバ

シウバの挑発にも、「いい試合ができれば」と桜庭は受け流した

（桜庭の入場テーマ『SPEED2』に乗って、リング上にリングアナを挟んで桜庭とシウバが登場する）

リングアナ 来る11月3日の『プライド17』、東京ドーム大会での出場が決定しました、桜庭和志選手、ヴァンダレイ・シウバ選手から、ご挨拶をさせていただきます。

シウバ ゲンキデスカーッ！（日本語で）絶対に自分は今度の『プライド17』でメチャクチャ一生懸命に練習して、一番凄い自分の素晴らしい試合を見せますので、待っててください。サクラバ、カカッテコイ！（再び日本語で）

リングアナ さ、続いて桜庭選手っ！

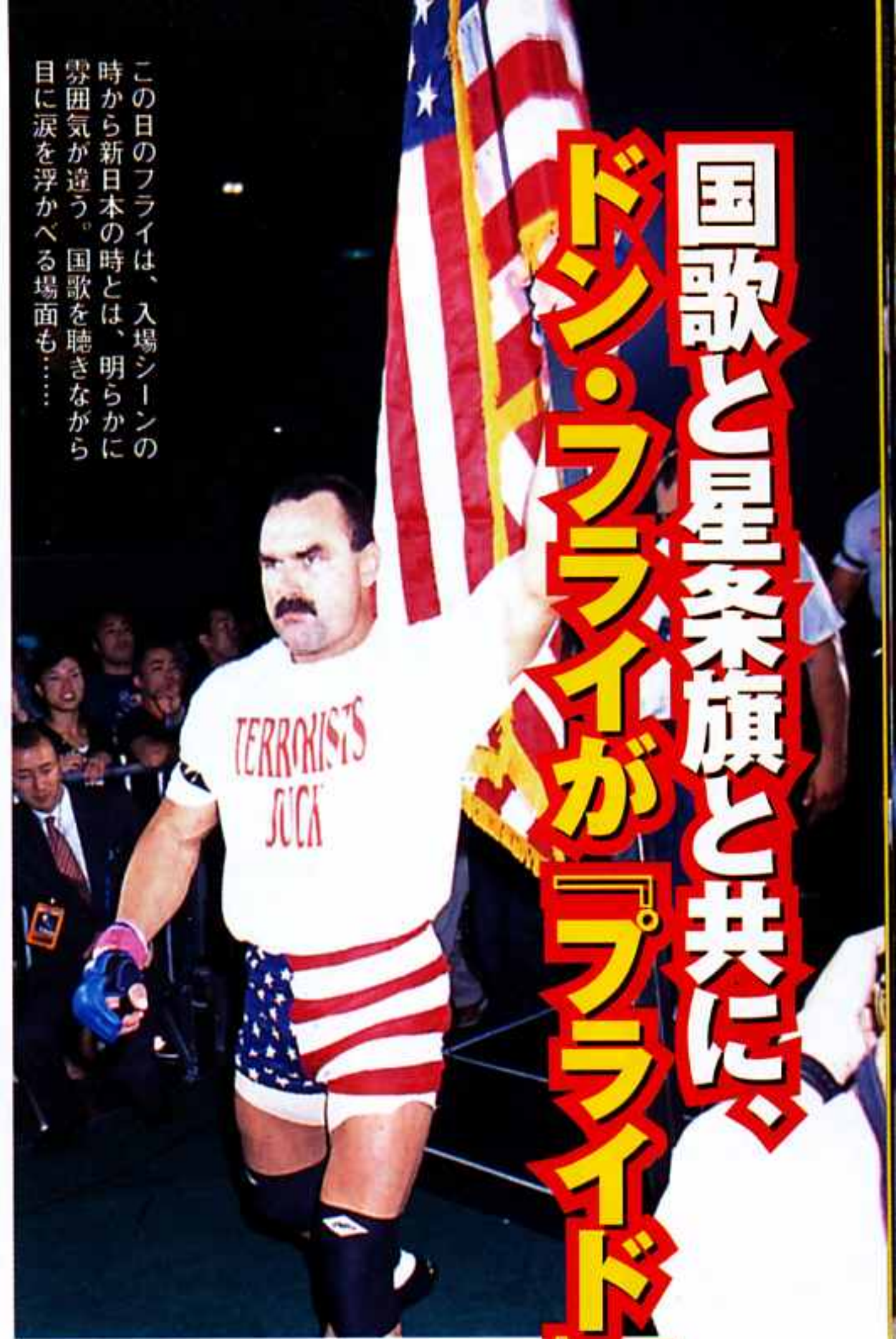
桜庭 元気ですよーッ！ えー、前回の試合ちょっと短かったので、今回の試合はもっと長くいい試合ができればいいと思ってます。応援よろしくお願いします。

リングアナ それでは次回『プライド17』、両選手の活躍にご期待ください！

（再び『SPEED2』が流れ、両選手が退場していく）

星条旗を掲げ、アメリカ国歌と共に登場してきたドン・フライ。そのたたずまいは、まさしくプロレスラーそのものだった

国歌と星条旗と共に、ドン・フライが『プライド』のリングに上がる

この日のフライは、入場シーンの時から新日本の時とは、明らかに雰囲気が違う。国歌を聴きながら目に涙を浮かべる場面も……

一方のギルバート・アイブルはバカでかいグローブを着けて入場。いったいなんだったんだ、あれは!?

これがオランダのやり方か!? 卑劣なりアイブル!!

◀▶アイブルの飛びヒザ蹴りから試合は始まった。フライはそれをタックルで受け止めコーナーにアイブルを押し込んだが、アイブルはなんとサミングで脱出。さらに、ダメージを受けたフライにそのまま打撃の嵐！

◀ゴング直前、強烈なにらみ合い。フライにとっては、5年ぶりのバーリ・トゥードだが、他のどの選手よりも存在感を放っていた

プロレスファン、特に新日本プロレスのファンが待ち望んでいた日が、遂にこの日、やってきた！ドン・フライの『プライド』参戦である。

かつては、本場アメリカのUFCで、王者に君臨していたドン・フライ。そのUFC王者が、小川直也のライバルとして新日本プロレスに登場したのは、97年のこと。その頃のフライは、新日本プロレスにとって、外敵そのものだった。異種格闘技戦では、平気で顔面へパンチを繰り出し、金的攻撃等はお手の物。中でも印象に残っているのは、猪木の引退試合の直前から浮上した〝グローブ固定疑惑〟。古館伊知郎が猪木の引退試合の実況で盛んに連呼していたので、覚えているファンも多いだろう。

そんなヒール街道を、新日本プロレスでまっしぐらに進んでいたフライだったが、いつしか当初のヒールっぷりは陰をひそめるようになってしまった。今のフライに物足りなさを覚えているファンも、少なくない。そこで、今回の『プライド』参戦である。原点回帰のチャンス。新日本参戦当初のような荒々しくも狡猾で、殺気に満ち溢れたフライに戻ってきてほしい。

『プライド』参戦が決まって、その相手に選ばれたのは、ギルバート・アイブルだ。リングス無差別級王者として『プライド』に参戦してきたのはいいが、ズバリ言って、まるでいい結果が出ていない。しかも、自分が負けたことを棚に上げて、「相手が俺を怖がって、立ち技で勝負してこない」などと、平気で言ってしまえる男だ。

昨年の『プライド11』で、ヴァ

反則しても、まったく反省の色なし まさしくナチュラルヒール

▲フライにテイクダウンされるのをロープを掴んで踏ん張ったら、またもやイエローカードを出されてしまったアイブル。フライの頭突きを盛んに島田レフェリーに訴えていたが認められず。場内に大ブーイングが発生

▲▶アイブルはサミングにより、イエローカードを出されたが、まったく反省の色なし

目には目を、サミングには頭突きを！

▲サイドポジションに移行すると、アームロックを仕掛けるフライ。やはりグラウンドではフライのほうが優位に立っていた

▲フライは絶好のポジションを奪い、ヒザを数発落とす

▼いち早く立ち上がったフライは、タックルでアイブルをコーナーに押し込むと、頭突きを一発！　やられたらやり返す。フライは簡単に反則殺法に屈するほどやわな男ではない

◀試合が再開すると、アイブルはまたもや飛びヒザ蹴りでフライを急襲！

◀フライはタックルで迎撃するが、2人とも衝撃で吹っ飛ぶ

▲しかし、そこは野生児アイブル。一瞬でフライとのポジションを入れ替えてしまった

ンダレイ・シウバに金的攻撃を食らったにもかかわらず、自分のイチモツが使えるかどうかを確認するために、その夜女性2人と合体したというエピソードまで持っている、日本のプロレスラーには少なくなった豪傑だ。

こんな性欲と暴力が人間の皮を被っているような生き物、アイブルを相手にするフライは、『プライド』のリングで闘う上で、DSEと、ちょっとしたことで、話し合いをもった。自分のキャラクターについてである。フライはDSEに対して、「自分がリングに上がる時は、ヒールがいいのか？　それともベビーフェイスがいいのか？」と聞いてきたという。DSEの回答はこうだ。「『プライド』に上がるプロレスラーはみんなベビーフェイスだ。だが、そのチョイスはあなたに任せる」。

この言葉を聞いたフライが選択したのが、ベビーフェイスだった。ちょうどフライの故郷、アメリカでは、テロが発生するという不幸な事件があった。それならば、「自分は入場の時に、星条旗を持ち、アメリカ国歌で入場したい」という希望を、真っ先にフライはしたのだ。今回の『プライド16』に参戦したアメリカ人選手はフライの他に、コールマンとメッツアーがいる。いずれも星条旗を持ち、国歌で入場したいという希望を持っていたらしいのだが、DSEは真っ先にその希望を述べたフライの要望に応え、優先権を与えた。

新日本プロレスに参戦してからもう4年。フライは、こんな自己プロデュースをするまでに、プロレスラー意識を高めていたのだ。

「落とせ！落とせ！」の大合唱!!

フライとアイブルがプロレス的空間を作った！

アイブルの猛攻から立ち上がると再びタックルでテイクダウンを奪い、インサイドガードの上からアイブルを絞め始める。場内からは一斉に大“落とせ”コール！

だが、ファンがフライに望んでいたのは、ベビーフェイスというキャラクターではない。新日本参戦当初の頃のような、凶暴で狡猾な、〝グローブ固定疑惑〟を売りにしていた頃のフライだ。ベビーのフライなど見たくもない。

だが、そんな考えもフライの入場シーンを見て吹っ飛んだ。星条旗を掲げ、国歌で目を潤ませ、さらに〝正直、大変身〟の佐々木健介を従えて入場してくるフライを見ていると、現在アメリカを襲っているテロと闘う、米軍兵士のようだ。ここまで格好良ければなんの問題もない。あとは、フライが本来持っている強さを存分に見せてくれれば、満足だ。

ところが、アイブルという奴は、本当に一筋縄ではいかない男だ。試合開始早々、いきなりフライの目を指で抉るという、アメリカを襲ったテロばりの卑劣極まりない攻撃を仕掛けてくる。フライの目が真っ赤なのだから、本当にとんでもない奴だ。

フライも負けてはいない。これぞ、〝戦慄のアリゲーター〟という頭突き攻撃で報復だ。卑劣な攻撃に簡単に屈しないのが、フライの性根。試合は、凄まじいケンカマッチへと発展していった。

グラウンドの技術で勝るフライを相手に、なんとかグラウンドの展開にもってこさせないように、ロープにしがみつくアイブル。イエローカードは遂に、2枚まで出てしまい、あと1枚でアイブルは失格。絶体絶命のアイブルだが、ファンはフライを後押しする。アイブルの反則攻撃には、容赦ないブーイングが襲う。試合終盤、フ

健介！お前は噛みつかないのか!?

フライのコメント

「長いブランクを感じている。もう少し自分の体を整えておけば良かったと思っている。それが今回ダメージを受けてしまった理由だ。（アイブルのサミングは？）こっちから言わせると、非常にひどい。（頭突きは思わず出てしまったのか？）わざとと言っていいだろう（笑）。アイブルとは、試合だからどういうことが起こるか分からないし、もう一度やりたい。（再戦の舞台は東京ドームか？）東京ドームで再戦できるかは傷の治り具合による。１週間前の練習中に受けた傷だが、今日の試合中にまた痛み出したので治るかどうかによると思うなぁ」

アイブルのコメント

「（サミングに関しては？）今回やったことは認めるけど、相手だって掴んでいたんじゃねぇか！　頭突きはどうなんだ！　俺は頭突きを受けたぞ！　レフェリーは何も言わなかったけど。フライは、力強かったがスタミナに欠けている。再戦は問題ないぜ。だいたい、みんなレフェリーまで、俺を怖がって闘わせようとしないじゃねぇか。握手はしたけど、俺は闘おうとしているのに闘わせてくれねぇから、怒っていたんだ。俺は闘いたいのに、フジタもイゴールも、みんな怖がっている。そういう姿勢の違いが、今回の敗因だな」

▲怒りの収まらないアイブルは、フライ陣営と一触即発状態に。セコンドに付いていた健介もおっとり刀で駆けつけた

▶なんとか起き上がったアイブルだが、フライに押し込まれ、またもやロープを掴んでしまい、イエローカード３回でなんと失格となってしまった

▼いつになくスーパーベビーフェイスとなって闘っていたドン・フライ。かつてのアルティメット王者が、新日本プロレスを通過したことによって、すっかり大物プロレスラーの雰囲気を醸し出すようになっていた

▲「また闘おう」と呼びかけるフライに対して、「なんで俺ばっかり反則なんだ！」とマイクアピールをして、大ブーイングを浴びたアイブル。『プライド』に久しぶりに大ヒール誕生の予感が……

◀自分のバーリ・トゥードの師匠であるフライのセコンドに付いていたが、まったく目立つような行動を見せなかった健介。ファンはこの日を楽しみにしていたのに、あんまりだ！

★第6試合（1R10分、2・3R5分）
○ドン・フライ（1R7分27秒、失格）ギルバート・アイブル●
<アメリカ／フリー>　<オランダ／ゴールデン・グローリー>
※注意3（サミングで1回、故意にロープを掴む行為で2回）による

ライがアイブルを絞め始めると、場内からは一斉に「落とせ！」コールの大合唱が始まった。

こんなプロレス的なブーイングや「落とせ！」コールが起きるなんて、最近の『プライド』の会場の雰囲気では、考えもしなかった。これぞ、ドン・フライ効果。フライの闘いっぷりと、アイブルの卑劣極まりない腐れ外道ぶりが、『プライド』の会場に、プロレス熱を呼び起こしたのだ！

試合は、結局アイブルがロープを掴んだことによって、3度目のイエローカードが出てしまい、アイブルの失格となった。だが、収まらないアイブルと、フライ陣営では、乱闘寸前の一触即発状態に。こんな展開になったら、面白いと思いこんでいたのが、フライのセコンドに付いていた、健介の存在である。ところが、この健介が、まったく動かないのだ。セコンドに付いていても、存在感はゼロ。試合中は、いることすら忘れてしまった。

ここはチャンスだろう、噛み付けよ！　結局健介よりも、新日本で闘ったことによってプロレスラーとしてのたたずまいを身に付けたフライと、天然のヒールレスラーっぷりを発揮するアイブルの存在感のほうが、はるかに上だった。

フライの下で、格闘技の修行をしてきたのなら、自己プロデュースの仕方も習ってきてほしかったものだと、つい愚痴をこぼしたくなってしまう。フライが仕立て上げた、この異種格闘技戦テイストあふれるバーリ・トゥードの試合を見て、もう一皮剥けてほしい健介であった。（小松）

PRIDEオフィシャルサイトで受付中!>>> http://www.so-net.ne.jp/pride/

会員になれば、選手と仲良くなれるかもッ!?

PRIDE official CLUB 発足!

PRIDEのファンクラブ

PRIDEを主催するDSEでは、ファンの要望に応えて「PRIDE official CLUB」を発足した。

このファンクラブの会員種類は、月額(シルバー会員)と年額(ゴールド会員)があり、ファンにはたまらないゴージャスな特典がたくさん用意されている。シルバー会員でも、過去の名勝負を映像や写真で見たり、壁紙やアイコンをダウンロードしたりと十分楽しめるが、ゴールド会員になれば会員限定イベントに参加することもでき、選手たちとも直に触れ合えるのだ!

すでに「第1回ファンの集い」の開催が11月4日(PRIDE17の翌日!)に決まっており、PRIDE17参戦選手が参加予定だ。申し込みはPRIDEオフィシャルサイトから。

さぁ、今すぐ会員になって、選手と仲良くなっちゃえよッ!

過去の名勝負ムービー、お宝フォト、会員限定イベント、チケット優先予約……ゴージャスな会員特典がいっぱいだよッ!

過去の名勝負を映像で見られる「MOVIE GALLERY」

「PRIDE official CLUB」概要

受付開始:2001年9月25日(火)から受付中
受付方法:PRIDEオフィシャルサイト(http://www.so-net.ne.jp/pride/)からの申し込みのみ
会費:月額会員(シルバー会員)/700円(一般)　500円(So-net接続サービス会員)
　　年額会員(ゴールド会員)/8,000円(入金確認後、メールを配信した日を含む1年間)
会員特典:
【月額・年間会員共通】
◆MOVIE GALLERY……PRIDEの過去の名勝負をビデオ映像で公開。ナローバンド、ブロードバンドにも対応
◆PHOTO GALLERY……リングサイドから試合を激写したお宝フォトが楽しめる
◆DOWNLOAD……壁紙やアイコンなどの素材をダウンロードできる
◆NOT ENTER?……新聞や雑誌には載っていない選手たちのエピソードを、楽しいキャラクターがお話してくれる

【年間会員のみの特典】
◆EVENT・PRESENT……ファンの集いなどのイベントやプレゼント企画
◆FAN LETTER……お気に入りの選手にファンレターを送れる
◆チケット良席優先予約……先行電話予約で予約した席種の中から良席を優先して取れる
◆グリーティングカード……誕生日などに、ファンクラブからカードが送られる
◆会員カード、記念品の贈呈……入会記念として、オリジナル会員カード&入会記念品をプレゼント

『PRIDE.17』が終わっても興奮しっぱなし! 参戦選手に会える!!　選手と話せる!! ゴールド会員限定イベント(有料)開催決定!

11月4日には、ゴールド会員の中から希望者500名のみが参加できる「PRIDE official CLUBファンの集い(仮)」が都内某所で開催されるぞ。『PRIDE.17』に参戦した選手たちと、直に触れ合えるプレミア・イベントだ!

イベントへの参加申し込み締め切りは10月中旬なので、イベント参加希望者は早めにゴールド会員になろう。

日時:11月4日(日)時間未定
場所:東京都内某所
出席者:『PRIDE.17』出場予定選手
募集方法:年間会員の中から希望者を抽選で500名
参加費:未定(会費とは別途)
企画内容:ゲーム大会など、特別企画満載!

「格闘地下組織」のオモシロ・キャラたちが、PRIDEのマル秘エピソードを語る

壁紙やアイコンをダウンロードして、デスクトップをPRIDEで埋め尽くそう!

臨場感あふれる試合写真は「PHOTO GALLERY」に続々追加されるぞ

▶デカい。とにかくデカい！　入場シーンだけで観客のどよめきを誘ったシュルト。テレビのカメラマンも反り返るくらいの姿勢じゃないと画面に収めきれない

この身長差はなんだ!?　はっきり言って、試合を受けただけでも小路は凄い

男だ、小路！

身長差40センチ、体重差25キロ。それでも〝4ポイントあり〟ルールを選択

▲スタンドでプレッシャーをかけていくシュルト。小路にとっては、巨大な壁が迫ってくるような感じだろう

▲ダン・ヘンダーソン戦以来４カ月ぶりの再起戦となる小路。「このままでは終われない」とかなりの意気込みだった。入場時も実にいい表情

開催の数日前になって、今大会で注目の『プライド』初参戦となるセーム・シュルトの対戦相手、ボブチャンチンがケガで欠場となった。続いて小路晃の相手ブラッド・コーラーも欠場。ドタンバで2つのカードが宙に浮いてしまった形だ。結局、ＤＳＥが出した結論はシュルトVS小路というもの。

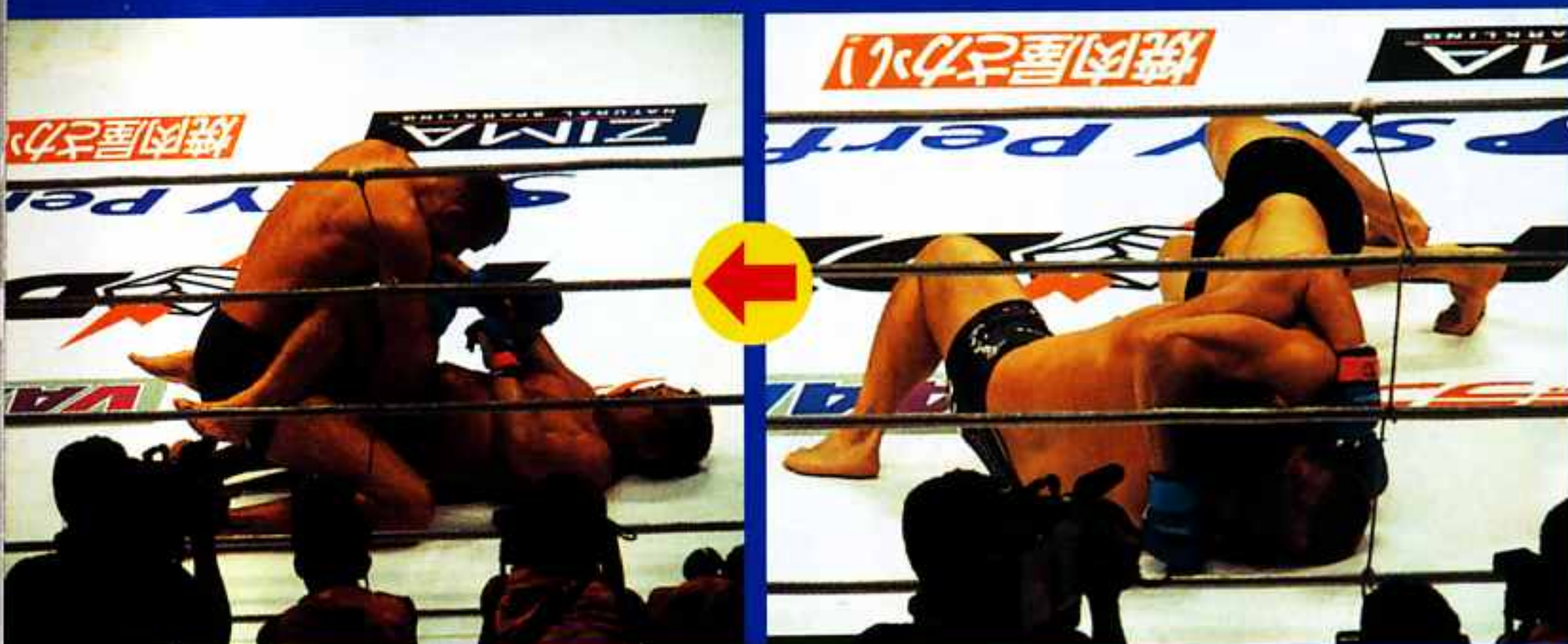
このオファーを、小路は快諾した。40センチも身長差がある相手、それもただデカイだけじゃない、大道塾・北斗旗2連覇、パンクラスでも王座に就いた〝実力ある巨人〟と、ロクな対策を立てる時間もないまま闘おうというのだ。

しかも、だ。『プライド』では、体重差が10キロ以上あった場合、軽いほうの選手が4ポイント打撃のあり／なしを選択できるのだが、小路は「〝あり〟でお願いします」と即答したという。

さすがは〝最後の日本男児〟である。世界中のどこを探したって、こんな条件で試合をするヤツなんていないだろう。小路が〝4ポイント打撃あり〟を選択したとアナウンスされた時の、会場の反応にも凄まじいものがあった。カッコいい。カッコよすぎるじゃないか！　この日〝男らしさ〟という言葉は小路ひとりのためにあったと言ってもいい。

２１２センチ対１７２センチ。１２２キロ対97キロ。２人がリング上で向かい合うと、体格差はデータ以上の説得力というか、迫力で伝わってきた。〝差〟とかそういうレベルじゃなく、違う生き物みたいだ。

だが、小路もただ勇気だけで無謀な挑戦をしたわけではなかった。

この男に寝技の常識は通用しないのか?

寝技になれば勝機があると踏んでいた小路だったが……。ハーフマウントになったところで、アッサリとひっくり返されてしまう。上になったシュルトは小路の手を押さえてパンチを叩き込む

前蹴り、パンチをかいくぐり、ファーストコンタクトで組み付き、テイクダウンに成功した小路。大巨人を相手にしても、いつもと変わらぬ正面突破を試みる

闘うWTCに正面から特攻!

ザ・殺戮ショー!
小路の〝我慢の美学〟が、シュルトの怖さを引き出した

▶スタンドに戻ると、いよいよ殺戮ショーの開始。圧力でコーナーに詰め、パンチ、ヒザをガンガン当てていく。必死に耐える小路の姿が、余計にシュルトの凄みを際立たせた

勝算はゼロではなかった。シュルトは圧倒的に寝技に弱い。寝かせてしまえば体格差だってチャラになる。4ポイント打撃ありを選んだのも、勝機のあるグラウンドでの攻め手を減らしたくなかったからではないだろうか。

とにかく寝技に持ち込もう。小路は真っ正面からシュルトに飛び込んでいった。打撃をかいくぐる。組み付く。足を刈る。テイクダウン成功! この時の小路の特攻は素晴らしかった。谷川編集長など、こんな褒め方をするほど。

「小路がワールドトレードセンター(WTC)に突っ込む飛行機に見えたよぉ。不謹慎だけどさぁ」

いくらなんでも不謹慎すぎると思うが……。ともかく、小路は大チャンスを得たわけだ。が、このWTCは特攻を食らっても自壊しなかった(たびたび不謹慎な表現で正直、スマン)。スイープを決め、上になるシュルト。朝起きて布団をめくるように、いとも簡単に小路の体をひっくり返してしまった。

何発かパンチを落とした後、シュルトが立ち上がる。スタンドで試合再開。ここからはシュルトの独壇場だった。コーナーに詰めてパンチ、ヒザを繰り出す。「ガッと攻めてこられた時に止まってしまった。動かなきゃいけないのに」と小路は言ったが、無理もない。シュルトの巨体と実際に向かい合ったら、ハタから見ている以上に圧力があっただろう。目の前で2メートルの壁が迫ってきて、平気でいられるほうがどうかしてる。

小路もサイドキックのような形で足を突き出し、距離を取るのだが、それでもシュルトのパンチは

また一人、『プライド』マットに"最強"候補が名乗りを上げた！

★第5試合（1R10分、2・3R5分）

○セーム・シュルト（1R8分19秒、KO勝ち）小路晃●

〈オランダ/ゴールデン・グローリー〉　〈日本/フリー〉

※左フック

▲▶フィニッシュはコーナーに詰めてのレバーブロー➡顔面への左ヒザ➡左フックというコンビネーション。倒れた小路に、シュルトはさらにパンチを落とした

シュルトのコメント

「２日前まで、相手が小路だと知らなかった。あまり知らない選手だったけど、闘ってみて非常にいい選手だと思った。背は低いけど、経験が豊富で結果も出しているし、いいスピリットを持っていると思う。テイクダウンされたのは自分のミス。蹴りを出した時に倒されてしまった。でも寝技で危ないと思う場面はなかった。『プライド』はとても大きくて、いい団体だと思う。ここで試合ができて、とても嬉しいよ。（大道塾の世界大会は？）ぜひ出たいと思っている。精神力が試される、いい大会だから。プロになって、よけい大道塾の選手を尊敬するようになった。彼らはお金のためでなく、自分の心のために闘っているから」

小路のコメント

「身長差は言い訳にならないんで。情けないだけです。もう一回イチからやり直しですね。倒せばなんとかなると思ってたんですけど、思ってた以上にパンチとかが届いてきて。驚きました。パンチでＫＯされたの初めてです。パンチかヒザか覚えてないけど、ガッときた時に止まっちゃって。動いて倒さなきゃいけないのに。（グラウンドで）返されるとは思わなかったです。返される時点でダメですね。あんな返され方したのは初めてです。（シュルトに）恐怖感はなかったけど、正面に立った時に"でけえなぁ"っていう圧力がありました。（４ポイントをありにしたのは？）どっちも同じ条件で闘ったほうがいいんじゃないかと」

▶完敗を喫した小路は、沈痛な面持ちで引き上げる。あらゆる意味で想像以上の相手だったようだ

▶強豪がひしめく『プライド』のリングに、また一人"最強"候補が出現。シュルトは11月、12月の『プライド』にも出場する予定だという

届いてしまう。パンチをよけようと身をかがめれば、今度はヒザだ。技というより凶器。もう存在自体が反則みたいなものだ。

何度も吹っ飛ばされながら、小路は必死に耐える。こういう時の小路には、ホントに切なくて悲愴な魅力がある。「我慢すること」がひとつの芸にまで昇華している。

しかし、小路が耐えれば耐えるほど、シュルトの残酷性は増していく。我慢すればするほど、シュルトの強さ、怖さが際立つのだ。小路より先に、見ているほうが音を上げてしまいそうな殺戮ショー。ノックアウトの瞬間、「やっと終わったか……」とホッとしたような空気が会場に流れた気がする。

ボクも別な意味でホッとしていた。シュルトが勝ってよかった、と。日本人が負けたのにこういうことを書くのもなんだが、それがパンクラス担当記者としての正直な気持ちだった。いかに『プライド』が総合のメジャーリーグでも、パンクラス王者が第1戦で負けたら、シュルトへのリベンジの機会を失った近藤や渋谷、髙橋だって浮かばれないだろう。だが、シュルトはしっかりと結果を出してくれた。パンクラス王者は『プライド』戦士より強いんです！

『プライド』ファンから見ても、シュルトという新たな"最強"候補が名乗りを上げたことは大きな楽しみのはず。『プライド』デビュー戦で強烈なインパクトを残したシュルト。小路が相手だったからこそ、その凄みが最大限に引き出されたのだ。完敗ではあったが、小路はプロとして賞賛に値する仕事をやってのけた。（橋本）

※PRIDE.16試合レポートはP93に続く！

「猪木軍vsK－1」でさらに拍車！

前号でもお届けしたように、21世紀のマット界は「猪木軍VSK－1」の余波を受けて大変革していきそうな勢いである。そして、その方向性がかなりの部分で見えてきた。変革を必要とする人も、否定する人も、この流れを見逃すな！

K－1、TBSへ進出！
石井館長、地上波3局制覇

11・3『プライド17』東京ドーム大会
桜庭vsシウバ再戦決定！

噂の三面記事

藤田和之、10・8新日本ドーム大会で始動！
相手は小川じゃなく健介！

極真会館、プロ参入へ
「Kネットワーク」とは何か？

21世紀、マット界が大変革するのを見逃すな！

TBS

石井館長、驚異の営業力で民放3局を抑えた！
K－1、TBSにも進出！来年2月に「ミドル級GP」開催！

K－1がフジテレビの「ワールドGP」シリーズ、日本テレビの「ジャパンGP」シリーズに続き、民放3局目であるTBSに進出することが決定した。一つのジャンルが民放3局を制するのは異例のこと。しかも、それが石井館長という一人のプロデューサーが手掛けたというのは、まさに快挙だ。

今回、TBSで放送することになったのは、かねてからシリーズ化が考えられていた「K－1ミドル級」のGP。

ヘビー級でなかなか結果を残せていないジャパンの選手だが、こと、ミドル級に関しては、一番日本人の体型に合っていることもあり人材も豊富。世界チャンピオンを十分に狙える階級である。

そのミドル級GPは、まず70キロのトーナメントを開催。来年の2月上旬に都内で8名の日本人選手により「K－1ジャパン・ミドル級GP」が行われる。

すでに魔裟斗と小比類巻貴之という、この階級を代表するスター選手の出場が決定。会見に出席した2人は、「日本人で因縁のある人が隣（小比類巻のこと）にいるんですが、4年越しの借りが返せるので、それに向けて頑張る。僕が一番強いことをアピールしたい」と魔裟斗。一方、小比類巻は「魔裟斗に関しては、今やっても負ける気はしないのでリングでやって証明したい」とサラリとかわした。この2人の対決が見られるだけで、ワクワクするものがある。

残り6名の出場枠については、これからになるが、石井館長は元ムエタイ王者の武田幸三や極真、各キック団体のチャンピオンの出場をオファーしていくそうだ。

そして、5月のゴールデンウィーク前後には、ジャパン王者、ムエタイ王者、散打王者、オセアニア王者、ヨーロッパ王者、アメリカ王者など、各世界予選を勝ち上がった8名により「K－1ミドル級ワールドGP」が開催される。

しかも、「K－1ミドル級ワールドGP」は、なんとゴールデン枠での放送が検討されているようだ。

「猪木軍VSK－1」を仕掛けた石井館長だけに、ミドル級大会の開催に関しても、他とは違うカラーを打ち出していくという。中量級の魅力であるスピードや技を存分に見せることはもちろんのこと、さらにK－1の醍醐味であるKOを意識してもらおうと、ファイトマネーよりもKO勝利を重視した賞金制度を作るというのだ。

「アグレッシブに攻めるファイターには、いいファイトマネーはもちろん、賞金も出します。グローブやルールも協議してよりアグレッシブになるようにしたい」と石井館長。

さらに、他のK－1シリーズと差別化するために石井館長は新たなプロデューサーを立てたいと発表。「ぜひ、さわやかなイメージの人にお願いしたい」（石井館長）と、小泉首相の息子である話題の小泉孝太郎やケイン・コスギなどの名前を候補に挙げた。

また、この「K－1ミドル級GP」の正式名称については、これまで「J・MAX」と呼んでいたが、今回から心機一転、インターネット上でファンに幅広く募集した（9月25日で締め切り）。

TBSからはさらにミドル級GP放送だけでなく、10月4日から格闘技情報番組『格闘王』（毎週木曜日、深夜1時50分～2時20分）が放送されることも併せて発表。

この番組は、選手をドキュメンタリータッチで大会まで追っていき、大会自体も盛り上げていくもので、フジテレビの『SRS』、日本テレビの『超K－1宣言』と競い合うことになる。

番組のプロデューサーである樋口潮氏は、『筋肉番付』や『世界陸上』などを手掛けている敏腕プロデューサー。TBSがK－1を扱うとどんな世界になるのか？　『筋肉番付』や『ガチンコ』などで、独自のスターを育て上げるTBSが、どんな格闘技番組を作るか非常に興味深いところだ。■

▲左から斉藤正雄TBSスポーツ社長、魔裟斗、樋口潮プロデューサー、小比類巻貴之、石井館長

◀魔裟斗にとってミドル級GPは、4年前に敗れている小比類巻へリベンジする絶好の舞台となる

◀小比類巻は早くも来年の5月に行われる「K－1ミドル級ワールドGP」に照準を合わせている

70キロ以下の国内主要選手

- **魔裟斗**（シルバーウルフ）
- **小比類巻貴之**（チームドラゴン）
- **武田幸三**（治政館）
- **大野崇**（BENEC）
- **安廣一哉**（正道会館）
- **後藤龍治**（サムライ）
- **緒形健一**（シーザージム）
- **土井広之**（シーザージム）
- **山上健吾**（花澤ジム）
- **佐藤堅一**（士道館）
- **小野瀬邦英**（渡辺ジム）
- **村浜武洋**（大阪プロレス）

リベンジ

11・3『プライド17』東京ドーム大会、マッチメークは大モメ！
桜庭VSシウバの再戦は、なんと3冠統一戦？『プライド』最強のヘビー級王座決定戦も開催！

▼勝手にサクベルトまで賭けてしまった桜庭。『プライド15』でお披露目した2本目のベルトについて、「よくできているので、これを取られるのは嫌だ」そうだ。隣りでニラミをきかせてるシウバがこわっ！

▲会見には『プライド16』に出場するドン・フライとゲーリー・グッドリッジも出席した。2選手とも『プライド17』の出場予定選手となっている

9月19日、都内ホテルで11・3『プライド17』東京ドーム大会・正式決定の記者会見が行われた。

この会見ではかねてより噂されていた桜庭和志VSヴァンダレイ・シウバ再戦の決定を発表。『プライド13』で対戦した両者は、壮絶な打撃戦の末に、桜庭が98秒で敗れるという大波乱の結末に終わった。

それまで『プライド』のリングでワンマッチでは負けなしだった桜庭に黒星をつけたシウバ。この試合で敗れた桜庭は、試合翌日に入院。長期欠場へと追い込まれて、昨年までの勢いにブレーキをかけられてしまった。桜庭としては一日も早くシウバに借りを返さないと次に進めない。その意味で今回は、満を持してのリベンジ戦ということになる。

また、この試合に関して、森下直人社長は、『プライド』初代ミドル級チャンピオンシップにすると発表。世界の強豪が集結する『プライド』認定のベルトとなれば、事実上、ミドル級の世界一決定戦と言っても過言ではない。

しかし、ここで桜庭が「ちょっと勝手なんですけど、次の試合をサクベルトの統一戦に勝手にしちゃいます（ニコニコ）」と自ら作ったサクベルト2本を出して、勝手に統一戦にすることを発表。

森下社長があわてて「このベルトの他にも『プライド』のベルトも用意しますので」とフォローする一幕もあったが、最終的には3冠統一戦ということになるよう……だ（？）。

桜庭らしいネタだが、これにムッとしたのがシウバ。「自分にとってこの試合は凄く大切。今度の試合では救急車を用意しろ。オレが世界一であることを証明してみせる」と早くも臨戦態勢で桜庭に睨みをきかせた。

前回の試合では、〝シウバもみ〟（桜庭命名）の前にムカついて暴走してしまった桜庭。この記者会見では先手を取って自分のペースに持ち込んでいたが、本番の試合ではどうなるのだろうか？

もう一方で気になるのが、『プライド17』で実現するのではないかと言われていた髙田VS小川の一戦の行方だ。

昨年10月に、髙田は「忘れ物があるのでもう1試合『プライド』で試合をしたい」と発言。今年の5月に「忘れ物」の正体が小川直也だったことが発覚。あくまでも『プライド』のリングでの対戦を願っていた髙田の希望にDSE側も実現に向けて動いていた。そして、その対戦が『プライド17』になるのは、もう目の前に迫っていた。

ところが、8・19K―1ジャパンで行われた「猪木軍VSK―1」の対抗戦に、森下社長が全面協力を発表。第2Rは『プライド』のリングで行われる流れになった。それに猛反発したのが髙田だ。

髙田と桜庭は『プライド』躍進の最大の立役者。「猪木軍VSK―1」の流れですっかり主役を奪われた髙田は、小川戦白紙だけでなく、『プライド』撤退も辞さない状況にまで発展した。

これにあわてた森下社長は「『プライド』のイベント主旨を変えるつもりはないので、そこを理解してもらって、今は髙田VS小川戦よりも髙田さんとの関係修復をしないといけない」と発言。

その後、3回ほど髙田と話し合いを重ねた森下社長は、今回その件に関して「猪木軍VSK―1については理解をしてもらえた。『プライド』撤退の話はないです。小川戦について一度気持ちが萎えてしまったのは、僕の責任が大きい。それくらい髙田さんは小川戦を大切に考えていたようです。今は11・3に出てもらえればと思いますが、小川戦になるか分かりませんが、今の段階では小川戦は難しそうです」と状況を説明した。

この記者会見の時点では、髙田のカードを近日中に発表したい意向を示した森下社長だが、とにかく髙田にリングに上がってもらうことを第一に考え、その上、対戦相手は超一流を用意するという発表に止まった。

また、桜庭VSシウバ戦がミドル級の初代王者決定戦になったように、ヘビー級の初代王者決定戦も行われる予定。そうなると、9・24『プライド16』のコールマンVSノゲイラの勝者が出場選手候補になることは間違いない。相手は藤田か、それとも……。絶好調の『プライド』が波乱の東京ドーム大会に向けて走り出した。■

■i モードでも『プライド』情報をゲットできる！■

i モードでも『プライド』オフィシャルサイトがオープンした。オフィシャルサイトならではの最新・最速情報を発信するのはもちろん、着信メロディーやオフィシャルグッズ、チケットも購入できる。アクセスは「iMenu」→「メニューリスト」→「スポーツ／趣味」→「格闘技」→「PRIDE」となっている。

■『プライド』ファンクラブ発足！　第1回の集いは11・4だっ！■

遂に『プライド』でファンクラブ「PRIDE offcial CLUB」が発足。すでに会員受付が始まっている。受付方法は『プライド』オフィシャルサイト内（http://www.so-net.ne.jp/pride/）のみで、電話や郵送では受付けていない。いろいろな特典があるので『プライド』フリークはぜひご入会を！　なお、11月4日には第1回PRIDE offcial CLUBファンの集いの開催（年間会員のみ）も決定している。さっそく、オフィシャルサイトをのぞいてみよう！

明暗

小川VS藤田戦はやはり実現せず。代わって藤田の相手はVTをくぐった健介に！

藤田、10・8新日本ドーム大会で復活！ 小川はどこのリングに上がるのか……？

8・19K—1たまアリ大会で、ミルコ・クロコップのヒザ蹴りで左目尻横をカットされ、敗れた藤田和之。

大会後はほとんど取材も受けずに治療に専念していた藤田だが、その間に猪木が「10・8新日本ドーム大会で小川VS藤田戦をやったらいい」と爆弾発言するなど、藤田の周辺は騒がしい状況だった。

そんな中、藤田は9月13日に都内病院で精密検査を受け、異常なしと診断。復帰に向けてGOサインが出た。

その時点では、藤田自身は復帰戦について何も語っていなかったが、その3日後の16日、新日本・名古屋大会のリング上で、佐々木健介が10・8新日本・東京ドーム大会での復帰を挨拶。その中で、健介は復帰戦の相手に猪木軍を指名。そこで、急浮上したのが藤田VS健介戦だった。

そして、2日後の18日、新日本プロレスは藤田VS健介戦を正式に発表。小川VS藤田戦どころか、カードの中には小川の名前すらなかった。

一時は小川VS藤田戦が実現するなら「メインをあけてもいい」と藤波社長が明言していたほど期待されていたカードだったが、蓋を開けてみれば藤田VS健介戦に。これには、小川も「2度と新日本はオレの名前を出すな。10・8はK—1を見に行く」と大激怒した。

だが、小川にしても状況は最悪である。小川VS藤田戦と並行して噂されていた髙田戦も、髙田の対戦白紙宣言で消滅状態へ。このままだと、小川の上がるリングはK—1……てことになりかねない状況にもなってきているのだ。

小川はいったいどこのリングに上がることになるのだろうか……？

一方、10・8新日本ドーム大会で復帰戦にGOサインが出た藤田は、9月19日に記者会見を開いてマスコミの前に姿を現した。

気になるミルコ戦については、「ボコボコにやられたわけでもないし、お互いに持ち味を出した時にああいうアクシデントが起こっただけ。結果的には負けましたけど、コイツだけにはっていうような気持ちはちょっとピンとこない。オレだけの獲物じゃないので、獲りたいヤツは獲ってください（笑）。僕はいつでもミルコとやる心構えとコンディションは持ってます」と、敗戦ショックはまったく感じられないコメントをした。

さらに、小川戦が消滅してしまったことについては、「どうしてもやりたいんじゃなくて、小川選手にこだわらなくても今はいっぱい対戦相手がいるから、その中の1人ということで名前が挙がったと思うんで。ターゲットにしてるわけじゃないし、時期がきたら、時が来ればやるでしょう」とサラリ。

復帰に向けての練習については、「家の近所を散歩したり、重いバーベルを持ち上げてるイメージをしたり、スパーリングをしているイメージをしたり。結構汗が出るんですよ」と言って報道陣を笑わせる場面も見られた。

だが、楽観視もしていられない。復帰の許可は出たものの、傷口はまだ衝撃を与えれば開く可能性が高い。爆弾を抱えたまま藤田は試合をしなければならないのだ。10・8新日本ドーム大会後には、11・3『プライド17』、そして年末の「イノキボンバイエ」と藤田は引く手あまたの状態。

「イノキボンバイエ」では、ミルコとの再戦も噂されているが、「僕は聞いてないです。とりあえず、10・8、その1試合に集中したい」と明言を避けた。

健介戦に関しては「VT特訓をやったからって、3カ月や半年でそんなに変われるのか」「グローブ？　着けても着けなくても変わらない」「覚悟を決めてリングに上がってこい。今じゃ立場も実力も違う。それをリングで証明したい」と強気発言のオンパレード。

10・8新日本ドーム大会も見逃せないが、それにしても、小川VS藤田戦が実現しなかったことで、これほど両者の明暗がクッキリ分かれることになるとは……。■

◀ミルコ戦で負った傷もすっかりきれいにふさがっていた

▼ミルコ戦以降、初の会見とあってたくさんの報道陣が集まった

▼10月4日からスタートする『格闘王』(TBS・深夜1時50分〜)で藤田特集が放送される。こちらも要注目だっ！

▲藤田戦が流れ、小川直也がリングに上がるのはいつ、どこだっ？（写真は昨年のイノキボンバイエで小川の暴走を止めている藤田）

変化

東京ドーム行きを賭けた「裏K−1GP」にも波紋が……
やっぱりアーツは負傷欠場！ ミルコ、VTに専念か？

▼VT戦に専念したい意向があるミルコ。11・3『プライド17』に登場か？

そのメンバーの豪華さから〝裏K−1GP〟と言われていた10・8「K−1ワールドGP2001in福岡」。12・8東京ドームで行われる決勝大会の出場枠残り3名のキップを賭けた、この敗者復活戦では、4名ずつのトーナメントが2つ行われ、それぞれの優勝者が、東京ドームに進出。その組み合わせは前号で発表したとおりだった。

しかし、何が起こるか分からないのがK−1。今回もビッグハプニングが起こった。

まず、敗者復活戦Aブロックの1回戦でフランシスコ・フィリォと対戦予定だったピーター・アーツが、以前から痛めていた腰の具合がやはり思わしくなく、さらにラスベガス大会で負ったヒジの負傷が精密検査の結果、複雑骨折していたことが発覚。9月28日に手術することになったため、出場不可能となってしまった。アーツはもう東京ドームへ行けないのか。

このため、ラスベガス大会準優勝者のアーツの代わりに出場することになったのが、リザーバーとして権利のある同大会3位のセルゲイ・イバノビッチだ。

イバノビッチと言えば、ラスベガス大会の1回戦でフィリォと対戦し、3Rにフィリォの左右のフックでダウンしながらも、手数を重視するネバダ州のジャッジングで本戦ドローとなり、延長戦で判定勝ちをしてしまった選手。この疑惑の判定に屈辱の黒星をつけられてしまったフィリォにとっても、きっちりと片をつけておきたい相手だろう。

そして、もう一人。藤田に勝って名を上げた、ミルコ・クロコップもまた欠場の可能性が出てきた。

藤田に勝利したことで株を上げたミルコに、なんと『プライド』が11・3東京ドーム大会で髙田延彦の相手としてオファーして来たのだ。

「全てミルコの意志に任せる」という石井館長の発言を受けて、ミルコは髙田戦を選択する公算が高くなってきたのだ。ミルコとしても、藤田戦で自信をつけただけに、総合のファイターとしてもっと経験を積んでおきたいというのが、本音のようだ。

だが、そのミルコにとっても日本で試合ができるかどうかという不安材料もある。というのも、先日のニューヨークで起こった「同時多発テロ事件」で、世界中が緊張状態に入ってる中、クロアチアの特殊部隊に勤務するミルコもいつ出動するか分からない状況になってしまったからだ。

この非常事態に、これまでK−1に出場するということで、特別扱いになっていたミルコだが、今回ばかりはそうもいかない状況になってしまった。現実的に10・8K−1参戦は難しい状況なのかもしれない。

ミルコ欠場が決まれば、レイ・セフォーの相手は、リザーバーとして用意されていたメルボルン大会3位のマーク・ハントらベスト4選手に決まる可能性が高い。

アーツとミルコの欠場は残念だが、それでも残りのメンバーを見ても、東京ドームへ向けて壮絶なサバイバル戦が繰り広げられることは間違いないだろう。

なお、スーパーファイトは2試合行われ、すでにシリル・アビディVSエベンゼール・フォンテス・ブラガ戦が発表されているが、残りの1試合は、グラウベ・フェイトーザVSマイケル・マクドナルド戦が行われることになった。

グラウベは3月のK−1横浜大会以来の試合となる。相手のマクドナルドは、メルボルン大会でミルコ・クロコップをKOした強豪。昨年の福岡大会で、ニコラス・ペタスと対戦し、敗れたとはいえニコラスはこの一戦を機に急成長を遂げた。

グラウベはそのニコラスのリベンジをめざすとともに、大変身するきっかけを掴める試合となるか、注目される。

この10・8福岡大会で、決勝トーナメント進出者2名が決定。残りは館長推薦の1名となるが、今年は館長推薦の選手をファンからの投票も考慮に入れて決定することになった。ぜひインターネットで投票してほしい。

館長推薦枠の選手が決定するのが10月9日。そして、翌10日には、例年どおりファイターの意志と運で決める公開抽選会で、12・8決勝大会の組み合わせが決定する。

この公開抽選会があるため、決勝トーナメント進出決定選手が福岡大会に集結する。当日券を購入した先着500名と、前売りチケットを持っている500名（会場への先着順）の計1000名に整理券が配られ、決勝進出者の大サイン会が行われる予定だ。■

12・8決勝大会最後の枠はあなたの投票で決まるかも？

10・8福岡大会で12・8決勝大会進出者が2名決定し、残りの枠は1つのみ。この最後の1人は石井館長推薦枠としてあいているが、今年はファン投票も考慮されることになった。応募はK−1オフィシャルサイトでできる。アドレスはhttp://www.k-1.co.jpで、締め切りは10月9日の午前8時まで。なお、推薦出場が決定した選手に投票した方の中から、抽選で12・8決勝大会のSRS席チケットを1組2名様、さらにS席を5組10名様にプレゼントするという発表があった。

敗者復活戦Aブロック

- フランシスコ・フィリォ［ブラジル］
- セルゲイ・イバノビッチ［ベラルーシ］
- マット・スケルトン［イギリス］
- ロイド・ヴァン・ダム［オランダ］

敗者復活戦Bブロック

- マイク・ベルナルド［南アフリカ］
- アダム・ワット［オーストラリア］
- ？
- レイ・セフォー［ニュージーランド］

スーパーファイト

- シリル・アビディ［フランス］ VS エベンゼール・フォンテス・ブラガ［ブラジル］
- グラウベ・フェイトーザ［ブラジル］ VS マイケル・マクドナルド［カナダ］

▼来年の旗揚げ戦には、野地やギャリーらが出場すると噂されている

活火山

もうこの流れは止まらない！ 最強を求めて〝極真〟までもが……

松井館長が実行委員長を務める「Kネットワーク」旗揚げへ！

これも時代の流れなのだろうか？　あの極真空手が遂にプロの格闘技イベントを開くことが明らかとなってきた。それが「Kネットワーク」という新しい組織体である。

「Kネットワーク」は各組織、各団体の「交流の場」を目的として、東京と大阪に公認ジムをオープン。来年早々にも都内でプロの興行を旗揚げする可能性が出てきた。

しかも、その「Kネットワーク」の実行委員長を務めるのが、極真会館の松井章圭館長。これまで、K―1のリングなど、プロのリングに選手を派遣しながらも、決して表舞台に立とうとしなかった松井館長が遂にプロと直接的に関わりを持つことになったのだ。これは今までの松井館長の行動を知る者からすれば、信じられない話である。

詳しくは38ページからの松井館長のインタビューを読んでいただきたいが、極真もまた今の激動の格闘技界の中で、組織としての心境の変化が表れていることは紛れもない事実。また、そういった時代の流れを考えないと、組織としての停滞を生みかねないと判断したのだろう。そういう意味で、この極真の変化は見逃せないものがある。

◀遂にプロの舞台まで作り上げることに踏み切った松井館長

では、実際に「Kネットワーク」ではどんな試合をやろうとしているのか。松井館長という超大物が乗り出しただけに、これはK―1の大きな対抗勢力になりうる可能性は高いと見た人は多い。なぜなら、今のK―1やキックボクシングといった立ち技のプロ格闘技も、その源流にあるのは極真だからだ。

しかし、松井館長は「今のK―1との関係を考えたら、それは有り得ない話」と断言する。もちろん、グローブをつけたK―1ルールに近い形の立ち技格闘技が主体となるが、「Kネットワーク」はK―1に出場する前段階のプロとアマチュアの交流の場と位置づけるようだ。

しかも、石井館長のほうも「K―1の選手をそこに派遣してもいい」と発言。これはあくまでも予測だが、その「Kネットワーク」のリング上で、K―1ジャパンのような「K―1VS極真」の闘いが見られるのではないだろうか。そこでは、野地竜太やギャリー・オニール、ニコラス・ペタスらが出場候補に挙がっている。

また、もっと驚くのが、その「Kネットワーク」のリングで、総合格闘技の試合も行われるということだ。遂に極真の選手が総合にチャレンジする。これは、K―1参戦の時以上のインパクトを与えるかもしれない。

そうなると、もはや「Kネットワーク」は〝地上最強のカラテ〟を証明する場になると言ってもいい。もう〝地上最強のカラテ〟をコンセプトとして、極真が本気で動き出したということだ。そんな極真の姿にはもちろん賛否両論あるだろうが、昔からの極真信者の中には拍手を贈る者も少なくはないだろう。とにかく、これもまた見逃せない現象だ。■

▼旧UWF時代、前田日明社長もシュートボクシングのシーザー武志会長にキックを習ったことがある

対決

マット界大ボーダーレス現象発生

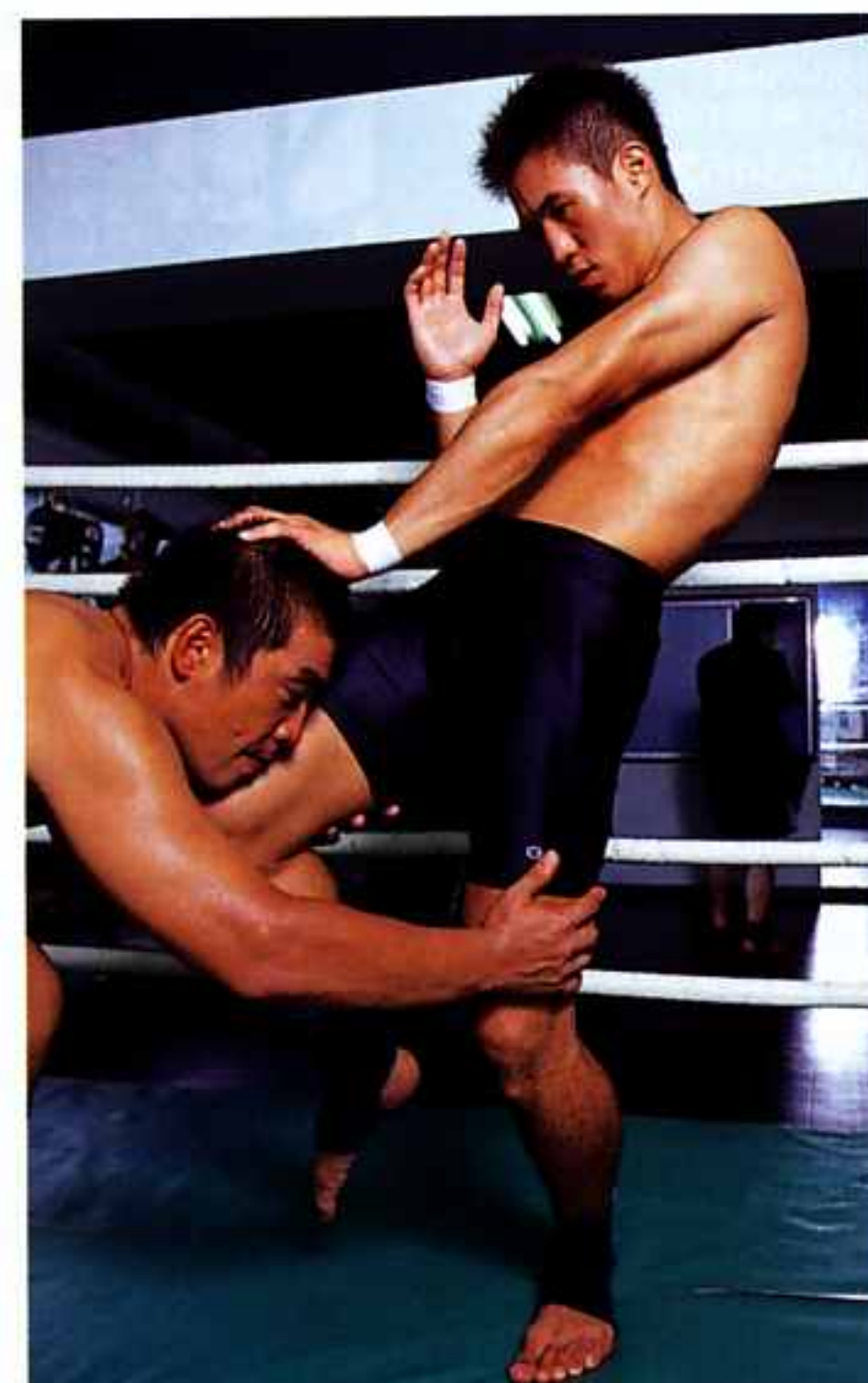
打撃格闘家、続々総合に挑戦！リングスVS SBにも注目せよ！

前号でもお伝えしたように、リングス10・20代々木第2体育館大会にシュートボクシングのエースであり、現フアルコン級王者の緒形健一が初参戦することになった。

今、マット界は『プライド』やリングスのようなステージの中で巨大なボーダーレス現象が生まれている。その中で主流を占めるのが、K―1が猪木軍に挑戦したり、極真が総合に進出するなどといった、立ち技格闘技の総合化である。

その中で、投げ技・立ち関節をルールに取り入れた、スタンディング・バーリ・トゥードのシュートボクシングは、リングスを舞台に選んだ。しかも、いきなりエースの緒形を出してくるあたり、創始者・シーザー武志会長の本気度がうかがえる。緒形自身、胸を借りるという甘い意識はなく、団体の存亡を賭けた対抗戦の戦闘モードに早くも入っているという。

シュートボクシングは、このリングスを皮切りに、中国の実戦武術"散打"やヴァンダレイ・シウバの所属する「シュートボクセ」と次々に他流試合を展開。リングスもまた中国3千年の歴史を持つ、散打との交流は興味津々のようだ。

なお、リングスの同大会に出場予定だった注目の新星ヴォルク・アターエフは、10月の散打世界大会に出場することになったため欠場。この散打をはじめとする、打撃だけではない立ち技格闘技が今、見つめ直されている。■

▲もはや他流試合の戦闘モードで"負けられない"と気負うエース緒形健一

▼なんと、カーロス・ニュートンや話題のドス・カラスJrまで参戦する10・14バトラーツNK大会。本当に豪華だ

逆境

「ZERO—ONE」問題で観衆がナント99人

それでもバトラーツは元気！10・14NK大会は超豪華カードだ

「マーク・ケアー移籍問題」に端を発し「ZERO—ONE」と決別したバトラーツは、今やマット界の大ヒールに成長。猪木―橋本の絶縁騒動で一番の被害を受け、なんと9・14ディファ有明大会では観衆99人という異常事態にまで陥ってしまった。

しかし、そんな記録的な不入りになっても、バトラーツは社運を賭けたNK大会を成功させようと、驚くほど豪華なカードを取りそろえた。ファンにはひんしゅくを買ったが、関係者との信頼関係は、今回の一件でさらに強まったようだ。

前号ではK―1からモハメド・アリ、『プライド』からは、クイントン、シャノン・リッチ、バス・ルッテンを借り受けたが、今回新たに『DEEP』で一躍時の人となったドス・カラスJrと、UFCのチャンピオンになったカーロス・ニュートンの招聘にまで成功したのだ。

しかも、どのカードも興味深いものばかり。ルール面でも「異種格闘技ルール」から、『プライド』ルール、UWFルール、ルチャ・リブレルールまで採用することになった。本当にこのあたりの逞しさには頭が下がる思いだ。

「猪木軍VSK―1」の余波をモロに受けたバトラーツ。果たして、この10・14NK大会で神風は吹くのか、それともこの興行で大赤字となり、このまま潰れてしまうのか？これもまた要チェックだ。■

10・14☆NKホール バトラーツ VS WORLD 7対7全対戦カード

ルール			
●異種格闘技ルール	石川雄規［バトラーツ］	VS	モハメド・アリ［K-1］
●PRIDEルール	アレクサンダー大塚［バトラーツ］	VS	クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン［PRIDE］
●ルチャ・リブレルール	村上和成［UFO］	VS	ドス・カラスJr［ルチャ・リブレ］
●バトラーツルール	臼田勝美［バトラーツ］	VS	カーロス・ニュートン［UFC］
●UWFルール	バス・ルッテン［フリー］	VS	カール・マレンコ［バトラーツ］
●バトラーツルール	松井大二郎［高田道場］	VS	シャノン・"ザ・キャノン"・リッチ［PRIDE］
●バトラーツルール	小野武志［バトラーツ］	VS	タノムサク鳥羽［キックボクシング］

格闘技オフィシャルショップ
WORLD SPORTS PLAZA
KINGS
Produced by JAPAN SPORTS VISION Co.,Ltd.
www.jsv.co.jp
ワールドスポーツプラザ KINGSは
格闘技団体公認のもとに日本で初めて
格闘技グッズを一堂に集めた
格闘技オフィシャルショップとして
全国に展開中です。
EVENT INFORMATION
8/25(土)前田憲作選手、柳沢龍志選手、小比類巻貴之選手
大山峻護選手
トークライブ&サイン会
ジャパン
格闘技5
フェスティバル
好評のうちに終了!
たくさんのお客様のご来店、まことにありがとうございました。これからもKINGSならではのイベントにご期待ください!
SHOP LIST
10.5 fri.
新 浜松店
浜松駅ビル
メイ・ワン3Fに
待望のオープン!!
☎053-457-4043 OPEN 10:00~20:00
木レジェンドTシャツ 浜松店別注カラー(2色)各20枚限定販売!
■渋谷本店
【ファイヤー通り・ワールドスポーツプラザWEST1F】
〒150-0041
渋谷区神南1-9-5
☎03-3462-1001
・渋谷駅より徒歩5分
キングス渋谷本店
明治通り
キングス渋谷EAST店
宮益坂
渋谷駅
■上野店【上野中通】
〒110-0005
台東区上野4-6-6
☎03-5807-2260
・JR/京成「上野」駅より徒歩5分
・JR「御徒町」駅より徒歩3分
・地下鉄「上野広小路」駅より徒歩4分
上野公園
JR上野駅
上野店
■渋谷EAST店【明治通り】 ☎03-5468-3177
■新宿店【新宿3丁目交差点・JTB隣】 ☎03-3341-1135
■池袋パルコ店【池袋パルコ6F】 ☎03-5391-8388
■吉祥寺パルコ店【吉祥寺パルコB1F】 ☎0422-21-8824
■大宮ロフト店【大宮ロフト1F】 ☎048-648-6858
■横浜みなとみらい店【クイーンズスクエア横浜[アット!]3rd 2F】 ☎045-682-2830
■水戸店【リヴィン水戸店4F】 ☎029-226-0380
■札幌パルコ店【札幌パルコ本館7F】 ☎011-214-2351
■仙台店【サンモール1番町 青葉通り】 ☎022-221-7712
■新潟店【万代シティバスセンター2F】 ☎025-290-3776
■名古屋パルコ店【名古屋パルコ東館5F】 ☎052-264-8588
■京都河原町オーパ店【河原町オーパ8F】 ☎075-255-8090
■大阪店【心斎橋パルコ6F】 ☎06-6281-8166
■神戸店【三宮本通り】 ☎078-327-4611
■広島店【サンモール 5F】 ☎082-245-6166
■福岡ジークス天神店【ジークス天神B1F】 ☎092-715-3399
■福岡キャナルシティ店【キャナルシティ オーパ2F】 ☎092-263-2126
■大分パルコ店【大分パルコ5F】 ☎097-573-4311
①桜庭和志'01AUTモデルTシャツ ……¥3,800
■サイズ:S/M/L/XL
■:カラー:ネイビー
このマークの商品はKINGS限定商品です。
WORLD SPORTS PLAZA KINGS EXCLUSIVE
③桜庭フィギュア …¥1,500
39#SAKU
桜庭
②桜庭和志ロングスリーブTシャツ ……¥4,700
■サイズ:S/M/L/XL
■:カラー:ブラック
GRABAKA
上/⑪GRABAKAモデルパーカー …¥7,900
■サイズ:M/L/XL
■:カラー:ネイビー/ホワイト/グレー
右/⑫美濃輪 THE PUNK パーカー …¥6,800
■サイズ:M/L/XL
■:カラー:ブラック/グレー
THE RECKLES FIGHTERS CLUB
WRESTLING
④高田延彦'01AUTモデルTシャツ …¥3,800
■サイズ:S/M/L/XL
■:カラー:ネイビー
NEVER STOP
左/⑬スペシャルワード L/S Tシャツ ¥3,800
■サイズ:S/M/L ■カラー:ホワイト/レッド/ネイビー
右/⑭美濃輪スカル L/S Tシャツ ¥3,800
■サイズ:M/L/XL ■カラー:ホワイト/ブラック/レッド
THE RECKLESS FIGHTERS CLUB
⑤高田道場ロングスリーブTシャツ …¥4,200
■サイズ:S/M/L/XL
■:カラー:ブラック
MASATO
⑮TEAM M DIRT Tシャツ ……¥4,500
■サイズ:S/M/L/XL
■:カラー:ブラック/ホワイト
⑯魔裟斗 フィギュア ……¥2,000
■KINGS限定、チャンピオンベルトシール付
右/⑥闘魂猪木塾 Tシャツ …¥3,500
■サイズ:S/M/L/XL ■カラー:ブルー/レッド/ネイビー
闘魂猪木塾
⑨アントニオ猪木フィギュア「HOME LESS」…¥1,500
⑦ROAD TO INOKI Tシャツ #6 MANJI ……¥4,200
■サイズ:S/M/L/XL
■カラー:グリーン/ブルー/ブラック
SOUL
⑧SOUL ウイナンヤックスTシャツ …¥3,500
■サイズ:S/M/L/XL
■カラー:イエロー/ホワイト/ブルー/ブラック
VIDEO
⑩猪木語録~燃える闘魂篇~
JSV1003536 55分 ¥2,980
すべての猪木信者に送る究極の"猪木聖書(バイブル)"遂に登場。アントニオ猪木の数々の名言・名シーンを、新日旗揚げから現代まで一挙収録。「"ダーッ"の変遷」・「ガウンの変遷」・「入場シーン」も特集。
「猪木語録~闘魂伝承篇~」10/25発売
猪木語録
燃える闘魂篇
XYPEX
⑰小路晃 サポーターTシャツ ……¥3,500
■サイズ:S/M/L/XL
■:カラー:ホワイト/サンド
⑱クラブコンテンダーズTシャツ ……¥3,900
■サイズ:S/M/L/XL
■:カラー:ホワイト/ブラック
全国通信販売OK!
☎03-3462-7775
まずは、お電話にて商品の在庫と商品代金をご確認下さい。
受付時間 11:00~19:00 年中無休
〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-9 キングス通販部
振込口座:東京三菱銀行 渋谷明治通支店(普通)3602717
口座名:(株)日本スポーツビジョン
●通信販売のお申し込みは商品合計金額4,000円(税抜)からでお願いします。 ●20,000円(税抜)以上のお申し込みで送料無料になります。(一部地域を除く)
SPORTS DEPO 全国31カ所にKINGS格闘技ブース登場!!
一部取扱いの無い商品もあります。予めご了承下さい。
北海道・北広島市/スポーツデポ大曲店 ☎011-377-1477
北海道・釧路郡/スポーツデポ釧路店 ☎0154-36-8388
青森・青森市/スポーツデポ青森店 ☎017-783-4860
山形・山形市/スポーツデポ山形店 ☎023-681-2751
秋田・秋田市/スポーツデポ秋田店 ☎018-867-0201
宮城・仙台市/スポーツデポ仙台泉店 ☎022-776-3981
福島・郡山市/スポーツデポ郡山フェスタ店 ☎024-958-6401
新潟・上越市/スポーツデポ上越店 ☎0255-45-6270
富山・婦負郡/スポーツデポ ファボーレ婦中店 ☎076-465-1930
石川・金沢市/スポーツデポ金沢店 ☎076-266-1770
群馬・高崎市/スポーツデポ高崎店 ☎027-363-2221
千葉・習志野市/スポーツデポ メルクス新習志野店 ☎047-453-0522
千葉・市川市/スポーツデポ ショップス市川店 ☎047-393-5281
神奈川・川崎市/スポーツデポ川崎店 ☎044-366-0980
静岡・沼津市/スポーツデポ沼津店 ☎0559-20-3167
長野・長野市/スポーツデポ長野店 ☎026-222-2244
愛知・名古屋市/スポーツデポ山王店 ☎052-323-8441
兵庫・神戸市/スポーツデポ サンシャインワーフ神戸店 ☎078-452-5721
鳥取・鳥取市/スポーツデポ鳥取店 ☎0857-32-1630
広島・福山市/スポーツデポ福山店 ☎0849-22-7161
香川・高松市/スポーツデポ高松伏石店 ☎087-866-5004
高知・高知市/スポーツデポ高知店 ☎088-860-3321
福岡・大野城市/スポーツデポ太宰府インター店 ☎092-504-5636
福岡・福岡市/スポーツデポ マリノアシティ福岡店 ☎092-884-3312
大分・大分市/スポーツデポ大分店 ☎097-542-7910
沖縄・那覇市/スポーツデポ天久店 ☎098-861-0460
北海道・小樽市/アルペン マイカル小樽店 ☎0134-34-8603
石川・石川郡/アルペン野々市店 ☎076-294-7671
栃木・小山市/アルペン小山ゆうえんち店 ☎0285-21-0210
長野・松本市/アルペン ステーションパーク松本店 ☎0263-27-3727
愛知・岡崎市/アルペン ハイパーマート岡崎店 ☎0564-54-8251

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX

スペシャル・リング・ガイド

No.55　10・25 臨時増刊号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

祝

激動の格闘技界に大きな山が動く――

よくぞ言ってくれた、松井館長！
「極真は、やっぱり〝地上最強のカラテ〟です」

激動の格闘技界で巨大な山が遂に動いた。本誌は打撃格闘技の母体となっている「極真空手」がプロの興行をやるのでは？　という情報をキャッチ。その真相を探るべく、松井章圭館長にインタビューしてみた。果たして「Kネットワーク」とは何か？　いったい何をやろうとしているのか？　これは見過ごすことができない大事件だ！

聞き手◎谷川貴治（本誌編集長）

――松井館長、今日はですね、極真がプロのイベントをやるという噂が結構出ていますんで、真相を確かめに来たんですよ。

松井　極真本体がそういうことをやるのではなくて、極真も関わって新たに立ち上げる組織がその舞台を運営していくんです。ただその「Kネットワーク」には極真の選手も参加していくことになると思います。

――えっ!?　ということは、本当にやるんですね。その「Kネットワーク」というのを詳しく教えてください。

松井　そうですね、「Kネットワーク」というのは、例えば、現状ではキックボクシングスタイルのプロの最高峰としてK―1というものがありますね。そして、いわゆる総合格闘技には『プライド』のような象徴的な舞台がある。「Kネットワーク」というのは、そういうK―1や『プライド』のような舞台に取って代わろうとしているわけではないんです。例えば、極真会館の内部的に見ても、プロの舞台で自分を試してみたいという価値観を持った選手が出てきている。極真はフィリォ以降、そういう価値観も認めているんですが、そういう人間に対して「分かった。認めようじゃないか」と言うだけでは、あまりにも無責任じゃないですか。そういった一流の場に出るには、やはりそれなりの経験と学習というものが必要になってくるでしょ。

――あー、はいはいはい。

松井　例えば同じ音楽というジャンルで、弦楽器だからと言ってもギターの弾き方とバイオリンの弾き方は全然違う、同様のことが格闘競技にも言えるわけです。「Kネットワーク」では、そういった意味での体験的学習と様々な意味での交流の場を作ろうとしているんですよ。現在のように、格闘技が多種多様化している時に、競技として異なってはいても、格闘技の全てが闘争という実戦から始まっているために、どの競技の特性も無視することはできないんです。

――なるほど。これは凄く聞きたいことがありますねぇ（笑）。じゃあ、まずその「Kネットワーク」を立ち上げようとした動機はなんなんですか？

松井　一言で言って、それは時代ということです。現在の環境や状況から来る要求ということです。我々が何かを目論んだり、仕掛けようとしているわけではないんですよ。フィリォがK―1に参戦した時もそうでしたけど、彼は自分がやってきた極真空手を通じて、その技術と精神を生かしてプロの舞台に上がってみたいという気持ちがあった。それと現実問題としてプロになることで、自分の格闘家としての能力を生活に還元したいという希望があったんですね。で、そういう動機のもとに、その当時目の前にK―1

極真会館がプロをやるんじゃなく「Kネットワーク」という組織がやるんです

があったんです。

――グローブをつけてどこまでやれるのかという気持ちと、ファイトマネーで生活していきたいという2つの気持ちがありましたよね。たしか、第6回世界大会で数見選手に負けた頃でした。

松井　そうですね。まあ当時はフィリォもどうしてもK―1じゃないと、という気持ちはなかったんですけど、様々な条件の中で、K―1が一番合致した舞台だという結論に達した。それで我々は組織容認の形でフィリォを送り出しました。でも、自己の可能性の追求というのは、さかのぼればアンディ・フグだってそうだったし、ウィリー・ウィリアムスだってそう。キック創生期にムエタイに挑戦していった先輩たちも同様だったと思います。で、ここが大切なんですが、彼らがなぜそういう行動を起こしたかというと、これはもう「大山倍達の遺伝子」なんです。

――大山倍達の遺伝子！

松井　そうですね。これは「大山倍達の遺伝子」なんですよ。総裁の原点も振り返ってみれば、〝超人追求〟なり〝地上最強のカラテ〟を目指して、世界中に渡って他流試合を求めてきた。その結果、今のような極真空手があるんです。ただ、アンディの時代以前というのは、大山総裁が自らの経験の中から信念を持ち、作り上げた舞台があったので、組織活動の中で他への挑戦というのは時代と逆行するということだったと思うんです。だから彼らも極真という組織を離れざるを得なかった。ところが歴史は繰り返すと言うか、時代自体が開拓期に戻ってしまった。そこで、フィリォ以降、そういった「大山倍達の遺伝子」が顕在化し、グラウベが追い求め、ニコラスが可能性を見い出していった。そして今、野地がいると。それと同時にリングスに出ていったタリエルとか、コーチキンとか、クレメンチェフがいるわけですよ。

――はいはいはい。

松井　総裁が求めてきたというのは、結局〝最強〟だったわけです。で、ここに至って極真が最強を求めていく時にね、これはもちろんウチが世界的規模でやっている競技というものもあるんですけど、競技というのはどれをとっても一長一短があるんです。でも、だから実戦空手、地上最強を目指した時に、あえて競技に止まらない強さを求めるという「大山倍達の遺伝子」が、確実に現代に息づいているんです。

――そりゃあ、総裁の生きてきた時代というのは、K―1もアルティメット大会もほとんど誕生した頃でしたからね。

松井　だからグローブに限らず、これだけ多種多様化している格闘競技に対して「大山倍達の遺伝子」を持っていたら、自分がどこまでやれるんだ、極真はどこまでやれるんだっていう声は、当然湧いてくるんですよ。我々は極真会館として総裁が作ってきたものを壊すつもりはないし、今後もそこを突き進むんですが、組織にはいろんな個性や価値観が集まってくる。そういった個性や価値観の可能性を育んでいくのも、組織の大きな役割だと思うんですよ。大山倍達がやらなかったことをなぜ松井がやるんだと言う人も中にはいるかもしれませんけど、逆に言えば時代が変わってきてますから、当然それに適応していく部分を持たないと組織は生き残れないと思うんです。

――今、K―1や『プライド』が出てきてる状況で、極真が行動を起こさずに〝地上最強〟を謳っても、若い世代はま

▲フィリォがK―1に参戦してから、極真は組織としてもプロ参戦も認めるようになった。そして、ニコラスは遂にK―1ジャパンGPを制覇

ったく相手にしないでしょうね。

松井　例えば極真自体を見ても、日本発世界へと広まってきて、世界が日本の空手に注目していた時代から比べても、フィリォが世界を獲ったことで、逆に日本が本来あるべき姿を取り戻すために世界に注目していかなければならない状況にあるんですから。これはもう時代の要請なんです。そういう意味では、大山倍達の原点というものをよく見据えながら、我々も進化していく必要があるんです。でも、だからといって間違えてほしくないのは、極真会館全体の方向性が変わるということではまったくありません。ある意味ではそういった活動は、改めて総裁の築いた極真会館というものの組織や理念や技術というものが正しいものであったという裏付けになるのではないかと考えています。

――なるほど。要するに選手の選択肢の幅を広げてやるってことですね。そうしないと優秀な選手は集まって来ないし、やめちゃうぞっていう。

松井　まぁ、それもそうですし、時代と共に多種多様化する個性や価値観にそって組織としても取り組むべきだと思います。でないと、余計に組織が変な方向へと行ってしまう危険性もある。組織として取り組めば必ず選手たちからのフィードバックはありますからね。

――「Kネットワーク」というのは、そうした選手の欲求を満たす場に送り出すための第一ステップの場だと。

松井　これだけ多様化している格闘技界の技術的な交流の場であったり、組織的な交流の場にしていこうと考えています。ファイトマネーが生じてくるという意味では、この舞台はプロと見なされることになると思いますが、私はここをプロとアマの交流の舞台にしていきたいと考えているんです。

――プロ対、極真のようなアマチュアの対決という?

松井　極真会館の立場で言うと、技術的にも精神的にもプロ以上のアマチュアという意識は昔からあったわけですから、それを実証する一つの場として役立ててほしい。プロの人たちから見れば、「こいつらがアマチュアなのか。ナメられないな」というふうに、実力を感じてもらえる舞台になるかもしれないし、逆にプロの厳しさを知らされることもあるでしょう。「Kネットワーク」の由来は、我々がやっているのは空手ですしね。極真という意味でも、Kじゃないですか。いみじくも、我々がK―1に出ていく時に、石井館長も「K―1のKは極真のKですから」みたいなことを言われてましたけど(笑)。

――ガッハハハハ。またそんなことを(笑)。

松井　そういう意味で我々も使わせてもらおう、と。そこから広がっていくネットワークですから「Kネットワーク」という名前になりました。

――「Kネットワーク」としては、入るための決められた資格があるんですか?

松井　そういう主旨に賛同していただいて、そこに参加してくれる人たちには門戸を開いていきたいと思ってます。まあ、極真会館というと、なかなか参加しづらい人たちもいると思うんですね。ですから、ウチからも出て行くし、そちらからも来てください、と。そこで技術的な交流を図って、各々自分たちのところへ持ち帰ったらいい。逆にそこからK―1や『プライド』のような舞台を目指そうと思えば、それでも構わないですし。

極真が他の舞台に上がるのは「総裁の遺伝子」
我々の理想は“地上最強のカラテ”ですから

――今回、僕が驚いたのは、その「Kネットワーク」に松井館長自身が実行委員長として名を連ねていることなんですよ。今まで、松井館長はそういう表舞台には出て来なかったじゃないですか。

松井　それはある意味、要請があったからですね。組織内部で、そうした声が湧いてきて、私自身それを受け取らなきゃいけない時期にきているんじゃないか、と。また、極真会館を母体にしているフルコンタクト空手団体やキックのジムも、私が、あるいは極真会館がリーダーシップを取ってくれるんだったら、ぜひ参加したいという声が同時期に重なったんです。そこで、極真の組織内部でも了承された上で、立つことになったんです。

――へぇ〜。それと重要なのは、今日のインタビューでは、松井館長が極真のことを〝地上最強のカラテ〟って言ってることですよ。これまで松井館長は、自分たちのことを〝地上最良のカラテ〟って言ってきたじゃないですか?

松井　たしかに、大山倍達は常に〝地上最強〟を目指して活動してきましたけど、その延長線上にできた極真というレールに乗った我々が〝地上最強〟を謳うことができなかった理由は、現実問題として、組織を整備していく段階で、他者を含めて「地上最強」を謳うことがはばかられる状況もあり、競技として今の極真の大会をもっと掘り下げていかなければならなかったからです。それに、総裁の時代と比べても格闘技界は激変していますからね。だから我々は〝地上最強〟を夢見ながら、現実的に〝地上最良・最高〟の舞台を作り上げていこうという表現をしていたわけですよ。でも、どこまでいっても我々の〝最強〟に対する夢は消えない。なぜなら、それは総裁が亡くなられても、我々に遺伝子として残ってますからね。これは私自身も嬉しかったんですが、いくら私が極真のことを〝最良〟と表現しても、フィリォやグラウベ、ニコラス、野地らがそういう遺伝子があることを裏付けてくれてるんですよ。それを確信して、これはもう組織としても、まったく無関係ではいられないな、と。

――僕は松井館長が〝地上最良〟と表現

▲「Kネットワーク」の旗揚げ戦で注目されるのが野地竜太。野地は10月12日、全日本キックのリングでも3度目の挑戦を果たす

した時、松井館長は現実をよく直視しているし、新しい館長としてあまり大きなことを言えないんだなと思ったんですよ。その反面、極真が〝最良〟でいいのか、と。大山倍達は〝最強〟と言ってたじゃないかという歯がゆさもあったんですね。だから、松井館長が〝最強〟と言ってくれるのは、非常に嬉しいんですよ。

松井　その谷川さんの意見というのは、極真内部の人たちからも持ち上がっているんです。幹部の人たちからも「最強と謳ってくれ」と。改めて、地上最強を目指すという組織的な意識統一がなされたんです。それをもって、私は今回ここに踏み出すわけですよ。

――ということは〝地上最強のカラテ〟の解禁ですね（笑）。

松井　ええ、組織的に納得してくれました。ただ私もある意味、極真は社会に根を下ろしていく団体ですから、最良を目指すということは必要だと思うんです。

――でも、館長！　〝最良のカラテ〟というのは、格闘技的に見たら、「安全だ」とか「最強じゃなくてもいいんだ」と聞こえちゃうんですよ。

松井　だから、そういう意味で「Kネットワーク」の実行委員長を引き受けたというのは、内外から賛否両論あると思うんですけど、それらを全て呑み込んで、もう一度総裁の原点に立ち返ろうということなんです。〝最良のカラテ〟はもちろん大切にする。けれども〝最強のカラテ〟の遺伝子も決して芽を摘んだりすることはないようにしていこうと考えているんです。

――逆に今「K―1VS猪木軍」という流れがあって、石井館長は「猪木軍と闘うのは、K―1が地上最強のカラテを目指しているから」って言ってるじゃないですか。それでミルコとかが出ている。それに対して松井館長なんかはしゃらくさいと思ってるんじゃないですか？（笑）。

松井　いやいや（笑）、まぁ石井館長も猪木さんも素晴らしいんだろうと思うんですけど、でも、〝地上最強〟とか〝空手バカ一代〟は極真の専売特許だという意識はあります。たしかにミルコはあのルールで打撃の可能性を見せてくれたわけですけど、空手の選手じゃないですからね。我々の立場で言うと〝地上最強のカラテ〟とか〝空手バカ一代〟はワンセンテンスの単語だから。その単語を作ったのは、大山倍達であり、極真会館ですからね。石井館長は個人的に大先輩ですし、極真を母体にしてきたというのは理解しているんですけど、ちょっと待ってください、と。〝地上最強のカラテ〟や〝空手バカ一代〟を引き継いでいるのは、我々極真の人間でなければならないという意識は強いです。これは石井館長にも納得していただけると思いますけど。

▲「〝地上最強のカラテ〟や〝空手バカ一代〟は極真の専売特許」と語る松井館長。いいぞーっ

極真はウチ一本！　誰が見ても一番ですよ。文句があるなら"かかって来い"と！

――でも、逆に極真が〝地上最強〟を謳わなかったら、世間のイメージも変わっていくと思うんですよ。大道塾だって、K―1だって、どこの流派だって、〝地上最強〟とか〝超人追求〟の意識はあると思うんですね。このままだと、「地上最強のカラテはミルコだっ」ってことにもなりかねませんからね（笑）。

松井　まぁ、おっしゃるとおりだと思います。だから、我々は〝最強〟であって、〝最良・最高〟のものを常に目指していかなければならない。〝最強〟だけど、〝最悪〟ではいけませんからね。我々が目指していく〝最良・最高〟というのは、「頭は低く、目は高く、口慎んで心広く、孝を原点として他を益する」という大山総裁の極真の精神を「実戦なくんば証明されず、証明なくんば信用されず、信用なくんば尊敬されない」という理念の基、実行していこうということです。

――いやぁ、僕なんか松井館長が〝最強〟って言ってくれたら、メチャクチャ嬉しいですよ。どんどん言ってください（笑）。

松井　せっかくですから、さらに言わせてもらえば、極真会館も総裁が亡くなってから分裂してうんぬんやっているし、訴訟にもなっています。だけど、政治的なもの、法的なもので解決していかざるを得ないものはあるにせよ、これまでの組織活動の実績を裏付けとして、本来、極真会館のあるべき姿として、我々こそが正当だと思っています。それは組織的な規模としても、世界的な選手層としても、極真魂を持って失敗や一時的に敗れることを恐れずに、内外を問わず、新しい試みに挑戦していく姿勢にしても。また、活動を世に問うという意味でのマスコミ等での露出にしても、我々は常に社会に向けて証明してきたつもりです。誹謗、中傷、抵抗はたしかにありますが、これまでにも述べたように「実戦なくんば証明されず、証明なくんば信用されず、信用なくんば尊敬されない」という総裁の理念の基、実績を積んでいると自負してます。我々以外で、「国際空手道連盟極真会館」の看板を出して活動している人たちもたしかにいますが、これまでの経緯を見れば分かるように、主義主張や大義名分を持たない集団は再分裂し、離反した個々人は自分の保身だけを考えて、敵の敵は味方的に結びつき、離合集散を繰り返し、各々が生きやすい場所を選んで、居場所を変えているにも関わらず、国際空手道連盟極真会館〇〇支部〇〇道場という看板を恥ずかしげもなく勝手に揚げ、あたかも一貫した一大組織の中で活動しているかのように世間に見せる。本当に情けなく感じます。おそらく、私のこの発言を聞けば、彼らは憤りを感じるかもしれませんが、その前に、自らを省みることが必要なのではないかと声を大にして言いたい。この部分に関しては、この場を借りて断言しておきます。極真会館はウチ一本です。勝手に名を名乗る集団をあえて視野に入れるとしても、極真会館として我々が最強の集団です。もし、不服があるのであれば、我々からわざわざ弱い舞台に降りていくという理由を見い出さないので、規模としても、選

手層を見ても、認知度をとっても最高の舞台である我々の主催する大会に、彼らが一番強い選手を出してこいと言いたい。それこそ、総裁が言われていたように、我々は後ろは見せません。

——いやぁ、今日の松井館長は素敵だ(笑)。

松井　私は決してタカ派ではありませんし、基本的には平和主義者ですが、これ以上、下がってはならないという場面ではやっぱり極真空手の幹というものは大切にしていきたいし、「大山倍達の遺伝子」はしっかりと受け継いでいかなければと考えてますからね。

——松井館長は、全然タカ派ですよ(笑)。では、もうひとつ聞きたいんですが、「Kネットワーク」の試合というのは、やっぱりK—1ルールに近いものになりますよね。そうすると、これはK—1の対抗勢力になるんじゃないか、遂に松井館長と石井館長が闘うんじゃないかというふうに見る人も多いと思うんですが、それはどうなんですか。

松井　現状の我々とK—1、正道会館、石井館長との友好的な関係からいって、我々から望んで対立構造を生むつもりは決してありません。「Kネットワーク」というのは、K—1とか『プライド』のような大きな舞台に上がっていくためのステップになると思うし、仮に将来、「Kネットワーク」がそれなりに発展していったとしたら、ボクシングのWBAやWBCのように位置づけられる可能性はあるかもしれませんが、あえてそうしようという意図も現在は持っていません。

——K—1とは喧嘩しない？

松井　イベントとしてK—1と喧嘩するよりも、「Kネットワーク」から生まれた選手がK—1でも活躍していけたらいいんじゃないですか。それに、私の幹というのは、あくまでも極真会館にあるわけですから。極真の世界大会や全日本大会をどれだけ質の高いものにしていくか、あるいは選手の質や組織の質をどれだけ高いものにしていくかが本分だと考えてますし。先程から申し上げているように、我々がそれを実証するための「Kネットワーク」だと考えています。だから、フィリォ他の選手に関しても個人としての他流試合というか、挑戦にも組織的なバックアップが必要だと考えています。私が「Kネットワーク」のプロデューサーになって、プロのイベントに専念するようなことはないんです。

▲極真の中で総合に取り組もうとしているのは、岩崎達也だった

我々の舞台では"総合"もやっていく 岩崎達也が「やりたい」と言ってます

——じゃあ、「Kネットワーク」では、いわゆる周囲から押し上げられて、御輿に乗るってことですか？

松井　その表現にはちょっと違和感を感じます。要するに、極真会館の館長職の中に、もうひとつ、どうしてもやらなければならないことが増えたということですね。極真の選手が他の舞台に挑戦したいと望んだ時、なんのサポートもないまま、許可だけするのではあまりに無責任ですから。

——ああ、なるほど。

松井　だから、石井館長にはプロデューサーとして頑張っていただきたいと思います。フィリォがGPの3位になったとか、ニコラスがジャパンで優勝した程度で舞い上がるなとK—1ファンや石井館長には思われているかもしれませんが、我々も今はまだ過程だと思っていますから。K—1という舞台もまたそこに出場する選手も、お互いにふさわしいクオリティーを保つべく、より高いところを目指していけたらいいですね。そして、極真が最強であると証明できる場として活用させていただきたいと思います。

——総合のほうにも、極真の選手が乗り出すってことは、僕は凄く大きいことだと思うんですよ。

松井　それもK—1とまったく同じですよ。日本人の選手の中にも、もう噂が出てますけど、岩崎達也が「やる」と言っています。それも「大山倍達の遺伝子」のひとつと考えたら、組織としてしっかり考えてやらなければいけない問題だと思うんです。

——岩崎達也選手が！

松井　そうですね。今後、他にもそういう選手は必ず出てくるでしょうね。

——じゃあ「Kネットワーク」というのは、K—1ルールみたいなものと、総合ルールの両方をやるんですか？

松井　まあ、現在委員会のほうで検討中ですから、10月の上旬には記者発表できると思います。ルールについても、具体的にいつ、どこでイベントが行われるとか、誰が出るかについても、その時お話ししますから。

——いやぁ〜、具体的なことがもっと聞きたいんですけどねぇ。イベントはいつ頃になりそうですか？

松井　まあ、正式には来年の初め頃になるでしょうね。

——いやぁ、本当に格闘技界は激動ですね。もう一度聞きますが、それは極真会館の内部でも調整ができているんですよね。

松井　はい。今日は概念的なことしか言えませんけど、近日中には発表しますので。これから私、ニューヨークで開かれる「アメリカズ・カップ」に行かなければならないんですよ。無事に帰って来られたら、またこの続きをやりましょう(笑)。

——えっ!?　館長ニューヨークに行くんですか？　本当に気を付けてくださいね。いつ戦争になるか、分からないみたいですから。

松井　でも、こんな情勢だからこそ、極真は大山総裁の提唱した、「世界平和」というものの一助になるためにも大会も開かなければならないと思うんですよ。だから、予定どおりアメリカズ・カップは開催します。この大会は今回のテロの被災者チャリティーとして行い、全収益金をNY市へ寄付してきます。

——はぁ〜、さすが極真。今日は僕の好きな極真の言葉がたくさん聞けて良かったです。■

21世紀最初の極真全日本王者は誰だ！

11・3～4 第33回全日本空手道選手権大会トーナメント表決定！

No.	氏名	身長	体重	年齢	段級	所属
1	木村靖彦	180	95	30	参段	本部直轄浅草道場
2	飯田孝久	175	71	26	初段	千葉中央支部
3	塩島修	162	70	26	初段	下総支部
4	徳田忠邦	180	97	25	初段	大阪南支部
5	佐野忠輝	168	103	30	初段	城西世田谷東支部
6	谷口誠	178	100	24	初段	大分支部
7	子安慎悟	170	87	27	参段	正道会館
8	菅野秀行	173	87	28	初段	城南川崎支部
9	御子柴直司	177	87	26	初段	横浜東支部
10	岩井早人	171	67	29	初段	本部直轄長野道場
11	宮崎清孝	171	79	28	初段	山口支部
12	吉田和幸	170	74	29	初段	城西吉祥寺支部
13	小野篤史	161	70	25	初段	京都支部
14	高嶋大樹	178	78	23	2級	栃木南支部
15	船先雄	173	80	21	初段	奈良支部
16	福田達也	168	74	31	参段	神奈川西湘支部
17	福井裕樹	171	69	25	初段	本部直轄柏道場
18	山本雅樹	173	82	31	弐段	千葉北支部
19	中橋光司	169	70	32	初段	富山支部
20	本多悟朗	174	75	27	初段	城西国分寺支部
21	鈴木由一	178	78	30	初段	城南川崎支部
22	藤田雅幸	180	90	26	初段	石川支部
23	佐藤康貴	177	82	25	初段	群馬東支部
24	尾崎亮	165	68	30	初段	城西世田谷東支部
25	入澤群	180	98	28	四段	総本部
26	渡部篤	176	94	29	初段	愛媛支部
27	西谷真志	180	85	24	初段	大阪南支部
28	木村剛	181	84	24	初段	城西世田谷東支部
29	村田達也	173	77	19	1級	埼玉支部
30	御手先太子	174	75	28	初段	鹿児島支部
31	佐藤英明	171	83	33	初段	宮城支部
32	田中健太郎	180	88	20	初段	横浜港南支部
33	幸龍敬	170	80	25	弐段	富山支部
34	岩崎伸之	175	74	28	弐段	愛知東南知多支部
35	今井勇一	166	70	33	弐段	愛知尾張名古屋支部
36	大塚裕樹	175	79	27	初段	横須賀支部
37	樋口恵士	178	91	24	初段	京都支部
38	川越祐介	174	86	26	初段	宮崎支部
39	加藤雅也	176	70	25	初段	静岡西遠支部
40	佐藤誉仁	179	90	24	初段	城西世田谷東支部
41	菅野哲也	180	88	27	初段	城南川崎支部
42	高本潤一	180	88	29	弐段	総本部
43	佐久間崇仁	178	83	23	初段	本部直轄柏道場
44	西村直也	163	65	37	弐段	東京城西支部
45	鈴木憲一	185	95	32	初段	本部直轄桜木町道場
46	加藤達哉	187	98	25	初段	正道会館
47	梅田文久	170	80	30	初段	福井支部
48	門井敦嗣	176	92	28	初段	下総支部
49	中川正士	186	90	26	初段	大阪南支部
50	渡辺秀則	188	110	27	2級	広島西支部
51	早田シン	170	75	28	初段	熊本支部
52	佐藤匠	185	92	18	2級	本部直轄桜木町道場
53	大森一矢	169	67	22	初段	本部直轄福岡道場
54	小野瀬寧	178	95	30	初段	千葉北支部
55	比内誠	171	73	24	初段	青森支部
56	杉山史紘	174	86	33	参段	横浜北支部
57	市川雅也	180	94	22	弐段	奈良支部
58	安芸晴康	166	65	27	初段	埼玉支部
59	沢田秀男	180	87	22	初段	正道会館
60	柳春逢	178	83	27	2級	湘南支部
61	廣直明	174	75	26	初段	城南川崎支部
62	小竹一也	182	90	33	初段	茨城古河支部
63	井野真孝	170	82	25	初段	三重支部
64	木立裕之	169	75	29	参段	本部直轄浅草道場
65	市村直樹	175	88	34	参段	城西下北沢支部
66	初川正彦	180	80	32	初段	駿河支部
67	高橋恒治	179	92	29	初段	千葉中央支部
68	本間徹	172	85	29	初段	京都支部
69	宇多村大介	188	100	26	初段	本部直轄新宿道場
70	青木修	174	78	25	初段	新潟支部
71	吉田敬一	177	88	26	2級	栃木南支部
72	安田幸治	174	70	28	弐段	兵庫支部
73	洪太星	185	88	20	2級	横浜港南支部
74	河野真一郎	175	86	26	初段	香川支部
75	大迫元喜	171	88	20	初段	滋賀支部
76	村尾健司	177	76	22	初段	正道会館
77	里山義和	170	77	29	初段	城西世田谷東支部
78	西岡慎悟	170	92	22	2級	福井支部
79	冨田好志	177	77	19	1級	愛知東南知多支部
80	足立慎史	180	93	31	参段	本部直轄浅草道場
81	田ヶ原正文	162	68	35	弐段	大阪南支部
82	櫻井貴光	177	84	25	弐段	群馬東支部
83	大渡博之	180	70	24	初段	正道会館
84	大貫直人	169	68	23	初段	横浜北支部
85	宮本岳司	173	80	23	初段	城南川崎支部
86	平野裕士	179	90	29	初段	茨城古河支部
87	ホルヘ・ゴメス	180	87	25	初段	埼玉支部
88	近藤博和	180	125	31	初段	城西世田谷東支部
89	山邉光英	182	92	27	弐段	本部直轄新宿道場
90	山下武範	167	72	29	初段	宮崎支部
91	岩井正人	171	68	29	初段	本部直轄長野道場
92	松村典雄	180	103	23	2級	本部直轄岩手道場
93	新妻耕平	171	79	21	初段	城西吉祥寺支部
94	小田桐武志	174	75	29	初段	青森支部
95	別府良建	173	85	20	初段	鹿児島支部
96	池田雅人	175	85	28	弐段	総本部
97	伊藤慎	173	80	28	弐段	総本部
98	岡村龍之	168	79	31	弐段	愛知尾張名古屋支部
99	倉田尚彦	175	79	25	初段	兵庫支部
100	内藤慎也	185	90	27	1級	湘南支部
101	古賀裕和	173	81	31	初段	城南川崎支部
102	河岡晶俊	178	89	29	参段	山口支部
103	大木大輔	176	80	25	初段	山形支部
104	徳元秀樹	180	105	28	初段	横浜港南支部
105	板井洋司	185	110	26	初段	東京城北支部
106	渡辺猛	173	77	31	初段	静岡西遠支部
107	中田功章	172	73	26	初段	富山支部
108	岩尾昌哉	174	86	24	初段	横須賀支部
109	木村一狼	175	83	31	1級	茨城古河支部
110	石井博裕	173	87	31	弐段	青森支部
111	日野正人	167	79	25	初段	本部直轄福岡道場
112	池田祥規	172	85	28	弐段	東京城西支部
113	進裕治	176	82	30	初段	城西世田谷東支部
114	成田薫	168	95	24	初段	秋田支部
115	山田幸信	175	90	27	初段	東京城東支部
116	日置亮介	177	83	24	初段	兵庫支部
117	大谷善次	170	76	32	弐段	城西国分寺支部
118	本間唯志	170	77	29	参段	総本部
119	山本光昭	172	82	29	弐段	北大阪支部
120	矢島真保呂	180	90	30	初段	城南川崎支部
121	日比野丈二	175	82	31	初段	総本部
122	外岡真徳	171	85	28	初段	正道会館
123	西田憲治	174	85	31	初段	岡山支部
124	佐藤正博	178	90	26	初段	千葉北支部
125	弓場祥生	177	88	23	2級	京都支部
126	竹田悦史	167	76	26	2級	三重支部
127	村上友英	171	85	30	初段	大分支部
128	木山仁	176	91	27	参段	鹿児島支部

データは左から順に身長・体重・年齢

ショック！ 2年連続で数見肇が欠場！

11月3～4日に東京体育館で開催される極真会館全日本大会のトーナメント表が決定した。各ブロックともに激戦が予想されるが、このトーナメント表の中に数見肇の名前がない。数見は昨年の全日本大会を欠場し、今年6月の世界ウェイト制大会で悲願の優勝。その勢いで久々の全日本大会復帰となるところだったが、ケガおよび体調不良のため欠場することになった。数見は2年連続で欠場となってしまったが、昨年度王者・木山仁との対戦が期待されていただけに残念である。

大会要項

開催日程◎11月3日（土）午前10時開場
午前11時開会式
午後5時終了予定
4日（日）午前10時開場
午前11時30分開会式
午後5時30分終了予定

会　場◎東京体育館
チケット情報はP50にてご確認ください

9/28FRI～10/11THU

CALENDAR

9/28 FRI	★『SRS・DX』55号発売日
9/29 SAT	■MA日本キック連盟/東京・後楽園ホール（17:30～）⬅p49
9/30 SUN	■パンクラス/神奈川・横浜文化体育館（16:30～）⬅p47 ◆PRIDE.17/チケット発売 ⬅p46 ◆PANCRASE 2001 PROOF TOUR/チケット発売 ⬅p47 ◆K-1 WORLD GP 2001/SRS・DX先行予約 ⬅p46
10/1 MON	■アルティメットボクシング/東京・後楽園ホール（18:00～）⬅p48
10/2 TUE	
10/3 WED	
10/4 THU	
10/5 FRI	●フジテレビ系『SRS』（26:00～26:30）放送 ⬅p69
10/6 SAT	
10/7 SUN	
10/8 MON	■K-1 WORLD GP 2001 in 福岡/マリンメッセ福岡（15:00～）⬅p46 ■ニュージャパンキック連盟/東京・Cassスポーツクラブ（16:00～）⬅p48
10/9 TUE	
10/10 WED	■日本女子ボクシング協会/東京・北沢タウンホール（18:30～）⬅p50
10/11 THU	★『SRS・DX』56号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

PRIDE

ファン待望の再戦、ついに決定！
そして、まさかの髙田vsミルコが浮上！

一部新聞報道では「桜庭、PRIDE離脱」と囁かれ、ファン待望の再戦、ついに決定！ファンは夜も眠れぬ日々を過ごしていたが、ファン待望のあのカード、桜庭和志vsヴァンダレイ・シウバが遂に決定した！『プライド15』のランペイジ戦で勝利し、復帰を果たした桜庭だが、今回が本当の意味での復帰戦といってもいいだろう。そして、さらに髙田延彦がミルコ・クロコップ戦をぶち上げた！ 8・19K-1ジャパンのK-1対猪木軍の闘いでの藤田の敗戦が記憶に新しい。「次は俺が！」と誰も名乗り出ないことを嘆いていた髙田だったが、まさか本人が名乗り出ようとは！今度は、『プライド17』が待ち遠しくて眠れぬ日々が続きそうだ！

髙田延彦　ミルコ・クロコップ

桜庭和志vsヴァンダレイ・シウバ

PRIDE.17
11月3日（土） 東京ドーム

◆開場/15:00　試合開始/17:00（予定）
◆入場料/VIP席100,000円　RRS席23,000円　スタンドS席13,000円　スタンドA席7,000円
◆チケット発売/9月30日（日）10:00～　一斉発売
◆チケット発売所/ドリームステージ、PRIDEオフィシャルサイト（http://www.so-net.ne.jp/pride）、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、サークルK／サンクス、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チャンピオン、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、後楽園ホール、AOコーナー☎045-440-3355、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319-2456、グレートアントニオ☎03-3219-9550
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

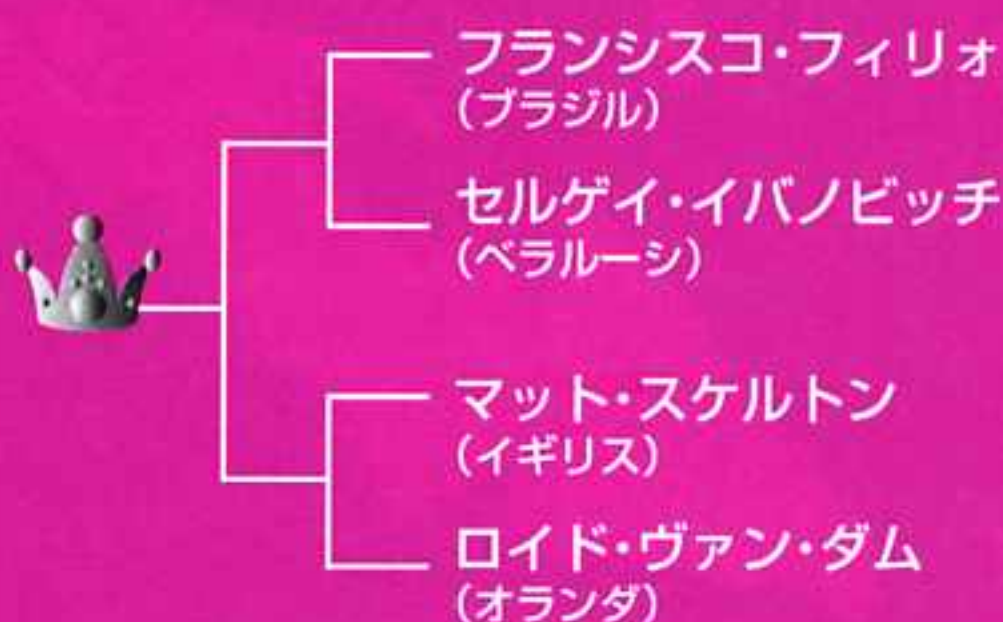
桜庭和志（髙田道場） vs ヴァンダレイ・シウバ（ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー）

K-1ワールドGP・シリーズ

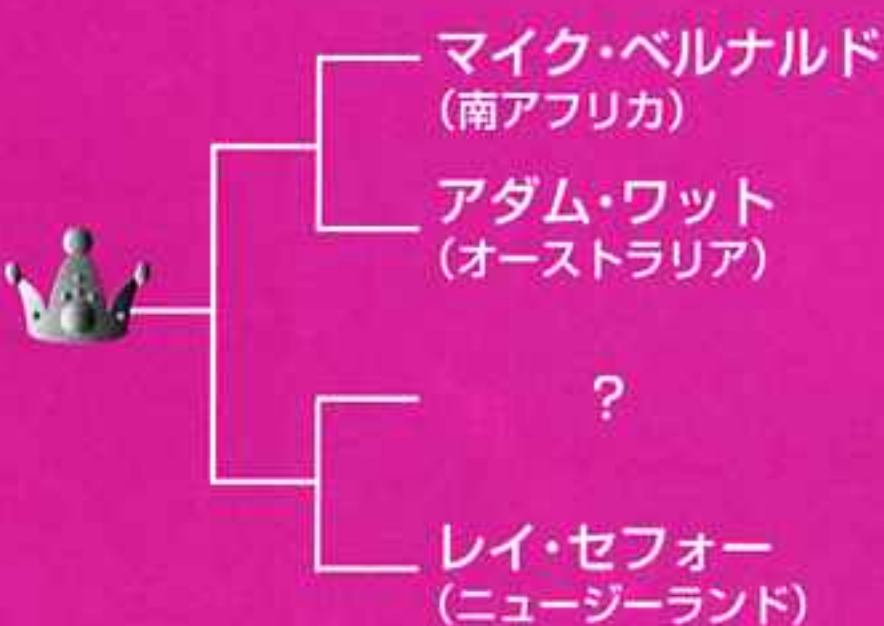
K-1 WORLD GP2001 in福岡（敗者復活）
10月8日（月・祝） マリンメッセ福岡

◆開場/13:30　試合開始/15:00
◆入場料/SRS席22,000円　RS席17,000円　SS席12,000円　S席8,000円　A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売/チケットぴあ、ローソンチケット、キョードー西日本
◆会場アクセス/地下鉄呉服町駅より徒歩15分、JR博多駅・地下鉄天神駅より西鉄バスでマリンメッセ前下車すぐ
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977、テレビ西日本事業局☎092-845-8804

敗者復活戦Aブロック

フランシスコ・フィリォ（ブラジル）
セルゲイ・イバノビッチ（ベラルーシ）
マット・スケルトン（イギリス）
ロイド・ヴァン・ダム（オランダ）

※トーナメント優勝者は、東京ドーム大会に出場

敗者復活戦Bブロック

マイク・ベルナルド（南アフリカ）
アダム・ワット（オーストラリア）
？
レイ・セフォー（ニュージーランド）

※トーナメント優勝者は、東京ドーム大会に出場

スーパーファイト

シリル・アビディ（フランス） vs エベンゼール・フォンテス・ブラガ（ブラジル）
グラウベ・フェイトーザ（ブラジル） vs マイケル・マクドナルド（カナダ）

プロレスリングZERO-ONE

「真撃」第Ⅲ章
10月25日（木） 東京・日本武道館

◆開場/17:30　試合開始/19:00
◆入場料/RS席20,000円　SS席10,000円　S席7,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、チケットショップ・GAMA（http://www.gama.co.jp）
◆会場アクセス/地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999

K-1

K-1 WORLD GP2001 決勝大会
12月8日（土） 東京ドーム

◆開場/14:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席35,000円　RS席21,000円　SS席17,000円　S席11,000円　A席7,000円　B席5,000円
◆チケット発売/10月13日（土）
◆チケット発売所/下記の表を参照
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場決定選手

ジェロム・レ・バンナ（フランス／大阪大会優勝）
アーネスト・ホースト（オランダ/メルボルン大会優勝）
アレクセイ・イグナショフ（ベラルーシ/名古屋大会優勝）
ステファン・レコ（ドイツ/ラスベガス大会優勝）
ニコラス・ペタス（デンマーク/ジャパンGP優勝）

12・8『K-1 WORLD GP2001』SRS・DX先行予約

9月30日（日） 19:00～
CNプレイガイド　【特電】☎03-5802-9800

12・8『K-1 WORLD GP2001』チケット一般発売

10月13日（土）～
キョードー東京　【特電】☎03-3498-9999
チケットぴあ　【特電】☎0570-00-0027　※携帯、PHSは不可
CNプレイガイド　【特電】☎03-5802-9977
ローソンチケット　【特電】☎0570-00-0013　※携帯、PHSは不可
イープラス　【特電】☎03-5749-9975（http://eee.eplus.co.jp）

JTB各支店、JTBトラベランド各店、JTB提携販売店各店
JR東日本みどりの窓口・びゅうプラザ

10月14日（日）～
キョードー東京　☎03-3498-9999
ぴあ　☎03-5237-9999
CNプレイガイド　☎03-5802-9999
ローソンチケット　☎03-3569-9900［Lコード=36068］
イープラス　【特電】☎03-5749-9911（http://eee.eplus.co.jp）

JTB各支店、JTBトラベランド各店、JTB提携販売店各店
JR東日本みどりの窓口・びゅうプラザ

パンクラス

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
9月30日（日）　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/15:00　試合開始/16:30
◆入場料/SS席16,000円　RS-A席7,500円　RS-B席5,500円　2F-A席10,000円　2F-B席6,500円　2F-C席3,500円　3F席4,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス
◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード
〈ライトヘビー級　キング・オブ・パンクラス　タイトルマッチ〉
菊田早苗（パンクラス・GRABAKA）vs 美濃輪育久（パンクラス・横浜）

鈴木みのる（パンクラス・横浜）vs 冨宅飛駈（パンクラス・東京）

國奥麒樹真（パンクラス・横浜）vs 上山龍紀（U-FILE CAMP）

ヘビー級初代王者決定トーナメント開幕戦
※決勝は12・1横浜大会で行われる

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
10月30日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/SS席10,000円　A席6,500円　B席4,500円　立見3,000円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/9月30日（日）9・30横浜文化体育館大会、会場内売場でも販売　◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード
ネイサン・マーコート（アメリカ/コロラド・スターズ）VS 星野勇二（RJW／CENTRAL）

リングス

WORLD TITLE SERIES
10月20日（土）　東京・国立代々木競技場第二体育館

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RRS席20,000円　アリーナRS席15,000円　RS席10,000円　スタンドS席7,000円　スタンドA席5,000円　スタンドB席3,000円　学生特別優待A席2,000円　学生特別優待B席1,000円　※学生特別優待席はチケットぴあのみで販売。なお、購入できるのは高校生以下。購入の際、学生証の提示が必要　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、レッスル渋谷、レッスル池袋、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、格闘技プロショップ・イサミ、イサミ尚武堂　◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/リングス☎03-3461-0257

アブソリュート級王者決定トーナメント表
※準決勝は12月、決勝は2月の大会で行われる

出場予定選手
金原弘光（リングス・ジャパン）
緒形健一（シーザージム）

※参戦が予定されていたヴォルク・アターエフは、散打世界選手権出場により不参加

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
12月1日（土）　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:00　試合開始/18:30
◆入場料/SS席16,000円　RS-A席7,500円　RS-B席5,500円　2F-A席10,000円　2F-B席6,000円　2F-C席3,500円　3F席4,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/10月28日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス
◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

出場予定選手
郷野聡寛（パンクラス・GRABAKA）
佐々木有生（パンクラス・GRABAKA）
佐藤光芳（パンクラス・GRABAKA）
石川英司（パンクラス・GRABAKA）
三崎和雄（パンクラス・GRABAKA）

修斗

SHOOTO GIG EAST vol.6
10月23日（火）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/パレストラ東京、KEEL CAFE、デジタラジア（http://DIGITALAZIA.com）
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

決定対戦カード
〈北斗旗ルール　本戦3分延長2分〉
小川英樹（大道塾中部本部）vs 小野亮（大道塾総本部）

SHOOTO TO THE TOP
11月25日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/15:00　試合開始/16:00
◆入場料/RS席8,000円　SS席6,000円　S席6,000円　A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋店、KEEL CAFE、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード
《フェザー級チャンピオンシップ》
マモル（シューティングジム横浜）vs 大石真丈（K'zファクトリー）

廣野剛康（和術慧舟會）vs 今泉健太郎（SKアブソリュート）

SHOOTO GIG EAST vol.7
11月26日（月）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/10月下旬
◆チケット発売所/パレストラ東京、KEEL CAFE、デジタラジア（http://DIGITALAZIA.com）
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

決定対戦カード
喜多浩樹（パレストラ東京）vs 木部亮（ALIVE）

プロ修斗、今後の大会予定
SHOOTO TO THE TOP
12月16日（日）　千葉・東京ベイNKホール
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

日本修斗協会設定8月度月間賞発表！
◆月間MVP
アンデウソン・シウバ（ブラジル／シュート・ボクセ）

◆ベスト・バウト（プロ部門）
吉岡広明（パレストラ東京）vs 今泉健太郎（SKアブソリュート）
※8月15日／東京・北沢タウンホール

◆ベスト・バウト（アマチュア部門）
石澤大介（パレストラ札幌）vs 碓氷早矢手（RJW）
※8月5日／北海道・豊平区体育館柔道場（第1回全北海道オープンL級決勝戦）

キックボクシング

J-NETWARK

梅下勇暉と増田博正が ラジャダムナンのJr.ライト級王者に挑む！

10・14北沢タウンホール大会での、ラジャダムナンのJr.ライト級王者テーワリッノーイの対戦相手が急きょ五十嵐幹志から梅下湧暉に変更になった。そのテーワリッノーイは、11・21北沢タウンホール大会で、J-NETのエース、フェザー級王者の増田博正との対戦が決定している。1階級上のムエタイ王者を相手に、増田はどのような闘いを見せてくれるのか!? この増田は12月にはルンピニースタジアムでの試合も決定。"打倒ムエタイ"に再びスタートする！

▲10・14では急きょ梅下と、11・21では増田と対戦するテーワリッノーイ・SKVジム

MAKING THE ROAD-Ⅴ
10月14日（日） 東京・北沢タウンホール

◆開場/12:30 試合開始/13:00
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円 ※当日S席は1,000円増し、A席は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田、ソーチタラダ渋谷、池袋ジム
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-PROMOTION☎03-3418-6598

THE CRUSADE-Ⅲ
10月14日（日） 東京・北沢タウンホール

◆開場/16:30 試合開始/17:00
◆入場料/S席7,000円 A席5,000円 ※当日S席は1,000円増し、A席は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田、ソーチタラダ渋谷、池袋ジム
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-PROMOTION☎03-3418-6598

主な対戦カード

—5回戦—

西山誠人（ソーチタラダ） vs 中林勇人（ビクトリー）

梅下湧暉（谷山ジム） vs テーワリッノーイ・SKVジム（タイ）

浦林幹（JMTC） vs 吉岡篤史（武勇会）

牧裕三（ソーチタラダ） vs 辻直樹（山木ジム）

新井龍成（サバーイ町田ジム） vs 石川朗（アクティブJ）

THE CRUSADE-Ⅳ
11月21日（水） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30 試合開始/18:00
◆入場料/未定
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田、ソーチタラダ渋谷、池袋ジム
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-PROMOTION☎03-3418-6598

決定対戦カード

増田博正（アクティブJ） vs テーワリッノーイ・SKVジム（タイ）

ニュージャパンキックボクシング連盟

小国ジム主催興行
10月8日（月・祝） 東京・Cassスポーツクラブ

◆開場/15:30 試合開始/16:00 ◆入場料/指定席5,000円 自由席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/小国ジム、他 ◆会場アクセス/東武東上線上板橋駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/小国ジム☎03-3989-0368

主な対戦カード

—5回戦—

AVIS01（小国ジム） vs 名乗り啓司（千葉）

木浪シャーク利幸（小国ジム） vs 堀江孝幸（千葉）

後楽園ホール大会
11月2日（金） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:15 試合開始/17:45
◆入場料/SRS席10,000円 RS席8,000円 指定A席5,000円 指定B席4,000円 指定C席3,000円 指定D席2,000円 立見2,000円（当日のみ） ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、他 ◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟 ☎03-5625-2371

主な対戦カード

—5回戦—

チョンポップ・ギアットポルティップ（タイ） vs 押川童子丸（キングジム）

弘中史樹（ウィラサクレックジム） vs 藤原国崇（拳之会）

飯田誠一（町田金子） vs 笛吹丈太郎（大和ジム）

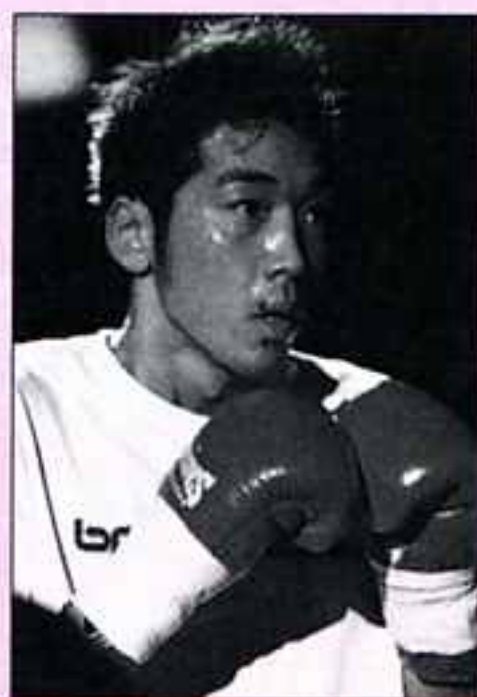
〈NBK統一トーナメント予選〉

佐藤友則（小国ジム） vs HIDE（八王子FSG）

孫悟空丸山（小国ジム） vs 外山繁幸（上州松井ジム）

馳大輔（JK国際） vs 岩井伸洋（小国ジム）

増倉敦史（一心館） vs 獅子丸修平（小国ジム）

topic! 12・5『タイ国国王生誕記念ムエタイ世界大会』今年は桜井洋平が出陣!!

12月5日にタイで行われる『タイ国国王生誕記念ムエタイ世界大会』に、岩瀬ジム所属の桜井洋平の出場が決定した。対戦相手は欧米強豪選手になる予定。今大会ではアジアチームと欧米チームの対抗戦が行われる。

◎応援ツアーも敢行！
ツアー参加締切/10月3日（水）
3泊4日コース（12/4〜12/7）
74,800円5泊6日コース（12/3〜12/8）89,800円
◆お問い合わせ/NJKF事務局☎03-5625-2371

総合格闘技&ノールール系

バトラーツ

26年の歳月を経て、よみがえる猪木対アリ！ アレクはランペイジと『プライド』復帰をかけた一戦！

10・14NKホールで行われる『格闘ロマン2001〜YUKI BOM-BA-YA〜』では"猪木軍"石川雄規対"K-1戦士"モハメド・アリ、『プライド』復帰をかけたアレクサンダー大塚対クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン、というバトラーツ勢には負けられない試合ばかりが出揃った。そして、シャノン・"ザ・キャノン"・リッチ、さらにバス・ルッテンまでもが参戦。まさに一大格闘技イベントだ！

カール・マレンコvsバス・ルッテン

格闘ロマン 2001 〜YUKI BOM-BA-YA〜
10月14日（日） 東京ベイNKホール

◆開場/13:30 試合開始/15:00 ◆入場料/SRS席10,000円 RS席7,000円 Rスタンド席7,000円 2階S席6,000円 2階指定席5,000円 2階自由席3,500円 小中学生席2,000円（当日のみ） ※当日券は1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、バトラーツオフィシャルサイト（http://www.battlarts.jp） ◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅より路線バス12系統でヒルトンホテル下車すぐ
◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

決定対戦カード

石川雄規（バトラーツ） vs モハメド・アリ（オーストラリア/ブレイブハートジム）

アレクサンダー大塚（バトラーツ） vs クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン（アメリカ／チーム・イハ）

カール・マレンコ（バトラーツ） vs バス・ルッテン（オランダ/ビバリーヒルズ柔術センター）

松井大二郎（高田道場） vs シャノン・"ザ・キャノン"・リッチ（アメリカ/ファイターズハウス）

村上和成（UFO） vs ドスカラスJr（メキシコ／AAA）

臼田勝美（バトラーツ） vs カーロス・ニュートン（英領バージン諸島／ローニン）

小野武志（バトラーツ） vs タノムサク鳥羽（喧嘩プロレス二瓶組）

Extrem Brawl 〜極限への挑戦〜
10月26日（金） 沖縄・宜野湾運動公園 野外劇場

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

掣圏道

アルティメットボクシング定期戦
10月1日（月） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円 S席7,000円 A席5,000円 S席7,000円 B席3,000円 ◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット、チケットぴあ
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/掣圏道協会☎0166-27-5788

全日本キックボクシング連盟

好カードめじろ押しの10・12後楽園ホール大会！不死身の立嶋、タイトル奪回なるか!?

GO AHEAD！
10月12日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見3,500円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック、Bout Review（http://www.boutreview.com）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

新田明臣（S.V.G）vs 後藤龍治（フリー）
金沢久幸（TEAM-1）vs X
佐藤嘉洋（名古屋J・Kファクトリー）vs X
野地竜太（極真会館）vs X
杉上直之（朝久道場）vs 立嶋篤史（RIKIジム）
新開実（青春塾）vs 杉浦磨（名古屋J・Kファクトリー）
藤牧孝仁（はまっこムエタイジム）vs 山本優弥（新空手／空修会館）
長谷川誠（青春塾）vs ラスカル・タカ（月心会）
森口竜（TEAM TBC）vs 安部康博（TEAM AMBE）
金統光（藤原ジム）vs 山崎執司（S.V.G）
デンジャー高山（TEAM-1）vs 森山直樹（サンライク）
菊池清志（S.V.G）vs 須賀眞一郎（サンライク）

MA日本キックボクシング連盟

9・29後楽園ホール大会、山上にとっては通過点か、険しい山か!?

MA中量級の新たなエース、山上健吾が日本人に無敗の元ムエタイ王者、チャンデット・ソーパンタレーに挑む。山上は実績を作って来年のK-1中量級グランプリ参戦を狙っているだけに、日本人初勝利をもぎとりたいところだ！

ODYSSEY-4
9月29日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見3,000円　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

主な対戦カード

—5回戦—
山上健吾（花澤ジム）vs チャンデット・ソーパンタレー（タイ）
ラビット関（山木ジム）vs 森谷吉博（シーザージム）
ファイティング前沢（土浦ジム）vs 増田博正（アクティブJ）
武藤孝行（ビクトリージム）vs 小石原勝（習志野ジム）
アトム山田（武勇会）vs 加村健一（習志野ジム）
カズ工藤（士道館新座ジム）vs 高島義幸（習志野ジム）
柴田早千予（白龍ジム）vs 松本理恵（武勇会）

ADVANCE-1
11月3日（土・祝）　千葉・袖ヶ浦市臨海スポーツセンター

◆開場/16:00　試合開始/16:30
◆入場料/SRS席15,000円　RS-A席12,000円　RS-B席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　2階A席3,000円
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR内房線長浦駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/花澤ジム☎0438-62-7967

新日本キックボクシング協会

深津、菊地、石井のチャンピオン3人がタイ強豪選手と対戦！

10・28後楽園ホール大会では深津、菊地、石井のチャンピオン3人がムエタイ戦士と対戦する。12月には恒例のタイ遠征が決まっており、前哨戦として負けられない試合である。どの選手も勝って12月に弾みをつけたいところだ。

ROAD TO MUAY THAI 2001
10月28日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　A席指定7,000円　B席指定5,000円　立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/伊原道場、協会各ジム、チケットぴあ、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3461-4258

主な対戦カード

—5回戦—
深津飛成（伊原ジム）vs タイ強豪選手
菊地剛介（伊原ジム）vs タイ強豪選手
石井宏樹（藤本ジム）vs タイ強豪選手
小出智（藤本ジム）vs タイ強豪選手
米田克盛（トーエルジム）vs タイ強豪選手
松本哉朗（藤本ジム）vs タイ強豪選手
庵谷鷹志（伊原ジム）vs 頼信（トーエルジム）
兼子忠司（伊原ジム）vs 成本文明（藤本ジム）

ターゲットオフィス

SPARKS
10月18日（木）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30　試合開始/18:00
◆入場料/RS-A席10,000円　RS-B席7,000円　自由席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/オフィスフェニックス
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/オフィスフェニックス☎03-3371-2222

主な対戦カード

—5回戦—
隼人（フェニックス）vs メルチョー・メノー（アメリカ）
加藤督朗（フェニックス）vs ベン・バートン（オーストラリア）
KIYOHIKO（チームドラゴン）vs X

日本キックボクシング連盟

2001激動シリーズ
10月13日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/RS席10,000円　指定A席5,000円　指定B席3,000円　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、日本キックボクシング連盟、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

児玉正暁（ピコイ錦）vs TURBO（パシフィック）
中岡秀夫（大阪真門）vs 平吹貴仁（町田金子）
難波博志（截空道）vs 神谷秀明（ピコイ錦）
清水力一（小国）vs 松本浩幸（八王子FSG）
篠原一仁（杉並）vs 広川靖之（小国）
中村篤史（北流会君津）vs 三苫純次（福岡リアル・ディール）
瀬尾尚弘（JK国際）vs 石毛慎也（東京北星）

Ticket Present！

日本キック10・13『2001激動シリーズ』の観戦チケットを、『SRS・DX』読者3名様にプレゼント！　希望者はハガキに氏名、年齢、職業、郵便番号、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは10月9日（火）必着。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部「10・13日本キックチケットプレゼント」係

空手

極真会館（松井派）

第5回オープントーナメント 全中国空手道選手権大会
9月30日（日）　鳥取県立武道館

◆開会式/13:00　試合開始/13:30
◆入場料/指定席3,000円　一般自由席2,000円　中学・高校生1,000円　小学生以下入場無料　※当日券は500円増し
◆チケット発売日/発売中　◆チケット発売所/鳥取・島根プレイガイド、スポーツ店、山陰支部各道場
◆会場アクセス/JR米子駅から住宅団地鉄工センター行きバスで自衛隊正門前下車
◆お問い合わせ/大会事務局☎0859-29-6788

第33回全日本空手道選手権大会
11月3日（土）、11月4日（日）　東京体育館

◆開場/10:00　開会式/11:00（11月4日は11:30）
◆入場料SS席35,000円（前売りのみ、2日間通し券、パンフレット・大会記念品付き）　S席8,000円　A席6,000円　B席3,000円　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/極真会館、極真会館テレフォンサービス☎03-5992-7739、チケットぴあ、ローソンチケット
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/極真会館☎03-5992-9200

第14回全関西空手道選手権大会
12月2日（日）　兵庫・神戸ワールド記念ホール

◆開場/9:00　試合開始/10:30
◆入場料/S席4,000円（当日5,000円）　大人自由席2,000円（当日3,000円）　小・中学生1,000円（当日1,500円）、幼児無料
◆チケット発売/10月（予定）
◆チケット発売所/チケットぴあ、極真会館兵庫県・大阪南支部各道場、兵庫県・大阪南支部事務局
◆会場アクセス/JR三宮駅からポートライナーで市民広場駅下車
◆お問い合わせ/中村道場☎078-531-0664

大道塾

北斗旗　第1回世界空道選手権大会
11月17日（土）　東京・国立代々木競技場第二体育館

◆開場/9:00　試合開始/10:00
◆入場料/SS席12,000円（当日15,000円）　S席8,000円（当日10,000円）　A席3,500円（当日4,500円）　A席（中学生）1,500円（当日2,500円）　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、大道塾公式ホームページ（http://www.daidojuku.com）
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

新空手

第36回新空手道交流会
9月30日（日）　東京武道館・第一武道場

◆試合開始/12:00　◆入場料/500円（大会パンフレット付）
会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

士道館

第21回士道館杯争奪 ストロングオープントーナメント 全日本空手道選手権大会
11月4日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/9:30　試合開始/10:00
◆入場料/特別席5,000円　自由席3,000円
◆チケット発売/10月2日（火）
◆チケット発売所/チケットぴあ、チャンピオン、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/士道館総本部☎042-942-3721

日本国際空手協会

第5回全日本空手道選手権大会
10月14日（日）　東京・ディファ有明

◆試合開始/10:00
◆入場料/1,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、勇志会空手道総本部、神奈川県本部及び各支部
◆会場アクセス/臨海副都心線国際展示場駅より徒歩7分、新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/勇志会事務局☎03-5393-9763

パレストラ

ブラジリアン柔術交流トーナメント カンペオナート・東北・デ・ジュウジュツ
9月30日（日）　福島・郡山総合体育館・柔道場

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR東北本線、新幹線郡山駅からバスで一本松前下車
◆お問い合わせ/パレストラ福島☎090-2883-9458

BODY PLANT

第2回ボディプラント杯アマ★スパ大会
10月14日（日）　東京・ボディプラント六本木　3F道場

◆試合開始/13:00（予定）
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄日比谷線、地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ボディプラント☎03-5772-2791

合気道S.A.

オープントーナメント　第1回合気杯争奪 実践・リアル合気道選手権大会4
10月8日（月・祝）　東京・八王子クリエイトホール

◆開場/12:30　試合開始/13:00
◆入場料/3,000円　※観戦希望者は、氏名・住所・電話番号・観戦希望を明記の上、9月末日までに下記まで現金書留で入場料を郵送する。書留到着後、大会整理券等を送付（当日は基本的に入場できない）　◆会場アクセス/JR中央線八王子駅、京王線京王八王子駅より徒歩4分　◆お問い合わせ＆あて先/〒193-0821 東京都八王子市川町128-280　合気道S.A.代表 櫻井文夫　☎0426-51-8418　☎090-3807-2205

埼玉県テコンドー連盟

第1回埼玉県テコンドー選手権大会
9月30日（日）　埼玉県立武道館

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR浦和駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/埼玉大会事務局☎042-335-2106

全日本女子アマチュアボクシング大会事務局

全日本女子アマチュアボクシング大会
11月4日（日）　兵庫県立香風高等学校格技場

◆開会式/12:30　試合開始/12:45
◆入場料/無料
◆会場アクセス/阪急電鉄香櫨園駅より徒歩10分（旧西宮西高校）
◆お問い合わせ/全日本女子アマチュアボクシング大会事務局（http://www.ne.jp/asahi/jlab/web）

その他

日本女子ボクシング協会

Fighting Angels Part3
10月10日（水）　東京・北沢タウンホール

◆開場/18:00　試合開始/18:30
◆入場料/自由席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/日本女子ボクシング協会事務局
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会事務局☎03-3485-7063

決定対戦カード

〈初代日本フライ級王座決定トーナメント決勝戦〉
八島有美（プロフィット馬車道）vs 土田奈緒子（入谷ジム）
ジプシータエコ（山木ジム）vs 猪崎かずみ（鴨居ジム）
布施雪野（JMN）vs 久保真由美（鴨居ジム）

アマチュア

シュートボクシング

第5回ライトアマチュア シュートボクシング選手権東京大会
10月7日（日）　東京・台東リバーサイドスポーツセンター体育館　3階第一武道場

◆試合開始/12:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄浅草駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

キングダム・エルガイツ

全日本アマチュアキングダム選手権
9月30日（日）　東京・稲城市総合体育館武道場

◆試合開始/12:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/京王線稲城駅より総合体育館行きバスで10分
◆お問い合わせ/キングダム・エルガイツ☎042-331-2797

北道院拳法

第7回全日本大学オープン選手権大会
11月23日（金・祝）　大阪・豊中立武道館ひびき

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/阪急宝塚線服部駅より徒歩12分
◆お問い合わせ/北道院拳法大会本部事務局☎06-6333-7004

第7回全日本大学オープン選手権大会出場者募集！
◆種目/新人戦、女子の部、個人戦、団体戦
◆参加費/3,000円（新人戦・女子の部・個人戦）、5,000円（団体戦）　※パンフレット、弁当、保険料を含む
◆締切/10月10日（水）
◆お問い合わせ/北道院拳法大会本部事務局☎06-6333-7004

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999	レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
チケットセゾン ☎03-3250-9999	レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
ローソンチケット ☎03-3569-9900	板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
CNプレイガイド ☎03-5802-9999	チャンピオン ☎03-3221-6237
オデッセー ☎03-3408-0331	書泉ブックマート ☎03-3294-0011
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513	後楽園ホール ☎03-5800-9999

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

《6・28　臨時増刊号　47号》

●大会詳報/5・27『プライド14』横浜アリーナ大会
●極真空手・2001全世界ウェイト制空手道選手権大会直前情報/数見肇インタビュー、全階級トーナメント表&ワンポイント見所
●SRS・DX注目！/佐山聡、参院選出馬、髙田延彦、謙吾インタビュー、ガチンコファスティングニュース【浅草キッド編】
●大会レポート/5・13パンクラス後楽園ホール大会、5・10バトラーツ駒沢大会、5・13北斗旗全日本体力別空手道選手権大会、5・20MAキック後楽園ホール大会、5・17全日本キック後楽園ホール大会

《6・28　48号》

●『プライド14』で話題集中の藤田に注目！/6・6新日本プロレス武道館大会　藤田和之VS永田裕志
●7・29『プライド15』さいたまスーパーアリーナ情報/『プライド15』対戦カード発表記者会見、恒例！　猪木in成田会見、大山峻護インタビュー
●話題騒然！　ぶれいばっく！　『プライド14』横浜大会/『プライド14』総括座談会、高山善廣、藤田和之、堀辺正史、ヴァンダレイ・シウバ、松井大二郎インタビュー
●6・24仙台上陸K-1 JAPAN直前情報/角田信朗、子安慎悟インタビュー
●大会速報/6・10極真全世界ウェイト制空手道選手権大会、6・10コンテンダーズ
●SRS・DXの注目！/田村潔司、『武道通信』杉山頴男、インタビュー

《7・12　49号》

●スペシャルインタビュー/石井和義インタビュー
●『プライド15』直前情報/吉田秀彦vs大山峻護、スペシャル対談、柏崎克彦、ヘンゾ・グレイシーインタビュー、すべては敬愛するエリオのために
●山本憲尚インタビュー、恒例！　猪木成田会見
●大会詳報/6・24K-1ジャパン仙台大会、6・16K-1ワールドGPメルボルン大会
●SRS・DXの注目！/6・14ZERO-ONE『真撃』大阪城ホール大会、鈴木みのるインタビュー、藤田和之inタイランド、堀辺正史師範がズバッと斬る！（後編）
●極真世界ウェイト制大会徹底検証/ロシア旋風を徹底検証、数見肇インタビュー

《7・26　50号》

●話題騒然！　『猪木軍団vsK-1 全面対抗戦』の行方/アントニオ猪木、藤田和之インタビュー
●主役は誰だ！　7・29『プライド15』さいたまアリーナ大会/注目！　『プライド15』の最新カード、桜庭和志、ハイアン・グレイシー、DSE森下直人社長、佐竹雅昭インタビュー
●8・19K-1アンディ・メモリアルで何かが起こる！/ニコラス・ペタス、武蔵インタビュー、コラム◎石井館長に猪木イズムあり！
●SRS・DXの注目！/松井章圭館長、レミー・ボンヤスキーインタビュー
●7・1UFC32詳報！/はせキョーの初体験！　UFC観戦記、近藤有己、渋谷修身インタビュー
●大会レポート/6・26パンクラス後楽園大会、7・6修斗後楽園大会

《8・9&8・23　合併号　51号》

●猪木軍団vsK-1全面対抗戦/バンナ、石井館長インタビュー、コールマン&グッドリッジ対談
●7・29『プライド15』最終情報！/アントニオ・ノゲイラインタビュー、大山峻護奮闘日記
●祝・リングス取材解禁！/前田日明と久々の再会、金原弘光が8・11有明大会をズバリ分析、前田日明主催・マスコミ懇親会
●大会速報/7・20K-1ワールドGP2001名古屋大会
●噂の三面記事　特大版/猪木成田会見、『プライド15』全カード決定、K-1ラスベガス大会情報、リングス有明大会情報、『DEEP2001』全カード決定、大道塾世界大会開催
●8・19K-1ジャパンGP決勝戦/中迫剛、ノブ・ハヤシ、大石亨インタビュー

《9・13　臨時増刊号　52号》

●大会速報/7・29『プライド15』　さいたまスーパーアリーナ大会
●K-1vs猪木軍団続報/どうなる！？　8・19K-1ジャパン、ミルコ・クロコップインタビュー
●SRS・DXの注目！/前田日明主催、マスコミ懇親会（後編）、極真、真夏の他流試合3連戦、東孝インタビュー、『プライド』&UFC、ラスベガス大会実現へGO！
●8・11K-1ラスベガス大会最終情報/ピーター・アーツ、内田ノボルインタビュー
●大会レポート/7・22全日本キック後楽園ホール大会、7・26SMACK GIRLclubATOM大会、7・28新日本キック後楽園ホール大会、7・29パンクラス後楽園ホール大会
●大盛況！　グレート・アントニオ津田沼店

《9・13　53号》

●大会速報/8・19K-1 ANDY MEMORIAL 2001たまアリ大会、ジェロム・レ・バンナ、マイク・ベルナルドインタビュー、8・18『DEEP2001』横浜文体大会
●大会詳報/8・11K-1ワールドGPラスベガス大会、8・11リングス旗揚げ10周年記念有明大会
●SRS・DXの注目！/堀辺正史の『プライド15』総括インタビュー、ミルコ・クロコップ、わずか2週間でバーリ・トゥーダーに大変身！？　髙田延彦&桜庭和志in沖縄
●グレート・アントニオ夏の陣　イベント速報/8・5破壊王トークショー、8・11浅草キッド、Tシャツ即売会
●大会レポート/8・10全日本キック後楽園ホール大会、8・4『キング・オブ・ザ・ケイジ10』
●巻頭座談会/『プライド』の「メジャー化」で失われていくものとは何か？

《9・27&10・11　合併号　54号》

●徹底追跡！　猪木軍vsK-1軍、開戦の波紋/アントニオ猪木、石井館長インタビュー、堀辺正史「猪木軍vsK-1軍の意義とは？」、サム・グレコ、グッドリッジインタビュー
●『プライド16』直前情報/『プライド』に来襲する他団体の王者をキャッチ、ドン・フライ、セーム・シュルト、ヒカルド・アローナインタビュー、ホイスが「ノゲイラvsコールマン戦」を徹底検証、『プライド16』最新カード
●リングス新展開！/ヴォルク・アターエフ、レナード・パパル、伊藤博之インタビュー
●SRS・DXの注目/10・14バトラーツ大会情報、橋本真也vsサダハルンバ谷川
●大会レポート/9・2正道会館全日本大会、8・25パンクラス大阪大会ほか

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝100円、以下一冊増えるごとに50円増し。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
最新URLはこちら⬇
http://www.asakusakid.com

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

『プライド16』、新日ドーム、爆破テロ……
大混乱のマット界&世界情勢をキッドが斬る！

博士 いやはや『プライド16』の結果は締め切り前で分からないけど『プライド16』も吹っ飛ぶような紛争が海の向こうアメリカで起きたぞ！

玉袋 佐々木健介VSダン・チェイスの『キング・オブ・ケージ』なのか？『グラジエーター・チャレンジ』か？ どっちで行われたか分からないバーリ・トゥードマッチですよ！

博士 そんな小さい紛争じゃないよ！

玉袋 でも、健介はトレードマークのなが～い襟足を切って頭丸めて格闘技参戦するみたいですよ！

博士 そのニュースも台風15号とアメリカの同時多発テロ事件で吹っ飛んだだろ！

玉袋 おまけに、せっかくのトゥナイト2の生出演も飛びましたよ。でも、どうせやるなら頭丸めるんじゃなくて、もう一度パワー・ウォリアーで格闘技戦に出ていけばファンは喜んだのに……。

博士 余計なお世話だよ！ しかし格闘技戦ではドン・フライのセコンドだからな。

玉袋 そのセコンドの健介のセコンドに佐々木久子も健ノ介をおんぶして付きますよ！

博士 なんで北斗晶が出てくるんだよ！

玉袋 でも、今回のドン・フライVSアイブルなんて夢の対決ですよ！

博士 お互いヒールのバーリ・トゥーダーだからな。そういえばあのテロ事件の時アントニオ猪木様もNYにいた。

玉袋 アゴに付けヒゲして例の「ミスター・ウォーリー」の格好で歩いてたら、FBIに身柄を拘束されたらしいです。

博士 こんな時に、あんな紛らわしい格好するか！

玉袋 しかしどうなったか分からないんですが、『プライド』のアメリカ選手は来日できたんでしょうかね？

博士 来日できなかった選手もいたかもしれないな。

玉袋 来日不能になった選手の代わりに日本に潜伏してると言われているイスラム原理主義過激派メンバーが参戦するそうです。

博士 参戦するかよ！

玉袋 世界の紛争はリングの上で実現させて解決すればいいんですよ！

博士 湾岸戦争の時のWWFじゃないんだよ！

玉袋 だったら藤谷美和子のロックショーと二代目引田天功のマジックショーで穴埋めすればいいんです。

博士 なんで『プライド1』のへんちくりんな演出をぶり返すんだよ！ テロ直後のWWFではリリアン・ガルシア嬢のアメリカ国歌斉唱が感動的だったらしいけど。

玉袋 じゃあ日本でも、SMAPの中居メンバーに君が代を歌ってもらいましょう。

博士 それはいいよ、絶対ソロでは歌わせるな！ でも、大阪大会は凄いカードになった。

玉袋 いろんな団体のチャンピオンクラスが一気に登場しましたよ！

博士 本当のチャンピオンシップだよな。まずパンクラスの無差別級王者の2メートルの巨人……。

玉袋 ……ジャイアント・シルバですね。

博士 そりゃ新日本プロレスに参戦してる、ギロチンドロップだけの巨人だろ！

玉袋 あの人って、もしかしたら病気だと思うんですけどね？

博士 そういうことを言うな！『プライド』参戦の巨人はセーム・シュルトだよ！

玉袋 ボブチャンチンは背が届かないのでシークレットシューズの着用が認められます！

博士 認められるわけないだろ！

玉袋 シュルトが所属のゴールデン・グローリーも何かキナ臭い歌舞伎町ビル爆破も真っ青の事件がありますから、何があるか分かりかせんよ！

博士 何もあるわけないに決まってるよ！ そしてミスター・アブダビと呼ばれた2階級制覇のヒカルド・アローナが登場！

玉袋 毎年アブダビ・コンバットを行っている、中東の富豪ラディン王子の肝いりですよ。

博士 アブダビの王子はタハヌーン王子だよ！ 谷津嘉章はまたもやグッドリッジと対決！

玉袋 前回はタリバン政権の石像爆破くらい顔面を壊されましたからね。

博士 今回はそうはいかないだろう！

玉袋 この間、ゲーリーは谷津について「目ぇつぶって30秒！」と宣言してましたよ。

博士 あの時、ゲーリーはノルキヤ戦で左目がお岩さん状態だっただけだろ！

玉袋 「ソーサは俺様には勝てない」とも語ってました。

博士 そりゃG・Gじゃなくて大リーグのB・B、バリー・ボンズだろ！ 顔間違えるな！ そしてなんと元リングスの山本も参戦だよ。

玉袋 相手はヒカルド・モラエスですよ！

博士 リングス時代のリベンジはしないよ！ 山本といえば、小川を殴った後のストーリーが途切れたまんまなんだけど……。

玉袋 だから今回『プライド』のリングでブラッド・コーラーとのストーリーの続きがようやく見られるわけでしょ？

博士 それは、KOKであばらを折られたコーラーの話だろ。コーラーも参戦だけど、山本とは関係ないカードだ。

玉袋 コーラーはペプシ・ボーイと対戦ですか？

博士 なんで天下の『プライド』が、どマイナーな「世界のプロレス」になっちゃうんだよ！

玉袋 でも我々、山本選手はデビュー戦から全試合見てるだけに思い入れがハンパじゃないですよ。

博士 そう。そして『プライド』で勝ち続けて、桜庭和志に挑戦すれば面白いんだけど。

玉袋 相手が違うって言って松井VS山本なんかも実現してほしいなぁ～。

博士 高田道場VS前田道場だな。

玉袋 そこに金原や、滑川も絡んで……。

博士 だ・か・ら！ リングス誰もいなくなっちゃうだろ！ ヤメロ！ とにかく凄いメンバーだが、K－1対猪木軍の余波で『プライド』にもK－1が参戦してくるって話もある。それを受けた髙田が「流れが違う」と髙田道場が撤退って話も出てきた。

玉袋 そんなことになると『プライド』がZERO－ONEの火祭り状態になりますよ！

博士 火祭りも歌舞伎町ビル火災で自粛ムードだもんな。

玉袋 火災現場から鼻から血を流して黒パンタロンを履いた太った男が逃げ去ったらしいですよ。

博士 なんで橋本が犯人なんだよ！

玉袋 キャンペーンのためですよ。

博士 大興行の前にわざと警察ざた起こすFMWの冬木じゃないんだから！ そんなことするわけないだろ！

玉袋 猪木様のかき回したあとの交通整理をしっかりしてほしいよ。

博士 その猪木様が新日本プロレスの10・8ドームで小川VS藤田をぶち上げて、それを聞いたノアの秋山が撤退で揺さぶりかけてきたりな。

玉袋 猛烈に面白い状況ですよ！ これだけゴチャゴチャ混ぜになったところから勝ち上がってくる選手こそが実力も人気もトップ選手になりそうですよ！

博士 とにかく、実際の戦争は嫌だけど、リング上の戦争は大歓迎！

玉袋 最後に勝つのは誰だ!? ■

11・3東京ドーム『プライド17』でシウバ戦（リベンジマッチ）決定！

シウバへの注文？
『最悪のコンディションで来てくれっ（笑）』

桜庭和志が3・25『プライド13』で、ヴァンダレイ・シウバにまさかの敗退を喫してから早半年。7・29『プライド15』で見事な復活は果たしたものの、やはり、シウバ本人にキッチリとリベンジしてもらわなければ、すっきりしないのは言うまでもない。その宿敵・シウバとの再戦が11・3東京ドーム『プライド17』で行われることに決定。さっそく桜庭に話を聞いてみた。

聞き手◎"Show"大谷泰顕

今回は、カッとしないでKOする。「もうできません」ってタップさせます

――『SRS・DX』で、僕が桜庭さんにインタビューするのは実に2年ぶりぐらいなんですよ。

桜庭　そうでしたっけ？　最近ありませんでした？

――いや、だから僕が聞き手として、桜庭さんにインタビューするのは、ですよ。

桜庭　ああ……。

――だから、今日はバシッといろんなことを聞きたいと思うんですけど、まず、例の米国連続多発テロ事件をどう思っているのかなと。

桜庭　テロですかぁ……？（苦笑）。テロはねぇ、ヒドいんじゃないですかね。

――あれはヒドいッスよね。

桜庭　関係ない人まで死んでますからね。

――あれは許せないッスよね。ホントにマインドコントロールって怖いですよ。

桜庭　それはみんな「報復だ」って怒るのは当たり前ですよ。

――少し不謹慎な言い方かもしれないけど、そういう中で、桜庭さんは今度、シウバにテロを仕掛けるという……。

桜庭　テロじゃないですよ。ヤバい、ヤバい。

――じゃあテロかどうかはともかく、『プライド17』でシウバとの再戦が決まったんですけど、7カ月ぶりに再戦というのはどうなんですか？

桜庭　……。

――あ、特にない（笑）。じゃあ当日までにシウバに注文ってありますか？

桜庭　注文……？

――そう、注文。

桜庭　絶不調で来てくれっ！（笑）。

――絶不調で（笑）。なるほどね。

桜庭　最悪のコンディションで来てくれっ！（笑）。

――最悪のコンディションで（笑）。

桜庭　まあ、半分は冗談ですけどね（笑）。ただ、いい仕事をするのは当たり前なんですけど、1回負けてるので勝ちたいというか。

――前回は1Rの早いうちに終わっちゃいましたもんね。

桜庭　だから、できれば、10分ぐらいはやりたいですね。勝っても負けても。

――10分ぐらいは。

桜庭　最低10分で。

――やっぱり、相手と日にちが決まると自然とシミュレーションしていくものですか？

桜庭　まあ、最初はしますけど。どう研究するとかは。

――シウバに対しては、前回みたいにカッとしないようにっていうか。

桜庭　そうですね。基本的にはカッとしないでKOすると。参ったさせて。「もうできません」ってタップさせると。

――シウバ戦は新サクベルトのタイトルマッチになるんですか？（笑）。

桜庭　一応自分のを……。僕が認定します。

――ハハハハ、コミッショナー兼王者（笑）。

桜庭　それで統一戦。

――ダブルタイトルマッチ（笑）。

桜庭　自分だけ、心の中で思って。もし獲られた場合は、その時にまたベルトを作ると。

――3つ目のベルトを。

桜庭　で、それを賭けてやって、勝ったほうが三冠（笑）。

［このインタビューの後、シウバ戦は初代『プライド』ミドル級タイトルマッチとして正式に決定し、自然と三冠戦に変更された（?）。桜庭本人は会見後、「最初は2つだけだと思ったのに。三冠ベルト統一、キャハハハハハ」と笑っていたという。とにかく、桜庭はシウバに勝てばマット界では武藤敬司と並び、三冠王者になる！］

――前回の『プライド15』でランペイジに勝って巻いたベルトは、髙田さんが昔Uインター時代に巻いていたベルトのパクリなんですよね。

桜庭　ルー・テーズさんとかが巻いていたヤツです（笑）。

――プロレスリング世界ヘビー級でしたっけ？

桜庭　ええ。力道山とかも巻いてたヤツ。今度のは、見た目は格好いいですよね。手が込んでますからね。鎖も付いているし。手間も掛かってますよぉ。

――制作費に3万円とか、4万円ぐらいはかかってる？

桜庭　いや、そこまでは（笑）。

――そんな高くないんですか（笑）。例えば今、藤田さんが持っている古いほうのIWGPベルトはダイヤが入っていて、できた当時は「1億円」とかって言われているじゃないですか。

桜庭　まあ、ダイヤが入っているということにしておきましょう（笑）。

――その新ベルトを作るっていうことは髙田さんに許可っていうか、断りは入れたんですよね？

桜庭　一応（笑）。酒飲んでる時ですよ。「あの格好で写真撮っていいですか？」って。

――そしたら？

桜庭　一瞬凄い顔でニラんでから「いいよ」って。

――さわやかに（笑）。

桜庭　一瞬マズいこと聞いちゃったかなぁと思ったんですけど、「全然大丈夫」って。

――リング上ではやってましたけど、ぜひ『最強』ってやってほしいですね。

桜庭　べつにいいですよ（笑）。

――じゃあシウバに勝ったら、ぜひ『SRS・DX』で、あのポーズでポスター作りましょう！

桜庭　（ニコニコ）。

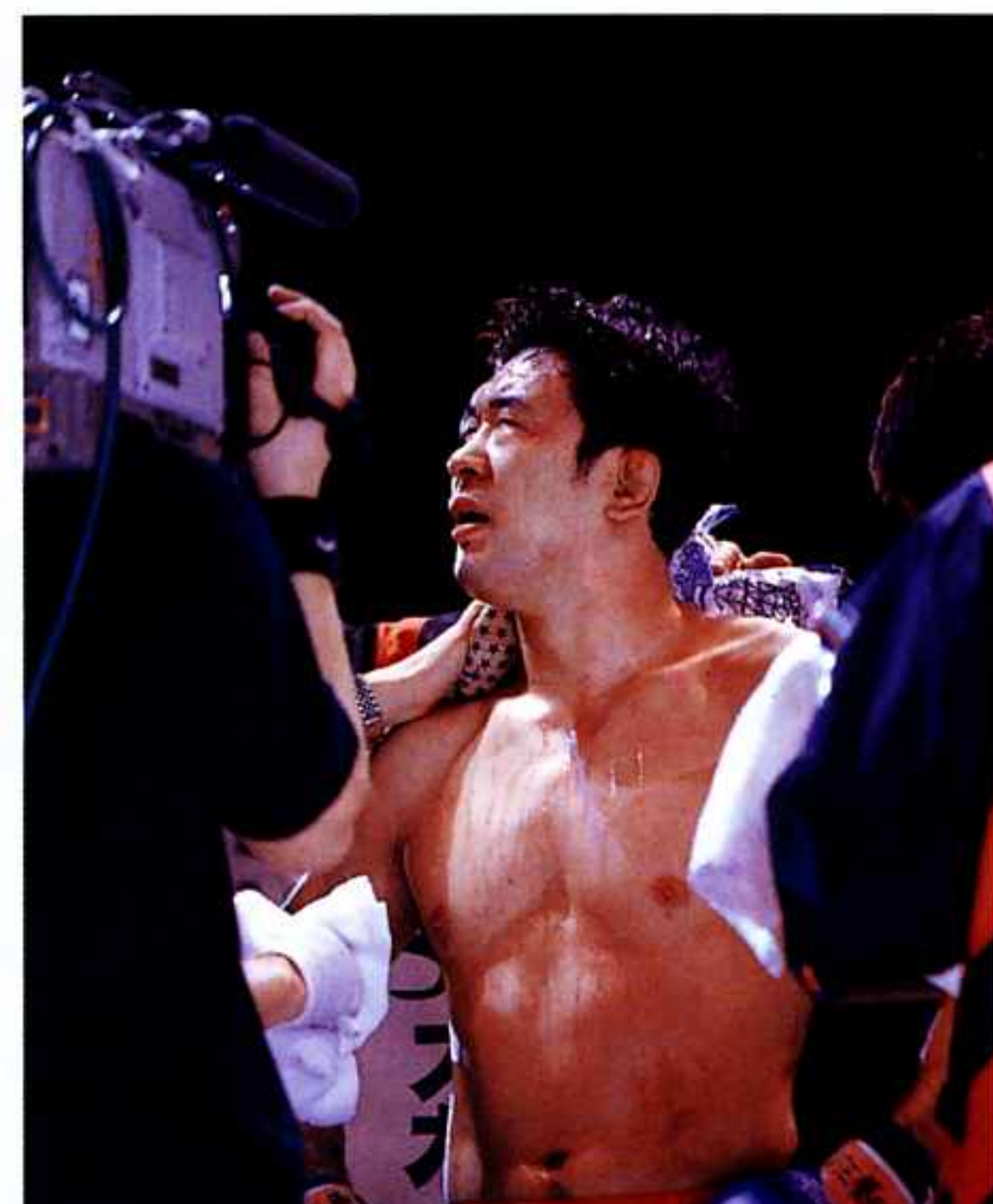
――だから、当日はシウバにも、ちゃんと前回獲得したベルトを持ってきてほしいですよね。

桜庭　もし持ってきてなかったら、こっちで売ってるヤツを（笑）。

――桜庭さんが用意すると（笑）。でも、あのベルトって体重制限は？

桜庭　あれは、僕とやる時だけの、専用ベルト。体重で分けるんじゃなくて、僕とやる時のみ。

――桜庭戦のみ有効？

SAKURABA

▲3月25日の『プライド13』でシウバにまさかの敗退を喫した桜庭。あれから約7カ月。遂にリベンジの時が来た！

ミルコ戦の負け？ 藤田は働き過ぎですよ

KAZUSHI

▲『プライド15』でクイントン・“ランペイジ”・ジャクソンに勝って、旧タイプよりもかなり手の込んだ“新サクベルト”を巻いたサク。「これで写真を撮りたかった」というだけあって、満足気な表情である

桜庭　ええ。だから例えばシウバが別の人と試合をするとして、ベルトを賭けるのはダメ！

―ダメなんだ（笑）。だからシウバは大山峻護戦もベルトを賭けなかったと。

桜庭　あれは関係ないです。

―じゃあ桜庭さんに勝たないと防衛できないんだ（笑）。

桜庭　ええ。

―そもそも、あのベルトって何級のベルトなんですか？　ヘビー級とか、無差別級とか。

桜庭　（ボソッと）桜庭キロで。

―桜庭キロ（笑）。それってどのくらいの重さを言うんですか？　1ドルだったら「120円」とか言うじゃないですか。

桜庭　その場によって、上下あります。

―変動相場制（笑）。まあ、たしかに桜庭さんの体重によって変わるんですからね（笑）。で、シウバ戦の後なんですけど。

桜庭　それは毎回先のこと考えないんで。次の試合でいい仕事ができれば。

―例えば、ヒカルド・アローナとかも「桜庭と闘いたい」みたいなことを言うじゃないですか。

桜庭　それは終わってから。次の次のことを考えていたら、次のことなんか一生懸命できないですから。そんな器用じゃないですから。

―なるほど。シウバにしても桜庭さんより、ちょっと体重が重いし、アローナにしても重いし。体重が重いのがネックというか。

桜庭　そうですねぇ。しょうがないですよね。落としたところで、それぐらいのパワーは残ってるし。アマレスとかボクシングとかのことから考えたら、体重が違う人同士がやること自体がおかしいんですよ。やったことある人は分かりますよ。5キロ違うっていうのがどれくらいのものなのか。やったことない人が試合を組んだりするから、そういう部分の問題が起きてくるし。5キロじゃ、全然違いますからね。僕だって高田さんとスパーリングするけど、もの凄い力してますよ。道場に来る人も、みんな大きな人だから。上に乗られちゃったら、動く気しないですよ。逆に、宇野（薫）クンとか、あまりにも軽すぎて、動きが速すぎるのも困りますけど（笑）。

―でも柔道なんかだと無差別級大会とかあるじゃないですか。

桜庭　あれは、掴めるからですよ。

―あぁ～、柔道衣が掴めるから。

桜庭　人間、握力って変わらないじゃないですか。50キロ前後で。だから（着衣に）引っかけることができたら崩せるし。やってみれば分かりますよ。

―分かりました。じゃあ話を変えて、一応、他誌にはもう出てるんですけど、『SRS・DX』としても桜庭さんの、藤田VSミルコ戦の結果についてコメントをもらっておきたいんですよ。やっぱりあれはしょうがないんですかね？

桜庭　しょうがないですよね。でも、動きを見ている感じでは脳しんとうでやられたわけでもないし、当たり所が悪かったというか。気持ち的には全然、まだまだこれからという。

―ええ、ええ、ええ。藤田選手とは試合の後、何か話はしたんですか？

桜庭　特に話はしていないです。

―桜庭さんは試合でどこか切ったことあります？

桜庭　ないですね。口の中を切ったぐらいで。

―藤田選手は結構、スパーッと切れたじゃないですか、見事なまでに。

桜庭　今日練習してて、稔がグラウンドで頬骨が目の上に当たって、少し血を出してましたね。

―そういうこともあるんですね。他誌には桜庭さんのコメントで「リングサイドで見ていたバンナとかベルナルドの喜び方ががムカついた」みたいに書かれてましたよね。

桜庭　いや、ムカついたっていうか。

―ミルコ以外の選手が、いろいろ言うのが解せない、と。

桜庭　最初は関係ないそぶりをしていましたよね。

―どっちかって言うと、K―1ファイターってあんまり仲良くないみたいですからね、普段は。

桜庭　う～ん、ムカついたっていうか、喜び方がちょっとねぇ。

―あからさまでしたよね（笑）。

桜庭　あからさまっていうか、ハッキリと藤田に勝ったわけじゃないんですよね。

―ああ、ハプニングというか。

桜庭　そこであの喜び方はちょっと喜びすぎなんじゃないのかなって。もの凄い喜んでたじゃないですか。でも、結局は藤田もやられたとは思ってないし。本当にどっちかが参ったするとか、伸びちゃったとかそういう状況でもないところで、というのがありますね。微妙な判定勝ちみたいな。それで大喜びしてもねぇ……。本当に伸びちゃったりとかね、本当に参ったしたっていうんだったら、あの喜び方でも納得できますけど。

―ああ……。例えば桜庭さんがシウバに負けて、何カ月か休んでたじゃないですか。だから藤田選手もミルコに負けて、いいお休みになったんですかね？

桜庭　いいんじゃないですか。藤田は働き過ぎですよ。

―ハハハハハハ、働き過ぎ（笑）。

桜庭　働き過ぎですよね。『プライド』に出たり、新日本に出たり、K―1に出たり。精神的に疲れますよ。だから、いい機会だと思いますよ。

―10・8の東京ドームも佐々木健介戦がありますしね。

桜庭　大変だなぁ（しみじみ）。僕から見ても藤田は大変だと思いますよ。

―去年の桜庭さんみたいですもんね。

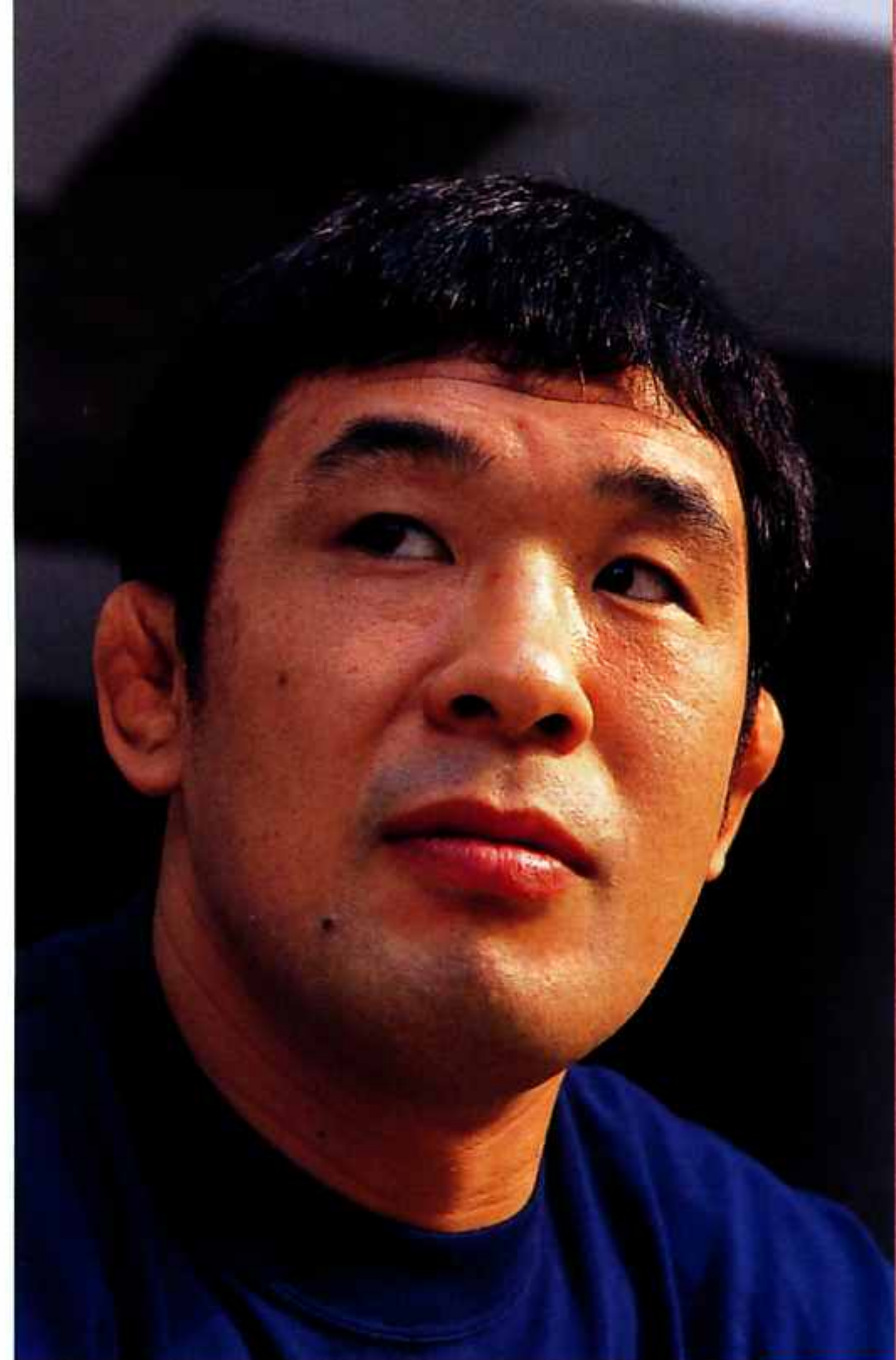
桜庭　自分がどうとかじゃないですけど。ちょっと待ってくれよっていう。本人は面倒くさいから、「いいですよ」って言っちゃうんですよね（苦笑）。

―桜庭さんにもそんな時期ありました？

桜庭　ええ。そういう時はもう、なんでもOK状態で。

―じゃあ、今は逆にその時の反省があるんですね。

桜庭　ええ。だから今は練習とかもできますし、ケガしたらその治療の時間もありますんで。休めないと、その後からの練習も集中できない。もう、ボーッとし

バンナ戦？
今すぐやるんだったらいいですよ

ちゃって。

――そうかそうか。でもね、バンナって「ノールールの試合なんかオシッコだ」みたいなことを言っているじゃないですか。それを聞いた、コールマンとかグッドリッジが怒って「俺がやってやる！」って言ってるんですけどね？

桜庭 バンナもやってみればいいじゃないですか。いろいろ口で言うのは誰だってできるから。小学生だって「オシッコだ」っていうのは言えますからね。やってみればいいじゃないですか。やってみたら面白いと思いますよ。

――「オシッコ」と言っていたものが、実は面白いと感じると（笑）。

桜庭 僕は好きですけどね。だから好きな人がこっちに集まってるんですよ。あの人は、K―1が好きだからK―1のほうに行ってるだけで。やっぱり、自分の好きなものが1番だと思いますからね。逆に、やってみれば面白いかもしれないですけどね。だから、1回やってみたら面白いんじゃないですか？

――桜庭さんはK―1ファイターとは闘わないんですか？

桜庭 だって、みんなデカいじゃないですか（笑）。

――じゃあ体重が同じならいい？

桜庭 そういう問題じゃないです。それに、僕と同じくらいまで落とせるわけないじゃないですか、あんな身長がデカいのに。そしたらガリガリになっちゃいますよ。

――でもUインター時代にはレネ・ローゼとやってますよね。

桜庭 あの時は、体重あんまり関係なかったですよ。

――なんで？

桜庭 ルールで体重関係なし。あれでいいって言ったんですよ。

――あのルールだったら、体重違っても大丈夫だったとか？

桜庭 大丈夫なわけないですよ！ 死にましたもん（苦笑）。

――死にましたか（笑）。

桜庭 だから身長制限もしたほうがいいですよ。

――身長制限（笑）。じゃあもし、桜庭VSバンナっていう流れになったらどうします？

桜庭 今すぐやるんだったら、いいですよ。

――ど、どういう意味ですか？

桜庭 うん？ 何月何日っていうと、研究されるから、それでやったら厳しいですよ。今すぐここの状態だったら。

――ああ！ じゃあ例えば「来週に」とかであれば？

桜庭 それぐらいだったら、全然いいですよ。やっぱり柔術とかと同じで、初めはわけ分かんないっていう感じで、ボロボロってやられたじゃないですか。今、もの凄い研究されて、みんなできるようになっているじゃないですか。そういう状況になったらあの体格差はキツいですよ。だから、そういう意味でみんな同じレベルになってくると、体重差っていうのはキツいから。だから、もうちょっと期間が経ったら、バックに回らせない技術を覚えちゃうから。

――でも、聞くところによると、バンナは柔道をやってたらしいですよ。

桜庭 そしたら、柔道の経験をいかに裸の世界で生かすかじゃないですか。

――なるほど、なるほど。で、高田道場は『プライド』から撤退するんですか？（笑）。『東スポ』に書いてあったから。

桜庭 いや、それをするかしないかは分からないですよ。ただ、基本的には僕らはいろんなところに出るという考え方でやっているので、（選択肢は）『プライド』だけではないっていう。でも、その『プライド』ってところが「あっちもこっちも」っていうふうに見えてきちゃったら、まだしっかり基盤というのができてないと思うので、あっちもこっちもフラフラしちゃったら、自分の足下フラフラしているのに、ちゃんと立ってられなくなるという、そういう意味も含めて。もちろん、なくなるのも嫌だし。だから、しっかり自分を作って。

――分かりました。あともう一つ、お聞きしたいことがあるんですけど。ホイスが来日して、「グレイシー一族は桜庭へのリベンジを忘れていない」っていう言葉を残してたじゃないですか。

桜庭 そのことだけ聞いたら、嫌らしいですけど、普段は普通の人ですから。

――普段は普通の人（笑）。

桜庭 だから、またやる機会があれば面白い試合になればいいし、人の心に残るような。

――何日か前、新日本プロレスの試合を見に行ったらしいですもんね。

桜庭 まだ（日本に）いるの？

――いるんじゃないですかね。それはどうでもいいんですけど……。

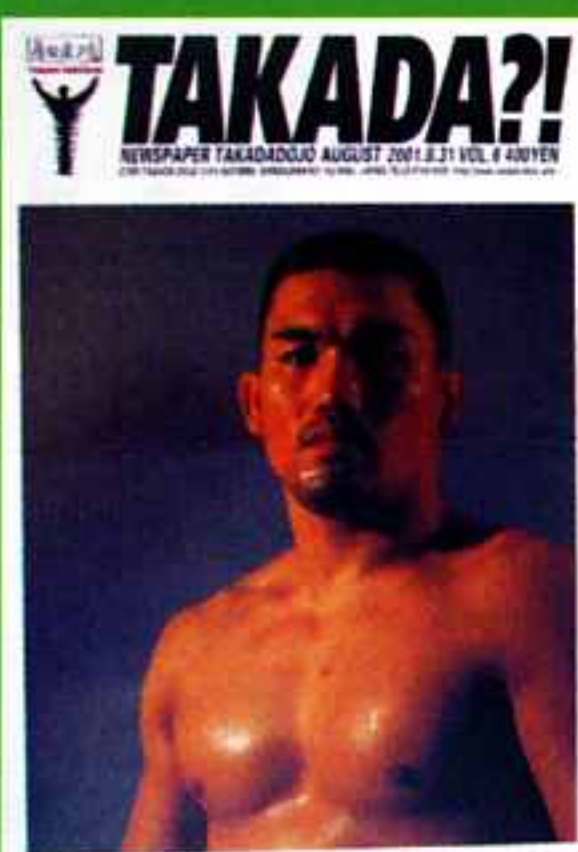
桜庭 どうでもいいなら聞かないでください。

――いやいや、ホイスが日本にいるかいないかっていう話で（笑）。いやあ、久し振りに『SRS・DX』でインタビューしましたけど、やっぱり僕が話を聞くと、他の人とは違いますねえ……（笑）。

桜庭 こんな話でいいんですか？

――だいたいもう十分です（笑）。■

SAKURABA

▲対バンナ戦でさえも「今すぐにやるんだったらいいですよ」と答える桜庭。さすがサクちゃん、ステキ！

新しいステージ
『K-1ミドル級GP』ついに開催!

魔裟斗
シルバーウルフ

誰が一番強いのか
ハッキリ決めようじゃないか!

かねてから噂されていたK-1中量級のトーナメント開催が、ついに決定した。来年2月にジャパンGP、そして5月には世界各国の代表が集うワールドGPが行われる。分裂を繰り返してきたキック界だが、ここにきて"誰が一番強いのか"というテーマに結論が下されるわけだ。今回は、開催発表記者会見にも出席、大会の主役と目される魔裟斗と小比類巻貴之にインタビューしてみた。

小比類巻貴之
チーム★ドラゴン

魔裟斗

「オレが優勝しなかったらトーナメントは終わりでしょ」

K-1ミドル級GPの優勝候補筆頭、魔裟斗。全日本キックからフリーとなり、独自のキック道を切り開いているこの若者は、たった一人で日本のキック界を面白くしている逸材だ。その彼にK-1ミドル級GPに賭ける意気込みと、対戦が期待される小比類巻選手のことなどを聞いた。

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎吉澤晃

——さあ、K—1中量級大会の開催が決定して、これでやっとオレの力が発揮できるという感じですか（笑）。

魔裟斗　いや、今までも力は発揮してますから（笑）。

——不敵ですね（笑）。そもそもK—1のこの中量級のクラスが作られたのって、魔裟斗さんの活躍が大きいと思うんですよね。

魔裟斗　っていうか、オレが勝たなきゃしょうがないですよね。たぶん、そう思ってると思うんですよ。

——石井館長が？

魔裟斗　石井館長というか、周りの人たちが。やっぱり、オレが勝たないと。オレが主役だと思ってますからね。それに、こういう時っていつでもそうですけど、チャンスはものにしてますから。きっと、またものにできるかなって（笑）。

——いいですね（笑）。それで先日の記者会見の時に小比類巻さんの名前を出しましたよね、倒すべき相手として。公の場では初めて自分から名前を出したと思うんですが。

魔裟斗　そうですね。やるべき時が来たわけですからね。

——たしか、デビュー2戦目で負けてる相手ですけど、小比類巻さんのほうは前回と同じ結果にすると言ってるんですよね。

魔裟斗　だけど、彼はホントにそう思っているのかなぁ。心の底からそう思って言っているのかなって。自信満々で思ってるのかなって気がしますね。だけど、まあ、いいんじゃないかな、盛り上がるから。

——ホント、勝ち気満々ですね（笑）。

魔裟斗　そうですか？

——眼中にない感じですよ。なんなんでしょう、その自信の源は？

魔裟斗　べつに理由はないです。っていうか、誰に対しても勝ち気ですから。

——それはもう一人、闘うべき相手として挙げた武田（幸三）選手についても一緒ですか。

魔裟斗　出てくるんですか？

——どうなのハッシー？

橋本　（体重100キロの本誌キック担当）いやぁ、まだなんとも。

魔裟斗　オレが言えるのは、本人が出たいんだったら出てくりゃいいいってことですよ。ラジャのタイトルがなくなったんだから、K—1のタイトルを取りにくりゃいいんですよ。K—1のタイトルって世界一のタイトルなんだから、いいじゃないですか、出てくりゃ。

——出てきてほしいですね（笑）。

魔裟斗　出てきてもオレは勝てると思ってますから。彼が出てこない大会でオレが勝っても、あとでなんか言われるんだったら、出てきてほしいですね。

——ホント、自信満々だなぁ。その自信はこれまでずっとメインを張って、KO勝ちしてきたところからきてるんですか。

魔裟斗　いや、オレの中ではそれがもう普通になってるから、べつにどうってことないですね。

——シンドくないですか。ウルフレボリューションという興行を自分たちの手で行い、そこでインパクトのある勝ち方を必ずしなきゃいけないことに。

魔裟斗　慣れましたよね（笑）。

——だから、他のキックの選手をクサすつもりで言うわけじゃないですけど、他の選手にそういう追いつめられた必死さが感じられない気がするんですよ。

魔裟斗　そうでしょうね。ただ、勝ちゃいいっていう。あんまり考えてないんじゃないですか。ただ、オレ自身、そういうのが好きなんですよね。好きじゃないことってあんまりやらないですからね。

——魔裟斗さんって表面的に見ると格好

オレが本物のプロ。他に仕事を持ってるヤツと一緒にされたくない

つけている部分があるのかなって思う人もいると思うんですけど。

魔裟斗　オレ、思ったことを素直に言ってるだけであって、格好つけてないですよ。ひねくれてる人はキャラクターを作ってるとかって、嫌う人もいるだろうけど、これは全部、素直に言ってるし、ウソはついてない。

――だから、ムカつくんでしょうけど（笑）。

魔裟斗　だから、そういう人たちには格好良く見えるから格好つけてるって言われるんじゃないんですか（笑）。べつに格好良いこと言ってるつもりもないし、自分が思ってることが格好良いからそう思われるんじゃないんですかね。

――やっぱり今回の中量級の大会は、自分が背負っていかなければいけないなって気持ちはありますか。

魔裟斗　オレ以外の人が優勝してもあんまり変わらないと思うんですよ。たぶん、それで終わりだと思うんですよ、次はないかもしれないですよ、分かんないけど。少なくとも日本人の中で負けるわけにはいかないし。

――そうまで言ったら、いかないでしょう（笑）。ところで、記者会見の時に石井館長に直談判したそうですね、12月8日のK―1（東京ドーム）に出してくれって（笑）。

魔裟斗　試合が決まってないと自分の中で、ここまでは遊んでいい、ここからは真面目にやんなきゃいけないっていうメリハリがつけれないから。だから、早く決まってほしかったんですよ。それで、マスコミの人もいるし、ここで言っとけばいいかなと。わざとみんながいるところで言ったんですよ（笑）。

――そういう部分でホント、飢えてますよね。

橋本　団体に所属してる選手みたいに、いつか試合が組まれるだろうっていう考え方がまるでないじゃないですか。

魔裟斗　オレの場合、普通の仕事してるわけじゃないし、半年仕事がなかったら、ヒマなんですよ。

――ヒマ！（笑）。

魔裟斗　半年も試合がなかったら練習する気がしないし。そういうのが続くと、オレ、ダメ人間になっていきそうな気がするんですよね。だから、イヤなんですよ、あんまり間隔開くのが（笑）。

――ということは、今のところは毎日遊んでるんですか（笑）。

魔裟斗　練習はやってますけど、軽くしかやってないですね。遊んでますね。最近、毎日飲んでます（笑）。

――他の選手たちは一生懸命練習している中（笑）。

魔裟斗　毎日、朝まで飲んでます（笑）。

――だけど、勝つのはオレですと（笑）。

魔裟斗　そうですね（笑）。メリハリなんですよ。今から一生懸命練習してたら試合前にやる気がなくなっちゃいますよ。オレのやり方っていうのは、今から一生懸命やってたら絶対に集中力が保てないんですよ。

――じゃあ、やるとなったら？

魔裟斗　1カ月で一杯一杯ですよ。それだけその1カ月は集中しますよ。できないですよ、それ以上は。昔からそうなんですよ。分かってるから遊んでるんです。

――自分自身のコントロールっていうのはできます？

魔裟斗　オレはできます。っていうか、プロなんだから当たり前なんですよ。だから、プロ意識はオレが一番あるんですよ、きっと。だいたいみんなキックやらなくてもお金が入ってくるけど、オレはそういうわけにいかないですから。タイ人と一緒ですよ。

――強いに決まってますね（笑）。

魔裟斗　決まってますよ。生活かかってるんだから（笑）。金沢（久幸）とかだって自分で接骨院とかやりながらやってるし、小野瀬（邦英）だって仕事してやってるんだし、そういう人と一緒にされたくないですよ（笑）。

――普通はそっちのほうが賛美されるんですけどね。

魔裟斗　どっちが本物のプロかって言ったらオレですよ。

――だから、今は胸を張って遊んでるって言えるんでしょうね。

魔裟斗　胸張ってますよ（笑）。本格的練習もしてません（笑）。

橋本　ところで、昨年はムエタイの元チャンプとかをKOしたりしてましたけど、今年に入ってからは勝つだろうなと思う相手に勝ってるだけって感じですよね。その辺、不安じゃないですか。

顔がいいから絵になるし、なにより強いのが魅力の魔裟斗。たしかに彼が優勝しないと、K-1ミドル級は終わってしまうかも

魔裟斗　たしかにそれはあるでしょうね。だけど、オレは強くなってると思うし。だって、見てても分かるでしょ？

橋本　それはもの凄くよく分かる！

魔裟斗　ウェイトをやって凄い変わったなって思うし。

――あのぉ、体重が軽いとは思うんですけど、小林聡さんが出てきてほしいとかって思いません？

橋本　はぁ〜、これですよ。この人はこういうことを言うからキックを知らないっていうんですよ！（笑）。

――ダメ？　だって体重差7キロぐらいじゃん。

魔裟斗　いや、小さいですよ。対戦相手として全然考えたこともないですよ。ただ、あの階級では凄いことやってるし、強いと思いますよ。

橋本　あのね、83キロのヤツが90キロの人間とはできるんですよ。だけど、63キロの人間が70キロの人間とやるのは無理なんですよ。

――なんで？　普段、K―1とか7キロぐらい差があってもやってるじゃん。

橋本　ヘビー級と中量級は違うの！

――それって体重100キロのデブが20キロ減量してもやっぱり80キロのデブのままだけど……（笑）。

橋本　50キロの人間が20キロやせたら激ヤセになるってことから考えれば分かるでしょ！　ほっといてよ、オレのことは！（笑）。

魔裟斗　自己管理能力ないですね（笑）。だから、この中量級の大会って70キロまでだからオレも3キロ違う相手とやる場合もあるんですよ。一階級上の人間とやることもあるわけで、それはね。でも、いいッスけどね（笑）。

橋本　だから大変なんですよ！

――へぇ〜、この中量級の大会っていろいろと見るべき要素があるんだなぁ。勉強になるなぁ。

橋本　っていうか、勉強しろよ！　■

小比類巻貴之

「トーナメントのことを考えると眠れなくなるんです。オレには優勝しか許されない」

一方、魔裟斗から名指しで対戦表明されたライバル・小比類巻の意気込みも尋常ではない。「優勝できなかったら、オレはどうなっちゃうんだろう？」。大ゲサでなく、小比類巻はアイデンティティを賭けてこの大会に臨むつもりでいる。

聞き手◎橋本宗洋

——ついに開催が決まりましたね。

小比類巻 はい、ほんと「ついに」っていう感じですね。

——記者会見も、かなりたくさんのマスコミが来てました。

小比類巻 今回、魔裟斗選手と2人だったんで、それはちょっと意識しましたね。

——意識したっていうのはどういう感じなんですか？

小比類巻 2人が代表みたいな感じだったんで、お互いが決勝で当たれたらなと思って。

——今まで魔裟斗選手は自分から対戦相手の名前を出すことは少なかったんですけど、この前の記者会見で、ついにというか（笑）、小比類巻選手と武田（幸三）選手の名前を出しました。横で聞いてて、どう思いました？

小比類巻 敵は日本だけじゃないですし、世界の強い選手を目標にしてるんで、とりあえずオレにとっては魔裟斗選手は通過点ですね。

——小比類巻さんと魔裟斗選手は、お互いのデビュー2戦目で闘ってるんですよね。小比類巻選手のKO勝ちで。

小比類巻 今やっても結果は一緒でしょう。ただ、自分は以前のヒザ中心のファイトスタイルとはだいぶ変わったんで、パンチとかハイキックも織り混ぜられるし、結果は一緒だけどKOするやり方が違うという感じですね。

——以前闘った時のことって覚えてます？

小比類巻 覚えてますよ。お互い2戦目で成績も1戦1勝1KOで。

——期待されてる若手同士の対決って感じだったんですよね。

小比類巻 あの時はオレよりも魔裟斗選手のほうが、周りから期待されてましたからね。雑誌でも大きく取り上げられてたし。試合前、ジムの先輩とかにアイツを食ったら美味しいぞみたいなこと言われてて、どれだけ美味しいのかなぁって思ってリングに上がったんですけどね。

——あれから今まで、お互い順調に成長してきたなって感じですか。

小比類巻 順調ではなかったですけど（笑）。魔裟斗選手のことは分からないけど、俺はキツかったですよ。でも、オレはどんなことをしても強くなりたいっていうその気持ちだけできたんで。

——魔裟斗選手はこの前の『BLACK LIST』みたいに、イベントとミックスした形で試合を展開してますけど？

小比類巻 彼とは考え方が違いますからね。彼は格闘技を引退した後の生活も考えてるけど、オレにはそういう考えはないですから。自分が行きたい道を進めばいいんじゃないの、と。芸能人になりたかったらなればいいし。俳優になりたかったらなればいいし。オレは何より格闘技が好きなんで。そこだけは譲りたくないですね。

——K—1中量級はTBSで放送が決まりましたよね。局側もK—1を放送するのは初めてなんで、力を入れてると思うんですよ。

小比類巻 TBSっていったら畑山（隆則）選手じゃないですか。出身が青森で、自分と同じなんですよ。正月に田舎に帰ると、もう、凄いですからね。だから同じ局ってこともあって、畑山選手くらいになれるまで頑張らなきゃって思いはありますね。

——畑山選手って、リング以外の活動も目立ちますよね。スポーツキャスターとか『ガチンコ』に出たり。そういうのを自分もやろうかなっていう気持ちはありますか？

小比類巻 オレはイヤですね。

——またハッキリ言いますね（笑）。

小比類巻 今、そういうの多いじゃない

（魔裟斗が）俳優になりたいならなればいい
オレは格闘技のことしか頭にないんで

ですか。格闘家でもクイズ番組に出たりとか。そういうのは全部、魔裟斗選手に任せます（笑）。

―畑山選手は凄いですよ。会場に行くと異常なくらい女の子のファンが多い。

小比類巻　女子高生とか制服着てきますからね（笑）。

―K―1中量級もブレイクしたら、同じようになりますよ。

小比類巻　でもホントに人気出ちゃったら戸惑うかもしれませんね。格闘技のイメージが、それでホントに良くなってるのかなっていう。格闘家がチャラチャラした部分を出しちゃっていいのかなぁって思うんですよね。格闘家の理想って、芸能人やアスリートになることじゃなくて、強くなって上の立場に行くことだと思うんですよ。

―そういうことをアピールする意味でも、中量級のトーナメントは大事かもしれないですね。小比類巻選手と魔裟斗選手は出場決定ということで、あと6人、出てほしい人はいますか？

小比類巻　新田（明臣）さんと、後藤龍治選手、大野（崇）さんとか、SBなら緒形（健一）選手か土井（広之）選手ですね。それと……。

―武田（幸三）選手も出てほしいんですよねぇ。

小比類巻　武田選手にはぜひ出てほしいですね。タイ人とかよりも、日本人と試合したらホントに光るんじゃないんですかね。

―で、日本のトーナメントで勝つと世界のトーナメントになりますよね。まず日本の代表がいて、タイの代表が出て。あとは誰が出てきてほしいですか？

小比類巻　オーストラリアのダニエル・ドーソンですかね。

―小比類巻選手も一度負けてるし、7月には緒形選手も倒してますからね。

小比類巻　手が届かない強さではないと思うんですけどね。ちゃんと練習して、本当にいいトレーニングができてたら勝てたんじゃないかなっていう。

―ヨーロッパからは当然マリノ（・デフローレン）が参戦してくると思うんですよ。これも小比類巻選手が負けてる相手で。

小比類巻　リベンジしたいっていうのはありますけど、でもあんまり強くないですよ（笑）。

―負けず嫌いですねぇ（笑）。

小比類巻　いや、ギリシャとかあっちの選手のほうが強いですよ。

―ギリシャですか？

小比類巻　ええ。あと去年イタリア行った時に、ミルコ・クロコップと同じジムの中量級の選手と友達になったんですよ。名前がマルコっていうんですけど。

―ミルコの仲間でマルコ（笑）。

小比類巻　そいつの試合見たら、パワーファイターで凄い強いんですよ。1RでKO勝ちして。ミルコの小型版って感じでしたね。

―今まではヨーロッパっていうとオランダとフランスのイメージが強かったけど、新しい国からどんどん出てきてるんですね。

小比類巻　特に中量級なんで、余計にたくさんいると思いますね。

―トーナメントの対策を考えてるってことですけど、具体的にはどういうことを？

小比類巻　日本人に関してですけど、この選手はこういうところが強くて、だったらこう攻めようとか。自分なりにシミュレーションしてます。

―じゃあ、さっき言ったメンバーをひととおり。

小比類巻　はい。

―今の魔裟斗選手にはどういう印象がありますか？

小比類巻　レベルアップしてるのは間違いないと思います。特にパワーは上がってますね。でも、オレ的には魔裟斗選手より手強いっていうか、注意しなきゃいけない選手はいっぱいいますからね。

―例えば誰になります？

小比類巻　やっぱり、出てくるとしたら武田選手になるでしょうね。あとは新田さんも強いし、大野さんもクセ者ですからね。

―その中で、自分が勝ち抜いていく自信っていうのは？

小比類巻　自信っていうか、とにかく勝たなきゃいけないですね。トーナメントが決まったことを聞いた日なんか、突然夜中に走りにいっちゃったんですよ（笑）。

―落ち着かなくなっちゃって（笑）。

小比類巻　興奮するっていうか「ヤバイ！」って感じが抑えられなくなって、眠れなくなっちゃうんですよ。「このまま優勝できんのか？」「これで優勝できなかったらオレってなんなんだ？」って考えて。

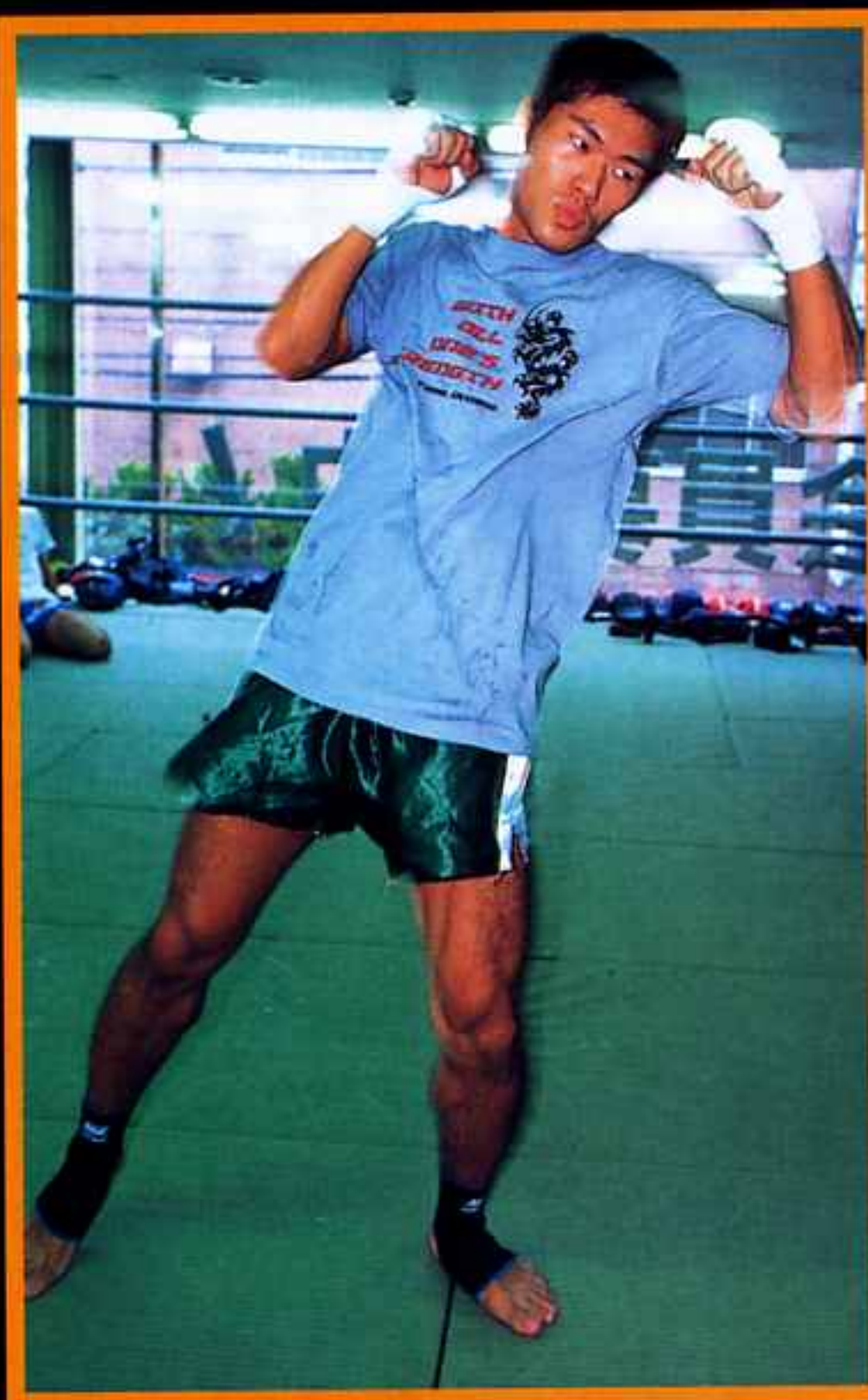
―へぇ～。

小比類巻　人生を賭ける大会になると思うんで、はい。

―そこまでの意気込みがあるんだ。

小比類巻　ありますね、意気込み。「ついにこの時が来た！」っていう。

―「勝ちたい」っていうより「勝たなきゃダメだ」っていう。楽しみだとか、そういうんではないんですね。

小比類巻　全然。楽しむどころじゃないですね。恐怖心ですよ。もし負けたらオレはどうなっちゃうんだろう？　っていう。考えられないですからね、怖くて。優勝しか許されないんですよ、自分の中で。

―はぁ～。あ、そうだ。体重に関してはどう考えてますか？　70キロリミットでやるわけですよね？　まあウェルターとミドルの中間ってことなんでしょうけど、ウェルター級の選手には重くないですか。

小比類巻　今はウェイトトレーニングを結構やってるんでちょうどいいですね。

―他の選手は結構、悩むんじゃないですかね。トーナメントに合わせて体重を増やすと、今度は普段の階級に合わせるのが苦しくなるじゃないですか。

小比類巻　いや、70キロをベストの体重に持ってけない選手はダメでしょう。

―でも、みんなそれぞれにタイトルを持ってるわけじゃないですか。

小比類巻　それを気にしてる場合じゃないと思うんですよ。キックはいろんな団体があって、たくさんタイトルがあるじゃないですか。そのタイトルと今度のトーナメントとどっちが大事なんだ？　って。トーナメントに完全に照準を合わせないで、今持ってるベルトを大切にするんじゃ……。その程度の覚悟だったら、出てきちゃダメですよ。■

シュートボクシングのエース 緒形健一 リングスに戦線布告！

「これはただの"参戦"じゃない。
団体を背負って闘う"対抗戦"です！」

撮影◎吉澤晃
聞き手◎橋本宗洋

前号でもお伝えしたとおり、シュートボクシング（SB）のエース、現ファルコン級王者・緒形健一の10・20リングス代々木大会出場が決定した。打撃だけでなく投げや立ち関節、絞めも有効な"立ち技総合格闘技"SBだけに、リングスでの活躍も期待大。「SBを背負って闘う」と言い切るオガケンの覚悟を感じてもらいたい。

―今回のリングス出場はいつ頃決まったんですか？

緒形 最初に聞いたのはリングスの有明大会の2、3週間前だったと思います。もう、あれよあれよという間に決まったって感じで。なにしろウチの会長（シーザー武志）と前田（日明）さんの関係なんで（笑）。

―まあ話は早いですよね（笑）。

緒形 「やろうか」、「うん」って、そんな感じで（笑）。

―総合の試合ですから、やっぱり話があった時は驚きましたよね。

緒形 そんなに驚きはしなかったですね。それよりチャンスだなと。

―チャンスっていうのはSBをアピールするっていう意味で？

緒形 そうですね、はい。今まではキックと一緒に見られがちだったんで。キックの試合にも出て、それは実力を証明するって意味では良かったんですけど、そればっかりだと自分たちが何をやってるのか分かんなくなっちゃうんで。根っこを確認するっていうか、やっぱりSBは打つ、蹴る、投げる、極めるまで合わせたものですから。

―よく"スタンディング・バーリ・トゥード"っていう言い方をしますよね。

緒形 その魅力をアピールするには総合格闘技っていうフィールドもいいんじゃないかなと思うんですよ。それでウチの"立ち技総合"っていうのが明確になるなっていう。

―マスコミもSBを紹介する時に"打撃プラス投げ"の競技って言いがちだったし、交流戦もキックの団体とやってたけども、それだけじゃないと。

緒形 パンチも蹴りも、投げも立ち関節も全部合わせたものがSBだと思ってますね。

―じゃあいわゆる"打撃系"とはちょっと違う……？

緒形 打撃が重要なのはもちろんなんですけど……。やっぱり"立ち技総合"っていう言い方がしっくりきますね。僕がSBに入ったのも、それをやりたかったからだし。新しいジャンルの魅力があったんですよね。だから僕は、ストライカーでもないしグラップラーでもない、シュートボクサーだと思ってます。

―そういう意味で、リングスでの闘いはよりSBの独自性が見せられるという感じですか。

緒形 そうですね。凄いチャンスだと思います。

―総合の練習のほうはかなりやってるんですか？

緒形 まずは9月のウチの興行があるんで、重点的にやるってわけにはいかないんですけどね。

―ああ、そうか。じゃあ本格的な練習は9月の大会が終わってからになるんですかね。

緒形 ですね。ただ、そんなに寝技をガ

リングス10・20代々木
SB・緒形健一出陣！

キレたらグラウンドで顔面パンチやヒジ入れちゃうかもしれないですよ

ッチリやろうって感じでもないです。最低限、極められないようにはしておきたいなと。

―シーザージムっていうと修斗のルミナ選手とかマッハ選手も出稽古に来るじゃないですか。寝技の練習もちょっとはやってるんですよね？

緒形 いや、ほんの少しですよ、でも。

―聞いた話じゃ、ルミナ選手と寝技のスパーやって極められなかったっていうじゃないですか。

緒形 いや～、5分くらいのスパーでしたからね。それに僕は逃げてばっかでしたし。もう必死でカメになって（笑）。

―あと、緒形選手といえば柔道もやってたんですよね。それも大きいんじゃないですか？

緒形 高校で3年間、空手と並行してやってました。どっちかっていうと空手がメインだったんですけど、大山倍達総裁の本を読んだら「柔道をやったほうがいい」って書いてあったんで、それで柔道も始めて。

―あぁ、両方やってたんだ。

緒形 部活で柔道やって、それから空手の道場に行ってっていう。やっぱり、柔道で得た腰の強さとか基礎体力はデカいですね、今でも。

―それは総合でも役に立つでしょう。

緒形 そうですね。まずはテイクダウンされないことが重要になってくると思いますから。で、万が一倒されても、とりあえず逃げられるだけの技術は持っておこうと。リングスのルールは膠着ブレイクもあるんで。

―勝負は立ち技ですよね、当然。

緒形 ですね。ブン殴って、腹でも効かせて、立ち関節でも極められれば。やっぱりSBの技術体系で勝ちたいですね。じゃなかったら意味がないです。

―寝技に対応していこうっていうのではないと。

緒形 そうです。

―違うジャンルから来た選手だと「負けても勉強になった」とかよく言うじゃないですか。負けも覚悟しながら自分の可能性を試す、みたいな。

緒形 あ～、そういう気持ちは全然ないですね。柔道をやってた分、寝技がそんなに甘いもんじゃないっていうのも知ってますし。寝技がどれだけできたかとか、試してる場合じゃないっていうか。勝たなきゃしょうがないです。

―じゃあ、ただ参戦するって気持ちじゃないですね。勝負しにいくっていうか。

緒形 〝参戦〟ではないですね。気持ちとしては対抗戦です。「どこまでできるか」みたいな気分じゃやってらんないですよ、これは。もう、ホントに勝負です。負けたら何言われるか分かんないですし。自分もペーペーじゃないですからね。

―「負けられない」って気持ちは、いつも以上に……。

緒形 ありますね。看板背負ってますから。昔、吉鷹さんが一人で看板背負ってキックの試合に出てったじゃないですか。ああいう感じと一緒ですね。

―いいッスねぇ。そうなると見るほうもガ然、燃えますよ。

緒形 やるほうとしても、そうじゃないと面白くないですからね。

―あと、SBとリングスの違いっていうとグローブもありますよね。オープンフィンガーグローブだとパンチの威力もかなり上がるんじゃないですか？

緒形 威力はそれほど変わらないと思うんですけど、ディフェンスの仕方が違ってくるのが大きいですね。普通のボクシンググローブだと、グローブの大きさを使ってブロックできる部分もあるんですけど、オープンフィンガーだと隙間ができるじゃないですか。

―ピンポイントでパンチが入る。

緒形 だから長い時間打ち合うっていう展開にはなりにくいんでしょうね。打って離れるとか、打って組み付くっていうふうになる。連打されたらブロックしきれないですからね。

―ということは逆に言うと……。

緒形 僕が当てやすいってことでもあるんですけどね。

―じゃあパンチでKOって可能性も高いんじゃないですか。

緒形 そうなるといいですよね。盛り上げるっていう意味では。

―あと、村浜（武洋）選手のことって意識しますか？　彼もリングスに上がったじゃないですか。

緒形 いや、意識はしてないですよ。

―あ、そうですか（笑）。

緒形 彼は彼でやってくれればいいと思いますけど。

―そうか……。ま、とにかく試合を楽しみにしてます。緒形選手だったら、まずつまんない試合にはならないでしょうから（笑）。

緒形 頑張ります（笑）。

―さっき「膠着ブレイクもあるから」って言ってましたけど、あんまり寝技で何もしないでいるとキレちゃうんじゃないかと思うんですよね（笑）。「つまんない展開だな」って思ったらいっちゃうでしょ、緒形さんは（笑）。

緒形 嫌いですからねぇ、膠着。試合が動かないと、後先考えずに「いったれ！」ってなっちゃうんですよねぇ。

―しかも、観客が見てて「つまんねえ」って思うタイミングより明らかに早いですからね（笑）。だからなんだかんだ言って、寝技でも仕掛けてくんじゃないかと思うんですよね。

緒形 ヘタしたらグラウンドで顔面パンチやったり、ヒジ入れたりしちゃうかもしれないですよ、キレたら。

―反則負け（笑）。

緒形 なんか、ダメなんですよねぇ、動かない試合っていうのが。それでムチャして、だいぶやられたりもしてるんですけど……。

―だから面白い試合になるんで、見てるほうはいいんですけどね。

緒形 まあ、しょうがないですよね。そういう気持ちがなくなった時が、現役を辞める時だと思ってますから。■

長谷川京子の熱戦レポート

長嶋一茂の極真マジ挑戦 今度こそ完全燃焼を！

これが4度目の挑戦となる一茂。35歳は今大会最年長だ

▲相手の攻撃を見切ってからカウンターを合わせる一茂。動きは見えていた

▲「会場は凄く武道の雰囲気漂う場所でした」と京子ちゃん。旧武徳殿で京都大会は行われた

皆さん、こんにちは。お久しぶりですが、お元気でしたか？

今回は、あの長嶋一茂さんが出場された極真・京都府空手道選手権大会のレポートをお届けします。

大会数日前、ＳＲＳファミリーの一茂さんが大会に出場するということで、私もぜひ応援したいと思い、池袋の〝ボディプラント〟というところに行ったんです。そこでは、ナント！ 野地竜太選手と一茂さんが練習中。一茂さんは野地選手に劣らないくらい立派な体格をしているし、正直言って、とっても驚きました。だって、一茂さんは30歳になってから極真を始めているんですよ。そして今、35歳という年齢なのに、身のこなしはいいし、蹴りのキレはあるし、腰もずっしりと安定しているし、驚かずにはいられませんよ！ それに普段、私が会う一茂さんと違うとても真剣な一面が見れて、少し得した気分でした。

一茂さん、小学3年生の時に、野球をやるか極真空手をやるか、迷ったらしいんですよ。その時には野球を選んだけれど、プロ野球を引退した30歳の時に、極真への思いを断つことができずに始めたそうです。でも、30歳で極真を始めるって、簡単な決意ではないですよね。それに今回、大会に出場することを決めることだって……。

現在35歳の一茂さんは、今大会最年長。しかも、俳優・タレントといろいろな顔を持っていて、いったいいつ練習をする時間があるの？ と思ってしまうくらい。それに、芸能人としてやっぱり注目されちゃうし、そうなると負けるのはカッコ悪いと思ってしまわないのカナとか、私の中でたくさん

極真空手

第5回京都府空手道選手権大会

9・15★旧武徳殿

そこにはいつもと違う〝長嶋一茂〟がいた

▶「武道ですから弱い者が負けるんです」と一茂。しかし、あのハードスケジュールながら、よくぞここまで闘った

▼相手の弓場は一茂につぐ大型ファイター。攻撃のパワーは凄かったが、必死に反撃

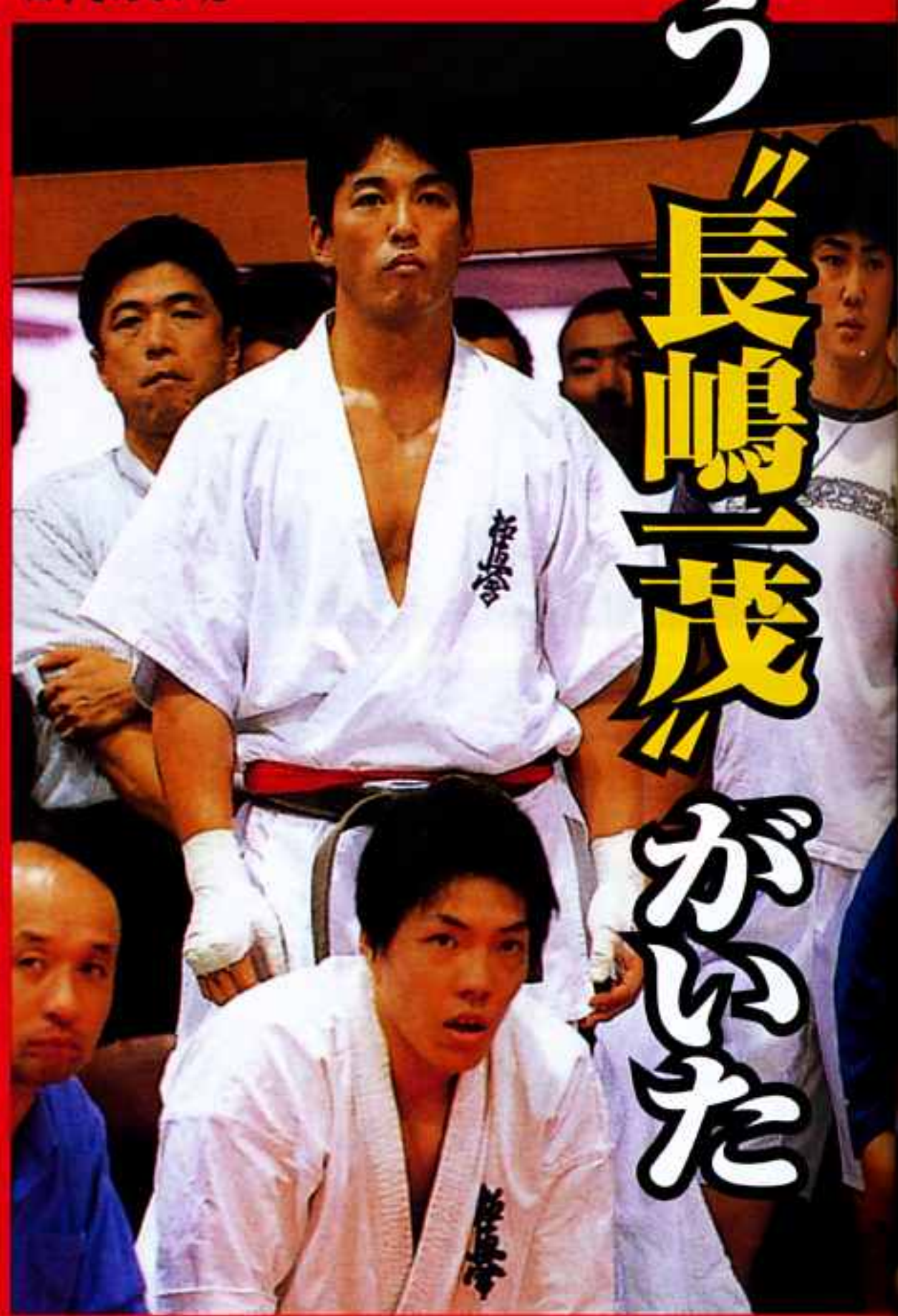
▶練習量が少ないながらもラスト30秒は見事に打ち合った

ラスト30秒は打ち合った！ されど、極真のレベルは高い

▶「効かされたものは何もない」。だが、終始積極的に攻めた弓場が圧勝

「半年仕事を休んでくれれば、全日本にも出れるのに……」（田口支部長談）

▲判定は5－0。試合後、田口世田谷支部長は「半年仕事を休んでくれれば、必ず全日本大会に出れる」と、その素質を高く評価した

▲国歌斉唱の時は目を閉じて〝君が代〟を口ずさんでいた

▲マウスピースをはめながら気合いを入れる一茂。明らかにタレント一茂とは別人だった

★男子無差別級トーナメント
○弓場祥生（本戦5－0優勢勝ち）長嶋一茂●
〈府本部〉　〈東京城西世田谷東〉

はせキョー、初のドラマ出演決定！ 木曜夜10時は忘れずにチェキ！

『SRS』のナビゲーターとして人気爆発中の『はせキョー』が、ついに連続テレビドラマに出演することになったゾ！　出演ドラマは、10月11日（木）夜10時から始まる「スタアの恋」（フジテレビ系／毎週木曜 22：00〜22：54）というラブコメディ。ナント！　『SRS』の大先輩・藤原紀香や草彅剛との共演だ。紀香とはせキョーが同時に拝めるなんて、まさに『SRS』＆格闘技ファンのためのドラマ！　ちなみに、はせキョーはハム工場の事務員役らしいが、いったいどんな役を演じているのか？　それは、見てのお楽しみ!!

いのカナとか、私の中でたくさん考えてしまうことがありました。

でも、一茂さんとお話をして、そして極真のことを話している時の表情を見て、「一茂さんは本当に極真空手を愛しているんだナァ。だから、こんなに頑張れるんだ」と分かりました。

もう、あとは大会で頑張ってほしい！　完全燃焼してほしい！　と願いながら始まった9月15日第5回京都府空手道選手権大会。

会場の旧武徳殿は一見、お寺のようなたたずまい。ここで極真空手をやるなんて、まるで〝ドラゴンボールの天下一武道会〟みたいでカッコイイ！　と感激でした。

それにしても京都は盆地のため、まだまだ暑くて、会場の中はかなり蒸していて、選手たちには厳しい状態。そんな中で始まった大会でしたが、とにかくみんな強くてビックリ!!　谷川さんが「地方の大会だけど、かなりレベルが高い」と言うのにも納得しました。

ビックリしているうちに始まった一茂さんの試合。相手の弓場祥生選手は、京都府の新人戦で優勝しているだけあって、ホントに強い！　一茂さんも頑張って突きを返していたけれど、結果は残念ながら負けてしまって……。

試合後の一茂さんは、悔しがってはいたけれど、思っていたよりは元気で少しホッとしました。でも、ホントはすっごく悔しいんだろうなぁと思いました。

次の大会については「まだ考えていない」と言っていましたが、私は絶対にまたチャレンジしてほしいし、私もまた、応援させてもらいたいと思ってます。　（京子）

Every Day Best Price!! 35~80%OFF

商品番号:CSD-4016
商品名:サンドバッグ
定価¥18,000
↓Best Price!
¥8,000

■素　材:6号帆布
■重　量:45kg
■サイズ:Φ40×160cm
■台湾製

商品番号:CTY-10152
商品名:ウェーブマスターJr.
定価¥18,500→ Best Price! ¥9,800
48% OFF!!

■重　量:6kg
■サイズ:高さ90～125cm
最大底面直径:53cm
■素　材:表/ターボリン
中/硬質ウレタン
■アメリカ製
■タンクに水を入れてご使用下さい。
給水時の重さは約75kgになります。
移動時は筒状で、転がしやすい設計になっています。

少年向けの置床式サンドバッグ！
高さは4段階調整可能！！

床ずれせずに腹直筋を鍛えます。
腰の弱い方も安心して使えます。

商品番号:CB-110
商品名:クランチボード
定価¥4,300→ Best Price! ¥980

■重　量:3.2kg
■サイズ:W32×D77cm
■台湾製

商品番号:ND-100
商品名:ネックデベロッパー
定価¥2,800→ Best Price! ¥1,800
プレートは別売です。
■台湾製

熱い湯でやわらかくし、
口に合わせて形成するタイプです。

商品番号:CTY-1458
商品名:マウスガード
定価¥2,800→ Best Price! ¥980
■2ケ入(ケース付)
■アメリカ製
65% OFF!!

60% OFF!!

商品番号:LNU-14
商品名:黒ゴムヌンチャク
定価¥2,800→ Best Price! ¥1,200
■サイズ/36cm
■台湾製

商品番号:NU-3F
商品名:フォームラバーヌンチャク
定価¥2,000→ Best Price! ¥800
■サイズ/45cm
■台湾製

あらゆるスポーツ選手にかかせない手首の強化。
ワイヤー式なので個々のレベルにあわせて抵抗を調整できます。

商品番号:LFM-1
商品名:フォーアームマスター
定価¥3,500→ Best Price! ¥1,500
60% OFF!!
■重　量:1kg
■中国製

■台湾製

商品番号:LES-7
商品名:レッグストレッチャー
定価¥4,800→ Best Price! ¥1,800

全てのスポーツは、柔軟な身体から。

ハンドルを抜いて前屈運動もできます。

■台湾製
45% OFF!!

商品番号:LES-9
商品名:ストレッチマシン
定価¥28,000→ Best Price! ¥15,000

ダンベルは別売です。

商品番号:PF-160
商品名:マルチシットアップベンチ
定価¥19,800→ Best Price! ¥9,800
■耐荷重量:250kg
■サイズ:H125×W34×D165cm
■台湾製

★インクラインベンチプレス
★バックエクステンション
★フラット
★アームカール
★バタフライ
★トライセプス
★ディクラインプレス
★シットアップ
★レッグレイズ
★サイドラテラル
★アームカール
★ワンハンドローイング

33種類のダンベル運動を特集した指導書付！！

商品番号:CN-40
プレートは別売です。
商品名:セーフティプレスベンチ
定価¥23,000→ Best Price! ¥11,500
■重　　量:30kg
■耐荷重量:100kg
■サイズ:H58×W140×D107cm
■中国製
★ベンチプレス
★デッドリフト
★カーフレイズ
★ベントオーバーローイング
その他･バーベル､ダンベル運動

商品番号:PF-150
商品名:シットアップベンチ
定価¥4,800→ Best Price! ¥1,500
■重　量:8kg
■サイズ:H60～78×W37×D130cm
シート部(W30×D90cm)
■中国製
せまいスペースでトレーニングができます。

組み立ては付属の工具で4ケ所をネジで止めるだけと簡単です。

50% OFF!!

商品番号:CN-10
商品名:フラットベンチ
定価¥4,980→ Best Price! ¥2,500
■重　量:5kg
■サイズ:H30×W37×D103cm
シート部(W20×D90cm)
■中国製
ウェイトトレーニング、ダンベル運動には欠かせないベンチです。

商品番号:CN-50
ベンチは別売です。
商品名:プレス&スクワットラック
定価¥12,000→ Best Price! ¥6,800
■重　　量:30kg
■耐荷重量:250kg
■サイズ:H107～140×W135×D94cm
■中国製

MAX CLUBで取扱っている商品のご注文は通販のみの受付となります。

ご注文専用ダイヤル
0120-000-902

受付時間
平　　日PM12:00～PM7:00
土・日・祝日PM12:00～PM6:00

FAX 24時間受付
0480-25-5541

お問い合せは
0480-25-5540

受付時間
平　　日PM1:00～PM5:00

お支払い方法

代　引	TELかFAXで受け付けております。商品到着時、配達員へ、商品代金+送料+代引手数料+消費税をお支払い下さい。
現金書留	TELにてお問い合せの上、商品番号、商品名、住所、氏名、電話番号を明確に書いて、商品代金+送料+消費税を同封してご送金下さい。

MAX CLUB
〒347-0023　埼玉県加須市北辻宮前164-1

ご　注　意

- ●沖縄県、北海道、及び離島の方は送料をお問い合せ下さい。
- ●表示の価格には、送料、代引手数料、消費税は含まれておりません。
- ●万一、不良品があった場合は送料当社負担にて交換致します。着品後、1週間以内に電話連絡の上ご返却下さい。
- ●複数ご注文頂いた場合は、基本的に商品1つにつき、それぞれ送料がかかります。ご了承下さい。

広告有効期限▶広告掲載日より1ヶ月間

バーゲン品につき返品・交換はご容赦下さい。

商品がなくなり次第、完売とさせて頂きますので、その際はご了承願います。

ISAMI Goods Outlet

●バーベルセットのバーの長さは160cm、180cmのどちらかをお選び下さい。200cmの場合は900円増です。

■バー・プレート：中国製

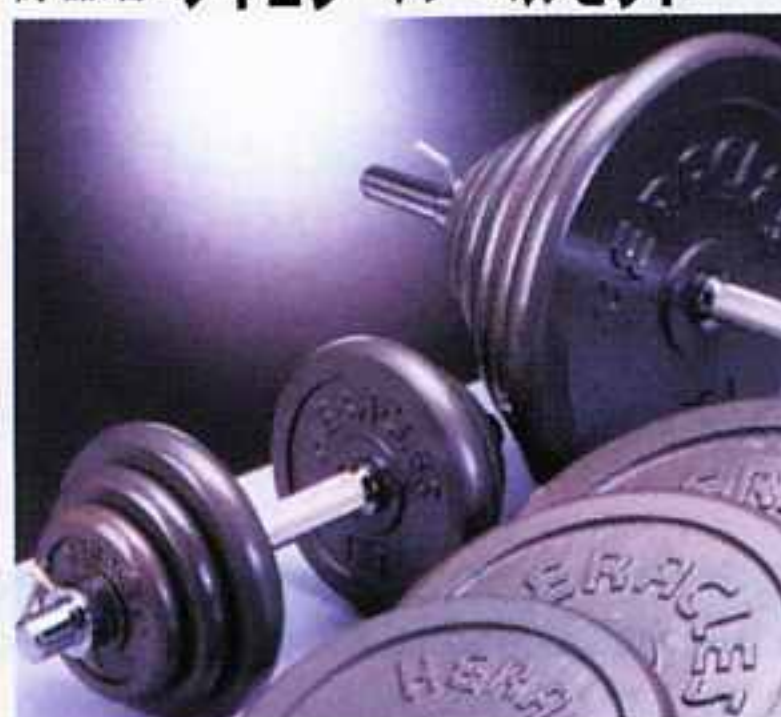
商品番号：HRC-100
商品名：クロームメッキバーベルセット

Barbell Set

セット	内容	価格
35kgセット	バー(10kg)×1、ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(2.5kg)×4、(5kg)×2	¥14,100→ ¥9,200
55kgセット	バー(10kg)×1、ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(1.25kg)×4、(2.5kg)×4、(5kg)×2、(7.5kg)×2	¥20,500→ ¥13,300
75kgセット	55kgセット+プレート(10kg)×2	¥26,900→ ¥17,500
105kgセット	75kgセット+プレート(15kg)×2	¥36,500→ ¥23,700
145kgセット	105kgセット+プレート(20kg)×2	¥49,300→ ¥32,100

Plate

重量	価格	重量	価格
1.25kg	¥400→ ¥250	10kg	¥3,200→ ¥2,000
2.5kg	¥800→ ¥500	15kg	¥4,800→ ¥3,000
5kg	¥1,600→ ¥1,000	20kg	¥6,400→ ¥4,000
7.5kg	¥2,400→ ¥1,500		

商品番号：HRC-200
商品名：レギュラーバーベルセット

Barbell Set

セット	内容	価格
35kgセット	バー(10kg)×1、ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(2.5kg)×4、(5kg)×2	¥11,400→ ¥7,400
55kgセット	バー(10kg)×1、ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(1.25kg)×4、(2.5kg)×4、(5kg)×2、(7.5kg)×2	¥15,400→ ¥10,000
75kgセット	55kgセット+プレート(10kg)×2	¥19,400→ ¥12,600
105kgセット	75kgセット+プレート(15kg)×2	¥25,400→ ¥16,500
145kgセット	105kgセット+プレート(20kg)×2	¥33,400→ ¥21,700

Plate

重量	価格	重量	価格
1.25kg	¥250→ ¥150	10kg	¥2,000→ ¥1,200
2.5kg	¥500→ ¥300	15kg	¥3,000→ ¥1,800
5kg	¥950→ ¥600	20kg	¥4,000→ ¥2,400
7.5kg	¥1,500→ ¥900		

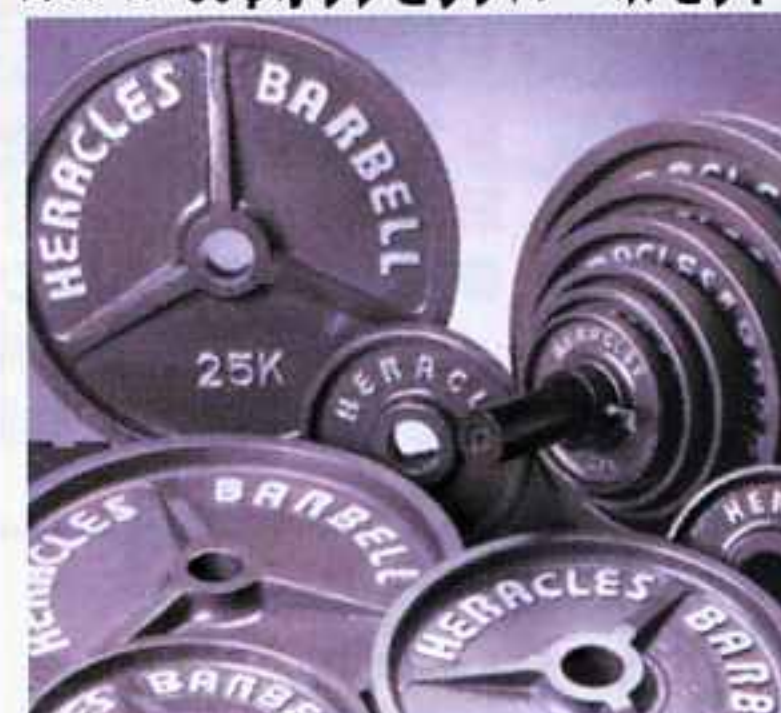
商品番号：HRC-300
商品名：ラバーバーベルセット

Barbell Set

セット	内容	価格
35kgセット	バー(10kg)×1、ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(2.5kg)×4、(5kg)×2	¥14,100→ ¥9,200
55kgセット	バー(10kg)×1、ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(1.25kg)×4、(2.5kg)×4、(5kg)×2、(7.5kg)×2	¥20,500→ ¥13,300
75kgセット	55kgセット+プレート(10kg)×2	¥26,900→ ¥17,500
105kgセット	75kgセット+プレート(15kg)×2	¥36,500→ ¥23,700
145kgセット	105kgセット+プレート(20kg)×2	¥49,300→ ¥32,100

Plate

重量	価格	重量	価格
0,5kg	¥160→ ¥100	7.5kg	¥2,400→ ¥1,500
1.25kg	¥400→ ¥250	10kg	¥3,200→ ¥2,000
2.5kg	¥800→ ¥500	15kg	¥4,800→ ¥3,000
5kg	¥1,600→ ¥1,000	20kg	¥6,400→ ¥4,000

商品番号：HRC-1000
商品名：50φオリンピックバーベルセット

Barbell Set

●バーベルシャフトは218cm(重量：約16kg)がセットされます。

セット	内容	価格
61kgセット	バー(16kg)×1、プレート(1.25kg)×4、(2.5kg)×4、(5kg)×2、(10kg)×2	¥29,400→ ¥19,100
91kgセット	61kgセット+プレート(15kg)×2	¥39,000→ ¥25,400
131kgセット	91kgセット+プレート(20kg)×2	¥51,800→ ¥33,700
181kgセット	131kgセット+プレート(25kg)×2	¥67,800→ ¥44,100
221kgセット	181kgセット+プレート(20kg)×2	¥80,600→ ¥52,400

Plate

重量	価格	重量	価格
1.25kg	¥400→ ¥250	15kg	¥4,800→ ¥3,000
2.5kg	¥800→ ¥500	20kg	¥6,400→ ¥4,000
5kg	¥1,600→ ¥1,000	25kg	¥8,000→ ¥5,000
10kg	¥3,200→ ¥2,000		

ヘラクレスダンベルセット

セット	片手	内容	レギュラー	クロームメッキ	ラバー
10kgセット	片手5kg	ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(1.25kg)×4	¥4,000→ ¥2,600	¥4,800→ ¥3,120	¥4,800→ ¥3,120
20kgセット	片手10kg	ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(1.25kg)×4、(2.5kg)×4	¥6,000→ ¥3,900	¥8,000→ ¥5,200	¥8,000→ ¥5,200
30kgセット	片手15kg	ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(1.25kg)×4、(2.5kg)×8	¥8,000→ ¥5,200	¥11,200→ ¥7,280	¥11,200→ ¥7,280
35kgセット	片手17.5kg	ダンベルバー(2,5kg)×2、プレート(1.25kg)×8、(2.5kg)×8	¥9,000→ ¥5,850	¥12,800→ ¥8,320	¥12,800→ ¥8,320
40kgセット	片手20kg	ダンベルバー(2.5kg)×2、プレート(1.25kg)×4、(2.5kg)×4、(5kg)×4	¥9,800→ ¥6,370	¥14,400→ ¥9,360	¥14,400→ ¥9,360

●基本的にレギュラーダンベルセットにはレンチ式シャフト(スプリングカラー4ヶ付)、クローム、ラバーダンベルセットにはスクリュー式シャフトがセットされます。

商品番号：L-237
商品名：レッグパッド
Best Price!
1組 定価¥1,000→¥500
■中国製

■サイズ/フリー

商品番号：L-469
商品名：フォーアームサポーター
Best Price!
1組 定価¥2,000→¥980
■中国製

■サイズ/M・L

商品番号：L-535
商品名：セーフティアンクルガード
Best Price!
1組 定価¥1,200→¥700
■中国製

■サイズ/少年用

商品番号：L-673J
商品名：金的ブリーフ(カップ付)
Best Price!
定価¥1,400→¥780
■中国製

番組インフォメーション

10/5の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは9月19日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

注意！ 9月28日の『SRS』は、お休みです！　また、番組改編時期に伴い、10月5日は、通常より15分遅れのスタートです！　注意してネ!!

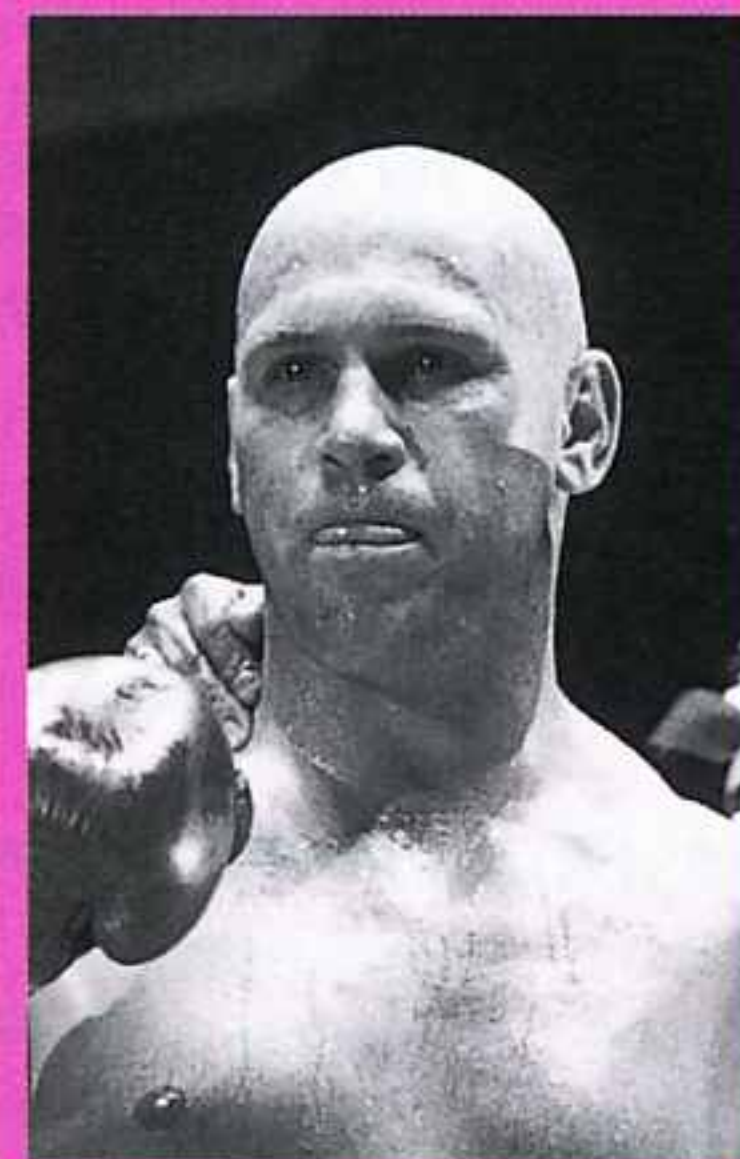
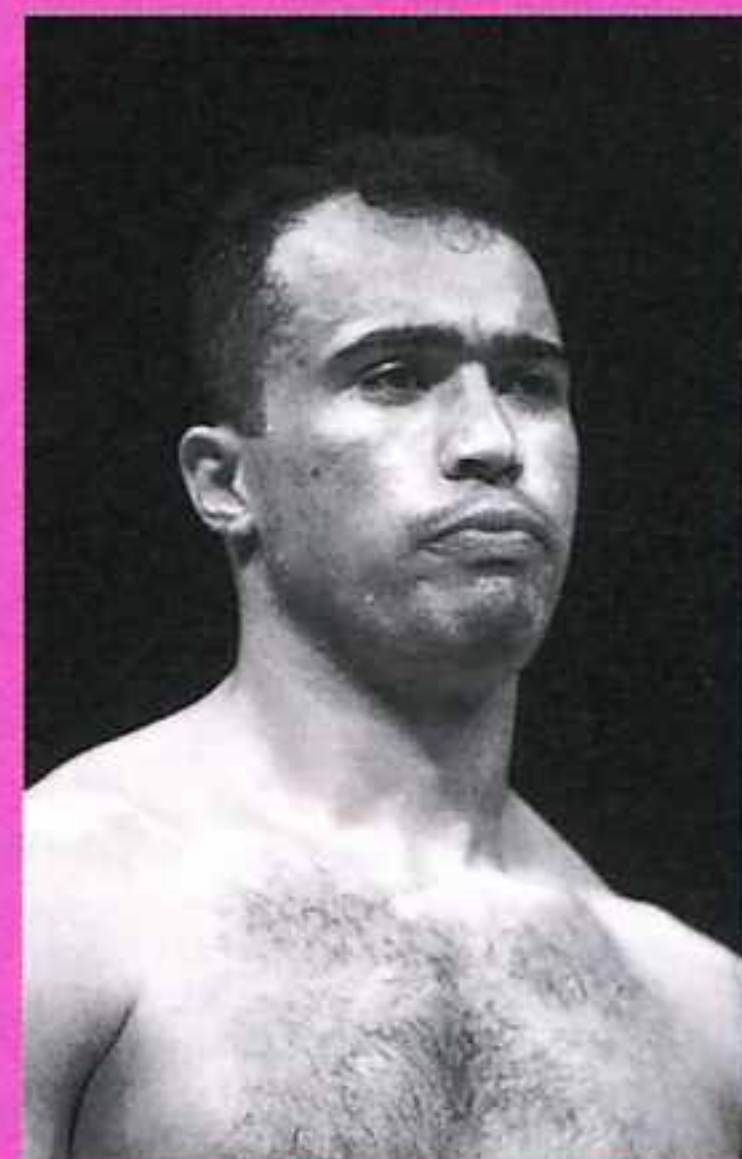
『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分フジテレビ系で絶賛放映中（※10月5日は26時スタートです）。

10/5

いったい誰が優勝しちゃうの？

10・8『K-1 ワールドGP2001 in 福岡』直前情報！

10月5日（金）/26:00～26:30

と～んでもないことになっちゃいました！　今年のK-1グランプリは、開幕戦から大波乱の連続。有力選手が次々と敗れてしまい、10月8日の福岡での敗者復活トーナメントは、決勝戦と同じくらい豪華な選手が出揃ったんです。マイク・ベルナルド、レイ・セフォー、フランシスコ・フィリォなど、凄い顔ぶれが福岡へやって来る。まさに「裏K-1グランプリ！」と言っても過言ではな～い！！　いったい、どんなドラマが待っているのか。今からワクワク、ドキドキ、心臓バクバクです。そんな10月8日が待ち遠しくてたまらないというアナタのために、今回のSRSでは、試合を直前に控えた出場選手の最新情報をお届けします。この中から勝ち残った2人しか12月の決勝に行けないということで、選手の気合いも尋常ではないみたいですよ。おそらく出場選手の皆さんは、張りつめた表情をしているのではないかと思われますね。うぅ～ん、そんなピリピリした選手の皆さんに取材できるのかしら。SRSならではの切り口で体当たり取材を敢行するので、ぜひぜひお楽しみあれ～っ！

▲順当に勝ち進めば、この2人の対決が実現するのだ！

フジテレビ系列の番組から

◎フジテレビ

10・8『K-1 ワールドGP2001 in 福岡』中継

10月8日（月・祝）/19:00～20:54

チケットを買いそびれ、会場に行けずに涙を流しているアナタ！　朗報だよ～！『K-1 ワールドGP 2001 in 福岡』当日、トーナメントの模様をゴールデンタイムで放送します。東京ドームへのキップを手にするのは誰か？　これはもう、見逃せませんネ！

▲セフォーだって黙ってはいないぞ！

◎フジテレビ

9・24『プライド16』中継

9月29日（土）/13:00～14:30

9月24日に行われた『プライド16』を系列各局で放送します。コールマンvsノゲイラなど、見どころ満載の試合をたっぷりとお届けします。

系列各局の放送日時

北海道文化放送 9月30日（日）24:55～26:25、テレビ静岡 10月6日（土）放送時間未定、東海テレビ 10月6日（土）13:05～14:20、岡山放送 10月5日（金）25:20～26:50、テレビ西日本 9月29日（土）26:24～27;54　この他にも、関西テレビ、岩手めんこいテレビ、さくらんぼテレビ、長野放送、石川テレビ、高知さんさんテレビ他で調整中です。詳細については、各局にお問い合わせください。

◎CS721

K-1 放送日程

『K-1 ワールドGP2001in 大阪』
10月6日（土）15:20～17:20

『K-1 ワールドGP2001in メルボルン』
10月6日（土）17:20～20:00

『K-1 ワールドGP2001in 名古屋』
10月7日（日）17:00～20:00

『K-1 ワールドGP2001in ラスベガス』
10月7日（日）20:00～21:40

『K-1 ワールドGP2001in 福岡』
10月8日（月・祝）15:00～18:00

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せください～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
9/28（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	4:00～5:00	これまでの『ワールドコンバットファイト』の再放送シリーズ。『AFCユーロアジアンカップ』(98.10/ロシア）から9試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00 18:00～19:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	11:00～12:00	9/28・4:00～参照。『USWF9 パート1』(98.6.20/テキサス州）から10試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	特別企画『WFCレアマテリアル・レビュー（総集編）1』から3試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	9.16に東京・ディファ有明で開催の新日本キック協会『TAKE ONE』
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	お休み
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	9.28ディファ有明大会
	GAORA	角田信朗の格闘魂	27:30～28:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える
9/29（土）	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	14:00～16:00	船木誠勝が語るパンクラス・ヒストリー19～～96.4.7後楽園ホール
	FIGHTING TV SAMURAI!	プライド侍	16:00～18:00	月1回『PRIDE』満載で放送中のバラエティ番組。今回も『PRIDE16』(9.24大阪城ホール大会）直前情報をたっぷりと放送予定　9/23の再放送
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:30～27:30	『MECAバーリトゥード特集②』解説・桜井“マッハ”速人
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	9.23大阪・なみはやドーム大会
9/30（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	8:00～9:00	9/28と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	9:00～10:00	9/28を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	10:00～12:00	9/28と同内容
	GAORA	週刊格闘JAM！	12:05～12:25	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題をピックアップ。選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	2001 G1 クライマックス　8・11両国国技館
	フジテレビ721	BLACK LIST 010	22:00～25:00	➲Pick Up①
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	25:00～27:00	9/29のスカイスポーツ2と同内容
10/1（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	9/28を参照。『USWF11　パート1』(98.8.22）から8試合。同内容放送10/6・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王 特別編	15:00～17:00	➲Pick Up②
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00	9.21『BATTLE GENESIS Vol.8』後楽園ホール大会
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	新ワンギャルのために格闘技の歴史を振り返る
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:30～27:30	9/29と同内容
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	超K-1宣言3周年スペシャル（前編）。過去の名場面を取り上げる
10/2（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	9/28を参照。『WPKLムエタイチャンピオンリーグ』(88.5.23）から4試合。同内容放送10/8・8:00～
	GAORA	LADY GO! 女子ボクシング中継	11:00～12:00	7.20『Fighting Angels Part2』北沢タウンホール大会
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	9.24『PRIDE.16』大阪城ホール大会 PART.1 & 谷津嘉章試合直前インタビュー
10/3（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	9/28を参照。『ERUPTION』(98.11)より5試合、『HORIZON』(99.3)より4試合。同内容放送10/9・8:00～
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	10・3　K-1GP敗者復活戦、直前情報。キャスター角田信朗
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23:55～24:35	番組最終回。第1回コロシアム大賞。ゲスト・ミスター雁之助、安生洋二ほか
10/4（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	9/28を参照。『サブミッションファイティングチャンピオンシップ』(99.1/イリノイ)から4試合。同内容放送10/10・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	修斗、大阪・なみはやドーム大会（00.4.2）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	新日本キック協会、『キックに火をつけろ！』後楽園ホール大会（99.9.25）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	8.26に大阪府立体育会館で開催された修斗の『SHOOTO TO THE TOP in OSAKA』大会
	GAORA	全日本キックボクシング	20:00～22:00	8.10後楽園ホール大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『USWFレア・マテリアル・レビュー　パート2』
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	9/28を参照。同日再放送25:00～
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～25:00	9/29のスカイスポーツ2と同内容
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	船木誠勝が語るパンクラス・ヒストリー20～～96.5.16日本武道館
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	9/28を参照。再放送10/9・14:20～
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	9/28を参照
10/5（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	9/28を参照　同日再放送12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	9/28を参照。『USWF11 パート2』から8試合。同内容放送10/11・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	10/4と同内容
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22:00～24:00	7.29後楽園ホール大会　再放送10/7・18:00～
	GAORA	全日本キックボクシング	23:00～25:00	9.7後楽園ホール大会　再放送10/11・18:00～
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	➲P69
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	内容未定
10/6（土）	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	26:00～27:55	9/29と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	休み
10/7（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	2001 G1 クライマックス　8・12両国国技館
	ＢＳ朝日	パンクラスハイブリッドアワー	21:00～23:00	➲Pick Up③
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～25:00	内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	27:00～28:00	9/28を参照
10/8（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	4:00～6:00	10/4と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	10/4と同内容

ON THE AIR 9/28～10/11

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1 『BLACK LIST 010』

フジテレビ721
9月30日（日）/22:00～25:00

8月23日に東京ベイNKホールで行われたイベント『BLACK LIST 010』の模様を放送する。キングブラザーズ、ギターウルフ、ハイロウズ、ミッシェル・ガン・エレファントという日本最強のロックバンドと魔裟斗が競演。ライブ会場のド真ん中にリングを設営し、オーストラリアのベン・バートン相手に試合を行ったぞ。熱狂的なライヴ演奏が繰り広げられる中、魔裟斗も負けじと熱い闘いを展開、しぶとい相手にまさかの苦戦を強いられる。ライヴ同様、魔裟斗のファイトも必見だ！

Pick Up 2 『PRIDE王 特別編』

FIGHTING TV SAMURAI!
10月1日(月)/15:00～17:00、4日(木)/14:00～、6日(土)/16:00～、8日(月)/14:00～

毎週火曜日、東海テレビで大人気放映中の「PRIDE王」が、FIGHTING TV SAMURAI!でも放送されることになった。未来のファイターを発掘する「PRE-PRIDE」や、過去の『プライド』の名勝負を取り上げる周防玲子の「プライド魂」などの大人気コーナーがSAMURAI!でも見られるようになるのだ。今回の放送では「PRIDE王」を初めてご覧になる人のために、今までの放送してきた中から名場面をダイジェストでON AIR。この番組を見れば「PRIDE王」の予習はバッチリだ！

Pick Up 3 『パンクラスハイブリッドアワー』

BS朝日
10月7日（日）/21:00～23:00
10月11日（水）/24:00～26:00（再放送）

パンクラスが熱い！　9月30日横浜文化体育館大会でライトヘビー級の王座を賭けて、菊田早苗と美濃輪育久が激突する。調印式では、お互いが口を揃えて「最高のタイミングで、最高の相手」と語り、早くも対抗意識むき出しの両者。勝ち名乗りを上げるのは、果たしてどっちだ？　今回のパンクラスハイブリッドアワーでは、気になる王座決定戦を中心に、同大会の模様を放送する。また、この試合以外にも新設ヘビー級初代王者トーナメントも開催され、こちらも目が離せないぞ！

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』10/2放送と同内容。再放送10/9・27:00～、10/10・17:00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリングSP	18:30～20:00	10.8 INDICATE OF NEXT 東京ドーム大会
	フジテレビ	K-1 GP 2001	19:00～20:54	10.8 K-1 WORLD GP in 福岡大会
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	K-1特集
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	超K-1宣言3周年スペシャル（後編）。過去の名場面を取り上げる
10/9（火）	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	9.24『PRIDE.16』大阪城ホール大会 PART.2
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	27:00～28:00	10/7のスカイスポーツ3と同内容
10/10（水）	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	10・3　K-1GP敗者復活戦検証。キャスター角田信朗
10/11（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	修斗、北沢タウンホール大会（00.4.12）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	新日本キック協会『キック三銃士』(99.9.15/東京マリン)
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	10/4・19:00～と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	9.23・大阪NGKスタジオ『SHOOTO GIG WEST 2』と9.27東京・北沢タウンホール『SHOOTO TO THE TOP』の修斗の2大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	“ミスター掣圏道”スルタンマゴメドフ・カフカズ特集
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	9/28を参照　同日再放送25:00～
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	9/28を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	9/28を参照

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。·加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888 ☎03-5802-5550
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5280-1104／☎06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5351-4055
（16：00～21：00）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介❶〉 It's HOT!

『俺の魂』

アントニオ猪木著/あ・うん
本体価格　1,500円/発売中

**元気のない世の中に卍固め！
アントンが放つメッセージを読めっ！**

『プライド』をプロデュースしたり『猪木軍vsK-1』にGOサインを出すなど、現役を引退してもなおファンを刺激し続けるアントニオ猪木の最新著書が登場！　ズバリ言って、元気が足りない日本人にカツを入れまくる痛快な一冊に仕上がっている。闘魂ビンタ、パラオのイノキアイランド、ホームレス論などについての最新エピソードはもちろんだが、特に注目なのは南北朝鮮問題と師匠・力道山についてだ。南北三十八度線を平和の道でつなげるピースロード構想や、北朝鮮と韓国に力道山の銅像を建設するプロジェクトなどは、まさに常識なんてクソくらえの猪木ならでは発想だろう。元気がない世の中だからこそ、戦後の日本に空手チョップで勇気を与えた力道山のごとく、熱いメッセージを送り続けるアントン。迷わず読めよ！　読めば分かるさ！　日本人よ、この本で一歩踏み出す勇気を取り戻せ！！

〈新刊紹介❸〉 It's HOT!

『プロレス裏実況』

辻よしなり著/アスキー
本体価格　1,400円/発売中

ヒャッホー！　辻イズムが単行本でも大爆発！

ワールドプロレスリングの実況を務める辻よしなりが、テレビ上では決して語れなかったレスラーの裏話を、一冊の本にまとめたぞ。闘魂三銃士の台頭、小川vs橋本戦、長州復帰の舞台裏など、プロレスファンならどれも読み入ってしまうアンビリーバボーなエピソードが満載だ。また本書では、辻の実況生活13年をもとにしたレスラー論も書かれている。「猪木が太陽なら、長州は月」や「闘魂三銃士は、細長い二等辺三角形だ」等の切り口は、リングサイドから常にレスラーを実況し続けてきた彼独自の視点と言っていいだろう。さらには、辻のプロレス実況大先輩である古舘伊知郎氏とのやりとりも登場し、古舘氏に対する苦渋の思いが垣間見えて面白い。テレビでは「ヒャッホー！」と陽気な辻だが、意外な一面も知ることができるぞ。レスラーだけでなく自分自身も裏実況した本書。プロレスファンはさっそく書店へGOだ！

〈おすすめの一冊〉 Recommend

『バーリトゥード KARATE』

空手道禅道会著/BABジャパン
本体価格　1,700円/発売中

強くなれるバーリ・トゥード HOW TO本登場！

この本をまとめた空手道禅道会とは、実戦空手だけでなくバーリ・トゥードも行っている団体だ。大道塾時代、95年、96年の北斗旗空手道選手権大会重量級を2連覇した秋山賢治が指導部長を務めている。同団体の思想体系をもとに、立ち技から寝技、バーリ・トゥードの攻防まで初心者でも学びやすくまとめたってのが本書だ。写真を多用し、解説も充実しているので、格闘技未経験の人にも理解しやすいぞ。打撃、寝技などの実戦テクニックをこまかく分類し、ポイントを簡潔に記しているので、どのページからも学びやすい構成になっている。また、本書にある「呼吸法」とは、身体をリラックスさせ静止バランスをよくし、集中力を高めるだけでなく、どのような状態にあっても強い力を発揮できることを目指した技術だ。これから総合を始めようとしている人にとって、まさに必読書だと言えよう！

PRESENT!

今回このコーナーで紹介した『俺の魂』を抽選で本誌読者3名にプレゼントするぞ。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今号の感想を明記した上、下記のあて先までご応募を。締め切りは10月11日（木）の消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部　BOOKS『俺の魂』係

BOOK RANKING (9/1～9/14調べ)

1. 『極真魂』
黒澤浩樹著/双葉社
本体価格　1,400円
2. 『激録　馬場と猪木〈8〉』
原康史著/東京スポーツ新聞社出版部
本体価格　1,238円
3. 『合気道の奥義』
吉丸慶雪著/ベースボールマガジン社
本体価格　2,500円
4. 『平直行のリアルファイト柔術』
平直行著/徳間書店
本体価格　1,500円
5. 『バーリトゥードKARATE』
空手道禅道会技術部著/BABジャパン
本体価格　1,700円

4位 『平直行のリアルファイト柔術』

平直行が、これまでの実績と経験を生かして著した『平直行のリアルファイト柔術』が好評だ。この本の特徴は、護身術としての柔術に重点を置き、相手が仕掛けてきた攻撃に、どう対応するか1つ1つ論理的に解説されているところだろう。初心者でも大変分かりやすく学べるぞ。

書泉ブックタワー

東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲プロレス・格闘技の本を探すならここ、『書泉ブックタワー』！　本誌のバックナンバーも常備しているので、探している本があったら秋葉原の書泉へGO！

書泉ブックタワー　後藤　実副主任

「新刊を中心に、順調に売れています。プロレス関連本に加え、最近では、総合格闘技系の本がよく動いてます。総合の人気が、着実に根付いてるようですね。今月も好調でした」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介〉 It's HOT!

『秋山準 スターネスTシャツ 限定バージョン』

IVY BOOKs/3,800円（税別）

今、時代は秋山準Tシャツ！

プロレスリングNOAH認定の初代GHCヘビー級王者・秋山準の限定モデルTシャツが登場だ！ シンプルなデザインに、秋山準のキャッチフレーズ“STERNNESS”が入っている。秋山ファンは絶対GETのTシャツだぞ！

〈おすすめグッズ①〉 Recommend

『NOAH×ルービックキューブ コラボレーションTシャツ バージョンA』

IVY BOOKs/3,900円（税別）

カラフルだから女性にも大人気！

リング上で毎回、熱い試合を繰り広げているNOAHのロゴ入りTシャツが出た。黄色のロゴに、カラフルなルービックキューブがミックスされたIVY BOOKsオリジナルデザイン。鮮やかな色合いで、男性にも女性にも大人気だ！

〈おすすめグッズ②〉 Recommend

『NOAH×ルービックキューブ コラボレーションTシャツ バージョンB』

IVY BOOKs/3,900円（税別）

バージョンA同様、こちらも大好評！

『NOHA×ルービックキューブコラボレーションTシャツ バージョンA』同様、IVY BOOKsで好調な売れ行きを続けているTシャツがこちら。カラフルなルービックを全面に出し、オシャレなデザインに仕上がっているぞ！

PRESENT!

今回、このコーナーで紹介したTシャツ3点を各1名の『SRS・DX』の読者にプレゼントするぞ！ 希望者はハガキに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望するTシャツ名と今号の感想を明記した上で、下記のあて先までご応募を。締め切りは、10月11日（木）の消印有効だ。

あて先/〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F SRS・DX編集部『Tシャツプレゼント』係

IVY BOOKs
長谷川秀樹マネージャー

「ども！ 長谷川です！ プロレス・格闘技界もこれから年末にかけてビッグマッチが目白押し。当店でもテンション上げて盛り上がっていきますよ〜っ！」

IVY BOOKs

愛知県春日井市田楽町南植田993-3

☎0568-31-0727

営業時間/10:00〜23:00（年中無休）

Et cetra

『PRIDE.15』ビデオ＆DVD発売！

7月29日にさいたまスーパーアリーナで行われた『PRIDE.15』が、早くもビデオ＆DVDになって登場だ。バックステージの秘蔵映像や試合直前直後の選手インタビューなど、特典映像が盛りだくさん。スカイパーフェクTV！の映像だけでなく、フジテレビが独自で試合会場に入れたカメラ映像と合わせて再編集したので、決定的瞬間を最高のアングルで楽しめるぞ！

◆商品名/『PRIDE.15 in SAITAMA SUPERARENA オフィシャルビデオ/DVD』
◆価格/ビデオ 9,500円（税別）/120分/発売中
DVD 4,800円（税別）/130分/10月12日発売
◆発売元/メディアファクトリー/フジテレビ映像企画部
◆お問い合わせ/メディアファクトリーカスタマーサポートセンター
☎03-5469-4880（10:00～18:00/祝日除く）

正道会館が、東京と千葉に空手教室を開設！

正道会館東京本部では、10月より以下の2カ所で空手教室を開設する。入会者には、全国の正道会館の道場を利用できる特典もあるぞ。初心者でもOKだ！　現在、会員募集中なので、このチャンスを逃すな！
【セントラルフィットネスクラブ錦糸町】
◆日時/10月1日（月）よりスタート 毎週月曜 20:15～21:15
◆住所/東京都墨田区江東橋4-31-1　☎03-5600-0007
◆アクセス/JR総武線「錦糸町」駅下車、徒歩1分
◆対象/中学生以上、男女一般コースのみ
◆会費/入会金 5,000円、月会費 8,000円
【セントラルウェルネスクラブ柏】
◆日時/10月5日（金）よりスタート 毎週金曜 19:30～21:00
◆住所/千葉県柏市末広町6-1　☎0471-42-0180
◆アクセス/JR常磐線、東武野田線「柏」駅下車、徒歩2分
◆対象/中学生以上、男女一般コースのみ
◆会費/入会金 5,000円、月会費 8,000円
※入会希望者は、下記にお問い合わせを
◆お問い合わせ/正道会館東京本部　神田　☎03-5285-1966

パンクラス大阪　新弟子募集！

稲垣克臣がインストラクターを務めるパンクラス大阪では、一般会員に続いて、新弟子を募集することになった。詳細は下記のとおり。明日のパンクラスはキミが作る！
◆応募資格/15～25歳までの心身共に健康優良で即入門可能な男子
◆必要書類/履歴書（最新の身長、体重、視力を必ず明記）上半身アップと全身裸の鮮明な写真各1枚
◆送信先/〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25（株）ワールドパンクラスクリエイト「パンクラス大阪新弟子募集」係
◆合否結果/書類選考後、合格者にのみ通知
◆お問い合わせ/ワールドパンクラスクリエイト
☎03-5792-0815

朝日昇が修斗＆柔術ジムをオープン！

修斗の"奇人"朝日昇が修斗＆柔術ジム「TOKYO YELLOWMANS」をオープンする。修斗は朝日昇が、柔術は桑原幸一（紫帯/全日本ブラジリアン柔術青帯優勝）が指導を行っていくぞ。こだわりのサブミッションの数々を伝授されたいキミ！　今すぐジムの門を叩け！
◆場所/東京都北区東十条2-6-4コープ宮川1F
◆入会金/一般20,000円/高校生15,000円/中学生以下10,000円
◆月会費/一般10,000円/高校生8,000円/中学生以下5,000円
◆練習日/修斗…月、水、木、土　柔術…火、金
◆お問い合わせ/TOKYO YELLOWMANS　朝日昇
☎03-3927-5528

ターザン山本、自画自賛トークライブ開催！

「心に一揆を！」と叫び続けるターザン山本氏が、10月6日（土）格闘技プロレス図書館「闘道館」でトークライブ『ターザン山本 自画自賛の会』を開催することになった。週刊プロレス編集長時代を、バックナンバーを使いながら振り返る。怨念がこもった暴露トークを心して聞けぇぇっ！
◆日時/10月6日（土）19:00～（90分一本勝負）
◆場所/東京都千代田区三崎町2-9-9ナカヤビル5F　闘道館内
◆料金/前売り 1,000円（当日 1,500円）/ドリンク付き
◆定員/40名
◆お問い合わせ/格闘技プロレス図書館　闘道館
☎03-3512-2080

J-NETWORKでグラウンド・クラス開始！

都内に多数のキックボクシング・ジムを抱えるJ-NETWORKでは、10月から池袋ジムにてグラウンド・クラスを開始する。インストラクターを務める植野雄氏は、カーロス・グレイシーJrの弟子で、日本人で数少ない柔術講師の一人。グラウンドテクニックを、その人のレベルに合わせてスパーリングを行っていく。立ち技だけでなく寝技を習得するチャンスだ！
◆場所/J-NETWORK池袋ジム（東京都豊島区南池袋2-12-5第6・7中野ビル4F）
◆会費（講習1回につき）/J-NET会員500円　一般2,000円
◆講師/植野雄（ワイルド・フェニックス）
◆お問い合わせ/J-NETWORK　森山　☎03-5954-8815

宇月田麻裕の 北斗占い

Mahiro Utsukita

破軍　武曲　廉貞　文曲　貪狼　禄存　巨門

9/28～10/10

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が表る。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブゴク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

破軍星

全体運
ギリギリセーフでラッキーがラッキーを呼ぶ予感。選手に選抜されないと思っていたら繰り上げ選抜されたり、待ち合わせの時間に遅れそうになったら、相手のほうがさらに遅れて来て、事なきを得たり、際どいところで万事ＯＫ。

恋愛運
ドラマティックな恋愛のスタートは、予期せぬときに訪れるもの。フリーはもちろん、恋人のいる人もチャンスあり。レベルアップならチェンジもＯＫ！

勝負運
武曲の人と一緒に行動するとグッド。

健康運
完治するのが遅れていたケガが急速に回復。

金運
お店や自販機のお釣りでラッキーあり。

★ラッキーカラー★
オフホワイト
★ラッキーアイテム★
ペットボトル
★ラッキースポット★
コンビニ

武曲星

全体運
吉兆星が輝いています。とにかく楽しさいっぱいのときなので、スポーツの秋、レジャーの秋、ついでに美食の秋と、至福のときを満喫しよう。サークル的な乗りでアクティブに行動すれば、あなたの人気も赤丸急上昇間違いなし。

恋愛運
レジャーを通じてカップリングのチャンス！意気投合したら、その日にエッチも期待できるほど、恋愛運は絶好調。カップルも負けじとラブラブムード◎。

勝負運
乗りに乗っているので、乗りで勝負してＯＫ。

健康運
スポーツで体を鍛えるのにグッドタイミング。

金運
交際費は出て行く一方。うまく倹約して。

★ラッキーカラー★
レッド
★ラッキーアイテム★
ＣＤ
★ラッキースポット★
キャンプ場

廉貞星

全体運
良くも悪くも、感情の起伏が激しくなるとき。イライラするときは、リラックスを心掛けて。緊張を長く続けると、身が持ちません。また、些細なことに感動して涙がウルウル…、そんなシーンを目撃されてちょっと恥ずかしい思いも。

恋愛運
海外運があるので、外国人とのカップリングの期待。海外旅行での出会いや、国際色豊かなバーやスポットに出入りしているうち、恋人候補が浮上しそう。

勝負運
ギャンブル運があるので賭け事や勝負は強運。

健康運
下半身の病気、特にウィルス性の病気は注意。

金運
あぶく銭が舞い込みそう。チャンスをゲット。

★ラッキーカラー★
モノトーン
★ラッキーアイテム★
筆記用具
★ラッキースポット★
カフェバー

文曲星

全体運
いざというときに、エネルギー循環がうまくいかなくなる暗示。人のことばかりが気になって、自分と比較して落胆してしまう、なんてことの繰り返し。不満は打ち消して、自分自身の長所を認知していくと、運気は一気にアップ。

恋愛運
いざエッチというときに自信がなくなったり、邪念がよぎって使い物にならない、な～んてことが。日頃からリラックスしたり、鍛えたり（？）してみて。

勝負運
スタミナアップする必要が。有酸素運動を。

健康運
筋肉が硬くなっているよう。よく揉みほぐして。

金運
派手に使ってしまう傾向あり。計画性が大事。

★ラッキーカラー★
グレーピンク
★ラッキーアイテム★
ジャケット
★ラッキースポット★
銀行

禄存星

全体運
凶兆星の出現。精神的なもろさが出やすいとき。妙な思想に気持ちが傾いたり、新興宗教の誘いにハマってしまうことが。あなたが信じる道ならば構わないけど、確固たる信念がないと、人の意見に流されてしまうので気を付けて。

恋愛運
フリーは、性欲だけで付き合ってしまうことがあり。単に遊びのつもりだったのに、離れられなくなるキケンが。性悪な女性には気を付けないと痛い目に。

勝負運
闇がかかっている状況。しばし勝負は待った。

健康運
スネのケガに要注意。亀裂骨折のキケン。

金運
他人の収入と比べても仕方ない。人は人。

★ラッキーカラー★
モスグリーン
★ラッキーアイテム★
書籍
★ラッキースポット★
居酒屋

巨門星

全体運
実力を過信し過ぎたり、将来の夢を勘違いしてしまう傾向あり。信頼できる人に相談すれば良いのに、今のあなたはちょっと頑固になりがち。参考にするかしないかはともかくとして、まずは人のアドバイスに、素直に耳を傾けること。

恋愛運
年上の女性に惹かれ、大人の魅力にメロメロになりそう。でも、遠くで見ているのが精一杯みたい。カップルは、あなたのワガママが目立つとき。控えめに。

勝負運
シミュレーションをすることが勝負の鍵。

健康運
過信が元でケガの恐れあり。要注意。

金運
買い物は足元を見られそう。交渉を巧みに。

★ラッキーカラー★
ゴールド
★ラッキーアイテム★
時計
★ラッキースポット★
映画館

貪狼星

全体運
人間関係でトラブル発生。コミュニケーション不足になり、あなたの何気ない一言が相手を傷つけたり、仕事をパーにしたりする可能性大。調子に乗り過ぎずに謙虚でいること。起きた現実を真摯に振り返り、人との接し方を学ぼう。

恋愛運
ハートが冷めやすいとき。彼女の見たくない部分を見てしまい興冷めしたり、恋愛以外に夢中になるものが見つかってしまったり、愛のキープは難しそう。

勝負運
苦手なカテゴリを克服すると勝運アップ。

健康運
心身を洗い直してみよう。リフレッシュ！

金運
財テクや株式市場に関心を持つとグッド。

★ラッキーカラー★
シルバー
★ラッキーアイテム★
ペンダント
★ラッキースポット★
テーマパーク

宇月田麻裕プロフィール
ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、タロットをはじめ西洋、東洋の占いをオールマイティに使う。TBS「ワンダフル」月曜レギュラー出演をはじめ、雑誌、映像などで活躍中。URL http://www.happiness-f.com/

一撃コラム

連載第55回

いきなり素人に顔面パンチ！お茶の間に、キラー猪木が復活!!

『プライド』のエグゼクティブ・プロデューサーになってからこっち、猪木さんの人気が急上昇中であるのは嬉しいわけだが、何をやっても何を言っても無条件で受け入れる観客たちにどこか物足りなさを感じていた今日この頃、猪木さんの素晴らしさを存分に引き出した番組が9月12日、TBSで放送された。それが『ここがヘンだよ、日本人』SP「ここがナゾだよアントニオ猪木」なのだ。

なにしろ、この番組、猪木さんの本来の魅力である邪悪さと狂気をテレビという枠内で可能な限り映し出してみせたのだからたまんねぇ！

まずはともかく、過去の映像を見ているだけでも猪木さんの凄さというものが伝わってくる。例えば、〝国会に卍固め〟などの名コピーで有名になった参議院に立候補したあの頃。「消費税には絶対反対。あんなものは延髄斬りでバチーッと」とか、「リクルートの問題は私は一言で片付けたい。（一呼吸置いて）逆十字固め！」とか、ホント、狂ってるとしか言いようのない素晴らしい選挙演説ぶりを披露。本気で遊んでるとしか思えないこれらの発言こそまさに遊説だ。その一方で、湾岸戦争時にはフセイン大統領に「半歩下がる勇気を伝授したい」と言って単身イラクに乗り込み、見事人質解放に成功したりする体当たり外交の様子も紹介。

また、かつて自宅マンションで子供のライオンを放し飼いにしていた猪木さんは、自分の言うことを聞かないとガンガン殴っていたという素敵な話が披露されてカッコイイわけだが、餌はどうしていたのかと聞かれたら一言「ん？　肉」と答えるのみで説明終わり。で、その一連の話をよくよく聞いてみると「まあ、そのマンションには3歳になる自分の子供がいたんだけどね」とさりげなく言ってたりするから凄まじい。食われるぞ！

だが、なんと言っても圧巻だったのはプロレスを八百長呼ばわりされた時だ。そもそもこの番組は日本在住の外人たちが実もフタもない質問をゲストにぶつけていくのが売りであり、外人勢は猪木さん相手にもプロレス八百長論をガンガンぶつけていく。

なにしろ外人である。その辺はまったく容赦なく「プロレスってほとんどがインチキでしょ」といきなり決めつける。で、猪木さんは「俺の人生はずっとそういうこととの闘いだったんだよね」と言うのだが、外人勢は構わず「だって、年取った人が若い人と闘って勝つのはおかしいよ。だって、ジャイアント馬場さんが若い人を蹴ったら飛んでいったでしょ。変だよ」と直球にもほどがあることを言い出す。

でもって、猪木さんだが、「まあ、事実、ジャイアント馬場さんには超能力があるというかね、ムフフフ」と輪をかけてヒドいことを言ったりするわけだ。相変わらずである。しかも「事実」って。ホント、こういう話になると、昔から馬場さんを引き合いに出しちゃあ、自分のことだけはアップを狙うやり口だったアントン。馬場さんが死んだ現在でもまだそんなこと言い続けて、闘魂、いまだ燃え盛っているとひと安心だ。タチが悪いというか。

外人勢がさらに最悪なのは、プロレスとは勝ち負けを超えたところにある格闘芸術であると言うことを説明しようとすると、さも分かったようなことを言い出し「つまり映画のようなもの」とか「格闘技のパロディー」とかほざきやがるからまったく分かってない。この辺になると猪木さんも苦笑いとなり、一緒に出演していた小川直也はちょっとキレそうになったりと、スタジオ内に殺伐とした空気が流れ始める。で、「お前ら、技を受けてみりゃいいんだよ」とのテリー伊藤の言葉を受けて猪木さんは外人勢をヘッドロックで絞め上げるのだが、まだまだ外人勢は半笑い。ここで「卍固め」の声が共演者から上がると突然、グラウンド卍に移行してギュウギュウ絞め上げる。外人は当然、ヘロヘロになって床に横たわるのだが、そこでいきなり猪木さんの形相が変わり、素早くバックマウントを取ったかと思うと顔面にパンチを入れたのだ。ア然とする場内。その中で猪木さんはただ一人、満面の笑みを浮かべて「どぉ、八百長だろ」と言い放つから最高！　一番、頭に来ていたのは猪木さんだったのである。

そういえば、UFOのプレ旗揚げイベントの時、猪木さんは素人とのスパーリングを行ったが、柔道だかをちょっとかじった相手を鼻血が出るまで殴りまくっていたものだった。素人がナメてきたら絶対に引かないのがプロレスラーである。それが大人げなかろうと、たとえ、弱い者イジメになろうと、やらなきゃいけない時はやるだけなのだ。そうやってプロレスはこれまでもやってきたし、その積み重ねによって現在のプロレスはここまでになったのだ。そして、今、自分が身体を張って守り育ててきた新日本プロレスに対して、さまざまな形で圧力をかけちゃあ、自分の優位性を見せつけようとする猪木さん。何があっても常に自分が一番だ。まさにこれこそがプロレスラーそのものであり、猪木イズムであるというわけなのだ。猪木ボンバイエ！（ブチ）

▲猪木さんの邪悪さとタチの悪いイタズラ心を存分に引き出した珠玉の番組

Forever BUZZ SAWYER

BUZZ SAWYER [tp]
WAYNE SHORTER [ts,ss]
CHICK COREA [el-pf]
DAVE HOLLAND [b]
JACK DeJOHNETTE [ds]

あぶもぐ
ABNORMAL★MOGUTAN

正直言って、大変身した元若乃花のアメフトでの活躍（数秒間試合に出場）を見ていると、9月場所の横綱・大関はいったい何なんだ!?　「正直言って、スマンかった」ではすまされんぞ！　そういうわけで、「よく頑張った。感動した」と俺に言わせてくれるような作品をドンドン送ってくれ！

『人妻の独白』

アンタが蒸発して、もう三年になります。いきなりだったもの、とってもビックリしたわよ。そりゃ、相撲取りになりたいのは知ってたけど、アンタ、チャンコ喰えないじゃない。オチョコ一杯のご飯も喰えないじゃない。

ワタシだって、バレリーナの夢をあきらめてアンタと結婚したのよ。キングコング・バンディ、クリソツの赤ん坊が生まれたって我慢したわよ。隣の奥さんとのボディスラムマッチに敗れて、涙を枕カバーで拭った夜もあったわよ。それもこれも、アンタが一生懸命、倉木麻衣のプロデューサーとして働いていたから、乗り越えられたんじゃない。

ワタシは、今ロシアのサンボ道場にいます。目の前で、ズーエフ先生が足関節をコーチしています。

サンボの奥深さはハンパじゃありません。アンタがもしこの手紙を読んだなら、ロシアで逢い引きしましょう。それでは。

ハッケヨイ

（ケビン・Z・森田・東京都世田谷区・？歳）

『裸足の季節』

バンドブームが過ぎ去り、イカ天が失意のまま終了し、サラリーマンバンド「ネクタイズ」は行き詰まっていた。そう、それはあたかも重婚が親方にバレて途方に暮れる琴錦のように。

「これから、どうするんだよ」

45歳の男がつぶやき、60歳の男がベースを唸らせて答えた。

「ブーン、ブーン」

お腹に響く重低音が堪らない。そう、それはあたかも双葉山の連勝記録が途切れた時の国技館の大歓声のように。

「オイ！　俺のカトウトキコのCDどこやった！　おトキさんのCDだよ！」

30歳の男が怒り狂い、椅子を振り回す。窓から石を投げている。

「ヤメロ。ヤメロ。Gショックやるから、ヤメロ。ニャロメ。」

25歳の男が心の中でつぶやく。

俺はまぶたを閉じ、安田のことを考えた。それはG1の準決勝。

ハッケヨイ

（ケビン・Z・森田・東京都世田谷区・？歳）

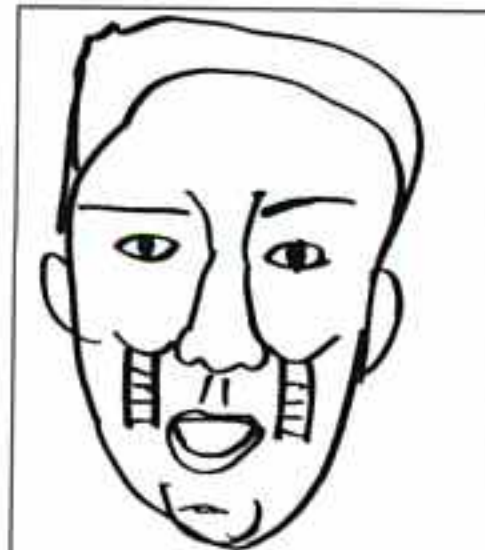
◇山西浩男関に続く驚異の作文力士、ケビン・Z・森田関が登場。締めの「ハッケヨイ」は、どこかで見たことがあるが、いちいち気にすんなよ

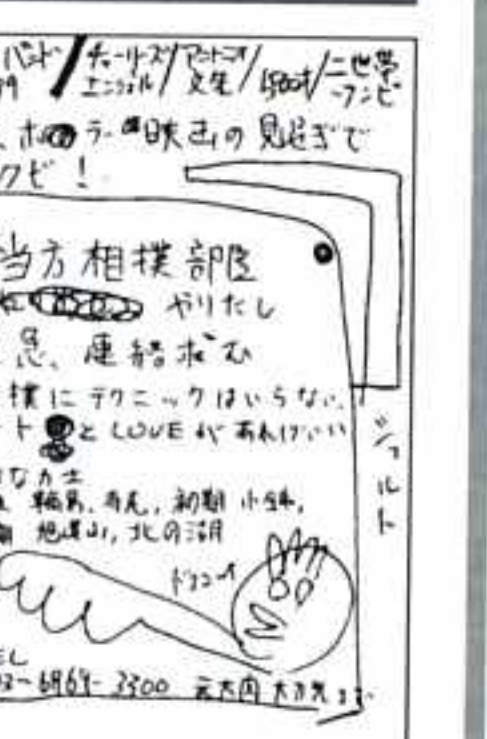
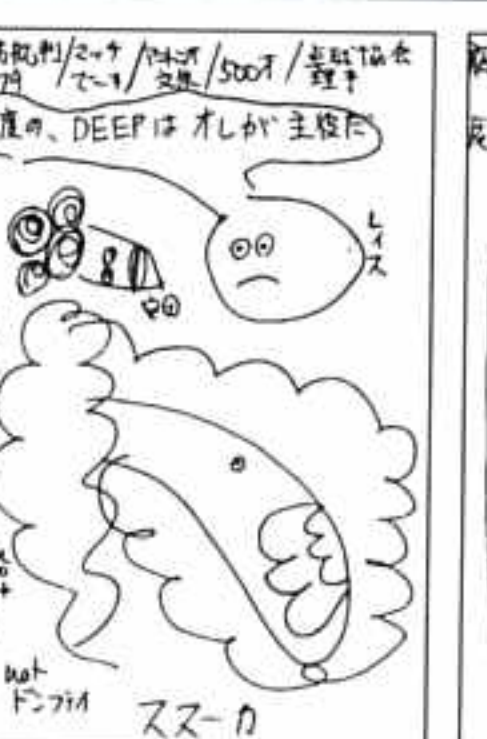
相撲原子グモン3歳（4コマ）

▶小川徹・埼玉県八潮市・16歳

◇破壊なくして創造なし。ハガキなくして『あぶもぐ』なし。『あぶもぐ』は破壊王を応援します！

開戦！！　サダハルンバvsアントニオ文朱

▶ろっこつパキ夫・愛知県名古屋市・？歳

VS

▶アントニオ文朱・？・500歳

◇これでもかと言うくらい、サダハルンバ編集長の顔を送りつけてきたので、文朱作品をぶつけてみました。この土俵に上がってみたいヤツはいつでも来い！

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

「笑って許して!」企画

Show＆ワンギャル in 香港

これが主演の〝中国のブルース・リー〟石天龍!

◀これが21世紀に現れた「中国のブルース・リー」石天龍(シー・テンロン)だ!

◀清泉で開催された「李小龍生誕60周年記念〝重振精武門〟記者招待会」の模様。取材陣の後方には『超K―1宣言』の仕事で訪れた、チーム・ドラゴンの前田憲作の姿も

▲ズラリと揃った出演者。香港映画好きにはたまらない顔ぶれ(らしい)

毎回、読者に大きな波紋を投げかけている本誌(ある意味)スゴ腕ライター・Show大谷泰顕が、なぜか香港へ行ってきた上に、“押し売り”に近い状態で、レポートまで書いてきやがったのだ。サダハルンバ編集長の温情で、残念ながら、急きょ掲載が決定した特別企画『Show＆ワンギャル in 香港』のはじまりはじまり…………今回のページに関しては、Show(正)直、すまんかった…………。

協力◎TBS『ワンダフル』

なぜだっ!? ブルース・リー生誕60周年記念映画『フィスト・オブ・フューリー』の完成試写会にShowが招待!?

「Don't Think! Feel!(考えるな! 感じろ!)」

映画『燃えよドラゴン』のワンシーンに、主演のブルース・リー(李小龍)が少年にこう話す場面がある。

西洋の合理主義が染み込んだ我々は、自然と「考えること」を〝是〟としてきた。それをブルース・リーは「感じる」という東洋の仏教思想を表現した言語で少年を諭すのである。

ブルース・リーといえば、アクションシーンは絶品だが、この場面だけを取っても、彼には学ぶことが多々ある。

とはいえ、自分がそのブルース・リーの故郷である香港に足を踏み入れるとは夢にも思わなかった。しかも、ブルース・リー生誕60周年を記念して制作された映画『フィスト・オブ・フューリー』の完成試写会に招かれるとは……。

実を言うと、自分はまったくと言っていいくらいブルース・リーに興味はない。もちろん子供の頃には彼の映画は全部見たけれど、船木誠勝のように手製のヌンチャクを振り回したことはなかったし、仮面ライダーやウルトラマンならいざ知らず、特別に憧れた記憶はない。

しかも自分は普段、ほとんど映画を見ない。見るとしたら、年に何度か乗る飛行機の、機内だけのこと。

そんな自分が試写会に呼ばれるのだから、世の中、何が起こるか分からない。もちろん、自分は現在、TBS『ワンダフル』の「格闘新世紀」でナビゲーターをやらせてもらっていることや、一般＆専門誌に多少は顔が利くことから選ばれたのだとはいえ、自分にとって、これは超ド級の奇妙さでもあった。

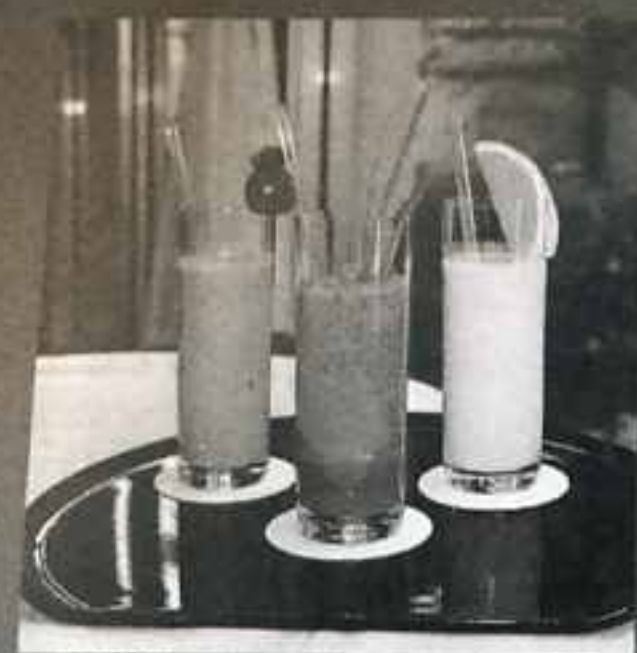
しかし、せっかく招待されたのだ。喜び勇んで馳せ参じなければバチが当たる。

というわけで、僕は『ワンダフル』のスタッフ2名とワンギャル(相沢真紀＆北川えり)とともに香港へ向かった。

香港滞在1日目は到着が夜だったため、眠りにつき、2日目の名所巡りを済ますと、3日目にして、ついに自分は『フィスト・オブ・フューリー』の試写会に赴いた。

場所は香港からバスで1時間ほど走ったところにある清泉のとあるホテル――つまり中

Show大谷、なぜかブルース・リーの故郷・香港を征く！

さらば第４期ワンギャル！

▲蓼科にある宿泊施設には、トロピカルドリンクのような特製ファスティングジュースも（白黒のため色が見えなくて、正直スマン。一応言っておくと左からピンク、グリーン、イエロー）

◀ワンギャル・アリーネ（20）は蓼科にある専用のホテルでファスティングに挑戦！ 3日間で3キロのダイエットに成功！ 血管年齢も34歳から27歳に。アリーネがなにげなく着ているとうふパンTシャツも超カワイイッ！ ちなみに一緒にファスティングを試みたShow（33）は3日間で2．5キロ減り、血管年齢は53歳から34歳に！（7月30日放送済み）

▲ヘンゾ・グレイシーには護身術を習った。ロケ収録後に記念撮影。左からShow、ワンギャル・アリーネ、ヘンゾ、ヒカルド・アルメイダ、ワンギャル・井川絵美（8月20日放送済み）

▲破壊王には、本当にいろいろ（本、鍵、バット）と破壊してもらったが、その破壊ぶりには驚くばかり！ 写真は左からオーバー・ドライブの石野淳士、ワンギャル・井川絵美、破壊王・橋本真也、ワンギャル・相沢真紀、Show（8月27日放送済み）

◀破壊王には「破壊」をテーマにポエムまで披露してもらった！

10月よりの新メンバーを加え、ワンダフル「格闘新世紀」（毎週月曜）が再スタート！ いったい、どんなワンギャルが現われるのかっ！

石天龍（シー・テンロン）とは何か？

1964年12月24日生まれ（1966年という説もある）。中国河北省出身。革命家庭と呼ばれる共産党の一家に生まれる。5歳の時に父親から中国武術を習い、10歳で唐という名の先生の内弟子となり、本格的に武術家の道を歩む。17歳で北京の特殊部隊に入隊。20歳の時に国境付近でベトナムの特殊工作員4名と遭遇し、得意のクンフーでこれを捕獲。表彰されることになり、これをきっかけに共産党に入党。エリートの道を進むが、2年後に除隊。人々に実践的な武術を教えたいと思い立ち、ブルース・リー流の武術（ジークンドー）を独学で研究しながら、90年に「中華ジークンドーセンター」を開校し、教則本とVCDも発売。なおかつ映画スターを夢見て「北京天龍影視特技学校」も設立し、テレビドラマや『不死李小龍』などといった主演映画にも出演。「中国の李小龍」と名乗る

▲主演の石天龍と泣く子も黙る香港映画界の大プロデューサー・染野氏

石天龍版『フィスト・オブ・フューリー』、公開は来春予定だっ！

映画『フィスト・オブ・フューリー』とは何か？

ぶっちゃけた話、ガチガチの反日映画。B・リー版の邦題は『ドラゴン怒りの鉄拳』。中国語原題名は『重振精武門』という。舞台は日本軍圧下の上海。武術道場精武館の高弟である主人公の陣眞が、殺害された師の仇を討つ復讐劇。J・チェンをはじめ、何度もリメイクされた本作品。公開は来春の予定。心して待て！

◀香港に着いた翌日、まずは香港で撮影された有名な映画のロケ現場を回る。写真は数年前にフェイ・ウォンと金城武が共演し、話題となった（らしい）『恋する惑星』に出てくるハンバーガーショップ。同じく『恋する惑星』に登場する香港一長いエスカレーターにも昇ってみた

▶主演の石天龍を囲んで。左からワンギャル・相沢真紀、石天龍、ワンギャル・北川えり、Show

国である。

まずここで、「ブルース・リーやジャッキー・チェンでさえも頭の上がらない（かった）」と言われる、染野行雄氏と対面した。染野氏はブルース・リー＆ジャッキー・チェンの映画をはじめ、『三国志』やキョンシーの『幽幻道士』のプロデュースも手掛けた香港映画界の大物である。

染野氏と話していて面白かったのは、人を見抜く際はどこを見るのか、という話になった時のこと。彼は「まず私は目を見ます」と言い、ブルース・リーと初めて会った時のことを思い出しながら、「彼は私と握手をした時に、私の手をギュッと握ったんです」と答えた。これを聞いた時、自分はふとアンディ・フグを思い出した。アンディも握手をする際は相手の掌を強く握り返していたからだ。

染野氏は、ブルース・リー、ジャッキー・チェン、キョンシーに続き、今回の映画の主演・石天龍（シー・テンロン）を日本のスターにしたいという願望を持っていると言う。

そしてその後、いよいよ石天龍のインタビューとなった。石天龍といっても、日本ではまったく無名だが、亡きブルース・リーの妻・リンダ夫人が「後継者」と言ったほどの実力者だと聞いている。ただし、こっちからすると、「後継者」であるかないかは、結局のところ映画を見た大衆が決めること。だから、あえてその部分はあまり意識せずに話を聞いてみた。たしかに、容姿だけを見れば、石天龍はブルース・リーそのもの。だが、あまり話の内容からはその凄さを感じることはできなかった。

ところが、インタビュー後に見せてもらったヌンチャクさばきは、まさに天下一品。さらに、石天龍は僕が口に加えたマッチ棒を、ハイキックで蹴り落とすという荒技まで披露してくれたのだ。

正直、これには素直に驚いた。映画の内容等は別に記したが、最近のCGやワイヤー撮影、特殊効果といった現代映画と比べると、70年代テイストのたっぷり詰まった、『フィスト・オブ・フューリー』はいろんなことを〝思考〟でき、しかも、様々なことを〝感じ〟させてくれる作品だったことは間違いない。ということで、最後に一言。

ブルース・リー万歳！

（Show）

11・17 世界大会に向け、大道塾が強化合宿

世界に勝つにはキ○タマを蹴れ！

外国勢は体格もモチベーションも上。キレイな技術だけでは勝てない！

◀今回の合宿には、小川英樹、加藤清尚を除く代表選手・リザーバーたちが参加

▶スーパーセーフ（マスク）をつけてのスパーは試合さながらの激しい打ち合い。「止め」の合図がかかっても攻撃し続けるほどアツくなる選手もいた

▼練習の最後はミット打ち。外国勢を意識してか、ミットを高い位置に置いてパンチ、蹴りを出す選手も多かった

▲マススパーには東塾長も参加。金的蹴りが一番うまいのは塾長だった！

◀スパーリングを繰り広げる選手たちに檄を飛ばす東塾長。ヒジ、頭突き、そして金的蹴りを有効に使うよう指示を出していたのが印象的だった

11月17日、代々木第二体育館で初の世界大会を開催する大道塾が、強化合宿を行った。9月15、16の両日にわたって東京・池袋の総本部道場で行われたこの合宿。期間こそ短いものの、中身の濃さは充分すぎるほどだった。練習内容は基本・マススパー（約束組手）・スパーリング・ミット打ちと普段どおりのメニューなのだが、スパーリングの激しさがただごとじゃない！

選手たちはまるで試合さながら、ガッチガチの打ち合いを繰り広げていたのだ。一発いいのを当てられたりしたら、もう止まらない。道場の壁にぶつかろうが「止め」の合図がかかろうがまったくお構いなしでやり合う姿がそこかしこで見られた。

全国の支部から選手が集まる機会は、こういった合宿か全日本大会くらいしかない。選手たちは世界を相手に闘う同志だが、優勝を争うライバルでもある。「いつもは一緒に練習できない人たちと技術を交流しあってレベルアップを」といったお題目は、拳を合わせたとたんに吹っ飛んでしまったんだろう。ま、そういう血気盛んなところがまた気持ちいいのだが。

そんな中、東孝塾長が特に念入りに指導していたのがヒジ、頭突き、そして金的攻撃の有効性。はっきり言って、どの技もバイオレンス度が高いというか、VTの試合でも禁止されるようなものばかりだが、路上の実戦を想定した大道塾ではそれもルールで認められている。

今度の大会は世界大会とあって、日本代表は世界を相手に闘わねばならない。外国勢は体格、パワーで日本人に優っているのだが、最近は精神面でも上回りつつあるという。というのも、日本の選手が金銭的な見返りを度外視して空手に打ち込んでいるのに対し、外国、特にロシア圏の選手は大会の成績によって大学や公共機関のインストラクターとして雇われたりもするらしい。つまり勝てば生活の保証も得られるということで、モチベーションの高さも凄まじいわけだ。

そんなヤツらに勝つには、キレイな技術だけでは決してダメだと東塾長は言う。すなわち金的攻撃が重要になってくるのだ。

「なんでみんな金的を狙わないのかねぇ？　2メートルの人間と闘おうっていうのに、キレイな闘いはしてられないだろう」と東塾長。実際、マススパーの様子を見ていると金的攻撃が一番うまいのは塾長だったりする。

果たして、日本代表は世界を相手に大道塾の象徴・北斗旗を守れるのか？　そのカギはズバリ、キ○タマにある。

（橋本）

KICK Digest

興行ラッシュ！ 9.7〜9.15の大会結果を全て紹介

ニュージャパンキック 『CHALLENGE TO MUAY THAI 9』
9.8★後楽園ホール

3分5R

△ジョンポップ・キアットポンティップ（判定0-0、ドロー）桜井洋平△
〈タイ〉 〈岩瀬スポーツ〉

○川津真一（5R2分01秒、TKO）唐沢たくみ●
〈町田金子〉 〈八王子FSG〉

○野崎勇治（判定2-0）高野洋一●
〈東京北星〉 〈神武館〉

○ソムチャイ高津（4R0分39秒、KO）飯田誠一●
〈小国〉 〈町田金子〉

○藤原国崇（2R2分59秒、KO）深山俊明●
〈拳之会〉 〈截空道〉

○中野智則（1R1分17秒、KO）中村保成●
〈パシフィック〉 〈ウィラサクレック〉

3分3R

○岩井伸弘（判定3-0）大川真人●
〈小国〉 〈大和〉

○高野義章（判定2-0）志村豊●
〈健心塾〉 〈小国〉

○獅子丸修平（1R2分19秒、KO）宋修成●
〈小国〉 〈ウィラサクレック〉

○高橋拓也（判定3-0）土佐堅児●
〈拳之会〉 〈藤〉

○原田忠典（3R1分27秒、KO）藤勝利●
〈闘真〉 〈藤〉

○本田真二（判定2-0）菅崎英世●
〈小国〉 〈KOファクトリー〉

○湊伸治（判定2-0）森国広●
〈ウィラサクレック〉 〈健心塾〉

○有川省吾（判定2-0）戸部隆一●
〈小国〉 〈上州松井〉

全日本キック 『REVOLVER』
9.7★後楽園ホール

3分5R

○小林聡（4R0分21秒、KO）テーパリット・シットクヴォンイム●
〈藤原〉 〈タイ〉

○割澤誠（4R終了TKO）安川賢●
〈作真会館〉 〈SVG〉

○清水貴彦（4R1分06秒、KO）久保坂左近●
〈超越塾〉 〈新空手・健生館〉

○竹村健二（判定3-0）遠藤慎介●
〈名古屋JKF〉 〈不動館〉

○新宅正章（判定3-0）工藤正泰●
〈新空手・空修会館〉 〈RIKI〉

3分3R

○長谷川誠（判定2-1）加藤啓明●
〈青春塾〉 〈TEAM-1〉

○藤牧孝仁（3R1分32秒、TKO）大島友和●
〈はまっこムエタイジム〉 〈RIKI〉

△ラスカル・タカ（判定1-0、ドロー）中原黄太△
〈月心会〉 〈REX JAPAN〉
※トーナメントのため延長戦を行い、タカが勝者扱いとなった

○山本優弥（判定3-0）原田卓●
〈新空手・空修会館〉 〈藤原〉

○サトル・ヴァシコバ（判定3-0）岩浅晶士●
〈勇心館〉 〈SVG〉

○中込陽介（判定3-0）清水英樹●
〈不動館〉 〈月心会〉

○真後和彦（1R1分53秒、KO）志村将行●
〈はまっこムエタイジム〉 〈サンライクジム〉

▶小林聡がメインで現役ラジャ王者をKOしたこの大会、セミでも波乱が起こっていた。全日本バンタム級王者・安川賢は、ノンタイトルながら割澤誠に出血TKO負け。次はタイトルを賭けてのリマッチか!?

▼このところ好調な清水貴彦は、99年の新空手王者でK−1中量級大会にも出場した久保坂左近にパンチで2度ダウンを奪ってKO勝ち。これで3連続KO勝利となる

MAキック 『ODYSSEY-3』
9.15★北沢タウンホール

3分5R

○井上哲（判定2-0）荻野兼嗣●
〈山木〉 〈ビクトリー〉

○加藤督朗（2R1分56秒、TKO）船木鷹虎●
〈フリー〉 〈仙台青葉〉

○木村允（判定3-0）笹羅崇裕●
〈土浦〉 〈仙台青葉〉

○マグナム酒井（2R1分30秒、KO）井手本高司●
〈士道館〉 〈八街〉

○ホセイン・キャリミラード（判定2-0）ランボー●
〈SB/湘南〉 〈東金〉

3分4R

○ハンニバル鈴木（1R1分15秒、KO）室崎剛将●
〈山木〉 〈真樹〉

3分3R

△飯塚英史（判定0-0、ドロー）森田貴博△
〈山木〉 〈八街〉

○中西陽介（判定3-0）長井憲治●
〈山木〉 〈ビクトリー〉

○藤曲伸（判定3-0）植田憲治●
〈谷山〉 〈八街〉

○VIPER米倉（判定2-0）アッシ●
〈仙台青葉〉 〈ビクトリー〉

○田部位和人（判定3-0）結城央司●
〈土浦〉 〈ビクトリー〉

J-NETWORK 『MAKING THE ROAD-IV』
9.14★北沢タウンホール

3分5R

○鈴木ミツル（4R終了TKO）長谷川康也●
〈飛鳥塾〉 〈アクティブJ〉

○天野哲成（判定2-0）五十嵐幹志●
〈MA/マイウェイ〉 〈アクティブJ〉

○蔵満誠（1R1分48秒、KO）明日華和哉●
〈JMTC〉 〈飛鳥塾〉

○泉ユーサク（判定3-0）ジェネット・パヤックランボーグ●
〈MA/山木〉 〈タイ〉

3分3R

○中村玄志（2R1分27秒、KO）北野ユウジ●
〈MA/山木〉 〈アクティブJ〉

○武井豊（1R2分33秒、KO）村松三之●
〈谷山〉 〈アクティブJ〉

○大高一郎（判定3-0）橋本博典●
〈MA/山木〉 〈アクティブJ〉

渋谷クラブサミット99 『Future shock fair-ON POINT-』
9.8★ON AIR EAST

3分5R

○大宮司進（2R2分00秒、KO）エマニュエル・ラドニッキ●
〈シルバーウルフ〉 〈オーストラリア〉

新日本キック 『Fight II』
9.9★平和島アールンホール

3分5R

○ムアンファーレッグ・ギャットウィチアン（判定3-0）中川タカシ●
〈タイ〉 〈トーエル〉

△風神和昌（判定1-0、ドロー）蔦謙介△
〈野本塾〉 〈藤本〉

3分3R

○石川隼（判定3-0）阿部道人●
〈宮川〉 〈治政館〉

○阿佐美義文（判定3-0）ヒロ本間●
〈治政館〉 〈野本塾〉

○リトル・ジョーカー（判定2-0）佐藤優悟●
〈トーエル〉 〈治政館〉

○小鳥（判定3-0）谷正亮●
〈ホワイトタイガー〉 〈尚武会〉

○中西健太（3R1分09秒、TKO）岡本和実●
〈藤本〉 〈横須賀太賀〉

△乙幡耕一郎（判定0-0、ドロー）山本有佐△
〈尚武会〉 〈トーエル〉

○博一（判定2-1）植木功●
〈誠真〉 〈尚武会〉

○前田光章（判定3-0）嘉悦正臣●
〈ホワイトタイガー〉 〈藤本〉

△飯盛元太（判定1-0、ドロー）藤井海人△
〈ホワイトタイガー〉 〈伊原〉

SRS·DX Editor's Talk

編集部トーク

裏事情

『UFC』の目玉ビクトーが負傷欠場に！

A 前号ではっきり言えなかったんだけど、K—1の中量級、そして「猪木ボンバイエ」とTBSが放映権を獲得。遂にTBSまで本格的に格闘技に乗り出してくることになった。しかも、プロデューサーが『筋肉番付』や『世界陸上』を手掛けた樋口プロデューサーというから、かなり本気だね。

B TBSは単発でUWFやUFOの中継をやったことがあるんだけど、それ以前のプロレス格闘技中継を打ち切る際、かなりモメたらしいので、今まで格闘技には手を出さなかった。でも、他局でヒットを飛ばし、格闘技のイメージも変わってきたから大きな勝負に出たんだろう。それにしても『紅白歌合戦』の裏というのは凄いね。

C 「猪木軍VSK—1」に関しては、日テレでも視聴率が良かったんで、本気でやろうとしていたみたいですよ。

A だから、「猪木軍VSK—1」をやったことで業界的にも大きな波紋が起こってるけど、メディアでも地殻変動が起こりそうな予感がする。そのメディアによって、格闘技界は大きく変化していくからね。これは、よっぽどの戦略家じゃないと、対処できないほど難しい時代になってくると思うよ。

B うん、それでアメリカなんかでもUFCが正式にアスレティック・コミッションの認可を受けて、ラスベガスで興行をやるんだけど、それを受けて新しい総合格闘技のステージが出てくる可能性もある。一方でテレビメディアで総合格闘技が認知され、もう一方で政治的にも認められるようになってきた。これは、アルティメット大会が出てきた頃から比べたら考えられないことだね。あの当時は、格闘家さえも「危険だから、すぐになくなるだろう」と言ってたんだから。

C ところが、そのUFCのラスベガス大会なんですけど、目玉のカードとしてティト・オーティズVSビクトー・ベウフォートの一戦を用意してバンバンCMを流していたらしいんですけど、ビクトーがケガで欠場するという情報が入ってきたんです。ただでさえアメリカは、同時多発テロで興行がやりづらくなっているんですけど、もしビクトーが欠場なら幸先の良くないスタートですね。

A まあ、格闘技の怖いところはギリギリのところで選手が練習中に負傷したりしてカードが変更になることなんだよなぁ。『プライド』しかり『K—1』しかりで。それは関係者としても、なんらかの対応が必要になってくるね。

C だけど、この流れの中で僕的に一番気になるのが小川直也選手ですよ。10・8新日本プロレスの東京ドーム大会での藤田戦が消え、今また11・3『プライド』東京ドーム大会の髙田戦までなくなりそう。それに加えて、猪木軍団が「ZERO—ONE」から撤退したことで、本当に上がるリングがなくなってきてるじゃないですかぁ。小川選手はどうするんでしょう。

A 年末の「猪木ボンバイエ」でK—1軍と闘うことは本人も表明しているけど、現実問題としてそれまで本当にないんじゃない。本人は『プライド』では、髙田としかやらないと言ってるから、11・3東京ドーム出場の可能性は薄いと思うよ。猪木さんが今回の来日でどういう話をするか次第だろうけど。

B 個人的なことを言えば、小川選手は『プライド』のような総合の舞台に専念すれば、今までにないような大エースになると思うんだけどな。本当にもったいない。

C そうですよね。この2～3年が年齢的に言っても、一番強い時でしょうからね。

A でも、これで「猪木軍VSK—1」で大激震しているマット界の方向性がだいたい見えてきた。あとはその流れでどんな夢のカードが出てくるかだね。■

▲今の流れの中で、一番気になるのが小川だ。今が脂が乗っている時代なだけに、様々な名勝負を見せてほしいのだが……

◎ある人が私に「結局、戦後のスポーツでテレビで視聴率を稼ぐのは、巨人軍とオリンピックと、力道山なんですよ」と言ってきた。これには、なるほどと思わされた。最近はサッカーのワールドカップがプロ野球に取って代わっているが、たしかに他のスポーツでテレビのゴールデンタイムでやれるソフトなんてない。しかも、その中で"力道山"にあたる格闘技というのは、スポーツとかけ離れたジャンルだ。格闘技というジャンルは、"闘い"をベースに考えると、他流試合が簡単にできてしまう世界。現実に、まったく交わることがないと思われたK—1と猪木軍団の闘いが試合として成立してしまい、しかも刺激があるというところに、プロ野球やオリンピックとは別の楽しみがあることが分かってしまった。こんな脆弱なジャンルもないし、こんな逞しいジャンルもないのが格闘技。だから、「地上最強の夢」とか、「超人追求の夢」みたいなものが、どの団体にも息づいているのだ。極真空手とか、プロレス、K—1、総合格闘技といった時代を担うソフトは、全てそういうコンセプトで生まれた。そこがたぶん視聴率の取れるソフトたる所以である。テレビ局が格闘技に進出する理由もそういうところにあるのだろうが、これだけいくつもの局が参入してくると、本当に勢力図は変わってくるだろう。単純に格闘技側がモテているのではなく、ソフトの根本を相方がどれだけ理解していくかが、うまくいく鍵になるのではないか。それにしても、「猪木軍団VSK—1」が大晦日の『紅白歌合戦』と真っ向勝負するのには驚いた。数字の取れる格闘技が、どんな結果を出すか？（谷川）

SRS·DX

次号の発売日は **10月11日（木）** です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之 編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su·plex、岩村唯是、溝口真穂、野尻雅友

10・8 K-1 福岡大会

敗者復活戦★直前インタビュー

フィリオさん あなたの役割は、"地上最強の極真"を証明することですよ

「裏K－1GP」と呼ばれるほど、豪華なメンバーが集まった10・8「K－1ワールドGP福岡大会」。東京ドームで行われる決勝大会行きの残りキップ3枚を賭けて、昨年のベスト8ファイターが多数集まる中、本誌が最も注目するのは「極真」のフランシスコ・フィリォである。フィリォの今のテーマは何なのかをぶつけてみた。

聞き手◎サダハルンバ谷川

フランシスコ・フィリオ

僕にとってはK―1王者も大切ですけど、一度負けた相手に借りを返したいです

――この前のラスベガス大会は、〝疑惑の判定〟というか、フィリォ選手にとっても不本意な結果に終わってしまったと思うんですけど、その感想からお願いします。

フィリォ　試合直後は正直言って、あの判定は受け入れられませんでした。でも、今は新しい闘いが始まって、ようやく受け入れられるようになってます。ああいう結果になったことで、より闘志が湧いてきたし、次の試合に向けてアグレッシブな気持ちになっています。

――僕はあの試合が終わった後、フィリォさんはまた、K―1をやめてしまうんじゃないかという気持ちになったんですけど、どうだったんですか？

フィリォ　最初はたしかにいろいろと混乱しました。何がなんだかよく分からなかったし、ラスベガスという土地柄、いろんな疑問も湧いていました。でも、今は落ち着いて、これからもK―1を続けていこうという気持ちになってます。

――そりゃあ、良かった。ラスベガス大会では、ステファン・レコが優勝したんですが、もしあの判定がなかったら、フィリォさんが優勝できたのにという思いはありますか？

フィリォ　ファイターにはバイオリズムのようなものがあって、それぞれいい日と悪い日があります。その意味で、あの日はステファン・レコの日だったんですよ（笑）。ピーター・アーツにとっても良くない日だったし、私にとってもアンラッキーな一日でした。

――フィリォさんは去年、グランプリのあと引退をほのめかす発言をしましたよね。あまり大きく話題にはならなかったんですけど、関係者の間では「フィリォはもうやらないんじゃないか」と言ってる人も結構いたんですよ。それがどうしてまたモチベーションを取り戻せたんですか？

フィリォ　やっぱりニコラスやグラウベ、他のK―1ファイターたちもそうですけど、周りの仲間たちが闘いに参戦していくのを見ていると、自分も関わっていきたいという気持ちになるもんなんですよ。K―1に関しては、初めて上がった頃は「よし、やってやる！」というモチベーションが高かった。それが一度、極真の世界大会に向けて、K―1用の練習をやめてしまい、さらに去年のグランプリでは体調も悪くて練習ができなかったんです。練習をやめてしまえば、それだけモチベーションが下がってしまう。昨年の暮れくらいはまさにそういう状態だったんです。でも、今年また何度も日本に来て、他の選手の闘いを見ていたら、再び自分の気持ちが高まってきました。今はK―1に参戦した頃のモチベーションに完全に戻ってます（笑）。

――たしかに今年の春、セコンドをやっていた頃に比べても、ずっとシェイプアップされた、いい顔をしてますね。

フィリォ　特別にダイエットしたわけじゃないですよ。K―1に参戦した当初は、あまり食生活にも気を遣わなくて、本当にたくさん食べてたけど、最近では試合10日前くらいから食べ物にも気を配るようにしています。調子はとてもいいです。

――僕はですね、フィリォさんはK―1でベルナルドとバンナの2人にKO負けを食らってるじゃないですか。K―1にカムバックしてきたのは、やはり打倒ベルナルド、打倒バンナを果たすまではやめられないからじゃないかと思うんですけど。

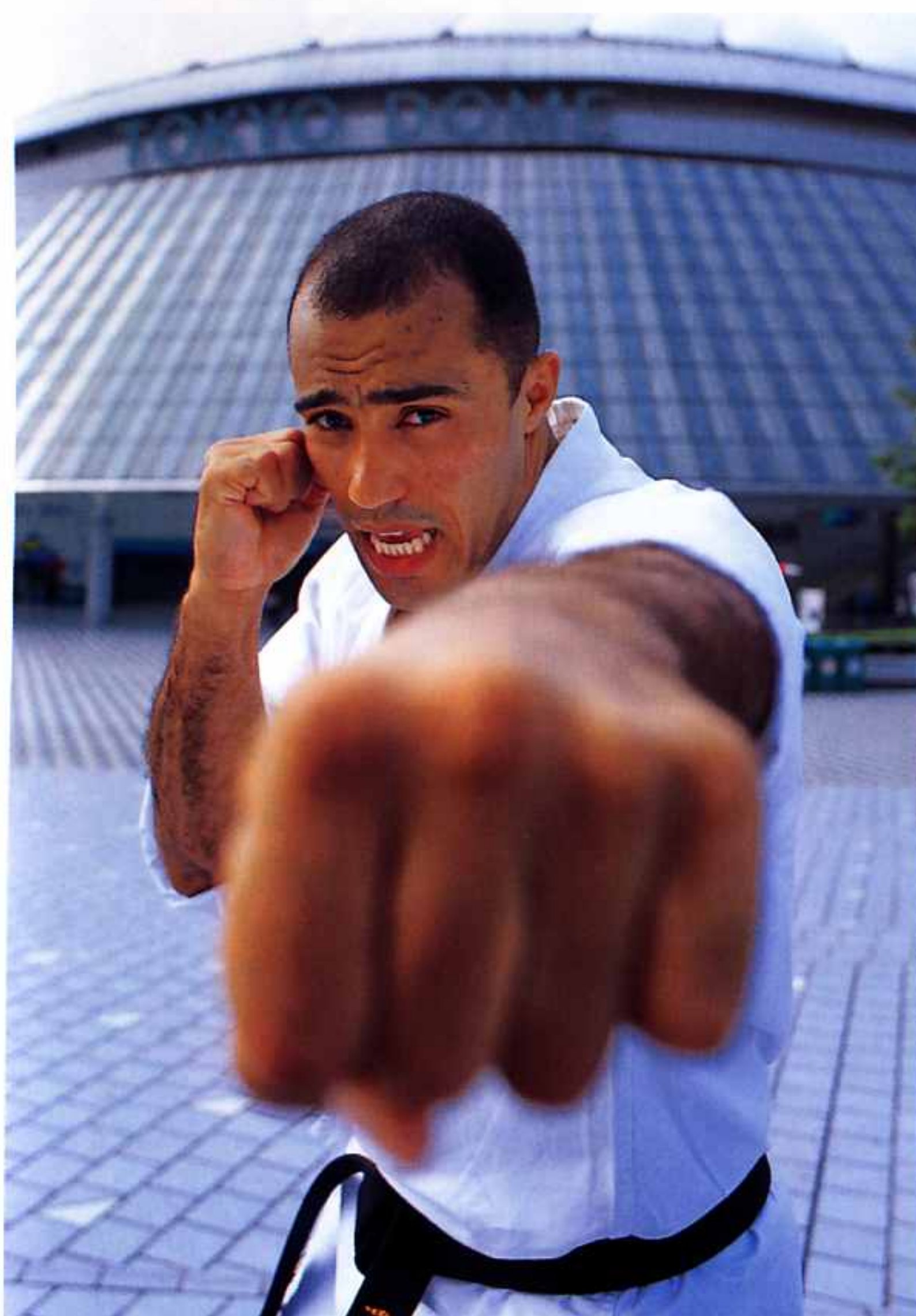
フィリォ　イエッス！　もちろん、そうですね。僕にとっては、K―1でチャンピオンになることも大切だけど、一度負けた相手に借りを返さなきゃという気持ちが強いです。ホーストには一度勝つことができましたけど、バンナとベルナルドについてもいつかもう一度という気持ちがあります。それと、ラスベガスで判定負けしたイバノビッチとも決着をつけたいですね。選手にはそれぞれ、勝てる時と勝てない時の波があるから、今は勝てる時の波とK―1グランプリが合うようにトレーニングしています。

――そこで、バンナとベルナルドにも借りを返すと。

フィリォ　そうなるといいですね（笑）。

――あの～、僕は思うんですけど、フィリォさんって、勝った時も自分の実力の10％くらいしか出してないでしょ。本当はメッチャクチャ強いはずなのに、なんで出さないんだろうっていっつも思ってるんですよ。フィリォさんの潜在能力って、そんなもんじゃないでしょう。

フィリォ　今までの自分の試合を振り返ってみると、たしかに自分の力を思うよ

▼8・11K－1ラスベガス大会開幕戦では、3Rにダウンを奪いながらも、まさかの判定負けを喫したフィリォ。敗者復活戦に出ることになってしまった

フィリォさんはまだまだ、自分の10%しか出してません。極真の世界大会がトラウマになってるんでしょう

うに出せない試合が多かったような気がします。相手が自分に対して攻めてきた時は攻撃的になるけど、相手が攻めてこない場合はなかなか自分から攻めることができない。そこが自分の甘いところで、今、それを変えようとしているところです。

――フィリォさんはあんなに強いのに、なぜガンガン攻めないのかって思ってる人は多いと思うんですよ。もう、行けよって。あまりにも強すぎて、力をセーブしてるんじゃないでしょ（笑）。

フィリォ ハハハ、まあ相手を軽く見ることは絶対にないんですけど、試合中、どこか自分の力を温存している部分はあるかもしれないですね。そんな自分の甘さの改善も含めて、次の福岡では持てる力を存分に発揮しようと思ってます。

――僕はフィリォさんのそのファイトスタイルのポイントになっているのは、第6回の極真世界大会と、第7回の世界大会にあるんじゃないかと思ってるんですよ。第6回大会は数見肇選手に負けて第3位で、4年後の第7回大会では見事に数見選手に雪辱し、世界チャンピオンになった。その2つの大会で、フィリォさんは"勝つ"ことと"負ける"ことがこんなに違うものなのかと、肌で実感したと思うんですよ。特に第6回大会の後のフィリォさんの落ち込みようはなかったですし、第7回大会では初めてうれし涙を流してたじゃないですか。周りの反響も当然違ってただろうし。その体験が今もフィリォさんの心にトラウマとなって、負けちゃいけないんだ、負けちゃいけないんだという思いを必要以上に感じとってるんじゃないか、と。だから、ああいうスタイルになるんじゃないかと思うんですけど。

フィリォ 極真で闘っている時とK―1で闘っている時とでは、自分の気持ちはまったく違います。極真というのは子供の頃からやってる人生そのものですからね。だから、いまだに第6回大会のビデオを見ると、悔しくて涙がこぼれてくる。本当に勝てると思ってましたから。そのモチベーションがあったからこそ、第7回世界大会では優勝できたんだと思ってます。でも、K―1では決して負けを恐れたりするつもりはないんですけどね。う〜ん、そう言われてみると、第6回大会の負けがトラウマになってるのかもしれないですね……。

――でも、フィリォさん。プロでは結果も大切なんですけど、いかに凄い試合を見せるかが大事なんですよォ。凄い試合をやったら、負けても評価されるんです。僕たちは爆発したフィリォさんが見たいんですよぉぉ！

フィリォ なるほど（笑）。でも今は試合前なんで多くは語れないです。僕が見せられるものを全てお見せするよう、頑張ります。

――僕はね、フィリォさんに完全燃焼してほしいんですよ。だいたいフィリォさんとK―1で互角に闘えるのは全盛期のアーツだけだと思ってるんですよ。あと、うまさでホースト。他のヤツらなんてフィリォさんの潜在能力から言ったら片手で十分ですよ。レコとか、イグナショフと一緒に語られるのは、しゃらくさいですよ。悔しいですよ。僕は潜在能力から言ったら、バンナやベルナルドより上だって思ってるんですから。

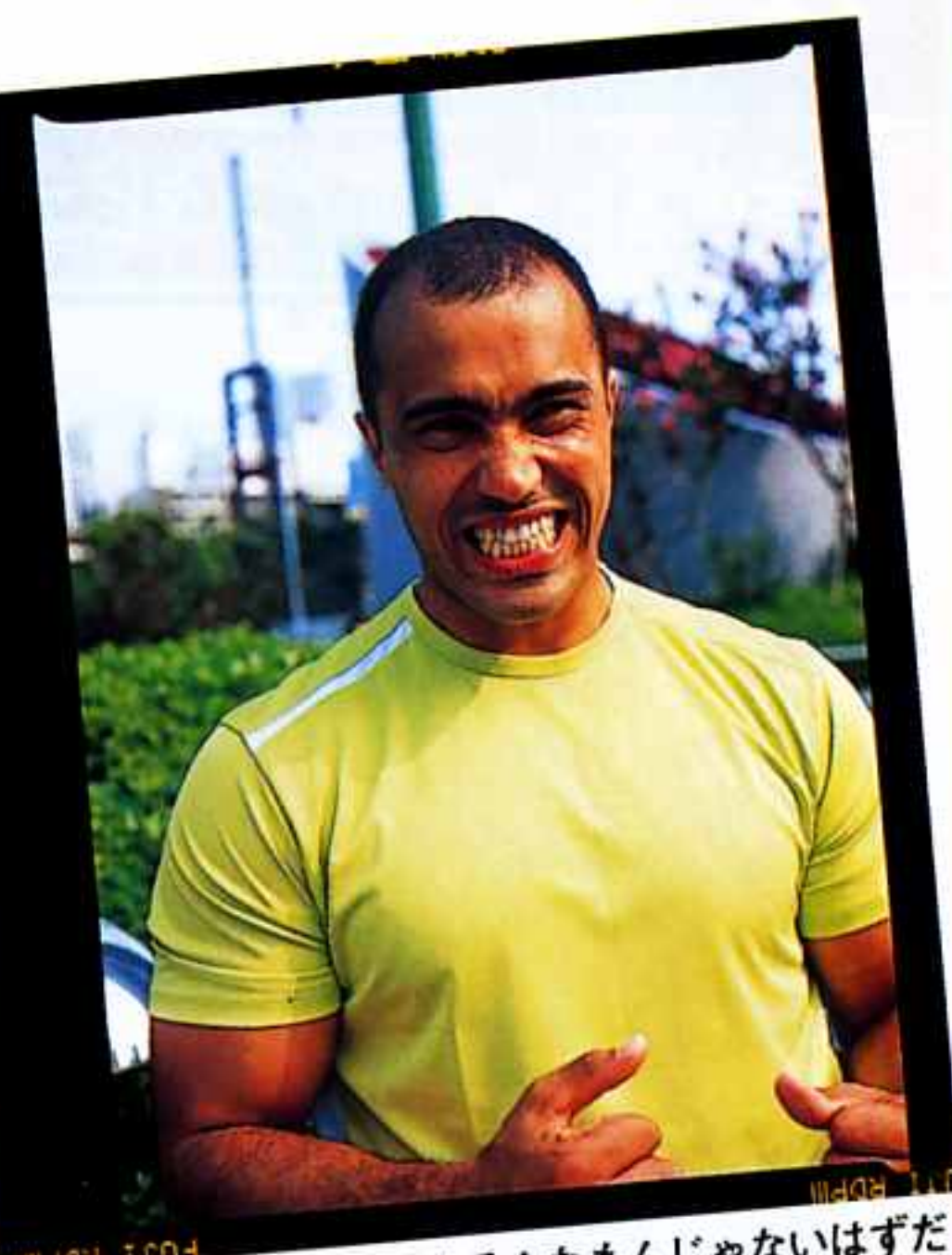
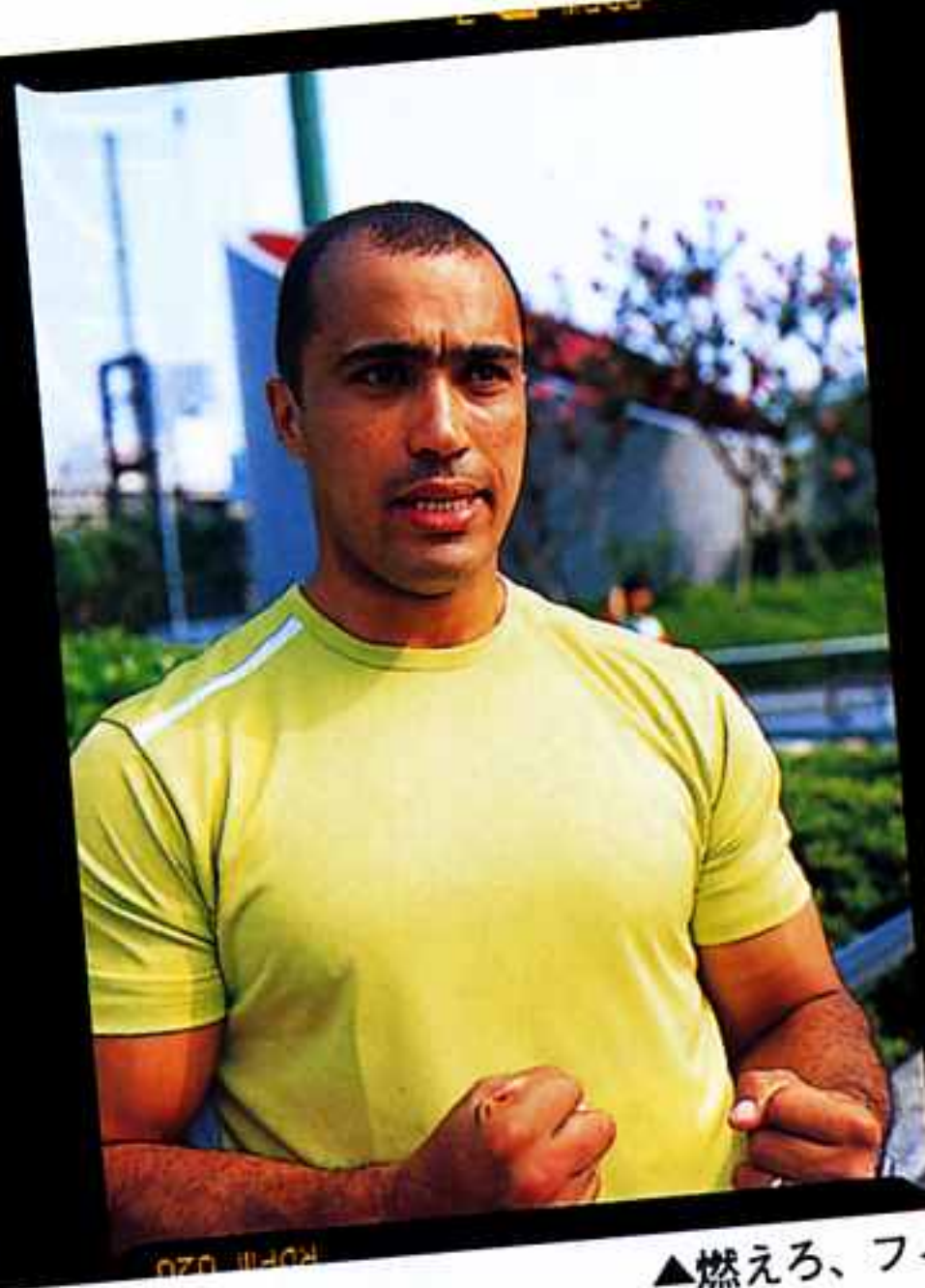
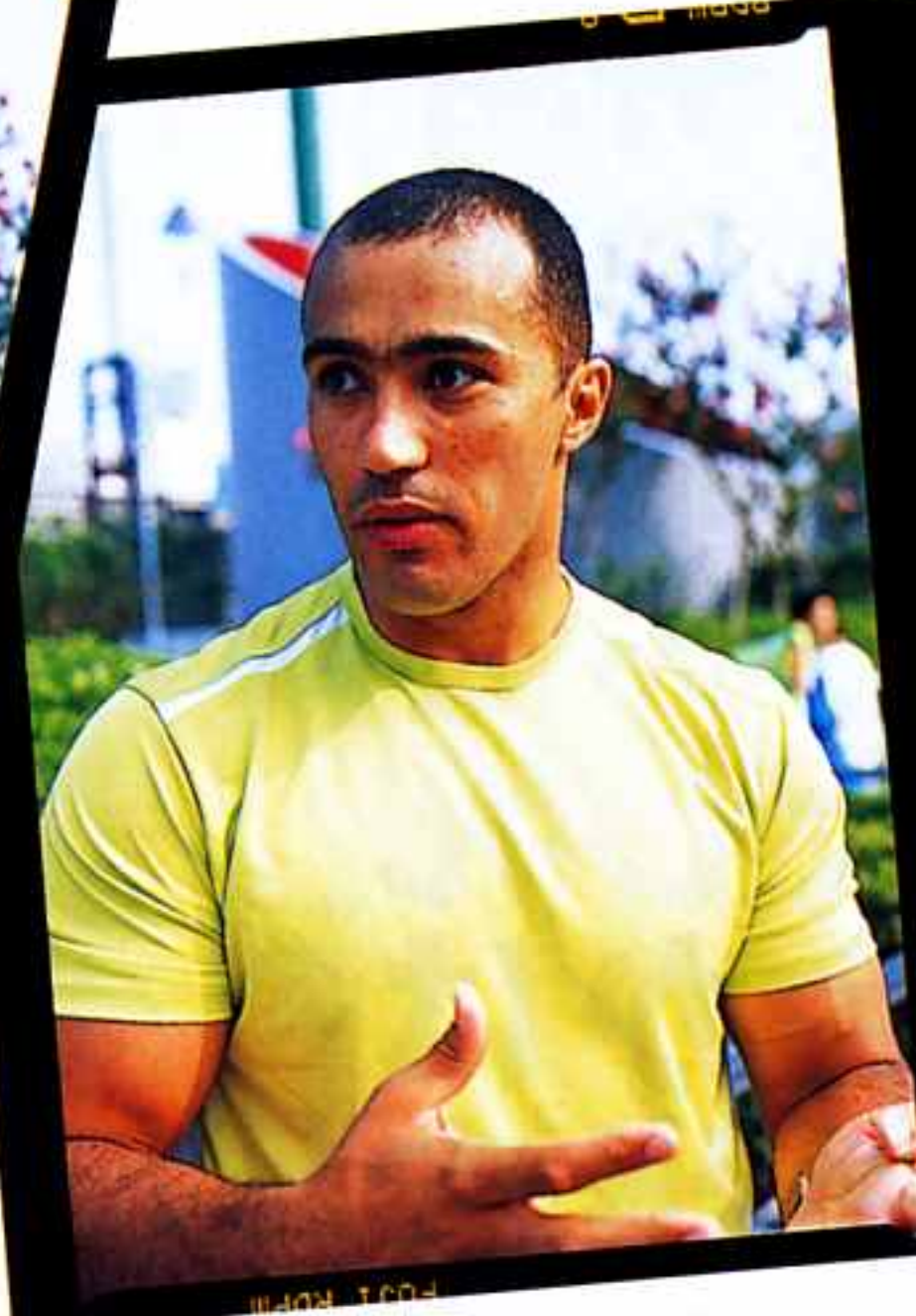
フィリォ ありがとうございます（笑）。ただバンナやベルナルドはボクシングがベースですからね。アーツやホーストはキックボクシングがベースですし、もちろん僕のベースは極真。それぞれフィールドが違いますから、一概には言えないと思いますよ。

――いや、そんな悠長なこと言ってちゃダメですよ。フィリォさん、あなたの役割っていうのは、"地上最強のカラテ"極真を証明するためにこの世に生まれてきたんですよ。その潜在能力から言ったら、フィリォさんは"地上最強の男"になれるんですから。フィリォさん、分かってます？　フィリォさんはその器ですよ。その自らの運命を自覚して、バンナだろうが、ベルナルドだろうが、マーク・コールマンだろうが、みんなブッ飛ばさなきゃダメなんですよ。

フィリォ コールマン？（笑）。

――あと、ヒクソンも。そういう運命なんですよ、フィリォさんは。それが僕らのお願いなんですけど（笑）。

フィリォ ハッハハハハハハ。

――この前のイバノビッチなんか、普通の人間じゃないですか。フィリォさんは

▲燃えろ、フィリォ。キミの潜在能力はそんなもんじゃないはずだ

フィリォさんは〝地上最強の男〟になれる器ですよ。イバノビッチなんて片手で十分ですよ

普通じゃないんですよ。怪物なんですよ。あんなのとは格が違いますよぉ。

フィリォ　私も普通の人間ですけど（笑）。

―いや、全然違います。だからね、この前の試合は、たしかに僕も判定がおかしくて、フィリォさんの勝ちだと思ってますよ。でも、ああなったのは、フィリォさんが悪い。あんなヤツ、1分で倒してくださいよ。

フィリォ　1分？　ハハハ……でも、たしかに少し慎重になって、待ちすぎました（笑）。

―次の福岡では、片手で倒してください。フィリォさんならできるって。

フィリォ　ハハハハハハ、片手は無理ですけど、燃えてきました（笑）。

―で、ロイド・ヴァン・ダムとか、マット・スケルトンを東京ドームに行かせちゃダメですよ。これは、かなりのファンが思ってるはずですから。そんなことしたらA級戦犯ですよ。

フィリォ　でも、あの2人はもうひとつのブロックの人たちと比べても強敵ですよ。ベスト8に入ってもおかしくない実力者です。

―それは分かってます。だから今度こそ本気になって潰しにいってください。

フィリォ　ワォ！（笑）。ぜひ、試合前に今言っていただいたことを、もう一度聞かせてください。非常に燃えてきました（笑）。なんなら、私のセコンドについてもらってもいいです（笑）。

―セコンド？　いや、僕はその日、解説をやってると思うんですけど、セコンドのニコラスからも聞いたことがあるんですよ。フィリォは試合より全然強いって。なんでそれが出ないんだって。ニコラスの場合は、フィリォさんより実力的に劣ると思うけど、あんなに発散しているじゃないですか。それは、ニコラス自身にフィリォさんほどのトラウマとか、負けたら極真の看板に傷が付くという思いが少ないからかもしれないけど、僕はあれでいいと思うんですよ。

フィリォ　ああ、なるほど。

―松井館長だって、「フィリォが極真の世界チャンピオンであることは紛れもない事実だし、どこへ行ってもそれは胸を張って言える。ただし、K―1ではそれを変な形で背負い込むのではなく、とっぱらって思う存分闘ってほしい」と言ってるんですから。

フィリォ　そのとおりですね。

―あの～、ニコラスがこの前のジャパンGPで優勝したことに関しては、どう思います？　フィリォさんより先に東京ドーム行きを決めちゃったわけですけど。

フィリォ　1試合目のフジモト選手との闘いでダウンを取られたのはいただけなかったですけど、それ以外はどれもいい試合でしたね。彼が東京ドーム行きを決めたことはグレイト！　福岡で僕が頑張れば極真の選手が2人東京ドームに行けることになりますからね。

―ニコラスはすでに抽選会でフィリォさんを選びたがってるという噂もありますよ。僕はてっきりバンナを選ぶんじゃないかと思ってたんですけど。どうします？

フィリォ　えっ!?　ハハハハハハ、僕は選ばないですよ（笑）。それはあまりにもクレイジー！　ただ、僕はまだ決勝進出を決めたわけじゃないんで、それについては先のことです（笑）。

―僕の希望はですね、ニコラスが1回戦でバンナとやり、フィリォさんが1回戦でベルナルドとやる。そして、その勝者が準決勝で当たるんですよォォォ！　で、あとはどーだっていいんです（笑）。

フィリォ　ハッハハハハハハ、グッドアイディアですね（笑）。

―で、地上最強の男を証明するために猪木軍ともやるんですよぉ。そういう星の下に生まれたんですから、フィリォさんは。分かってます？　もうそんな感じでやってください。

フィリォ　ハッハハハハハ。とにかく福岡では頑張ります。今日は本当にありがとうございます。押忍！

―いやぁ～、そうなったらK―1が面白くなるなぁ。もう全てフィリォさん次第ですからね。思いっきりブチのめしてください！　■

《外国人・他流派》ニコラスに王座を奪われたジャパン勢はどうする？

▼アンディばりのカカト落としのパフォーマンスをして喜びを表す王者ニコラスの横で、ボー然とたたずむ武蔵

石井館長の答えは、〝自分で考えろっ！〟

▲今回の「K－1ジャパン」の結果に対しては、石井館長も厳しい

中迫剛

富平辰文

藤本祐介

グレート草津

いよいよ「K―1ワールドGP」シリーズはクライマックスに突入していくが、その一方で気になるのが〝K―1ジャパン勢〟である。

なにせ、8・19以降「K―1ジャパン」シリーズは来年まで大会がまったく行われない。しかも、今年はジャパンGPで他流派・外国人であるニコラス・ペタスが優勝。史上初めて日本人のいない「K―1ワールドGP」決勝大会を迎えることになった。これは本当に一大事。関係者のショックは隠せない。

では、そんなジャパンに復活の兆しはあるのか。そこのところをプロデューサーの石井館長に聞いてみたところ、答えはなんと「自分で考えろっ！」だった。

これまで、K―1ジャパンは日本人選手の育成を目的に、日本テレビの全面バックアップを受けて、ゴールデンタイムでもかなりいい数字を出してきた。しかし、肝心な日本人の結果がなかなか出ない。『超K―1宣言』という煽り番組までやって知名度を上げ、ずっと日本人を応援してきた者にとってはたまったもんじゃないだろう。そこで今回ばかりは、石井館長もあえて選手を突き放そうとしているのだ。

「これまでジャパンは本当に恵まれすぎていたと思う。練習環境も与えられているし、ファイトマネーだって他とは比べものにならないほどいい。イベントだって大舞台が踏めるし、テレビ放送だってある。そんな中で、自分で物を考えない選手が非常に多くなっているんです。それが精神面の弱さにも繋がっているんじゃないですか？　もっとプロとは何かを自分で考えないと。それこそ猪木軍とやった意味は分かってるんですかね。その意味で、今回は選手自身のやる気にまかせたいと思います。やる気のないヤツは、もういりませんから」と石井館長。

たしかにそのとおりだ。今後のジャパン勢はよほど考え抜いた復活をしないと、ファンも納得してくれないだろう。

武蔵は本当に「VS猪木軍」に出るのか？

武蔵は噂される「猪木軍団」との対決に乗り出すのだろうか。あるいは極真の大会に出たりするのか。他のジャパン勢も自分で海外に出て試合をするくらいの気持ちがなければダメだろう。その生き様が、今のジャパン勢には問われているはずだ。

まして、これからはTBSで「K―1中量級GP」がスタートする。中量級の日本人ファイターは、ヘビー級よりも個性豊かで世界に通用する実力者揃いと言われている。さぁ、ジャパン勢よ、どういう答えを出すんだ!?　■

武田幸三でも越えられず……これがムエタイ〝禁断の領域〟なのか

超合筋フック不発！ ラジャダムナン王座防衛に失敗

ラジャダムナン王座の初防衛戦に臨んだ武田幸三だったが、ダウンを奪われ、ヒジで切られてのTKO負け。完敗だった

格闘技マスコミの仕事をしていて何がシンドイかというと、それは徹夜でもなんでもない、こういう試合のレポートを担当するってことだ。現実の壁ってヤツの高さを、改めて書かなきゃいけないんだから。締め切りの1週間近く前にあった試合なのに、結局、作業は一番最後になってしまった。

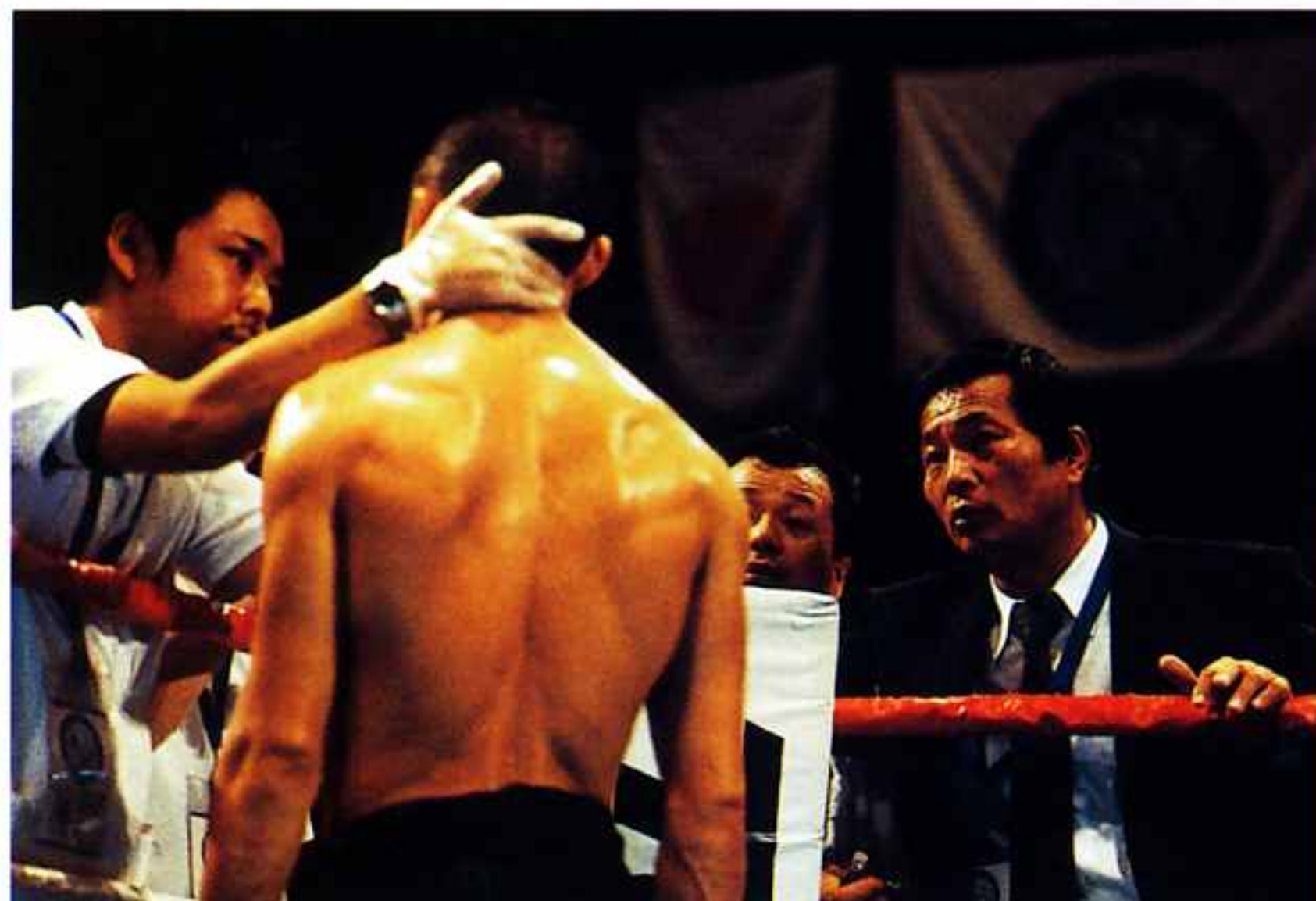
「タイトルは取るより守るほうが難しい」

ボクシング界でよく言われる言葉だが、それが最も当てはまるのはムエタイじゃないかと思う。これまでタイ人以外で〝ムエタイの殿堂〟ラジャダムナン、ルンピニーのベルトを巻いたのは藤原敏男、ムラッド・サリ、小笠原仁、武田幸三の4人。藤原、サリ、小笠原はいずれも初防衛を果たすことなくタイトルを失っていた（サリは王座返上）。つまり王座防衛は〝打倒ムエタイ〟史上の新たなマイルストーンとなる偉業であり、また前人未到の、さらに言えば禁断の領域でもあったのだ。

武田なら、そこに踏み込むことができる。この日、ディファ有明を埋めつくした観客はそう信じて疑わなかったはずだ。ボクもそうだった。

武田はこれまで、ムエタイの常識を破壊してきた。ミドルキックや首相撲に高ポイントを与える独特の採点法をパンチとローキックでブッ倒すスタイルで乗り越え、「ムエタイはキックの絶対的な上位概念である」という常識も叩き壊した。そんな武

新日本キック
TAKE ONE
9.16★ディファ有明

恐るべし！ムエタイ500年の奥義 ヒジ一撃で武田が戦闘不能

▲長いドクターチェック。「止めたほうがいい」と首を横に振るリングドクターに、伊原信一・新日本キック代表が「続けさせてくれ！」と抵抗。なんとか試合は続行となったが、このラウンド終了後、改めてドクターが試合続行不可能を宣告した

★第10試合・メインイベント/ラジャダムナンスタジアム認定ウェルター級タイトルマッチ（3分5R）
○チャーンヴィット・ギャットトーボーウボン（3R終了、TKO勝ち）武田幸三●
〈挑戦者・同級4位/タイ〉　〈王者/治政館〉
※出血多量によるドクターストップ。武田は2Rに左ストレートでダウンを喫した

▲3R開始早々、勝負をかけるべく前に出た武田に、チャーンヴィットは左のタテヒジをヒットさせる。眉間の下あたりから吹き出す血に勝利を確信したのか、チャーンヴィットは「してやったり」という表情を見せた

◀突破口となるのはやはりローキック。特に内股への攻撃が良く決まっていた

武田のパンチは全て封じられてしまった

▲左のパンチでガードを下げさせ、右で決める。武田の作戦は理にかなったものだったが、これは相手も想定ずみ。チャーンヴィットは堅いガードを崩さなかった

▲大一番に気合いが入りまくっていた武田。やるべきことは全てやったという自信がみなぎっている表情だ

という常識も叩き壊した。そんな武田なら、「ムエタイのタイトルは防衛できない」という常識もあっさりと過去のものにしてしまうんじゃないか。そういう期待感があったのだ。

だが、ムエタイ500年の掟は武田をもってしても破れなかった。層の厚いライト級から階級を上げてきたチャーンヴィットは、想像以上に強かった。

ラジャのタイトル獲得は、チャーンヴィットにとっても大きな勲章である。しかも9日前には、同門のテーパリットが小林聡にKOされているとあって、必勝態勢でこの一戦に臨んできたのは間違いない。

ただし、「絶対に勝つ」という気持ちが「ムキになって倒しにかかる」こととイコールではないのがムエタイの怖さである。熱くなって打ち合ったら武田のペースだということは百も承知。むしろチャーンヴィットはとことんクールに試合を進めていった。

1Rから、両者は対照的な攻撃を見せる。武田はローから崩しにかかり、チャーンヴィットは左のミドル、ハイ。ポイントで言えばチャレンジャー有利だが、チャンピオンの攻めはKOのための〝仕込み〟。勝敗の天秤は、まだどちらにも傾いていなかった。

試合が大きく動いたのは2Rだった。武田のモーションを読み切ったかのように、チャーンヴィットの鋭い左ストレートがヒットする。武田、ダウン。このビハインドを挽回しようと、武田はさらに攻撃のペースを上げていく。

ただ、ダウンを奪われたパンチの衝撃で、武田の右目の視界は失われていた。サウスポーのチャーンヴィ

新日本キック
TAKE ONE
9.16★ディファ有明

まだまだ、これで終わりじゃない！
武田、もう一丁っ！

チャーンヴィットのコメント

「ベルトが取れてとても嬉しい。タケダは強かった。パンチもローも重かった。作戦は特別立てていなくて、とにかくベストをつくそうという気持ちだった。練習は充分にできたし、コンディションは良かった。今日は自分の攻撃が先に当たっただけ。スポーツなんだから、勝ち負けはつきもの。大事なのはタイと日本の交流だと思う」

武田のコメント

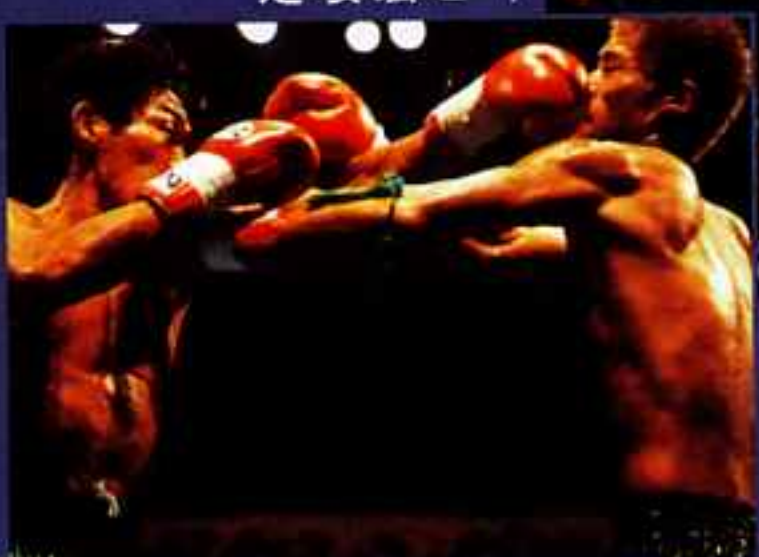
「研究されてましたね。右のパンチが全部ブロックされてた。パンチで感触があったのは一回だけ。相手は全然、平常心でしたね。もっと辛い思いしてるし、大きなことを経験してるから、日本で周りが敵ばっかりでも落ち着いてた。その差は感じました。(もう一回挑戦？) したいけど、もっと経験を積みたいです。もっと自分を厳しい所に追い込んで、場数踏まないと。もっと強いヤツと試合して、勝ったり負けたりしてかないと。(K-1は？) それも一つだし、経験をいっぱい積まないと。100戦やってるヤツらには、100戦やったことがないと分からない領域があると思うから。勢いで勝つのは何回も続かない。作戦負けというか、経験負けですね」

▲完勝でベルトを奪い、ムエタイの面目を保ったチャーンヴィット。タイにはいくらでも強いヤツがいる。それを改めて痛感させられた一戦だった

▶ダウンしたパンチのダメージで右目が見えなくなったという武田。それ以降、左の攻撃に無防備にならざるを得なくなってしまった

▲2R、あまりにもシャープな左のストレートで武田がダウン

▲フライ級チャンピオンの深津飛成は、タイのデンラグー・トゥーラットグーと対戦。3－0の判定で勝ちはしたものの、ムエタイ特有のリズムと距離感を克服することができず。レフェリーが手を上げようとするのを拒否してリングを降りた

▶▼セミファイナルは日本ライト級タイトル戦。華麗なコンビネーションを誇る王者・石井宏樹だが、この日はマサルの特攻ファイトに苦戦。2－0の判定でなんとかタイトルを守った

▼今大会はキック初進出となるディファ有明で行われた

▶傷の治療を終えた武田の控室を訪れたチャーンヴィット。「今日は自分の攻撃が先に当たっただけ」と新王者。武田は「場数の差を感じた」とコメント

ット、その左の攻撃がほとんど見えない最悪の状況。「相手はダウン取ってから余裕カマしてましたね」という武田の言葉どおり、歴戦のタイ人は憎らしいほど落ち着きを増して武田を仕留めにかかる。

3Rが始まって間もなく、チャーンヴィットのヒジが武田の顔面を切り裂いた。長いドクターチェックの末、試合は再開されたが、それもこのラウンドのみ。4Rは開始されることなく、試合終了が告げられた。武田の完敗だった。

「今日は自分の攻撃が先に当たっただけ」と試合後の新王者。そりゃあ勝った後なら、いくらでも謙虚になれるだろう。丸腰になった武田のコメントは「場数の差を感じた」というものだった。

まだタイトルを獲得する前のインタビューで、印象に残った武田の発言がある。

「ラジャのベルトは、もっと強い選手と闘うための通行手形。そんな選手と闘っていって50戦、100戦した時にどんな世界が見えるのか、それが知りたい」

この日の負けは、たしかに悔しいものだった。ただ、武田自身は落胆の中、さらに遠い所をしっかりと見据えてもいた。

「もっと自分を厳しい所に追い込んで、場数を踏みたい」(武田)

その「厳しい所」が何になるのかはまだ分からない。タイに長期遠征してハイペースで試合をするのもいいし、K－1のミドル級GPに出るのもいいだろう。そうして修羅場をくぐった先に、武田がどんな世界を見るのか。その時には〝打倒ムエタイ〟の禁断の扉は完全に開かれているだろう。

(橋本)

▼アグレッシブに生まれ変わったはずのメッツアーが、ここにきて膠着魂を復活させてしまった。メッツアーに何が起こったのか？　実は、メッツアーのフィアンセもあのテロ事件の現場・ニューヨークにいたのだ……

お帰りッ、私の膠着大王♥

▲今年のアブダビでは98キロ以下級＆無差別級を制し、リングス・ミドル級王者にもなった（王座は剥奪された）ヒカルド・アローナ。セコンドには師であるマリオ・スペーヒーが就いた

これもニューヨーク・テロ事件の波紋か……!?
アブダビ・寝技世界一＆リングス・ミドル級王者のアローナが、メッツアーの膠着魂を復活させる!!

星条旗を掲げ、テロ犠牲者へ哀悼の意を表するメッツアー

▲星条旗で全身を固め、悲しげな表情で入場するメッツアー。「ニューヨークにいるフィアンセや友人への気持ちだ」と涙ながらに語っていた

▲1R前半は、スタンドでジャブやローを出して牽制し合う両者

ここで早くも膠着勃発！

▲ジャブを出しながらタックルに入ったアローナだが、簡単にはメッツアーをテイクダウンできず。コーナーで組み合い、膠着する場面がよく見られた

▲互いに投げ合いながらグラウンドへ移行。これぞ“寝技世界一”VS“難攻不落の獅子”の闘い！　どちらも倒されまいと必死だ！

▲グラウンドになってもメッツアーはすぐに立ち上がり、スタンド勝負に誘う。猪木―アリ状態になることも

こ、膠着ッ!?　なぜなのメッツアー！　膠着なんて、もうとっくに卒業したはずだったのに……。

その昔、対戦相手の攻撃をことごとく封じては、密着したまま動こうとせず、ファンに大ブーイングを食らってばかりいたメッツアー。〝膠着大王〟と皮肉っぽく呼ばれ、相手の光を消すことだけは抜群にうまかった。

でも、それも『プライドGP』の桜庭戦までの話。以降の『プライド』では、膠着してつまらない試合をするくらいならKO負けをも辞さない、アグレッシブなファイターに激変したのだ。前回のチャック・リデル戦でも、ファンを楽しませるために敢えてブォンブォン殴り合い、壮絶なKO負けをしてたっけ。

メッツアーの入場を、大阪のファンは大歓声で出迎えた。だが今日のメッツアーは星条旗を身にまとい、悲痛な面持ちで入場してきた。誇りと自信に満ちあふれた、いつものメッツアーとは明らかに違っていた――。

9月11日の朝、アメリカを突如襲った多発テロ事件。あの悪夢のような出来事。試合前メッツアーは涙を浮かべながらこう告白したという。

「友人を亡くしてしまった……。友人は消防士だった。ニューヨークで救助作業をしている時に、ビルが崩壊して下敷きになってしまったんだ……」

ニューヨークにはメッツアーの婚約者のジェニファーさんや両親、多くの友人たちも住んでいる。人一倍ナイスガイなメッツアーが、心配しないワケがない。

今回、コンディションが良かっ

しかし、試合をコントロールしていたのは終始メッツアー。アローナのタックルをことごとく封じる！

スタンドに付き合ったらイケない〝寝技世界一〟アローナ

グラウンドには意地でもイカない〝難攻不落の獅子〟メッツアー

▲2Rには、激しいパンチの応酬から離れ際に放ったメッツアーの左ハイキックがヒットし、一瞬アローナがグラつく場面も

▲頭部へのヒザ蹴りを浴びせるメッツアー！　アローナはなんとかしのぐ

今回、コンディションが良かったことは幸いだったが、そんな大変な状況で他人と殴り合うなんてこと普通じゃできないだろう。それに万が一、日本にいる間に戦争でもはじまってしまったら、家族とも離れ離れになりかねないのだ。事件が起こってからは、当然トレーニングもできなかった。しかし今回、日本に来たのは「契約を交わしたからには、それを守るのが男だ」（メッツアー）。

不謹慎かもしれないが、こんなメッツアーに私は惚れたッ！　みんなも知っていると思うが、メッツアーはホントに男気のあるステキなヤツなのだ。これを聞いて、私はますます惚れ直したッ！

さて、そんなメッツアーの今回の相手は、ブラジル柔術界の〝王子〟ヒカルド・アローナ。『アブダビ・コンバット』では、今年も98キロ以下級＆無差別級で優勝を飾り、〝寝技世界一〟の称号を手に入れた。アラブの王子様も、こんなアローナが大のお気に入りだ。

柔術界の重鎮と言われるマリオ・スペーヒーを師に持つ、まだ23歳の若き実力者だ。今年のリングス・ミドル級トーナメントも制して、寝技の技術はもちろん、スタンド技の才能も覗かせている。もし負ければ所属するトップチームの看板に泥を塗ることにもなるし、何よりアラブの王子様に恥をかかせることにもなりかねない。

対するメッツアーも、モチベーションは普段とはかなり違っていた。いつもは「スポーツマンとしてノーギャラでもいいから試合がしたいんだ」と言っていたのが、今回は祖国・アメリカに残してき

アローナのコメント

「今日の試合はホントに大変だった。しかし、相手のビデオを見て研究し、練習したから今日は勝てたと思う。（２R目はピンチだった？）そう見えたかもしれないが、休憩していただけだよ。今日の結果で、桜庭選手と試合ができるキップを手に入れた。桜庭が今まで勝てたのは、負けた人たちの柔術の技術が低かったからだと思うよ」

メッツアーのコメント

「アローナはタフな相手だった。しかし、自国以外で試合をする時、判定で負けてしまうのはしょうがないことだ。知ってのとおり、先週アメリカではテロがあって大変なことになっている。俺の家族もニューヨークにいるし、消防士の友人が今回のテロで亡くなった。日本に来るのも辛く、心ここにあらずという状態だ。日本のみなさんには、アメリカに多大なる寄付金をいただき感謝している。日本は俺の第二の故郷だ」

「柔術は僕を男にしてくれたんだ」2R後半、ついにアローナが勝負に出た！

▲上のポジションを取り、殴りまくるアローナ。耐えろメッツアー！　アメリカのためにも頑張ってくれ！

★第4試合（1R10分、2・3R5分）

○ヒカルド・アローナ（3R判定2-1）ガイ・メッツアー●

〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉　〈アメリカ/ライオンズ・デン〉

▼アローナがメッツアーの足を捕らえた！　しかし極めきれず……

「勝って桜庭と試合できるキップを手に入れた。僕の柔術テクニックなら絶対勝てる！」（アローナ）

▶最後まで死力を尽くし、ヘロヘロになりながらも最終ラウンドまで闘った両者。２−１の判定で勝利したアローナは、桜庭への挑戦を口にした

たみんなへの切なる思いを胸に闘っていたのだ。そういえば、メッツアーがいつも来ているTシャツの胸には「スーパーマン」がプリントされている。メッツアーは今こそ、崩壊するビルを片手で支えるようなスーパーマンにならなきゃいけなかったのだ。だって、アゴも割れてるじゃないッ！

　アメリカのスーパーマンと、アラブの王子様が送り込んだ刺客との対決……。やっぱり何かの因縁なんだろーか？

　と、そういったいろんなものを胸に抱き、意地でも負けられない両者。試合は１R開始早々、パンチの連打からタックルを仕掛けていったアローナを、メッツアーはガッチリ受け止めたが、そのままコーナーに押し込まれてしまう。テイクダウンしようとする両者だったが、なんせパワーもテクニックも拮抗していて、簡単にはどちらも許さない。気が付いてみれば、昔、メッツアーがよく陥っていた〝膠着状態〟が早くもでき上がってしまった。この状態はたびたび繰り返され、大阪のファンからは時折ヤジも飛んだ。結局、勝負は判定までもつれ込み２―１でメッツアーの負け。勝ったアローナは、桜庭戦へ向けて一歩前進だ。

　メッツアーは、意地でも〝寝技世界一〟のアローナに極めさせなかった。それは、メッツアーの強い意志の表れでもあったように思う。その結果、膠着魂を再び爆発させてしまったが、そんなメッツアーは、以前よりもっとたくましい膠着大王に私には見えた。

　だから、『お帰りッ、私の膠着大王ー』。

（日比）

『プライド』に鳴り響いた最悪の「キャプチュード」!!

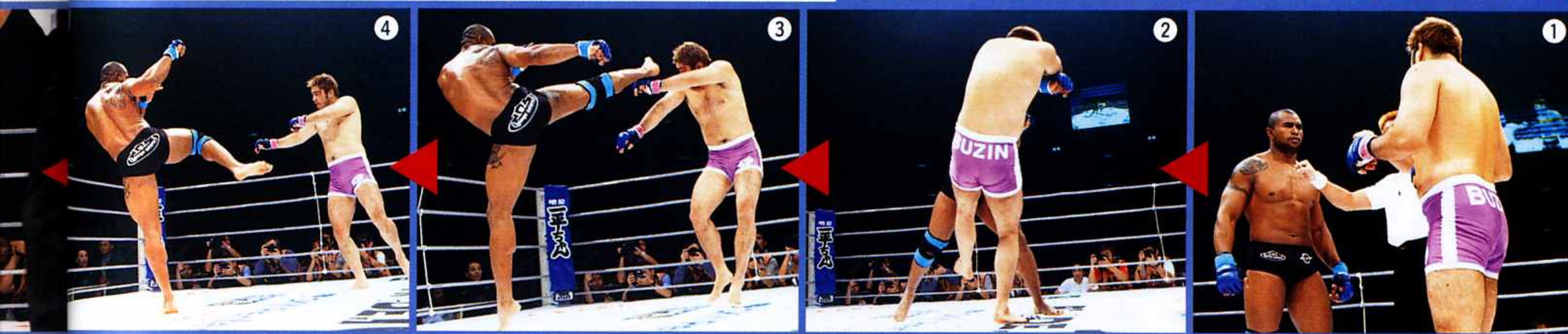
元リングス ヤマノリ無惨な『プライド』デビュー戦

リングス・ファンの期待を背に「キャプチュード」で入場してきたヤマノリ。セコンドには前日、新日本プロレスの大会に出場していた盟友・成瀬がついた

▼ヤマノリはローキックにパンチを合わせられ、まったくいいところなく敗れてしまった

たった11秒でKO負け！ これじゃエセ・リングスだ!!

★第2試合（1R10分、2・3R5分）
○アスエリオ・シウバ（1R0分11秒、TKO勝ち）山本憲尚●
〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉 〈日本/フリー〉
※グラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップ

ゴングからKOまでを連続写真でどうぞ

『プライド』の会場で「キャプチュード」が流れるということは本来なら最高に興奮する出来事であるはず。ところが、この日の「キャプチュード」にはちっともワクワクするものがなかったのである。

だってそれは当然だろう。今のヤマノリは「キャプチュード」＝前田日明を背負う実績を残していないからだ。『プライド』で何戦か勝ち上がり、大物格闘家と合間見える時に、この曲で入場してきたらそれは客も乗るだろう。

だが、リングス離脱後初の試合で、しかも『プライド』の初戦である。不安しかないのに肩入れできるわけがない。フリーになってセルフプロデュースということを初めて考えたものだから、一番安易な方法を選びやがった。誰か止めてやれよ、ホントに。

はっきり言ってヤマノリには、あんな上っ面ばかりのエセ・リングスなんか誰も望んではいない。自らの方向性をしっかり示し、一つずつ結果を残していくことだけが、今、ヤマノリがやらなければならないことの全てのはず。

なぜなら前田イズムとはたった一人になった時に精一杯の見栄を張り、その裏側で歯を食いしばり、憎悪を煮えたぎらせ、試合で、あるいは団体を支え抜くことで爆発していくことを言うのだ。リングス時代、前田イズムを最も受け継ぐ男と言われたヤマノリがなぜそれを理解していないのか、不思議でならない。

たしかにヤマノリはフリーになった。リングスを離れた。だが、その性根は、いまだにリングスというヌクヌクとした大きな傘の下

いったい、このリングで何をしたかったんだ？

▶目がうつろなヤマノリ。『プライド』のリングの過酷さにボウ然としているのであろうが、何もできなかったその姿に見ているこっちもボウ然だ

アスエリオのコメント

「ヤマモト選手はとても強い相手でした。試合前は師匠（フジマー）がヤマモト選手のビデオを見て、いろいろ検討してくれました。私はその指示に従って練習を積んできたので、今日はその成果が出たのだと思います。早い時間に試合を終わらせようと考えていたので結果には満足しています」

▶完全勝利をアピールするアスエリオ。後ろには長々と伸びてしまったヤマノリが……

▶3人のシウバを筆頭に破竹の勢いで勝ちまくるシュートボクセ。一枚岩の結束がその強さの秘密だ

❶リングス離脱後、初の試合、初の『プライド』。どんな試合を見せてくれるのか、観客の期待は高まる❷ゴング直後、ローキックを出すヤマノリだが、アスエリオは右ストレートをガツッと叩き込む❸この後、もう一発右ストレートを浴び（上の写真）、さらにはハイキックまでもらってヤマノリは後退する一方❹２発目の右ストレートで額を切っていた模様のヤマノリは流血❺さらにもう一発、パンチを浴びたヤマノリはそのまま崩れるように倒れてしまう❻アスエリオは倒れたヤマノリに容赦なくパンチを連打する。ヤマノリに反撃の力はもうない❼レフェリーが必死の形相で止めに入って試合終了。わずか11秒の出来事だった

から出ていない。もしくは、リングスの代わりになる、大きな傘を求めてウロウロしているだけにしか見えない。

　その証拠に、小川直也を倒すといって前田の元を離れたのに「真撃」のリングで後ろから殴っただけでその後の展開はなく、気付けば『プライド』に上がっていたという。この体たらくを見れば明らか。まったくビジョンが見えない。ぶっちゃけた話、考えが甘いの一言。

　昔のヤマノリはこんなチッポケな男じゃなかっただろう。キックの藤原敏男先生から鉄柱を蹴ってみろと言われれば、血尿が出るまでガンガン蹴ったトンパチだった。寝技の大会アブダビ・コンバットに出場が決まりかけた時にはなぜか打撃の練習を猛烈に始めた愛しいバカでもあったのに。

　ところが、今はフリーという立場に押し潰されて、メシを食うのに必死なだけ。男としてのロマンがまるでない。

　ヤマノリはバカである。だから、バカはバカなりにガムシャラにやってくれとホントに言いたい。プロモーションがどうだとか、できもしないことは考えずに、ただただ強くなることだけをまずは考えて、そして実行してほしいもの。

　それをリング内で見せつけた時こそ、真の意味で「キャプチュード」の似合う男になるはずなのだ。

　かつて、ヤマノリがヒクソンと闘った時に前田日明はこうアドバイスしたはずである。

「チンポ出せ！」と。

　今こそこの言葉の本質的な意味を理解する時なのだ。（ブチ）

なんて強さなんだ、シュートボクセ軍団！

無惨な

松井、ペレの弟子・ニンジャにリベンジ敗!!

顔面にパンチ、ヒザ、キックと多数の攻撃を受け、鼻と口から流血し痛々しく腫れ上がった

錚々たる顔ぶれのシュートボクセ軍団。『プライド14』でペレ（後列右から2番目）に土を付けた松井であったが、その弟子・ニンジャにリベンジを許してしまった

レフェリーの中途半端なジャッジによる、不本意な試合の幕切れを、「納得いかないのでは？」と記者に質問され、「それを言ったら言い訳になりますから。彼（ニンジャ）のほうが強かったということです」と潔く答えた松井。

ホントなら記者陣に対して「ちょっとヒドイですよね」と愚痴の一つもこぼしたくなるところだろう。それなのに、ボコボコに腫れて傷だらけの顔でインタビュースペースに現れ、恨みつらみも一切言わず、グッとこらえた松井に、「不器用ですから」と低く呟く高倉健のような男らしさを、ちょっとだけ感じた。少しやられたくらいで、ノーコメントにしちゃうような、ハンチクなヤツよりはよっぽどカッコイイし、やっぱり男はこうでなくちゃ！　と思うのだがどうだろう。

試合が終わったあの場面、たしかにレフェリーが明確なジェスチャーで試合を制止したわけではないのだから、勝手に判断し気を抜いてしまった松井にも大いに非はある。３Ｒに入ってダメージの蓄積から集中力がなくなり、判断力と身体の反応が鈍くなってもいたのだろう。

とは言え、やっぱりあの中途半端なレフェリーの態度はいただけない。反則をとるのかとらないのか、注意をうながすのかそうでないのか、ジャッジは瞬間瞬間にしっかりと、しかも自信を持って判断してもらわないと、選手にしたらたまったもんじゃない。ヘタすれば選手生命、いや生命の危険だって十分にありえる。「レフェリーさん、ホントにちゃんとしてよ！」と声を大にして言いたい。

ピンチ→チャンス→ピンチ 目まぐるしい攻防に観客大声援！

1R終盤は防戦一方 ガンバレ〜ッ、松井〜ッ

▲▼▶1R中盤以降は、松井が劣勢。ニンジャは上からパンチ、カメ状態にさせてヒザ、さらに立ち上がって顔面踏みつけと容赦のない攻撃を見せる

危機脱出！ イケ〜ッ、松井〜ッ！

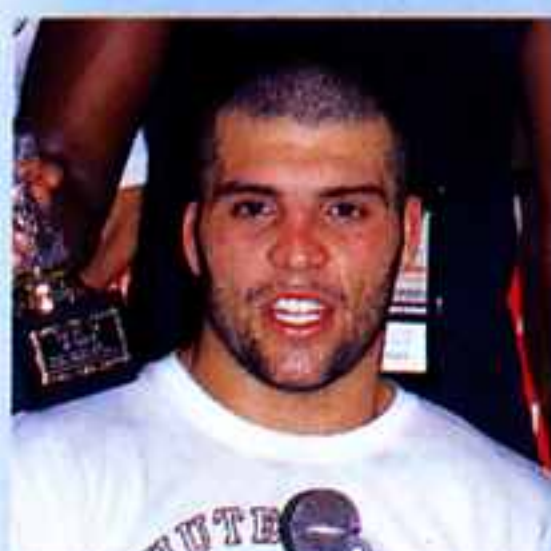
▲1R開始早々。いきなりバックを取られる大ピンチ。しかし、松井は落ち着いて対処し、体勢を入れ替えて逆にチャンス

▲松井がインサイドガードからパンチをヒットさせる。場内には大・松井コール

▲コラコラッ！　ちょっとロープを掴んじゃってますが……、松井のキックがニンジャの顔にヒット！

▲タックルに来たニンジャをがぶってフロントチョークの体勢に。しかし、松井は深追いせず

★第3試合（1R10分、2・3R5分）
○ムリーロ・ニンジャ（3R0分51秒、KO勝ち）松井大二郎●
<ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー>　<日本/高田道場>
※グラウンドの相手への顔面蹴り

と声を大にして言いたい。
　が、しかし、だからと言って、ニンジャの勝利がレフェリーに助けられたものだったと早合点されては困る。ニンジャの実力は正直言って、予想以上。師匠のペレに勝っている松井なのだから、もしかしたら念願の一本勝ちができるかと、高をくくっていたのだが、ボディコントロールの巧さはペレと比べても遜色ないし、もつれた際に上になる足腰の強さはペレ以上では、と感じさせるほど。試合が終わるまでの約16分のうち、ほとんどの時間を、ニンジャがコントロールしていたのだ。P102の松井の痛々しく腫れ上がった顔とニンジャのキレイな顔を見比べれば、試合の展開は一目瞭然。
　1R中盤以降、松井はニンジャの攻撃に押し込まれながらも必死に反撃を試みるも、気が付くと下になっていたり、バックを取られての防戦一方。時折、カウンターパンチでニンジャを脅かすシーンもあったが、優勢とはほど遠い展開。素早い動きと反応の良さが身上の松井でなければ、おそらくもっと速い時間でカタがついていたことだろう。
　それにしても強いシュートボクセ軍団。桜庭和志を破ったヴァンダレイ・シウバ、桜井〝マッハ〟速人を下して修斗のミドル級王者となったアンデウソン・シウバ、さらにヴァレンタイン・オーフレイムに続き、山本憲尚を破ったアスエリオ・シウバ、この3人のシウバのみならず、『プライド14』では松井が判定勝ちしたものの、層の厚いブラジル中量級のナンバーワン実力者・ペレ。そして、ペレ

ニンジャのコメント

「パンチとキックを的確に決める練習をしてきて、それができたと思う。先生であるペレのリベンジができて嬉しい。この勝利を先生・ペレに捧げます。（師匠・フジマー）私の弟子たちがとてもいい試合をして感動しました。私たちのチームは世界一です」

松井のコメント

▲松井の顔のハレは時間が経つにつれてひどくなり、コメントブースに来た時はこの状態

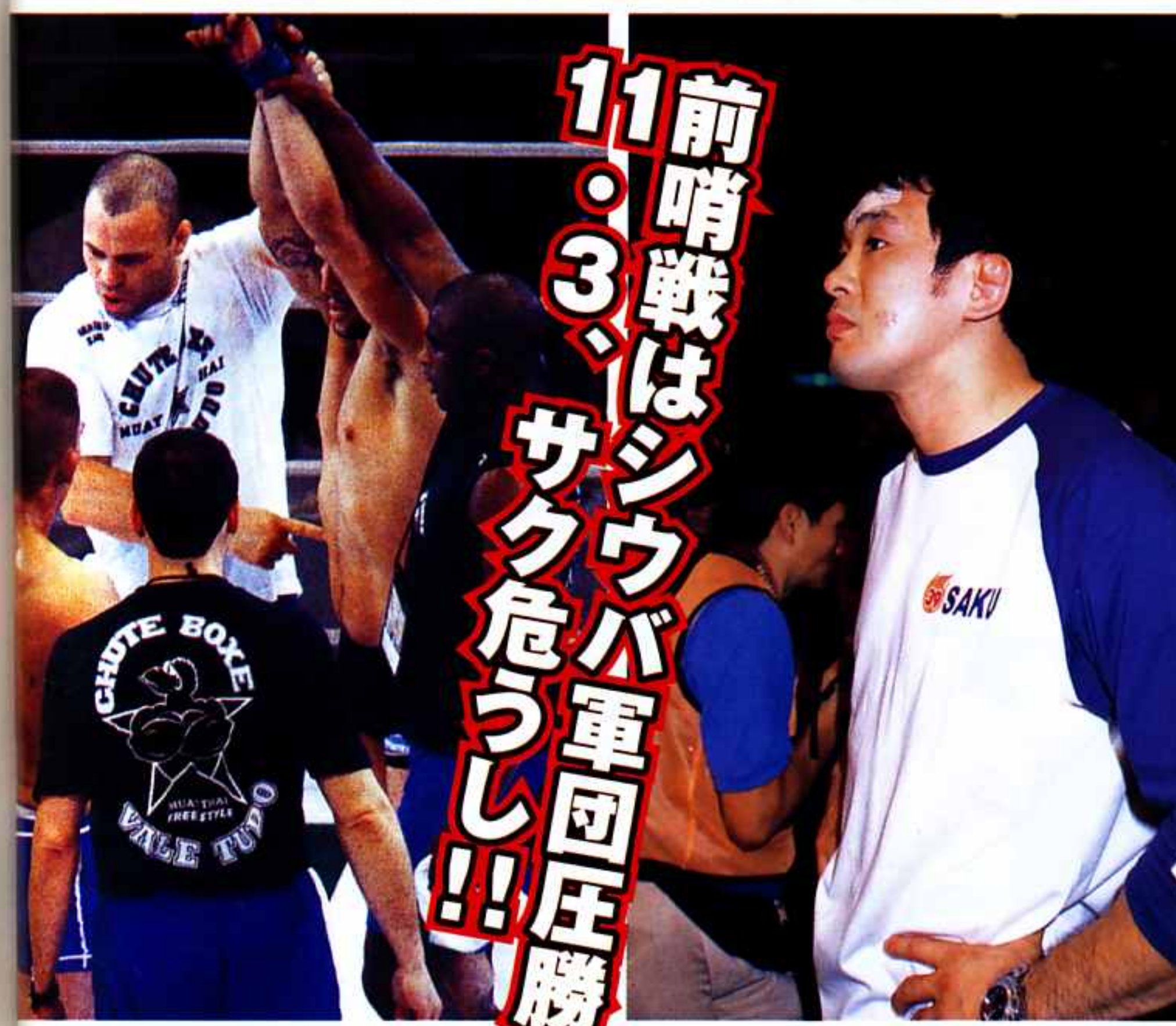
「（止め方に納得がいかない？）それは言い訳になるんで。彼のほうが強かったということです。（目標はシウバ？）シウバに限らずシュートボクセです。ああいうふうに僕が負けて、シウバにガッツポーズされたのが見えたんで。（道場同士の闘い？）そういうことも少しありますけど、あくまで僕個人のものです。練習していたことが出せなかった。まだまだですね。田舎（岡山）のほうから両親と友人が来ていたんで、なんとか勝利を見せたかったんですけど、それができなくて残念です」

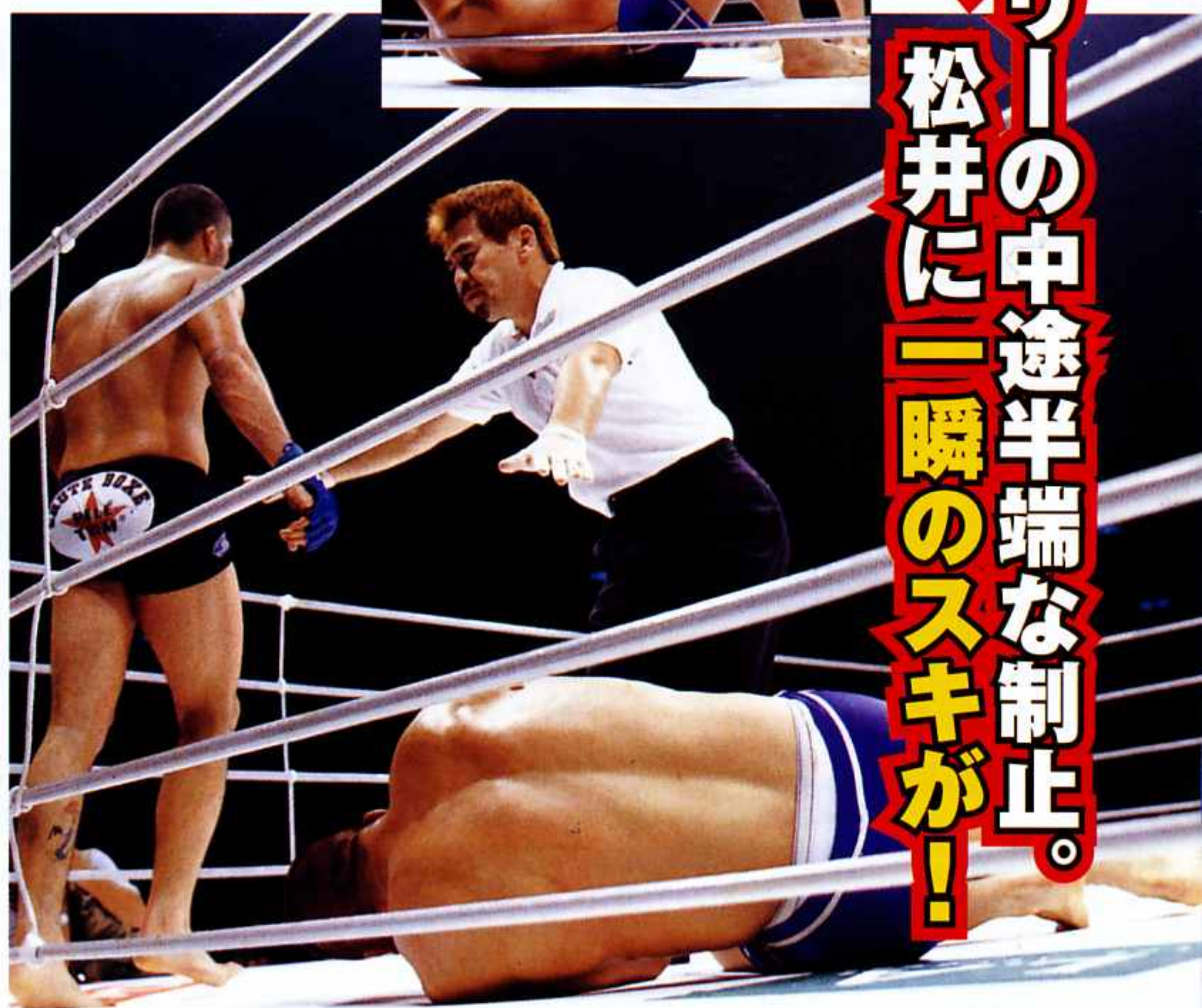
▲ヒザを恐れて離れるとニンジャのパンチが的確に当たる

◀3R。ニンジャは動きの悪くなってきた松井の首を抱えてヒザをぶち込む

◀▶レフェリーが、ロープを掴んで攻撃したニンジャを制止するような中途半端なモーションを見せたため、一瞬気を抜いた松井は、ニンジャの強烈なキックをもらい朦朧。さらにニンジャはレフェリーが止めないとみるや、えげつない追い打ちの踏みつけ2発を食らわし、ここでレフェリーがKOを宣した

レフェリーの中途半端な制止。その時、松井に一瞬のスキが！

前哨戦はシウバ軍団圧勝 11・3、サク危うし!!

▲ニンジャの両手を上げ歓喜のシウバとペレ

▲試合直後、ぶ然とリング上を見つめる桜庭

の弟子ニンジャ。とにかく、出てくる選手出てくる選手、みんな強いときている。それどころかシウバ1号・ヴァンダレイの話では、まだまだ実力者がいるというのだ。

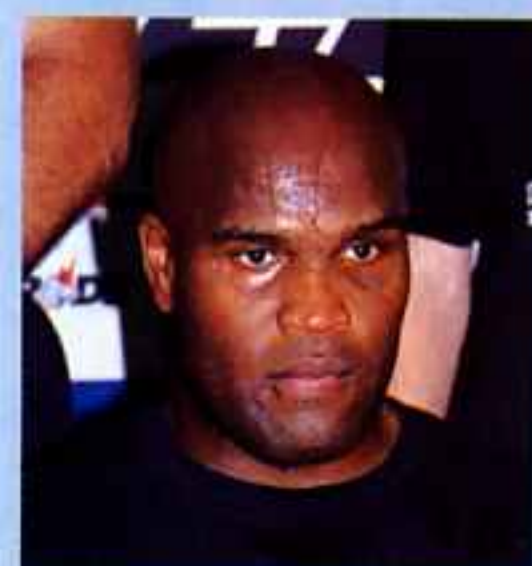
ちなみに、ムリーロ・ニンジャという名はもちろん、本名ではない。小さい頃、忍者の映画が好きだったことから付けられたニックネームで、本名はムリーロ・フワ。もともとはダイエット目的でシュートボクセに入ったそうで、柔術は始めてたった4年だとか。それなのにこんなに強い選手にしちゃうなんて、いったいどんなジムなんだシュートボクセ！

しかも、人の顔を平気で蹴り上げるし、踏み潰すし、まったくどんなジムなんだ、シュートボクセ！　とにかく驚くばかりだ。

せっかくペレに勝って世界の一流どころと肩を並べたと思いきや、エベンゼール・フォンテス・ブラガに判定負けし、そして、今回はニンジャに手痛いKO負け。松井株急上昇かと思ったら、また降下。スプラッシュマウンテン並のアップダウンだ。ブラガ戦後、師匠の髙田延彦は「次のある負けだ」と松井を励ました。松井の技術は確実に向上していると思うし、ホントにあと一歩だと思う。しかし、その一歩が遠く険しいのは本人も痛感していることだろう。

今回、松井が一本勝ちしたら、髙田道場から特別ボーナスが出るという話もあったが、夢と散った。しかし、松井にとっては、ボーナスよりも、両親や友人に勝ち姿を見せられなかったことが残念でならなかっただろう。松井の苦悩はいつまで続くのだろう……。（林）

ねえねえ谷津さん、"男の方程式"って……こんなこれぇ？

チーム谷津、1年越しのリベンジで大失策！

グッドリッジのコメント

「谷津は自分が思っていたよりも強かった。もっとできると思っていたのに、なぜセコンドがタオルを投げたのか分からない。これからは共にトレーニングをして、友人になれればいいと思っている。谷津は前回よりも全体的に良くなっていた。別人のようになっていたので、防御するのは難しかった」

谷津のコメント

「（タオル投入は）事前にセコンドに『タックルを5、6回やって入らなかったら、タオルを投げてもいい』と言った手前納得している。欲を言えば、アクションの途中では投げてほしくなかった。今後は、外国人選手に負けない若手を育成していきたい。また（VTの試合も）やりたくなるかもしれないし、今は分からない」

谷津は無意識のうちにタオル投入と取れるジェスチャーをしてしまった。試合後「無意識だから分からねぇよ、こんなこれぇ……」と語ったとか

「グッドリッジはグッドフレンドさ」と谷津。2人に友情が芽生えたのだった

で、出たぁ〜、谷津ガード！　昨年のグッドリッジ戦が思い出され、場内も「おぉ！」

▲投入されたタオルを振り回し試合を止めるレフェリー。これからが勝負だ！　と思われた直後だけに本当に残念

▶前回はアッパーで谷津を下したグッドリッジ。試合前「50〜60発くらいなら大丈夫でしょ」と語っていた谷津は、強烈なアッパーに臆せず次の展開へ

果敢にタックルを試みる谷津。テイクダウンを狙え！　凄いヤツ！！

★第1試合（1R10分、2・3R5分）
○ゲーリー・グッドリッジ（1R3分05秒、TKO勝ち）谷津嘉章●
＜トリニダード・トバゴ/フリー＞　＜日本/総合格闘技荒武者＞
※セコンドのタオル投入

「"男の方程式"で言ったらグッドリッジとのリベンジマッチしかないでしょ、こんなこれぇ！」

戦前、貴方はボクにこう言いましたね。

"男の方程式"。産まれて初めて聞くその言葉に、ボクはシビレました。ワクワクしました。「今度はどんな貴方が見られるのだろうか？」って。

あれから約1年。場所も同じ大阪城ホール。リベンジにはうってつけのシチュエーションです。今大会は他団体からチャンピオンクラスの選手が多数参戦して注目を集めました。けど、ボクの一番の注目は、やはり貴方でした。だって、"番人越え"を果たすために「体調的なことより、メ〜ンタルが大事！」で準備に約1年もの歳月が必要だったんですもんね。そりゃ期待しますよ。それなのに……あの結末は、何？　しかも、試合後の貴方のあのコメント。ボクは本当にガッカリしました。

「事前にセコンドに、『タックルを5〜6回やって入らなかったら、タオルを投げてもいい』と」。しかもそのセコンドは、「5〜6回」を真に受け、せっかく成功しかかった5回目のタックルの時にタオル投入……はぁ……。

結局、貴方は何を見せたかったのですか？

貴方、そしてセコンドを含めた"チーム谷津"のみんなに、ボクはそう問いたい！

貴方にとってリベンジってなんだったんですか？

"男の方程式"……。非常に残念ながら、ボクには難解すぎて解読できませんでした。

（宗忠）

猪木、『プライド』で『猪木祭り』を語る！　その視点はすでに『プライド』にあらず？

◀『プライド16』を総括するとともに、大みそかの『猪木祭り』にも言及した猪木

猪木の総評――

構成◎"Show"大谷泰顕

――今日の総評なんですけども。

猪木　ドン・フライはちょっと調子が悪くてね。ちょっと心配したんで。肉離れをしちゃったんで、普通は出られる状態じゃないみたいなのに、あいつは気が強いからね。自信はあったと思うんで。ただ、これだけみんなが1回毎に変化していくのは凄いなあと思ってね。グッドリッジにしても、今度は谷津がイケるのかなあと思ったら、それ以上にやっぱり変化が大きいんでね。タックルを切るテクニックをみんなが勉強してるのかなあ……。ま、今日なんかの場合はノゲイラなんかはパンチも使えるし、蹴りも使えるしね、グラウンドも。見た目ではコールマンのほうが有利なんじゃないかなあと思ったんだけど。まあ、予想したとおりだったけどね。また、合同合宿でもして、研究でもしないとダメだろうなあ。今度はロスの道場が10月には開きますから、そうすればまた、いろんなことができますから。

――今日の試合が、大晦日の大会への選抜的な意味もあったと思うんですけど。

猪木　そうねえ？　ちょっと今日は調子がアレだったんで。ハッキリ言えば、超ベテラン中のベテランっていうのかなあ、この闘いの。ドン・フライもちょっと苦戦だったっていうのかなあ。まあ、あの、彼の場合、調子が悪かったたっていうのと、肉離れで歩くのが精一杯っていう状況で。まあ、まだいろんな素材がいっぱいいるんでね。うまく道を開いてあげれば。この10年っていうのが新日本プロレスにとっては非常に、よそが大きく変化してる時に、変化しきれなかったというか。止まってしまった部分。まだまだ、でも中西なんかも今、相当意識の変化が起きてきてる部分。健介がさっき挨拶に来たから、健介が今度はどういう試合を見せてくれるか。あと、小川が、やっぱり闘う場所に引っ張り出さないと。契約であるとかいろんな問題がある。でも、そんなことよりもファンに夢を与えなきゃいけないっていうことが一番大きな俺たちの使命だから。そういう意味では、ひとつには「難しいヤツ」というレッテルを貼られちゃっただけに、結局、誰も干してるわけじゃないけど、そういう意味では誰かが口火を切らなきゃいけないんじゃない？　だから「強権発動」とかこうとかいうわけじゃないんだけど。それから俺を悪役にしたって、こざかしいマッチメイクにはもうヘキエキしてるから。それより、そういう闘いが実現するような、道を開いていくような、意識をみんな持ってもらえればね。だって否応なしにしようがないじゃない。こういうもの、今日の『プライド』の客も根付いてきてるし。K―1はひとつのピークに差しかかったかもしれないけど、そういう意味ではとにかくどんなものになるのか、12月31日を投げてしまった以上は、成功というか、面白くしないといけないんで。どちらにしても、もうちょっと時間がありますから。だから小川もできれば、これに参戦してもらいたいと思うし。やっぱり視聴率対策という問題が出てきますからね、これは。ただ試合を組めばいいというわけではないから（笑）。視聴率対策も含めて考えないといけないという。

――今日は佐竹選手も側にいましたけど、佐竹選手も猪木軍として？

猪木　まあ、みんな猪木軍に、ノゲイラもそうなんだけど、みんなそういうほうが。まあ、ありがたいことなんでね。猪木軍って誰が決めたのか知らない。勝手にできちゃったんだけど（笑）。俺にはそういう意識はないんだけど、みんな頼ってくる人が、なんらかのかたちで世に出たいわけだから、その世に出るきっかけとしてね、いろんなチャンスを作ってあげられればいいと思います。

――では可能性は高い？

猪木　まあ、彼も今やってますからね、一生懸命。ひとつには何遍も言うように、日本から見たもの、ここに来て日本人選手が非常に苦戦してるんで、それはどういうことかっていうと、日本の『プライド』なら『プライド』のリングっていうものをターゲットにして集中してトレーニングしてくるんだけど、いろんな情報を外で集めてますよね。日本にいると、あまりにも広いんで、どうしてもその情報が取りきれないというか。ターゲットを絞れないんですよね。そこんところの少し意識の変革を起こしていくっていうのは大事な状況かな。俺はいつも5年、10年早すぎるというけど、本来なら新日本がもっともっと早くやればいいことなんだよ。それが今、やっと実行に移ってくるんで、そうすれば非常に面白い。

――小川選手の闘う場所っていうのはどこで？

猪木　だから、この間、彼には言いおいてきたんで、『東スポ』がスッパ抜いたのかどうかは知らんけど。巴戦という（10・8ドーム）。小川にとっても安田にとっても中西にとっても「どうしても」と言われても、日程的には難しいんですよね。だからみんなそれぞれにとってチャンスがあるよ、というね。非常にこれは常識外のマッチメイクになるかもしれないけど、あとは新日本の問題が。もう立ってる位置が違っちゃったんでね。どうしても皆さんは俺のところに持ってきて、「藤波が何を言った」とか、誰がどう言おうが困る。コメントしようがね。だから悪口を言ってるわけじゃないけど、素直に今のおける状態っていうと、結局新日本批判みたいになってしまうんでね。そうじゃなくて、やっぱり新日本にも頑張ってもらわないといけないんで。それで、最初から言ってるように「苦戦するよ」と。こんな興行はね。その苦戦する興行を、案の定ギリギリになって、持ってこられても困るなあっていうのがね。困ったからほおっておけばいいや、というわけにはいかない。一番のジレンマがあるんでね。なんか、とりあえず小川という石をぶち込んだんでね。今度はどういう反応を起こすか、新日本が考えればいいだろうよ、いいですか？　■

◀練習疲れで、ヘルペスに見舞われた桜庭だが、大会後は、冷静に試合を振り返った

桜庭　スタミナが切れましたよね。極め

――小路選手が見上げてましたもんね。

◀練習疲れで、ヘルペスに見舞われた桜庭だが、大会後は、冷静に試合を振り返った

桜庭の総評——

聞き手◎"Show"大谷泰顕

髙田VSミルコ？ それは（髙田が）道場のみんなと練習して（髙田に）頑張ってもらえば

——今日の総評を教えてください。まずメインのノゲイラから。

桜庭　ノゲイラ？　凄いなあって。基本的に持ってるものを持ってる人は凄いですよ。

——思わぬ結果というか。

桜庭　ああ！　彼のペースというかね、それにハマッちゃったんじゃないですか？　あれは柔術の人が得意っていうか、ヒザの上っていうか、スネに乗っけてコントロールするんですよ。スネに乗ってたじゃないですか、胸の部分が。

——あれが手だと。試合前はああなると思ってました？

桜庭　たぶん（笑）。始まる前はちょっと分からない。ボコボコに殴ってコールマンの勝ちか、ノゲイラが下から極めて勝ちかと思ったんすけど、試合が始まって、コールマンがちょっと引いてたじゃないですか。あれが「ちょっといつものコールマンじゃないなあ。ヤバいなあ」とは思ってたんですけど。

——ドン・フライは？

桜庭　あれはねえ、反則ですからね。

——まあ、反則ですよね（苦笑）。じゃあ谷津選手の試合は？

桜庭　ああ、あれは全部見てないんですよねえ。あの辺の試合は、要するに松井の試合があって。1試合目も便所に行ってる間に終わっちゃったし。

——じゃあ第2試合の山本選手は？　今回は秒殺されちゃいましたけど。

桜庭　ノーコメント。

——ノーコメント（笑）。

桜庭　ノーコメントというか、一緒に練習してる仲間ですからね、頑張ってもらいたいです。

——じゃあ松井選手は？

桜庭　松井はちょっとウォーミングアップの時間を間違えちゃったかなあっていう感じで。なんて言うのかな。バテちゃってたんですよ。いつもはもっとスタミナが続くんですけど、全然ハアハアハアハア息が切れちゃって。

——惜しかったですけどね。

桜庭　スタミナが切れましたよね。極めるチャンスがあったのにもったいなかったですね。あとは最後アレですよね。レフェリーが「ストップ」って言ってるのに、ハッキリとストップしないから分からないじゃないですか。僕らにはハッキリ「ストップ」って聞こえてますからね。終わってから言ったんですよ。「誰か『ストップ』って言ってないですかね？」って。そしたら「誰も言ってない」って。でも、あとから帰ってきて聞いたら、みんな「ストップ」って聞こえたって言うから。ハッキリ言わないとダメですよ。松井も「えっ？」ていう感じで。向こうもチラッてこっちを見てから、松井を蹴ってたじゃないですか。

——続いてメッツアーVSアローナは？

桜庭　だからその試合は松井の試合が終わったばかりで。

——判定でアローナが勝ったんですけど。

桜庭　あ、それは見ました。判定で勝ったのと、一発ハイキックが入ったのと、ヒザ十字が入ったのは見ました。判定もどっちかな？　っていう感じでしたね。

——アローナは「桜庭」って名前を上げて、対戦希望を出してますよね。

桜庭　誰でもそうなんですけど、1試合毎にいい試合を続けていけば、周りの人も関係者も認めて、試合を組んでくれるじゃないですか。そういうことをすればいいんじゃないですか？　誰かの名前を出してやることは簡単だと思うんけど……。

——じゃあ続いて、セーム・シュルトは初の『プライド』参戦でしたね。

桜庭　デカかったですね（しみじみ）。実際に闘ってないから分からないけど、もの凄くプレッシャーがあったんじゃないですか？

——小路選手が見上げてましたもんね。

桜庭　足が長いから結構開くんですよ。スキ間ができるから、あれはしょうがないけど、リーチも長いし。最初に上になった時はもったいなかったですね。逆に手だけだったからプレッシャーっていうのが。あれでローキックがあったらキツいッスよ。

——実際、その後にはシウバとリング上で相対して挨拶してましたけど？

桜庭　はい。あらためて言うことはないです。救急車に乗れるように頑張ります（笑）。試合後に急性アルコール中毒みたいにならないように気を付けます（笑）。

——「カカッテコイ！」って日本語で言われましたけど？（笑）

桜庭　ちゃんと試合を今日組んでくれればかかっていきますけど（笑）。

——でも、シウバが「ゲンキデスカーッ！」て言ったから「元気ですよーッ！」て言ったんですか？

桜庭　そうですよ（笑）。なんだ、やってるじゃん！って思って。

——今回は、ちゃんと「元気ですよーッ！」って聞こえてましたね（笑）。

桜庭　「よーッ！」ってハッキリ言ったから。

——なるほど。最後に言っておくことはあります？

桜庭　いやとくに（笑）。

——まあね（笑）。

桜庭　シウバに「カカッテコイ！」っていうか、お前が来い！　って。

——お前が。じゃあ最後にVSミルコ戦を、髙田選手が直訴したみたいですけど。

桜庭　いやあ、それは道場のみんなと練習して頑張ってもらえば。

——頑張ってもらえば（笑）。

桜庭　はい。僕も頑張りますから。■

猪木、テロ地獄のNYより無事生還!!

恒例！猪木成田会見!!

9月11日、突如としてニューヨークを襲った同時多発テロ。そんなテロ真っ只中のニューヨークにいた猪木。そして9月20日、猪木が無事日本に戻ってきた！　地獄絵図さながらのニューヨークから生還してきた猪木を囲んで、成田空港恒例の猪木会見がこの日も行われた。

猪木　どうぞッ！

——とりあえず、ニューヨークではどうでしたか？

猪木　現場を見に行ったら、入れてもらえないんで。いや、べつに朝飯食って出たら、バーンッと鳴って、黒い煙が出てたから、なんだろうと思って。そうしたら道行く人が「なんか事故があった」みたいな話をしているんで。それで国連本部に行って、そういう状況が分かってね。30分ぐらい居たんだけど、その時セレモニーがあって。セレモニーっていうか、ちょっと事務総長が出るっていう話があったから。

——猪木さんもこの間言ってましたけど、戦争が起きましたねぇ。

猪木　俺も分からんよ（笑）。ただまあ、アメリカにいて感じたことはたしかに、凄い指導力だなぁというね。事件が事件だけにみんなが一つとなってね。もし日本であれが起きたら、今の若い人たちが、どういう反応するかなぁなんてことをね、考えてましたけどね。ただ、あんまりアメリカ、アメリカっていうと、パール・ハーバーの問題も含めてね、なんか居心地悪いもんがあったんで。だから、なんか単純な国民っていうかな、もの凄く。ただ、単純じゃないと、いろんな多種民族がいるから、まとめにくいっていう部分もあるしね。それは分かるんですよ。ただ、やっぱり、全ての構造の変化という、前から言っているように意識を変えていかないといけない。テロがいい悪いという問題なら、こんなもん悪いに決まってんだけど、その起きるプロセスの中にある問題というのが重要というか。

——プロレスの話なんですが、新日本のほうがですね、小川VS藤田ではなく、藤田VS健介を発表したんですけど、それについては？

猪木　藤田がちょっと調子が悪いんで。小川戦に関してはもうちょっと、体調が最高の状態じゃないと自信がないというか。本人からじゃないんだけど、そういう話があったから。それはそれでいいんじゃないの、と。一番いい時に調子良くしてやればいい。べつに健介をなめてるわけじゃないけど（笑）。やっぱり小川というものを意識しているんでしょう。あと、健介に関しては、情報も何も入ってないんで分からないんだけど、一生懸命頑張っているようですから。意識が変わったようですからね。たぶん、そこんところがポイントでしょうね。行って何をしてきたというより、意識が変わらないと。今までやってきたことから脱皮できるかできないかがポイントでしょうからね。

——小川選手とは連絡は取られたんですか？

猪木　ちょうどニューヨークにいた時に電話があったんですけど、それっきりです。俺のほうも飛行機が取れるとか取れないとかで、ちょっと（笑）。今日も飛行機が全然なかったんで、やっとの思いで1席。乗ってみたら席は空いてたけどね。

——10月8日の東京ドームに小川選手が出なくなったということに関しては何か。

猪木　さぁ～、今日あたり電話があると思いますんで。試合しないとねぇ、彼も。ストレスが溜まってくるから。いい場所を作ってあげないといけないのかなぁと。

——藤田VS健介に関して、猪木さんは何か言われたんですか？

猪木　俺は関係ないなぁ。この間も新日本の幹部から電話があって、「もう俺は触らないでよ、頼むから」って言ったの。まあ、俺がやるんだったら、こういう形ではやらないだろうなっていう。そういうことも含めて、関わるのは嫌だから。これ以上は一切関わらない。思う存分やってよって。まあ、興行的に成功すればいいわけだから。べつに足を引っ張る必要はないわけだからね。それなら俺のほうも楽になるし。まあ、なんというか、新日本らしさというか、それを見せてもらいたいなぁと。

——10月のドームは行かれるんですか？

猪木　分かんない。ちょっと予定があって。まあ、結構状況的には楽観視できない状況だろうという情報が来ているんで。最初から相談があれば、もうちょっと違ったアドバイスができたのに、いつもいつも土壇場になって。今回はちょっともう、俺のほうも付き合ってらんねぇなっていう。とりあえず頑張ってやってみりゃいいんじゃん。一丸となって勝負してね。結果が良ければいいわけだから。ただ、結果が悪けりゃ責任問題というのが出てくるからね。

——K—1との対抗戦に関してその後進展は？

猪木　行く時に言ったと思うんだけど、会見が流れちゃった理由は。たぶん、みなさんのほうがご存知だと思うんだけど。だから、まあ、中に入っている方から、明日あたり話が来ると思います。あとは安田が頑張っているようですから、ヒクソンの道場に行きたいと。どこでも行って来いやっての。まあ、思い切って安田が小川に挑戦したら面白れぇなぁと。俺は面白いと思うけど、ハッハッハッハッハ。いいですか？どうもーッ！　■

▲飛行機が激突して黒い噴煙を上げる貿易センタービルの様子を伝える記事と、猪木がニューヨークにいたことを知らせる記事。やはり、猪木が行くところには、何かが起こる！

FIGHTING NETWORK
RINGS
BATTLE GENESIS vol.8
壮大なる格闘実験。
9・21★後楽園ホール
プロの意気地が大爆発!!
前田道場イズムを背負った3人の若武者が新生リングスを強烈にアピール!!
HOT BLOOD

◀試合序盤の打撃の応酬場面。前田代表からは「この試合のテーマは左パンチを振り抜け」と言われた模様

◀打撃戦から組み合いになり、ケーシーは投げを放とうとする

バーリ・トゥードの大会でも勝っ

初メインでプレッシャーなし！いきなりガンつけだ！

前田ゆずりのゴンタ顔で、ケイシーにメンチをきる滑川

★第6試合（ミドル級オフィシャルマッチ5分3R）
○滑川康仁（1R1分44秒、腕ひしぎ十字固め）デクスター・ケイシー●
〈リングス・ジャパン〉 〈リングス・イギリス〉

はっきり言って、リングス勢及び、リングスという団体は実にしぶとい。選手たちが大量離脱し、10周年記念大会も盛り上がらなかったそんな状況で、新人たちがいまこそとばかりにガムシャラに頑張り、興行をメチャクチャ面白くさせてしまったのだから大したものだろう。

例えば、デビュー戦の伊藤博之だ。気持ちが猛烈に空回りしていたこの不器用な男は、前田道場の一員であるという誇りだけで技術的には上の相手とドロドロになるまで闘った。そして、横井宏考はとてもデビュー2戦目とは思えない妙な貫禄に末恐ろしさを実感させてくれるのが嬉しい。

また、アマチュア道場の選手たちも自らの個性を爆発させた。特に、矢野卓見は抜群。なにしろ、骨法のテーマ曲で入場して前田代表をゴンタ顔にさせ、パンツの例のあの文字で前田代表を思わず吹き出させ、そして試合内容できっちりうなずかせたのだから、そのインチキぶりは素晴らしいの一言。さらにセミの須藤元気もふてぶてしい試合っぷりで盛り上げる。

そんな熱い会場の中、初めてメインを任された滑川も試合前からともかく熱い。リングに入った途端、いきなり対戦相手のケイシーの目の前に立ちはだかり、ガンを飛ばすわ、胸板で相手をゴンゴン威嚇するわと、試合前からガ然ヒートアップ。

実は大会前にケイシーの練習ぶりを見た滑川は「相手が弱すぎる！　これじゃ沸かせる試合ができない」と怒っていたらしいのだ。イギリスのサンボの大会で優勝し、

FIGHTING NETWORK RINGS
BATTLE GENESIS vol.8
壮大なる格闘実験。
9・21★後楽園ホール

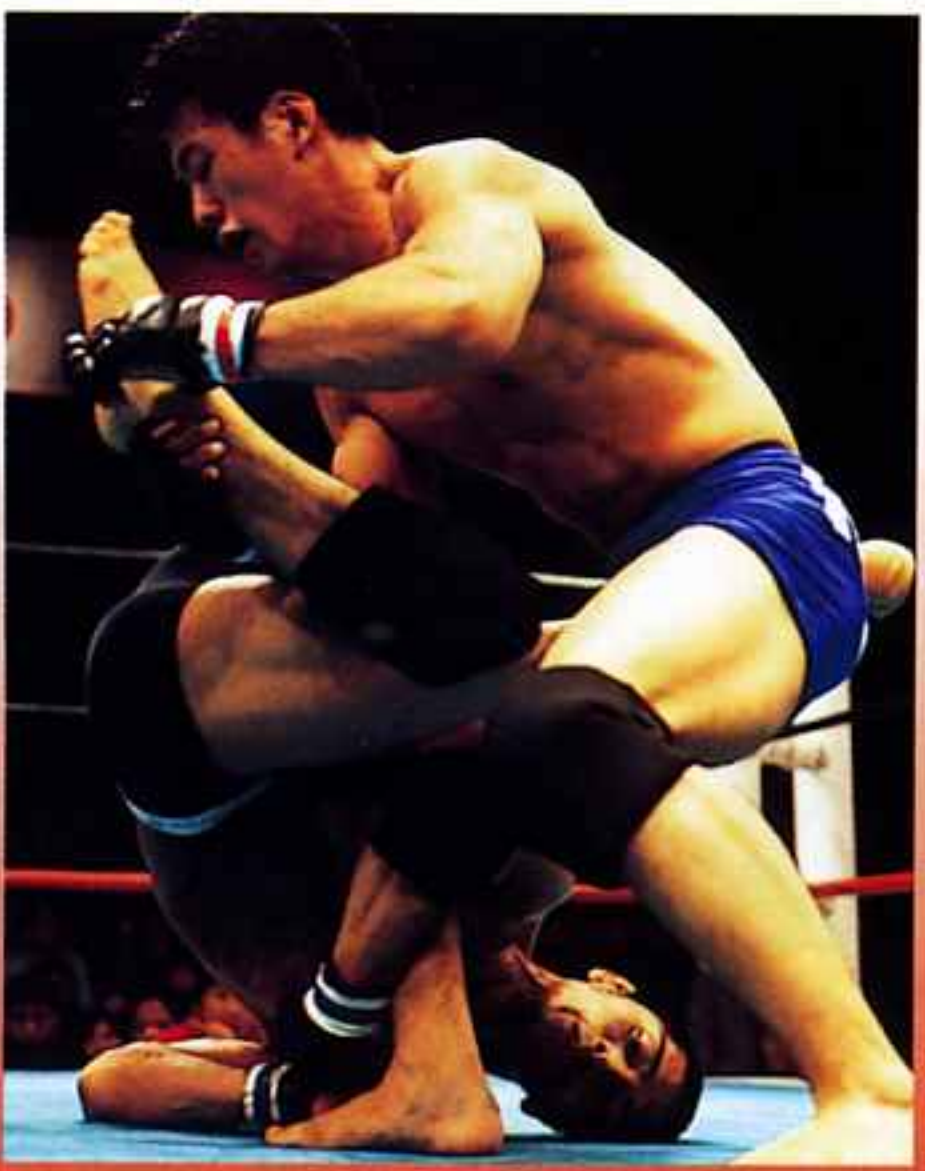
秒殺勝利！強くなった滑川が田村、山本、成瀬らに宣戦布告!!

ゴングと同時にスパートをかけた滑川はわずか1R1分44秒で秒殺勝利！

リングス期待の星・伊藤博之デビュー戦を勝利で飾れず……次こそは得意の打撃を見せてくれ！

▶熱い"伊藤コール"を背に、第3試合でデビュー戦の舞台に立った伊藤博之。アグレッシブなファイトが期待されたが、門馬秀貴（A所属）を相手に苦戦を強いられる。セコンドには金原や滑川が付き、熱く"檄"を飛ばした

▶グラウンドで防戦一方だった伊藤は、立ち技で勝機を見いだそうとするが不発。2－0の判定負けに終わる。試合後、伊藤は「自分の力を出せなくて悔しい。インタビューを受ける資格なんてボクにはないです…」と言って涙を流し、席を立った

▶第1試合。所英男（下・パワーオブドリーム）は小谷直之（RODEO STYLE）と対戦。所は小谷に終始攻め続けられながらも果敢に足を取りにいくが決め手までには至らず、2－0の判定で敗れた

滑川康仁のコメント

「初めてのメインってことでプレッシャーはありました。拍手をくれたお客さんには凄い感謝してます。来月のトーナメントは全力でぶつかります。あと、このバトルジェネシスは自分ができる限りメインをやりたいですね。それで成瀬さん、山本さん、坂田さん、田村さん、ヤマケンさんとドロドロした気持ちを抜きにしてメインでやりたいです。ボクが負けたまま終わってるんで勝負してください」

▶組み合いを制した滑川はケーシーを豪快な首投げで投げ、グラウンドに移行

▲初めてのマイク。とちりながらも、10月のアブソリュート級大会の必勝を誓う。期待してるぞ！

▶グラウンドでも滑川はアグレッシブ。パンチを放ち、スキを見てサイドポジションをあっさり取ってフィニッシュへ

◀試合序盤の打撃の応酬場面。前田代表からは「この試合のテーマは左パンチを振り抜け」と言われた模様

◀打撃戦から組み合いになり、ケーシーは投げを放とうとする

バーリ・トゥードの大会でも勝ってるケイシーなのに、滑川からすると全然物足りないってことらしい。ギリギリするような殴り合い＆関節の取り合いじゃないと満足できない体質みたいで、ホント、トンパチなのである。

そんなわけで、ゴングと同時に一気にラッシュをかけた滑川は、首投げでブン投げてすぐにサイドポジションを奪取。そこからあっさり腕十字を取って、1R1分44秒という文句なしの秒殺勝利で初のメインを飾ったのだった。

そして、試合後は試合よりもよっぽど緊張しながら初マイクにも挑戦。10月に行われるアブソリュート級トーナメントについて「前田さんから力試しのつもりで出ろと言われましたが、力試しするつもりはありません！」と必勝を誓う。インタビュールームでも「リングスを卒業していった田村さん、山本さん、成瀬さんとドロドロした気持ちは抜きにして勝負したいです」とブチ上げてどこまでも血気盛んで素晴らしかったのである。

さて、慧舟會にパワーオブドリーム、Uファイルキャンプ勢が登場した今回のバトルジェネシス。リングス色が薄まるかと思っていたら、案外そんなことはなく、前田道場の新鋭たちのプロの意気地と、アマチュア選手たちの勝負に賭ける意地がガチッと噛み合って見ているこっちを気持ちよく興奮させてくれるものだった。

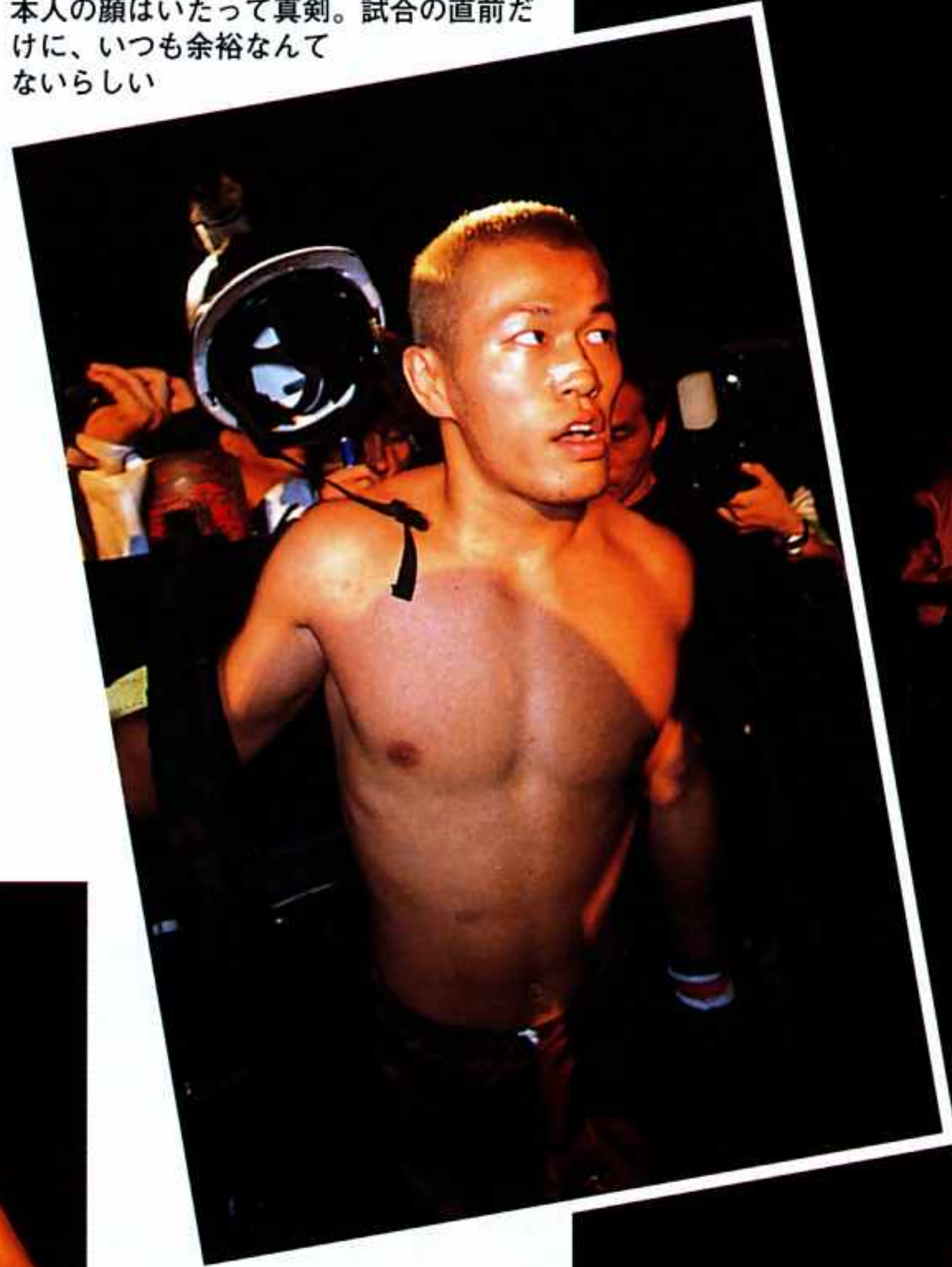
一時は危機が叫ばれたリングス。だが、この日のように新人たちが前田道場の看板を背負って踏ん張れば、相当期待できると実感して嬉しくなったわけである。（ブチ）

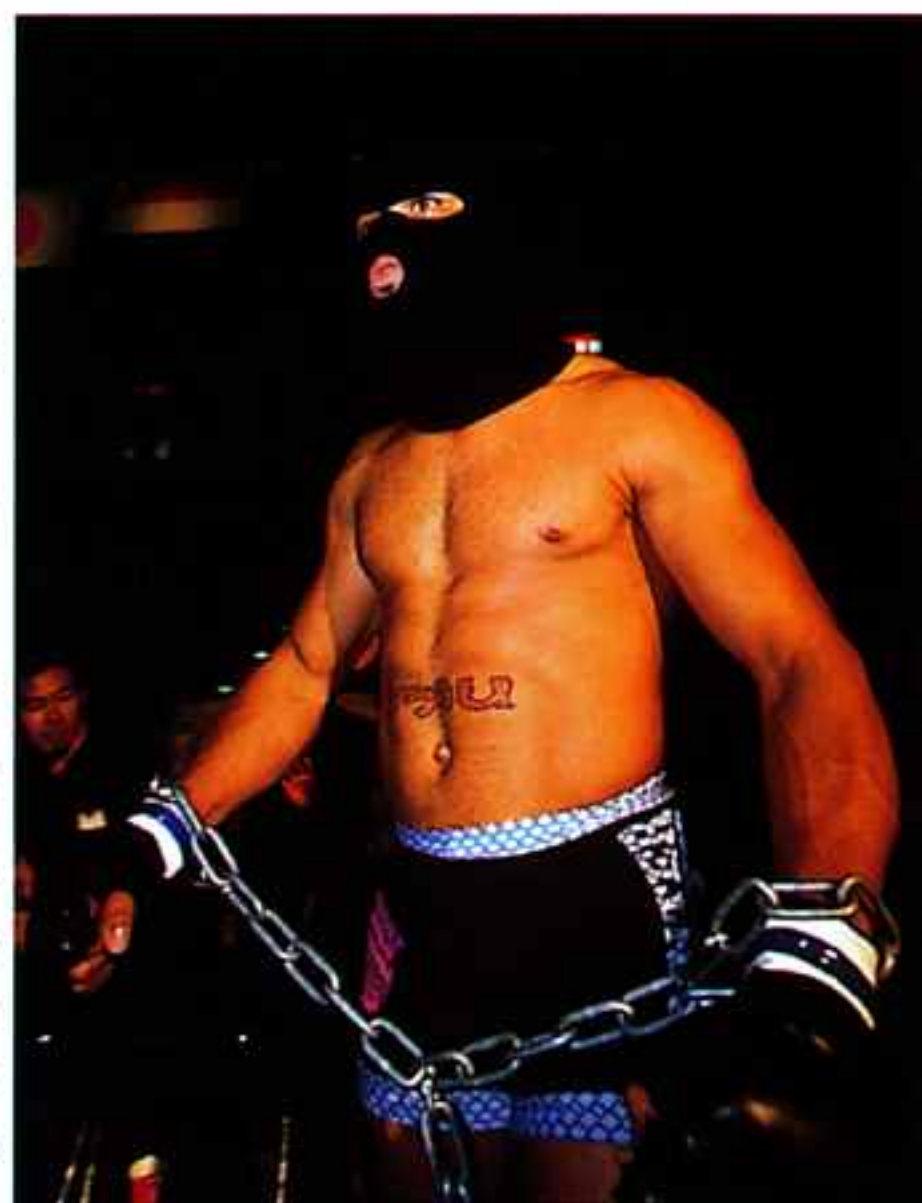
パンクラス↓リングスへ越境！
入場パフォーマンスにダマされるな
須藤元気の正体は超・実力派！

▼▶もはや面白いとか面白くないとかを超越した、恒例のコスプレ（？）入場パフォーマンス。観客には大ウケだったが、本人の顔はいたって真剣。試合の直前だけに、いつも余裕なんてないらしい

須藤のコメント

「顔にペイントして試合しようと思ったんですけど、アキラ兄さんにＮＧを食らってしまってダメだったんで、ま、ああいう形で。ルールは活かせましたね。グラウンドでいろいろ回転できたのも、顔面パンチがないからで。最初の大車輪キックで終わればー番いいなと思ったんですけど、そううまく世の中いかないもので（笑）。（久々の日本での試合は？）いやぁ～いいですね、日本はやっぱり。友達もついてますし。やはり日本が一番ですね」

▶こちらも入場のインパクトはバツグン。元気が対戦したロアニューは、村浜武洋とも闘ったオランダのパワー型ストライカーだ

▼元気のファーストアタックは大車輪キック。キレイなフォームで顔面をかすめた

▼寝技に引き込んで三角絞めを仕掛けた元気。ロアニューは力で持ち上げたが、元気はさらに深くホールドして絞め上げ、タップを奪った

★第5試合（ライト級オフィシャルマッチ5分3R）
○須藤元気（1R2分17秒、三角絞め）ブライアン・ロアニュー●
〈ビバリーヒルズ柔術クラブ〉　〈リングス・オランダ〉

パンクラスを離れて9カ月、アブダビを経て、須藤元気がリングス参戦を果たした。

元気といえば、誰もが思い浮かべるのが恒例の入場パフォーマンスだろう。好きだと言う人もいれば鼻につくと言う人もいるわけだが、とにかくインパクトがあるのはたしかである。

だが入場時の元気をよく見てみると、余裕がまるでないテンパッた表情をしているのが分かる。以前、本人にも聞いたのだが、実は精神的にはいっぱいいっぱい。普通に入場したほうがよっぽど試合に集中できるところを「プロなんだからどんな手を使ってもお客さんの印象に残らなければ」とムリしてやってるらしいのだ。

実際、ファイターとしての元気は超のつく天才肌の実力派。宇野薫を寝技で完封したこともあるその強さは、もっと正当に評価されてもいいくらいである。

今回のロアニュー戦で見せた前転しながら相手に組み付くという動きも、一見〝見せ技〟のようでいて実に理に適っているし（タックルへのカウンター打撃を防いでいる）、何よりセンスがいいからピタッと決まる。ある種の機能美を感じさせてくれるのだ。フィニッシュの三角絞めも、相手に持ち上げられながら絶妙にバランスをキープし、徐々に深くホールドしていった。

以前は「早く有名になって芸能界に行きたい」などと言っていたが、最近は「とにかく強くなることが目標」と腹を括った様子の元気。これからが本格的なブレイクの季節となりそうだ。（橋本）

“東洋の魔術師”ついにリングス参戦
炸裂！ヤノタク劇場

▶8月にパンクラスに出たと思ったら、今度はリングスに登場。見事な一本勝ちで“魔術師”ぶりを発揮したヤノタクこと矢野卓見

▲ゴング直後はこの構え方を見せる！

矢野のコメント

「相手の選手は絶対タップしないっていうのが伝わってきたんで、あれを逃したらヤバイなと。物凄いハートを感じました。ただ、とにかくあそこまで入ったら、落とすのに時間はかからないんで。（リングス登場の感触は？）いやぁ〜、いいですね、雰囲気が。（今後もリングスに？）もちろん。これだけ応援してもらったんで。リングスに人がいなくて厳しいなら、僕みたいなのには逆にチャンスなんで、よろしくお願いします」

▶スタンドの攻防。相手にケツを向けた構えからサイドキック、バックキックを出したヤノタク。いちいち面白い男である

★第2試合（ライト級オフィシャルマッチ5分3R）
○矢野卓見（1R3分14秒、裸絞め）小林悟朗●
〈烏合会〉　〈U—FILE CAMP〉

キャラも強さも◎
アキラ兄さんもご満悦

▲下から攻めるヤノタクと、それを見つめる前田日明。こんな時代が来るとは思わなかったが、来たら来たで実に楽しい

▲落とした相手を心臓マッサージで蘇生させるヤノタク。紋め落として勝つ割合いが異常に多いのも特徴だ

▲フィニッシュ。片足タックルを切ってガブッた状態から、クルッと身を翻して相手におんぶされる形でバックを取り、最後はスリーパーで落とした

パンクラスとリングス、犬猿の仲の団体に並行して出場する選手が出現し、しかもそれがヤノタクだというんだから面白い時代になった。在野の格闘家たちの兄貴分的存在でもあるヤノタク。こうやって団体間のリンク役を果たしつつ、軽いクラスの活躍の場を開拓しようとしているわけだ。

8月のパンクラスではドローに終わり、あまりいいところを見せられなかったヤノタクだが、今回はバッチリ本領を発揮してくれた。まずは入場＆コスチュームで観客と前田日明の心を掴み、続いて試合内容でも、若い小林悟朗（U—FILE）を翻弄しまくる。

テイクダウンされたと思ったらあっという間に三角絞めを極めかけたり、怪し気な構えからサイドキック、バックキックを繰り出したり、相手にモロに背中を見せてみたり……。ちなみに背中を向けるのは「顔を蹴られないように（笑）」とのこと。その分、無防備に足を蹴られたりもしたんだが、面白いので全然OKだろう。

最後もタックルにきた相手の体勢を微妙に崩しながらバックを取り（立ち抑え？）、キュッと絞めて落としてしまう魔術師っぷりだ。

「（リングスは）いいですねぇ〜、雰囲気が」と試合後のヤノタク。良くも悪くも「まとまる」方向へベクトルをきかす団体も多い中、リングスの無意識かつ思いっきり「ばらけていく」観客のムードはヤノタクに合っている。「好きか！嫌いか！　ハッキリさせろ！」（ヤノタクの入場テーマより）と言われるまでもなく、ヤノタクinリングスは大成功だった。

（橋本）

権で優勝するほどの実力者である。滑川と

なるか、立ち技総合の真価が問われる一戦

真の"怪物"になれるか!?
横井宏考、アームロックで完勝!!

勝って、雄叫びをあげる姿はまさしく怪物そのもの

◀試合開始早々、いきなり飛び蹴りという、意表をついた攻撃を繰り出した。相手の選手も蹴りで迎撃してきたが、バランスを崩して倒れる。そのままグラウンドの攻防へ

グラウンドでの攻防も優位に進め、アームロックで一本勝ち！　この試合は階級別に分かれてから初のアブソリュート級（無差別級）の試合となった

▲試合後、横井は「プロとしてやっぱり、一番に狙った技は絶対に極めなければいけないと思います」と語っていた

★第4試合（アブソリュート級オフィシャルマッチ5分3R）

○ **横井宏考（1R2分12秒、アームロック）小島正也** ●
<リングス・ジャパン>　<和術慧舟會千葉支部>

期待の新人として8・11リングス10周年記念興行でデビュー戦の初勝利を飾った横井宏考。今回の大会は、いろんなジムから若手選手が多数出場しており、リングス生え抜きの横井としては、前田道場でしごき抜かれた成果を存分に見せつけたいところだ。だが、そこはやはり早くも"怪物"とあだ名される男。リングに立っている雰囲気は、他のアマチュア色が抜けない選手たちと比べると、ひと味もふた味も違う。デビュー2戦目だというのに、いったいなんなんだ、この貫禄は!?　総合格闘技も最近はジムがたくさん増えている。そんな中で昔のプロレスの道場の雰囲気を残している前田道場は、貴重な存在だ。その貴重な空間で日々稽古を積んでいる横井には、前田道場の空気を吸っている者と吸っていない者との違いをハッキリと見せてもらいたい。試合結果はアームロックでの完勝だが、最後極める時に1回で極められなかったのが残念。前田が言う、次代を担う選手とは、爆発力のある選手。横井ならもっと、もっとその爆発力を見せられるはずだ。そして、誰もが手をつけられないような"怪物"となった横井の姿を、早く見たい。（小松）

◀試合開始前に、シュートボクシングのシーザー武志会長と、10・20リングス代々木大会に参戦が決まった緒形健一が登場。シーザー会長は、「シュートボクシングの選手が上がった時は、ファミリーだと思って強い強い応援をお願いします」と挨拶した

◀この日は、ノーフィアーの高山善廣が観戦。ひときわデカイ体で、観客の視線を集めていた。他にも、ノアの杉浦貴や、小路晃なども訪れていた

前田の総評

「（デビュー戦の伊藤選手は?）どうしようもないね。どうしようもない。あれは全然。なんのためにデビューしたか分からないじゃん。（今大会の総評は?）みんなそれぞれ、チームごとジムごとのカラーがあって、寝技にしろね。見てて面白かったね。今回は、U-FILEもパワーオブドリームもやられちゃって。特に、U-FILEは落とされちゃって。これからちょっとそれで各道場主の2人が、燃えてくれないとね。（滑川選手がリングスを卒業していった選手と闘いたいと発言していたが?）オファーは誰でも出しますよ。受けるかどうかは別ですけど。滑川には、今回課題をあげたんですよ。右撃てないから、左のショートフックとロングフック。あと、蹴る時の前のステップリング、捌く時のステップリング。パッと当たった瞬間にラッシュできるような選手になると……。畳み込むっていうか、迫力のある選手っていうのはこの頃いないですからね。総合系は。なんか戦略、方法でちょこまかちょこまか、少しずつ畳んでって勝ってしまうっていうヤツ、多いじゃないですか。そうじゃなくて、バッと、畳み込む。パンチをラッシュして。テイクダウンすれば、そのまま捕まえてガッとヒザを撃って、首を絞めて。カレリンだって、あいつの圧力というのはさぁ、タックルいって、止められてフロントチョークやられたんだけど、そのまま吊り上げて振りましたからね。そういう畳み込むというかね、迫力というか、なんかそういうのがその選手の凄さとかカリスマ性になってくるからね。爆発力というか。だから、あのう若いんだから細かいことにね、スタミナがどうのとかポジションとか、細かいことを考えるよりも、止まれるのと動けるのと2つの選択肢があるんだったら、動くっていうことやね。動くんだったら、畳み込む、勝負賭けるっていうふうに、プロでお金をもらってやっているんだったら、そういうふうにしてほしいですね。まだ創生期の部分で、いかに人を惹き付けるか。それには畳みかける。畳み込めるっていうね、爆発力というかダッシュ力のある選手。そういう選手が次の時代に名を残して、時代を作るんじゃないですかね。と、自分は思います。それと、アローナについてはね、こんなこと言うのもなんですけど、彼と彼のマネージメントは、リングスに対して、黙って『プライド』と契約してですね、前もって相談っていうのも一切なかったです。報告だとかもない。まあ、『プライド』出た時点でベルト剥奪なんですが、彼らがね、自分はブラジルの柔術家だと言うなら、挨拶ぐらいはあってもいいんじゃないでしょうか。武道っていうのは、挨拶から始まるはずですから。前田光世はそっから教えたはずですから。彼らのブラジリアン・トップチームっていうんですか?　ちょっとその辺の報告なり礼儀なりがないというのが、僕は残念に思いますね。（ミドル級は改めてトーナメントを?）そうですね。そうする必要があると思います」

10月9日、ついにTKのジムがオープン その名も、『総合格闘技塾G-スクエア』!!

10月より、日本に再定着するTKが、以前言っていたように、ジムをオープンすることとなった。ジムの名前は『総合格闘技塾G-スクエア』。このジムは、シアトルでTKをはじめ、前田や巨人の清原など、錚々たる面々にトレーニングの指導をしてきたケビン山崎さんが、9月4日にオープンした、『トータル・ワークアウト』というジムの中で開講される。アメリカ帰りのTKに、TKシザースを教わりに行こう!

◆開講日/10月9日（火）
◆場所/東京都港区三田4-7-24 TOTAL WORKOUT GYM内
（地下鉄南北線・都営三田線　白金高輪駅2番出口）
◆入会金/10,000円　月会費/10,000円
◆定員/60人
◆練習日/火曜日、水曜日、金曜日　18：00～20：00
◆原則として16歳以上のみ
◆塾長/高阪剛
◆お問い合わせ/『総合格闘技塾G-スクエア』　☎ 03-3280-2030

FIGHTING NETWORK RINGS

『WORLD TITLE SERIES』
アブソリュート級トーナメント

10・20リングス代々木大会 対戦カード遂に決定!!

アブソリュート級王者に輝くのは、いったい誰だ!

8月11日に行われた、旗揚げ10周年記念興行は、ちょっぴり寂しい興行となってしまったリングスだが、またまた大きな打ち上げ花火を用意してくれた。10月20日に開催される『WORLD TITLE SERIES』からアブソリュート級王座決定トーナメントが始まるのだ。

4月から8月にかけて行われた『WORLD TITLE SERIES』へビー級とミドル級の王者が決定。階級ごとのチャンピオンを決めたあとに、いよいよ満を持して無差別級のアブソリュート級王者が決定する。

加盟国が10カ国に増えたリングスネットワークから7カ国の代表選手と、チーム・ドラゴンから1名の選手がアブソリュート級のベルトを賭け激突。10月の大会では1回戦が行われるが、12月に準決勝、そして来年2月の大会で決勝戦を行う予定だ。

気になる出場メンバーは、右のカード表のとおりだが、注目すべきは我らがリングス・ジャパンの代表となった滑川康仁。9月21日の後楽園ホール大会では立派にメインを務めた滑川だが、今回のトーナメント出場は、TKと金原という先輩をさしおいての大抜擢。前田からは「力試しのつもりで出てみるか?」と言われたそうだが、本人はそんな考えはさらさらない。「出るからには優勝を狙う」と、9月21日の大会でも、リング上で力強く宣言してくれた。

その滑川と1回戦で闘うのが、新しくネットワークに認可されたリトアニア代表のエギリウス・ヴァラビーチェス。リトアニアのバーリ・トゥードトーナメントや柔術選手権で優勝するほどの実力者である。滑川とどんな試合をするのか、注目だ。その他にも、初参戦選手として、リングス・ブルガリアのゲオルギー・トンコフがいる。トンコフもサンボの世界では、輝かしい実績を残し、今年の柔道世界選手権でも5位入賞を果たしている実力者。トーナメントの台風の目となるか!?

さて、このトーナメントの優勝候補を挙げるとすれば、やはりこの男だろう。『WORLD TITLE SERIES』へビー級王者のエメリヤーエンコ・ヒョードルだ。このヒョードルと1回戦でぶつかるのが、ネットワーク外からの唯一の参戦選手となるチーム・ドラゴンの柳澤龍志。ヘビー級トーナメントでは、1回戦でボビー・ホフマンに敗れているだけに、ここらでリングスでも結果を残しておきたいところだ。

このトーナメント以外の、スペシャルマッチには金原弘光が出場。そして、立ち技総合格闘技シュートボクシングから、ファルコン級王者の緒形健一がリングスに初参戦する。いよいよ始まるSBとリングスの交流戦。緒形の総合初チャレンジはいかなるものになるか、立ち技総合の真価が問われる一戦だ!

アブソリュート級トーナメントから、SBとの交流と、前田リングスはまだまだ元気。今年は例年の『KOK』トーナメントを開催しないだけに、この新しい仕掛でリングスの底力を見せてほしい。リングスファンよ、10月20日は、代々木に集え! ■

▲滑川と1回戦でぶつかる、エギリウス・ヴァラビーチェス。この写真は、コピィロフとの試合のもの。 リングス・リトアニアが正式に公認される前に行われたものなので、詳細は分からず。滑川は、無事1回戦を突破できるのか？

1回戦

柳澤龍志〈チーム・ドラゴン〉 VS エメリヤーエンコ・ヒョードル〈リングス・ロシア〉

ゲオルギー・トンコフ〈リングス・ブルガリア〉 VS リー・ハスデル〈リングス・イギリス〉

エギリウス・ヴァラビーチェス〈リングス・リトアニア〉 VS 滑川康仁〈リングス・ジャパン〉

グロム・コバ〈リングス・グルジア〉 VS クリストファー・ヘイズマン〈リングス・オーストラリア〉

©リングス

スペシャルマッチ出場選手

緒形健一〈シーザージム〉

金原弘光〈リングス・ジャパン〉

『WORLD TITLE SERIES』アブソリュート級王者決定トーナメント

- エメリヤーエンコ・ヒョードル〈リングス・ロシア〉
- 柳澤龍志〈チーム・ドラゴン〉
- リー・ハスデル〈リングス・イギリス〉
- ゲオルギー・トンコフ〈リングス・ブルガリア〉
- 滑川康仁〈リングス・ジャパン〉
- エギリウス・ヴァラビーチェス〈リングス・リトアニア〉
- クリストファー・ヘイズマン〈リングス・オーストラリア〉
- グロム・コバ〈リングス・グルジア〉

サイバースポーツ

好評につき、安値続行!!

特別価格 下記の小物商品3点以上お買い上げの方は特別価格にてご奉仕致します!!

パンチンググローブ
定価¥2,800
特別価格 ¥1,400
品番:CPG-PU COLOR/黒・赤 SIZE/フリー

オープンフィンガーグローブ
定価¥3,800
特別価格 ¥1,980
品番:CFG COLOR/黒 SIZE/フリー

トレーニンググローブ
定価¥8,000
特別価格 ¥3,600
品番:CTG COLOR/黒・赤 SIZE/16oz

スパーリンググローブ
定価¥9,000
特別価格 ¥3,800
品番:CSG COLOR/黒 SIZE/16oz

レッグサポーター
定価¥2,000
特別価格 ¥1,250
品番:CLG COLOR/白 SIZE/フリー

ボディプロテクターベーシックモデル
定価¥4,800
特別価格 ¥2,400
品番:CBP-B COLOR/黒 SIZE/フリー
超軽量型!

パーフェクトガード
定価¥3,800
特別価格 ¥1,600
品番:CL-1 COLOR/白・赤 SIZE/フリー
大人気レガース!!

純白フルコンタクト空手着
定価¥6,500
特別価格 ¥3,200
品番:CKT2 COLOR/純白 SIZE/4号・5号・6号 白帯付き!

レガースプロ
定価¥4,800
特別価格 ¥3,300
品番:CLG-P COLOR/黒 SIZE/フリー

ハイパーキックミット
定価¥2,400
特別価格 ¥1,200
品番:CK-H COLOR/黒・青 抜群の感触!

ファールカップ
定価¥1,500
特別価格 ¥980
品番:CGG COLOR/白 SIZE/フリー もちろん洗濯OK!

ヘッドガードDX
定価¥5,800
特別価格 ¥3,300
品番:CHG-DX COLOR/黒・赤・白 SIZE/フリー
マスク取外しOK!

スーパーパンチングミット両手1組
定価¥6,000
特別価格 ¥2,000
品番:CPM2 COLOR/青・赤 SIZE/フリー

拳サポーター
定価¥1,000
特別価格 ¥780
品番:CNG COLOR/白 SIZE/フリー

ムエタイショーツ
品番:CMS COLOR/A.B.C.D.E SIZE/Mフリー
定価¥5,800
特別価格 ¥1,800
A B C D E

スーパーハードミット
定価¥3,000
¥1,500
品番:CK-S COLOR/黒 売切れごめん!!

ズバリ 定価¥19,800
¥12,800
スタンディングバッグ
品番:CSTB COLOR/黒 SIZE/40×180cm

定価¥15,800
¥6,400
サンドバッグ150B
品番:C150 COLOR/黒・赤 SIZE/40×150cm

定価¥12,800
¥4,900
サンドバッグ130B
品番:C130 COLOR/黒・赤 SIZE/40×130cm

定価¥9,800
¥3,400
サンドバッグ100B
品番:C100 COLOR/黒・赤 SIZE/40×100cm

ズバリ 定価¥25,600
¥12,000
ファイティングフルセットF1
品番:CFS-F1 SIZE/170×170×215～235cm
ファイティングスタンド+サンドバッグ100B
+さらにパンチングボールつき!!

ズバリ 定価¥28,600
¥13,000
ファイティングフルセットF2
品番:CFS-F2
ファイティングスタンド+サンドバッグ130B
+さらにパンチングボールつき!!

ズバリ 定価¥31,600
¥14,000
ファイティングフルセットF3
品番:CFS-F3
ファイティングスタンド+サンドバッグ150B
+さらにパンチングボールつき!!

※セットのサンドバッグは黒のみ。

CYBER SPORTS INTERNATIONAL 安くします!

全商品、売切れ御免!!

フォールディングベンチフルセット
定価¥56,600
¥19,800
品番:CBFB-F COLOR/白
SIZE/W126×D163×H85~102cm
フォールディングベンチ+セイフティスタンド+バーベルダンベル75KGベンチ折りたたみ式

定価¥66,400
¥28,800
マルチウエイトベンチフルセット
品番:CBMW-F
COLOR/白
SIZE/W132×D100×H195cm
マルチウエイトベンチ+ラットオプション+セイフティスタンド+バーベルダンベル75KG
ガンガン鍛える為の装備満載!

フルセットでさらにお得!!

信頼のブランド、ワールドバーベル!!

バーベルダンベルセット(NEWタイプ)			カラー グレーハンマートーン
35KG	品番:C35I	定価¥15,600	¥6,800
55KG	品番:C55I	定価¥23,600	¥9,800
75KG	品番:C75I	定価¥31,600	¥13,000
105KG	品番:C105I	定価¥43,600	¥17,000
145KG	品番:C145I	定価¥59,600	¥23,000
ダンベルセット(NEWタイプ)			**カラー グレーハンマートーン**
20KG	品番:C20I	定価¥9,600	¥4,400
30KG	品番:C30I	定価¥13,600	¥5,900
40KG	品番:C40I	定価¥17,600	¥7,400
50KG	品番:C50I	定価¥21,600	¥8,200
60KG	品番:C60I	定価¥25,600	¥10,600

マルチボディトレーニングスタンド
定価¥29,800
¥14,800
品番:CMBT
SIZE/W112×D111~210×H228cm

シットアップベンチ
定価¥6,500
¥1,980
品番:CBSU
COLOR/白
SIZE/W125×D38×H60~85cm

セイフティスタンド
定価¥9,000
¥3,980
品番:CBSS
SIZE/W50×D52×H61~85cm

NEWリフティンググローブ
定価¥4,500
¥2,000
品番:CWG-B COLOR/黒
SIZE/フリー

リフティングベルト
定価¥7,000
¥2,400
品番:CWB COLOR/黒
SIZE/Lサイズ 85~100cm

フラットベンチ
定価¥12,000
¥5,500
品番:CBFL
COLOR/白
SIZE/W122×D63×H48cm
安定感抜群の高重量タイプ

マルチシットアップベンチ
定価¥12,800
¥5,800
品番:CBMS
COLOR/
SIZE/W135×D42×H96(フラット時)

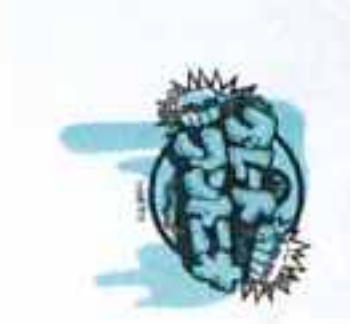
ハードパワーラック
定価¥58,000
¥16,800
品番:CBHP
COLOR/白
SIZE/W119×D90×H202cm
大幅値引き!!

レッグストレッチャー
ズバリ! 定価¥3,800
¥1,800
品番:CLS
COLOR/青
大幅値引き!!

全国通信販売OK! ご注文は電話・FAX・ハガキにて!!

サイバースポーツ インターナショナル
〒530-8388 大阪市北区芝田2-3-14 日生ビル3F ■受付時間/AM9:00~PM7:00 年中無休
TEL.06-6375-4050
FAX.06-6374-4020

●表示価格には送料・消費税は含まれておりません。●お支払いは代金引換・クレジットカード・分割がご利用いただけます。
●セール商品につき返品・交換はご容赦願います。●改良の為、色・デザインが予告なく変更される場合があります。
●在庫切れやお届けに日数がかかる場合がありますのでご了承願います。●商品によっては、ロゴマークが入らない場合があります。
●セット商品以外はベンチ本体の価格です。(プレート・シャフトは別売)

グレート・アントニオ
グレート・アントニオ
誌上通販
BLOODY FIGHT SERIES
あの山田先生が
世界平和に動く!
マグネシウム+リンゴ酢の
スーパージュース!
FASTING
●ファスティング・ダイエット
¥18,000(税別)
食欲の秋にこそ
ファスティング!
※我らがアントニオ猪木大推薦!
小川直也や佐竹雅昭らが肉体改造に成功し、藤原紀香やサダハルンバが大減量に成功した『ファスティング・ダイエット』。80種類の野草野菜を使って作られた発酵野菜ジュース3日間分が1セットとなっています。このジュースを飲みながら断食をすると、平均約5kgの減量が可能。しかも体内の老廃物も取り除いてくれます。あなたもぜひ『ファスティング・ダイエット』をお試しください!
NU SCIENCE
NEW
元気ですか!!
マグネシウム+リンゴ酢
●元気ですかジュース(1000ml入り)
¥5,800(税別)
マグネシウムはカラダで約300種類もの酵素の働きに関わっています。カルシウム以上に不足しがちなミネラルで、効率的なエネルギー消費、良いカラダ作り、健康を良い状態に保っていくために絶対欠かせません。また、リンゴ酢と合わせることで吸収面や働きがよりプラスとなり、誰にでもお勧めできるカラダリフレッシュ飲料です。ファスティングで山田先生を信用した方は、ぜひトライしてみてください!(1日一杯で約一ヶ月分)
CLOTHES
●マスクド・ウィンドブレーカー
(黒・カーキ/サイズS・M・L)
¥6,800(税別)
NEW
●グレート・アントニオスウェット
(グレー/サイズS・M・L)
¥4,500(税別)
大人気なので通販開始!
みんなも覆面大好きだろ!
T-SHIRTS
●猪木軍団応援Tシャツ(白/サイズXS・S・M・L)
¥4,000(税別)
●浅草キッドTシャツ(デザイン黒・赤/サイズXS・S・M・L)
¥3,500(税別)
●とうふパンTシャツ(黒・緑/サイズXS・S・M・L)
¥2,800(税別)
●猪木顔面Tシャツ(黒/サイズM・L・XL)
¥3,500(税別)
●(株)猪木事務所Tシャツ(白・黒・赤/サイズM・L)
¥3,500(税別)
●VIVA破壊王Tシャツ(白/サイズXS・M・L・XL)
¥3,500(税別)
●時はきたTシャツ(黒/サイズXS・S・M・L・XL)
¥3,500(税別)
TIME HAS COME
●グレート・アントニオTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥2,000(税別)
¥3,000(税別)

¥4,000(税別)　¥3,500(税別)　¥2,800(税別)　¥3,500(税別)　¥3,500(税別)　¥3,500(税別)　¥3,500(税別)　¥2,000(税別)

HOBBY

●SAKUベルト
(本物と同じサイズ&段ボール製)
¥2,500(税別)

モンチッチを手掛けるメーカーより サクモン登場!

NEW

●桜庭和志ぬいぐるみ『サクモン』
※ソフトビニール製・毛張り人形。
©高田道場/サン・アロー
¥1,600(税別)

CAP

●(株)猪木事務所キャップ
¥2,800(税別)

●グレート・アントニオキャップ
¥1,500(税別)

●INOKIキャップ(黒・ライトグレー)
¥3,500(税別)

GOODS

●ダイエットブッチャースリムスキン缶バッジ
¥3,000(税別)
※三代目魚武濱田成夫&グレート・アントニオロゴ入り

●SAKUキーホルダー
¥800(税別)
FRONT　BACK

●闘魂おまもり(赤・ネイビー)
¥1,000(税別)

●高田道場ステッカー(A4サイズ)
¥1,000(税別)

●(株)猪木事務所マグカップ
¥1,500(税別)

●(株)猪木事務所アッシュトレー
¥1,000(税別)

ぼくが欲しけりゃ
こっちへおいで!
http://www.great-antonio.jp
ファスティングジュースも
買えるよ!

ご注文方法

ご注文は電話受付のみです

『グレート・アントニオ』通販専用NAVIダイヤル
☎ **0570-007800** ※携帯電話からは掛かりません。
☎ **03-3295-4450** ※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日~土曜日 AM10:00~PM6:00

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円(ゆうパック)、代引手数料約250円(いずれも地域によって異なります)がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で(株)ジャンボ(大阪)より郵送いたします。(ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください)

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。(期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます)
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

ACCESS MAP

とうふパン専科 グレート・アントニオ

○神保町駅(半蔵門線/都営新宿線/都営三田線)より徒歩5分
○小川町駅(都営新宿線)より徒歩5分
○淡路町駅(丸ノ内線)より徒歩6分
○竹橋駅(東西線)より徒歩8分

OPEN 11:00~20:00(月曜定休)
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

http://www.great-antonio.jp

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先…〒101-0054 東京都千代田区神田錦町
3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ55』係まで
締め切り…10月18日（木）
当日消印有効

【グレート・アントニオ提供】

●グレート・アントニオスウェット
（カラーグレー/サイズS・M・L）

3名様

●桜庭和志ぬいぐるみ
"サクモン"

2名様

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ
☎03-3219-9550、またはhttp://www.great-antonio.jpまで

【ホロン提供】

涙あり！ 感動ありの
タッチタイピング習得ソフト！
●燃える闘魂タイピング
"1,2,3,打ぁーっ!!"

※猪木が過去に試合をした名シーンを中心とした映像でタイピングを練習するソフト。マサ斎藤戦（表音練習）～アンドレ戦（長文練習）まで気が抜けない試合の連続に、いつの間にかタイピングが上達していること間違いなし！ この商品に関するお問い合わせは、（株）ホロン ☎03-5282-5101まで

3名様

【パンクラス提供】

いよいよ決着！ 菊田×美濃輪！
●9・30横浜大会ポスター
（菊田&美濃輪サイン入り）

3名様

【ニュー・サイエンス提供】

山田先生強力プッシュ飲料！
●元気ですかジュース
（1000ml入り）

5名様

※カルシウム以上に不足しがちなミネラルで、効率的なエネルギー消費、良いカラダ作り、健康を良い状態に保っていくために絶対欠かせません。また、リンゴ酢と合わせることで吸収面や働きがよりプラスとなり、誰にでもお勧めできるカラダリフレッシュ飲料です（1日一杯で約一ヶ月分）。グレート・アントニオ店頭&通販で販売中

【髙田道場提供】

ノブ兄さん&サクNEW Tシャツが出ました！

●髙田延彦Tシャツ'01秋モデル
（カラーネイビー/サイズS・M・L・XL）

2名様

●桜庭和志Tシャツ'01秋モデル
（カラーネイビー/サイズS・M・L・XL）

2名様

※どちらも税別価格￥3,800。髙田道場グッズは
http://www.takada-dojo.comをチェック！

【格闘探偵団バトラーツ提供】

がんばれ石川社長！ 必勝アレク！
●10・14NK大会ポスター

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

第１章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第３章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第７章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第９章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上：全て目次より）

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のＨＰ　http://www.ueno.co.jp　　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com

SRS DX 10・25 臨時増刊号 No.55

9.24『PRIDE.16』大阪城ホール大会・速報!
12.31『イノキ・ボンバイエ』TBSが独占放送!

平成12年4月25日第3種郵便物認可 平成13年10月25日発行 増刊 第3巻・19号・通巻55号
編集人・谷川貞治 発行人・鯛沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版／(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSEビル8F 電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

雑誌21586-10/25
Ⓛ-2001.11/25

T1121586100683

Printed in Japan